

第2章 番組解説

ここでは、2009年度国内放送8波等の番組解説を掲載した。

1. 記載は①総合テレビ、②教育テレビ、③ハイビジョン、④衛星第1テレビ、⑤衛星第2テレビ、⑥ラジオ第1、⑦ラジオ第2、⑧FMの順。
2. 「定時番組」は、主なものを「50音順」に記述し、短いニュース・天気予報・広報スポットなどは省略した。「資料編」の「番組時刻表」(⇒p.594)を参照されたい。
3. 「特集番組」は、主なものを放送日順に記載した。
4. 複数の波で放送した番組は、メインの波に掲載した。㊦は「再放送」である。
5. シリーズタイトルはまとめて表記した。
6. NHK関連団体については、次のように略称した。

NEP=NHKエンタープライズ
NED=NHKエデュケーショナル
Gメディア=NHKグローバルメディアサービス
NSC=NHKサービスセンター
NPN=NHKプラネット
SV=総合ビジョン

総合テレビ

総合：定時番組

『EYES』

火～土 0:10～0:39ほか
日 0:00～0:45ほか

若い世代に向けた番組ゾーン。月～土曜の深夜時間帯に横帯で多彩な番組を編成し、視聴者層の拡大を目指した。『EYES』というゾーンブランド名で統一感を持たせ、PRなども展開した。／ソフト開発センター

『アグリー・ベティ2』 新

日 0:50～1:35

第1回08.9.30 (BS2)、第1回09.10.4、最終回10.2.14 (G)／ルックスやファッションセンスはイマイチでも心はピカイチの女の子ベティ。なにごとにも一生懸命に立ち向かっていくベティの姿を描いたアメリカの人気シリーズ・ドラマの第2シーズン。08年度、BS2で放送。(全18話)／ソフト開発センター

『あなたが主演 50ボイス』 新

G 木 23:00～23:29
㊦水 15:15～15:44
BS2 火 17:30～17:59

第1回09.4.2／一見何気ないシンプルな質問を50人にひたすら尋ねていくと、意外にも、今の日本人が抱くいろいろな夢や希望、不満や本音が浮かび上がってくる。50人のさまざまなコメントに思わずうなずいたり、感心したり、はたまた元気をもらったりできる番組。／司会：春風亭昇太、小池栄子／ソフト開発センター、グループ現代

『ERⅫ 緊急救命室』 新

日 0:50～1:36

第1回07.4.2 (BS2)、第1回09.4.5、最終回09.9.20 (G)／大都会シカゴのカウンティ総合病院を舞台に、患者がひしめく緊急救命室で献身的に働く医師とスタッフが直面するさまざまな問題を描いたヒューマンドラマ。07年度、BS2で放送(09年度、BS2、火 9:00～9:46で再放送)。(全22回)／ソフト開発センター

『いよっ日本ー!』

(年間6本) 金 20:00～20:43

第1回07.4.15、最終回10.3.12／日本全国津々浦々、街の数だけ意外な「日本ー」があると言われる、日本の町(自治体)には、その土地の風土や昔ながらの人々の気質・歴史が息づいている。日本一の町や地域を徹底的にリサーチし、ふるさとの魅力と元気のもと「桃の種」を見つけ出すべく、ひとつのテーマにまつわる日本一を訪ねてさまざまな土地を訪ねた。親しみやすいテーマと多彩なデータを駆使し、意外な日本一の数々を紹介した。／5月「路線バス」、6月「ご当地グルメ」、7月「暑いから元気」、9月「早起き」、12月「海の幸」、3月「温泉」など／ソフト開発センター、NEP

『NHKアーカイブス』

土 10:05～11:25

第1回00.4.9／保管されている過去の番組を時代の変化とともにもう一度見つめ直し、新たに“いま”の出来事を再取材して番組全体を再構築。現代の諸問題や社会現象を考える温故知新番組。／キャスター：桜井洋子／ライツ・アーカイブスセンター、NEP

『集団就職列車 15歳の旅路』「記憶の扉特集」 5.23

青森発上野行き最初の集団就職列車が運行されたのは昭和29年。集団就職の若者たちの映像を手がかりに、彼らのその後を取材、高度成長を支

えた人々の人生を見つめた。後半は、昭和の原風景を映し出す番組を見ながら、俳優の藤村俊二さんと中村メイコさんが昭和のセットに囲まれた舞台上で、師匠と弟子、先輩後輩きずなの絆の大切さを語った。

『甲子園 伝説の名勝負』 8. 1

甲子園伝説の名勝負と称されているのが、30年前、延長18回の死闘を繰り広げた「箕島対星稜」の1戦。当時の中継映像とその後を追ったドキュメンタリーに加え、30年後の今を取材して高校野球の魅力に迫った。

『ポーランド民主化20年』 8.29

東欧の民主化が始まって20年目の09年、その発火点でもあったポーランドで、自主管理労組「連帯」に関与した1人の日本人を取材。非共産主義政権が誕生するまでの当時の番組を再構成し、激動の時代に自由を求めて立ち上がった人たちの思いを描いた。

『阪神・淡路大震災 絆きずな つないだ15年』 1.16

95年1月17日、多くの命が奪われた阪神・淡路大震災。震災直後の番組と、登場人物たちのその後の人生を新たに取材。大きな痛手を受けた人たちが生きた15年間と復興を支えたふるさとの絆を見つめた。

『NHK映像ファイル あの人に会いたい』

G 火 22:50~23:00

E ㊟火 14:30~14:40

火 14:40~14:50

BS2 金 9:50~10:00

第1回04.4.11/NHKが保有する映像の中から、物故者となっている歴史的著名人のインタビューを精選し、現代に残されたメッセージを伝えた。/語り：森山春香アナ/ライツ・アーカイブセンター

『NHK海外ネットワーク』

日 18:10~18:45

第1回03.4.6/世界で今、何が起きているのか、その背景に何があるのか、NHKの海外取材網を生かして、通常のニュースでは伝えきれない国際ニュースの深層に迫る番組。09年度は、金融危機が世界に与えた影響、中国など新興国の台頭、地球温暖化など環境問題、北朝鮮やアフガニスタン情勢などを重点に特集を組んだ。キャスターが北京、ベルリン、ヨハネスブルグに出張し、現地から生中継で番組を出すオペレーションも行った。/キャスター：長尾香里記者/テレビニュース部

『NHK歌謡コンサート』

G 火 20:00~20:43

BS2 火 8:15~ 8:58

第1回93.4.17/歌謡曲を中心に、毎回のテーマに合わせた楽曲を一流歌手が熱唱するNHKホール公開番組。09年度は「時代の歌こころの歌」「歌コン最前線」のコーナーを継続し、時代を越えた名曲から最新曲まで幅広く紹介した。また、高松、福井、福山、岐阜、青森で公開派遣を実施した。/司会：小田切千アナ/エンターテインメント番組部

『NHK週刊ニュース』

土 8:30~ 9:00

第1回99.4.3/1週間のニュースをせき止めて伝えるニュース番組。関心の高いニュースの背景や今後の展開まで、わかりやすく読み解く「ニュースアップ」。その週の出来事をコンパクトにまとめた「ダイジェストニュース」、そのほか、気象情報、来週の予定などで構成。/キャスター：畠山智之・古野晶子アナ/気象キャスター：南利幸/テレビニュース部

『NHKスペシャル』

日 21:00~21:49

㊟水 0:45~ 1:34

09年度は『NHKスペシャル』が誕生してちょうど20年。この節目の年にさらなる飛躍を目指し、“細胞分裂”に挑んだ。これまで週2回だった定時枠を日曜だけにし、Special of Specialsにふさわしい番組を目指す一方で、土曜夜に『NHKスペシャル』の遺伝子を受け継ぐ2つの番組を新設した。映像エンターテインメント番組『ワンダー×ワンダー』(⇒p.188)と、今をリアルに切り取る新感覚の報道情報番組『追跡! A to Z』(⇒p.179)である。09年度は歴史に残る事件や出来事が続発した。劇的な政権交代、新型インフルエンザの世界的流行、冬季オリンピック、ハイチやチリの大地震…。こうした時の激流と併走しながら、NHKだからこそできる64本を制作した。

『シリーズ JAPANデビュー』

『(1) アジアの“一等国”』

4. 5/21:00~22:13

㊟ 4. 8/ 0:45~ 1:58

1895年、日清戦争に勝利した日本は、初の植民地として台湾を支配し、敗戦まで半世紀に及んで統治した。1930年代後半になると、台湾人を強制的に日本人へと変えていく皇民化政策が進められ、多くの台湾人が日本兵として戦場に送り込ま

れた。日本統治時代を生きた台湾の人々の証言、近年台湾で発見されたフィルム、2万6,000冊の台湾総督府文書などを手がかりに統治の実像を明らかにし、近代日本とアジアの関係の原点を探った。／ジャパンプロジェクト、社会番組部

【(2) 天皇と憲法】

5. 3 / 21:00～22:13

Ⓜ 5. 6 / 0:45～ 1:58

日本が近代国家として列強と対等に渡り合うために重要だった憲法。その中には、天皇の位置づけをはじめ、議会や司法、国民の権利義務などが書き込まれ、文字どおり国家のシステムを形づくるものとなった。やがてその運用を誤り、大日本帝国憲法の国家体制は崩壊、日本は戦争への道を突き進んでいく。その過程をつぶさに検証することによって、現代にも通じる国のありようを探った。／ジャパンプロジェクト、Gメディア

【(3) 通商国家の挫折】

6. 7 / 21:00～22:13

Ⓜ 6.10 / 0:45～ 1:58

150年前、貧しい島国として世界にデビューした日本は、貿易によって富を得る通商国家を目指した。日本初のグローバル企業・三井物産は中国市場に乗り出し、欧米を猛追、世界恐慌後、日本の輸出は拡大し経済成長を加速した。しかしその時、世界貿易の枠組みが変わってしまう。中国を巡りアメリカと対立し、石油資源の獲得で孤立した日本は世界市場から閉め出されるに至った。通商国家の興亡を通し、未来への生存条件を探った。／ジャパンプロジェクト、政経・国際番組部

【(4) 軍事同盟 国家の戦略】

6.28 / 21:00～22:13

Ⓜ 7.15 / 0:45～ 1:58

日露戦争で軍事面でも一等国に躍り出た日本。しかし、それは世界のパワーバランスの中で際どく勝利を得た戦争だった。以後日本は自国の力を見誤り、外交的にも戦略面でも情報戦を軽視し、国際協調の機会を失っていく。日本が地獄を見る太平洋戦争に至る道筋を、各国との同盟を巡る情報戦というグローバルな視点からたどり、外交交渉や国際情報の分析という、今日でも日本の大きな課題となっているテーマについて検証した。／ジャパンプロジェクト

「マネー資本主義」

【(1) “暴走”はなぜ止められなかったのか～アメリカ投資銀行の興亡】

4.19 / 21:00～21:49

Ⓜ 4.22 / 0:45～ 1:34

Ⓜ 5. 6 / 11:05～11:54

Ⓜ 7.17 / 2:12～ 3:01

Ⓜ 10.15 / 0:45～ 1:34

金融危機はなぜ起きたのか。巨大マネーはどのように膨張していったのか。マネー資本主義の歴史と背景を徹底検証する大型シリーズ。第1回は、経営破たんしたリーマン・ブラザーズなどの「投資銀行」。これまで沈黙を守ってきたウォール街の当事者が、少しずつ真相を語り始めた。そこには「超レバレッジ」や「高額報酬」に踏み込みながら、すさまじい競争を繰り広げる業界の姿があった。30年の成長と転落の物語を新証言で追った。／大型企画開発センター

【(2) “超金余り”はなぜ起きたのか?～カリスマ指導者たちの誤算】

5.17 / 21:00～21:54

Ⓜ 5.20 / 0:45～ 1:39

Ⓜ 7.18 / 1:20～ 2:14

Ⓜ 10.22 / 0:45～ 1:39

膨大なマネーを世界にあふれさせ、無謀な投資を可能にしたと、厳しく批判されるグリーンズパン前FRB議長ら、アメリカのカリスマ的指導者。世界の金融界をリードした政策の何が問題だったのかを、関係者の証言で検証。また、番組はオリジナルドラマを交えて進行。大金を拾った主婦が巻き起こす事件のドラマと、世界の金余りの謎を解き明かすレポートを絡ませ、今回の金融危機の真相を明らかにした。／大型企画開発センター

【(3) 年金マネーの“熱狂”はなぜ起きたのか】

6.14 / 21:00～21:49

Ⓜ 6.17 / 0:45～ 1:34

Ⓜ 7.18 / 2:16～ 3:05

Ⓜ 10.29 / 0:45～ 1:34

なぜ世界のマネーはこれほどまでに肥大化したのか。そこで見逃せないのが、私たちの老後の備え「年金基金」の存在である。手堅い投資に徹してきた年金基金が、株などへの投資に乗り出したのは80年代。2000年のITバブル崩壊後、ヘッジファンドなどとのつながりをさらに深め、マネー資本主義の主役の一角を担っていくことになる。私たちの年金がいかにか「マネーがマネーを生み出す仕組み」に依存してきたのかを描いた。／大型

企画開発センター

「(4) ウォール街の“モンスター” 金融工学 はなぜ暴走したのか」

7.19/21:00~21:49

Ⓜ 7.22/0:45~1:34

Ⓜ 11.4/0:45~1:34

産業革命に、蒸気機関などを発明した科学者が欠かせなかったように、マネー資本主義の興隆の陰には、多くの科学者たちによる金融工学開発のすさまじい歴史があった。核開発競争の終焉や冷戦終結で、行き場を探していた世界の科学者たちを集めたウォール街。金融に自然界と同じ法則を見つけ出し、数学理論によって金融をコントロールするという発見を成し遂げる。しかしそれは、科学への過信と人間の欲望によって暴走していった。／大型企画開発センター、社会番組部

「最終回 危機を繰り返さないために」

7.20/19:30~20:43

Ⓜ 7.25/1:36~2:49

世界的な経済危機が続く中、はたして私たちにバブルに頼らない経済を築くことはできるのか。最終回では、世界の賢人たちから寄せられたメッセージを基に考えた。／大型企画開発センター、社会番組部、NEP、Gメディア

「ウォール街の“モンスター” バブルは再び起きるのか」

12.20/21:45~22:58

マネーが暴走し、やがてモンスターと化したウォール街の興亡を当事者の膨大な証言でつづった。原因は何か？ なぜ規制できなかったのか？ 最新情報も加えた金融危機追跡の決定版。／大型企画開発センター

「インドの衝撃」

「(1) 膨張する軍事パワー」

5.24/21:00~21:49

Ⓜ 5.27/0:45~1:34

台頭するインドを描くシリーズの第3弾。100万を超える兵員数、空母や核兵器も保有するインド軍。今、積極的な軍備拡張を実施、活発な軍事外交も展開、パワーを世界に誇示し始めている。これまでメディアの取材を厳しく制限してきたが、今回、軍内部の撮影が大幅に許可された。インド軍はどう変わろうとしているのか？ 貴重な現場の密着取材から、巨大化する軍事パワーの実態と戦略を探った。／大型企画開発センター、NEP

「(2) 世界最大の選挙戦 貧困層が国を動かす」

5.31/21:00~21:49

Ⓜ 6.3/0:45~1:34

有権者7億1,000万人“世界最大の民主主義国”インドで総選挙が行われた。2大勢力である国民会議派とインド人民党に対し、カースト最下層のグリッドを基盤とする大衆社会党が台風の目。勝敗の鍵を握るのは、インド社会の圧倒的多数を占める貧困層の動向だ。貧困層の支持を取り付ける激しい戦いが行われた選挙戦に密着、経済発展の一方で格差が広がるインド社会の変化と、多様な国家をまとめる巨大な政治ショーの素顔を伝えた。／政経・国際番組部、社会番組部

「エジプト発掘」

「(1) ピラミッド 隠された回廊の謎」

7.5/21:00~21:49

Ⓜ 7.29/0:45~1:34

古代エジプトのピラミッドは、平均2.5トンの石を300万個積み上げて造られている。地上60メートルの場所には、重さ60トンもの巨石もある。5,000年もの昔にどうやって造ったのかは、最大の謎だった。ところが今、「秘密の内部回廊を使って建設した」という新説が世界の注目を集めている。ピラミッドの登頂調査をはじめ徹底取材し、神秘に満ちた大ピラミッド建造の謎を興味深く解き明かした。／大型企画開発センター、NEP

「(2) ツタンカーメン 王妃の墓の呪い」

7.26/21:00~21:49

Ⓜ 7.30/0:45~1:34

エジプトの王家の谷で、80年ぶりに新たな墓が見つかった。墓は、極端に小さく、黒い棺が納められていた。この異様な墓は、いったい誰のものなのか。調査を進めるうちに、浮かび上がってきたのは、ツタンカーメンの妻の存在だった。妻のアンケセナーメンは、若くして嫁ぎ、その後歴史の闇に消えていった、悲劇の王妃とされている。墓の発掘調査を通して、呪われたツタンカーメンと王妃の悲劇の人生に迫った。／大型企画開発センター、甲府局

「(3) クレオパトラ 妹の墓が語る悲劇」

8.2/21:00~21:49

Ⓜ 8.26/0:10~0:59

古代エジプト最後の女王クレオパトラ。絶世の美女とうたわれるが、実像は謎に包まれてきた。ところが、血のつながった妹の墓がトルコの遺跡で発見され、クレオパトラの真の姿に迫れるのではないかと期待が高まっている。骨の分析から明

らかになった生前の顔、そして意外な死因。そこからは、エジプト滅亡の裏にあった、クレオパトラ姉妹の悲劇の物語も明らかになってきた。／大型企画開発センター

「日本海軍 400時間の証言」

「(1) 開戦 “海軍あって国家なし”」

8. 9 / 21:00~21:59

Ⓜ9. 8 / 0:10~ 1:09

開戦の鍵を握った大日本帝国海軍・軍令部。“海軍の頭脳”と呼ばれた参謀たちはなぜ開戦に突き進んだのか。戦後秘密裏に行われていた「海軍反省会」で内実が明らかにされる。／社会番組部

「(2) 特攻 “やましき沈黙”」

8.10 / 22:00~22:59

Ⓜ9. 9 / 0:10~ 1:09

Ⓜ10.30 / 1:40~ 2:39

1944年10月に始まった「特攻」神風特別攻撃隊。海軍反省会ではそれより前に、組織的に計画していた事実が語られる。「特攻」の真実とは…。／社会番組部，衛星放送センター，札幌局

「(3) 戦犯裁判 “第二の戦争”」

8.11 / 22:00~22:59

Ⓜ9.10 / 0:10~ 1:09

敗戦後の東京裁判。海軍反省会ではトップを守るため、組織的に裁判対策に動いていた実態を語る。戦争を指導したエリート将校たちは戦争の責任にどう向き合ったのか。／社会番組部

「ONの時代」

「(1) スーパーヒーロー 50年目の告白」

9.20 / 21:00~21:58

Ⓜ9.22 / 9:00~ 9:58

Ⓜ10.12 / 15:30~16:28

時代を越えたヒーロー・長嶋茂雄と王貞治。「ON」がそろって50年目の09年、人々を熱狂させた2人の魅力とは何だったのか、長時間インタビューと初めて公開された手記などを基に、2回シリーズで探った。第1回は、ONの現役時代に焦点を当てた。人々の期待を一身に背負った2人は、どのような思いで、それに応え続けてきたのか。「天才・長嶋」と「努力の王」。その知られざる闘いの日々を追った。／ソフト開発センター，社会番組部，福岡局，Gメディア

「(2) スーパーヒーロー 終わりなき闘い」

9.27 / 21:00~21:58

Ⓜ10.12 / 16:30~17:28

第2回は、2人の現役引退後の人生を見つめた。監督になり、試練に直面しながらも、それを乗り

越え続ける2人。その終わりのなき闘いの日々。／ソフト開発センター，社会番組部，Gメディア

「自動車革命」

「(1) トヨタ 新時代への苦闘」

10.18 / 21:00~21:49

Ⓜ10.28 / 0:55~ 1:44

世界的な“経済危機”と“脱化石燃料”の潮流。この激動の時代を、GMの破たんまで名実ともに世界一の自動車メーカーとなったトヨタはどう勝ち抜こうとしているのか。その戦略に迫った。／社会番組部，名古屋局

「(2) スモール・ハンドレッド 新たな挑戦者たち」

10.25 / 21:00~21:49

Ⓜ11. 5 / 0:45~ 1:34

ガソリンから電気へ、革命的な変化の時代を迎えた自動車産業。既存の自動車メーカー以外の新たなプレーヤーが続々参入している。「スモールハンドレッド」と呼ばれるベンチャー企業だ。アメリカのIT産業の中心地シリコンバレーで、中国・山東省の地方都市で、クルマ作りに縁のなかった人までもが、電気自動車開発に乗り出している。高性能電池の開発や資源確保では、国家レベルのつばぜり合いも激しさを増してきた。／大型企画開発センター，社会番組部

「証言ドキュメント 永田町・権力の興亡」

「(1) 1993~1995 “政権交代”誕生と崩壊の舞台裏」

11. 1 / 21:00~22:08

Ⓜ12. 1 / 0:10~ 1:18

「55年体制」に代わる「新たな政治」模索の道のり。権力を巡る攻防のドラマを、小沢一郎へのロングインタビューをはじめ、中枢にいた20人を超える政治家たちの生々しい証言でつづった3回シリーズ。第1回は、原点である「16年前の政権交代」。自民党を離党した小沢が仕掛けた細川政権成立のドラマ。短命に終わった“ガラス細工の政権”の内実。そして自民党・執念の政権奪還劇…。道のりの始点、10か月の政権攻防に迫った。／大型企画開発センター，政治部，Gメディア

「(2) 1996~2000 漂流5年 “数” をめぐる攻防」

11. 2 / 22:00~22:49

Ⓜ12. 2 / 0:40~ 1:29

戦後システムの制度疲労、押し寄せるグローバル化の波…。日本社会が激震に見舞われる中、過半数の安定政権は生まれず、自民党と小沢の対決は“数を巡る攻防”になっていった。自民党で先

陣に立ったのは、かつて小沢がいた「経世会」の新たな実力者・野中広務。混迷する政局の果て、自民党で起きたのは「五人組の密室劇」、そして「加藤の乱」。今、証言で初めて明かされるその内実と秘話とは…。／大型企画開発センター，政治部，社会番組部

【(3) 2001～2009 小泉 そして 小沢 “民意” をめぐる攻防】

11. 3/22:00～22:58

Ⓜ12. 3/ 0:10～ 1:08

90年代の閉塞感を打ち破るよう^{まく}に登場した自民党の異端児・小泉純一郎。国民の熱狂的支持を背に“古い自民党”を次々と壊した。一方、30人に満たない自由党を率いていた小沢一郎。小泉旋風のすさまじさを前に3度目の大勝負、民主党との合併に出る。そこには政権交代を目指す小沢のしたたかな戦略があった。今回の政権交代とは何なのか。日本政治16年を証言でつづるシリーズの最終回。小泉と小沢、希代の2人の政治家の深層に迫った。／大型企画開発センター，政治部，政経・国際番組部

【チャイナパワー】

【(1) “電影革命” の衝撃】

11.22/21:30～22:19

Ⓜ11.25/ 0:45～ 1:34

「映画大国」に向け始動した中国。「レッドクリフ」などの作品がアジア市場で大ヒット。ハリウッドで活躍していた監督やプロデューサーたち、香港映画の顔役たち、そしてアジアの名優たちも中国に活動拠点を移し始めている。建国60年を迎えた09年は、“孔子”や“孫文”を扱った映画が登場、すさまじい競争が繰り広げられている。市場の爆発的成長と国家戦略が相まって、ソフトパワー大国を目指す新しい姿を追った。／大型企画開発センター

【(2) 巨龍 アフリカを駆ける】

11.29/21:45～22:34

Ⓜ12.12/ 0:55～ 1:44

世界経済を牽引する中国パワー。企業の海外進出は勢いを失っていない。巨大マーケットと豊かな天然資源を持つアフリカ大陸では、厳しい環境の中、中国企業と現地国との共存共栄を図るプロジェクトが次々と実行に移されている。世界で唯一、一国の携帯電話システムの整備をすべてひとつの中国企業が引き受けたエチオピア、民間企業が新たな銅の開発に乗り出したザンビアのケースを通して、新中華ネットワークの現実を描いた。／大型企画開発センター，社会番組部，Gメ

ディア

【(3) 膨張する中国マネー】

12.13/21:45～22:34

Ⓜ12.16/ 1:10～ 1:59

年々増える中国の対外投資。その仲介を行う投資銀行が、今、中国で続々と誕生している。アメリカに長く住んだ帰国組などが、海外経験や人脈を生かし、マネーの橋渡し役を果たしている。今や中国マネーは、世界経済を動かすほどの規模になりつつある。北京にある投資銀行を密着取材、海外での企業買収や資源獲得に向けた戦略を見つめた。／大型企画開発センター，文化・福祉番組部

【MEGAQUAKE 巨大地震】

【(1) 次の巨大地震をつかめ 人類の果てしなき闘い】

1.10/21:00～21:58

Ⓜ 1.13/ 0:45～ 1:43

Ⓜ 3. 4/ 1:00～ 1:58

「巨大地震はいつ、どこで起きるのか」。阪神・淡路大震災から15年、その問いに迫る闘いは新しいステージに入った。最新観測技術を手に入れた研究者たちは、地球の内部を克明にとらえ「地震の巣」を明らかにしつつある。地層の痕跡を読み解くことで、これまで「空白域」とされてきた地域に迫る巨大地震の可能性も次々とあぶり出されている。最新科学の描き出す巨大地震のリスクとどう向き合うか。地震と人類の闘い、その到達点を描いた。／大型企画開発センター

【(2) KOBE 15秒の真実 そのとき地下で何が】

1.17/21:00～21:49

Ⓜ 1.20/ 0:45～ 1:34

Ⓜ 3. 4/ 2:00～ 2:49

阪神・淡路大震災では、わずか15秒の揺れがなぜあれほどの惨禍をもたらしたのか？ 引き金となった地下深くに滞留する「水」。断層面にアスペリティー（固着域）が2つあったため2波連続で発生し木造住宅を破壊した強い揺れ。入り組んだ表層地盤のために複雑に揺れ、倒壊した高速道路。最新科学が解き明かした地下のリスクの全貌、15秒の“真実”を、生存者の証言、最新科学CG、VFX（Visual Effects）技術によって完全再現した。／大型企画開発センター，大阪局

【(3) 巨大都市を未知の揺れが襲う 長周期地震動の脅威】

3. 7/21:00～21:49

Ⓜ 3.30/ 0:15～ 1:04

今、世界の大都市が「新たな震災」の恐怖に直面している。高層ビルや巨大構造物に集中的に襲いかかる、経験したこともない地震。それが、「長周期地震動」と呼ばれる、長くゆっくりとした揺れだ。この「長周期地震動」が都市に与える重大な影響が、最新の研究によってしだいに明らかになってきた。しかも、この震災は人間がみずから生み出してきたものだという事もわかってきた。最新科学が解明する「新たな震災」の素顔。
／大型企画開発センター

【(4) TSUNAMI 襲来の悪夢】

3.14/21:00~21:49

Ⓜ 3.30/1:05~1:54

10年2月、チリで起きたM8クラスの巨大地震と津波。津波はチリ沿岸に壊滅的な被害を与え、太平洋を越えて日本にまで襲来した。そして、次にM8クラスの地震と10メートル以上の大津波に襲われる可能性が高いと研究者たちが警鐘を鳴らすのが日本だ。有史以来初めて現代都市が大津波に襲われるその時、一体何が起きるのか？最新のシミュレーションとドラマで、津波のリアルな姿と恐怖を“未来の被災者たち”に伝えた。／政経・国際番組部

【ミラクルボディー】

【(1) 滑降 時速160km 極限の恐怖に挑む】

2.7/21:00~21:49

Ⓜ 2.10/0:45~1:34

Ⓜ 2.13/16:15~17:04

世界のトップアスリートの肉体・パフォーマンスに特撮を駆使して迫る大型シリーズ。厳しい自然との闘いに挑む冬のアスリートたちの能力を分析した。最高時速160キロ、アルペン・ダウンヒル。多くの選手が大けがに見舞われ、時に雪上で命を落としてきた。滑降中にかかる肉体負担とは。そして高速移動の恐怖をどう克服するのか。トップレーサー、ノルウェーのアクセル・スピンドル選手の肉体と脳を世界で初めて徹底解析。／国際部、社会番組部、Gメディア

【(2) ジャンプ 空飛び“魔法使い”】

2.12/19:30~20:19

Ⓜ 2.20/2:05~2:54

スキージャンプのシモン・アマン（スイス）選手は、身長172cm、体重58kg。日本人と変わらぬ体格で大ジャンプを連発し、バンクーバー五輪の金メダル有力候補となった。なぜ小さな体で大きなジャンプが飛べるのか。特撮と科学分析を駆使して、アマンの秘密に迫った。／社会番組部

【(3) フィギュアスケート 4回転ジャンプ “0.7”秒の美しき支配者】

2.14/21:00~21:49

Ⓜ 2.17/0:45~1:34

フィギュアスケート男子シングルで勝負のカギを握るのが4回転ジャンプ。世界で最も美しい4回転を飛ぶといわれるブライアン・ジュベール選手。0.7秒に凝縮された技のすべてを特撮を駆使して明らかにした。また、けがからの復活を果たし、金メダルを狙う高橋大輔選手にも密着、4回転ジャンプを取り戻すまでの苦闘も取材。4回転ジャンプにける選手たちの心と肉体に迫った。／スポーツ部

【象徴天皇 素顔の記録】

4.10/19:30~20:43

Ⓜ 4.12/13:35~14:48

Ⓜ 10.12/10:05~11:18

ご成婚50年を迎えた天皇皇后両陛下。戦地への慰霊や被災地訪問など、新しい時代の皇室はどう築かれたのか。初めて公開された資料や証言から、両陛下の歩みをたどった。／社会番組部

【ヤノマミ 奥アマゾン 原初の森に生きる】

4.12/21:00~21:59

Ⓜ 4.15/0:45~1:44

Ⓜ 9.3/0:10~1:09

Ⓜ 10.10/15:30~16:29

アマゾンの最深部で1万年以上、独自の文化・風習を守り続けるヤノマミ族。その一つの集落に150日間同居、深い森の中の原初の暮らしの中で、人間を深く見つめた。／大型企画開発センター、スポーツ部

【介護保険が“使えない”～10年目の検証】

4.26/21:00~21:49

Ⓜ 4.29/15:05~15:54

「家族が担ってきた介護を社会化し、必要なサービスをみずから選択。自宅で最期まで生活できるようにする」という理念を掲げて、2000年4月にスタートした介護保険制度。10年目を迎え、制度の恩恵にあずかっている人が多い反面、すべての人にサービスが届いていない現実も明らかになってきた。番組では独自のアンケートを基に介護現場の実態を浮かび上がらせ、今後どのような改革が求められるか、考える手がかりとした。／文化・福祉番組部

【“35歳”を救え あすの日本 未来からの提言】

5.6/19:30~20:43

Ⓜ 6.6/1:40~2:53

将来への不安が広がる日本。これから社会を支える若い世代に抜本的な対策を講じれば、日本は衰退を免れるという。希望が持てる社会をどう取り戻すか、解決への道を探った。／あすの日本プロジェクト、社会番組部

【サハラ砂漠 謎の岩絵～エジプト文明の起源に迫る】

5.10/21:00～21:49

Ⓜ 5.13/0:45～1:34

エジプト・サハラ砂漠の奥地に、1万年前から5,000年間にわたり、描き続けられた伝説の岩絵がある。世界で初めて、その姿をテレビカメラが記録した。その岩絵からは、当時の人々の暮らしやアフリカの環境がわかるだけでなく、古代エジプト文明との密接なつながりが見えてくる。アーティストの日比野克彦さんと2人の専門家を旅人に、太古の岩絵の不思議な世界、そして古代エジプト文明発祥の謎に迫った。／生活・食料番組部

【核は大地に刻まれていた～“死の灰”消えぬ脅威】

8.6/22:00～22:49

Ⓜ 9.2/0:10～0:59

冷戦時代、450回を超す核実験が行われた、旧ソ連・セミパラチンスク核実験場。広島の数学者らによる調査で、核保有国が否定し続けてきた“死の灰”による被ばくの脅威が初めて明らかになった。死の灰からの放射線が、広島の爆心付近にも匹敵する被ばくをもたらしていたのだ。広島でも、死の灰は、“黒い雨”として降り注いだ。その影響は見過ごされてきた。大地に刻まれると消えることのない死の灰。その脅威の実態に迫った。／広島局

【気骨の判決】

8.16/21:00～22:29

Ⓜ 10.10/16:30～17:59

1942年、大審院裁判官の吉田久（小林薫）は衆議院選挙で落選した元議員から選挙無効の訴えを受ける。当時の首相・東條英機は政府に非協力的な議員を排除しようと総選挙を実施、政府が推薦しない候補は激しい選挙妨害を受けた。事実確認のため訴えがあった鹿児島に向かい、200人に及ぶ証人尋問を行うが、誰も真相を話そうとしない。司法大臣や東條首相からの圧力が強まる中、吉田がたどり着いた「判決」とは…。／名古屋局

【首都直下地震 見逃された危機】

9.1/22:00～22:49

Ⓜ 9.6/13:35～14:24

Ⓜ 9.9/1:15～2:04

シミュレーション震度7の揺れが襲う超高層ビルのオフィス、都内にあふれる帰宅困難者。あるビジネスマン一家の苦難、地震で会社の同僚が一瞬にして取引先を失う恐怖、家族とともに訪れた避難所では信じられないことが…。エレベーター・非常階段・都市の日常に潜む危険や、地震で会社の業務を止めたために陥る取り返しのつかない危機など、今後30年間で70%の確率で起きるとされる首都直下地震を、宍戸開主演の想定ドラマも交え、伝えた。／社会部、社会番組部

【“政権交代”政治はどう変わるか】

9.6/21:00～22:13

“政権選択”が最大の焦点となった第45回衆議院選挙。民主党が戦後最多となる308議席を獲得して圧勝し、政権が交代することになった。「官僚任せの政治に終止符を打ち、国民の生活を豊かにしたい」と訴え、有権者の支持を得た民主党。政権交代で今後の日本政治はどう変わるのか、各党の代表が徹底討論。／政経・国際番組部、社会番組部

【金融危機1年 世界はどう変わったか】

9.12/22:00～22:49

Ⓜ 9.17/2:40～3:29

Ⓜ 9.30/0:45～1:34

「リーマンショック」から1年、世界の様相は大きく変わりつつある。当初、マネー資本主義の見直しが叫ばれたが、震源地アメリカでは再びマネーがあふれ、ファンドが息を吹き返し、規制強化に対しても巻き返しを強めている。しかし一方、雇用や消費などは低迷、経済的に中国の存在感が強まる中、アメリカ市場に頼ってきた日本は、新興市場への傾斜を強める。金融危機後、世界はどう変わったのか？ 最新の動きを現場からレポート。／経済・社会情報番組部、経済部、国際部、社会番組部、アメリカ総局、ワシントン支局

【未知の脅威 新型ウイルス 日本は耐えられるか】

9.13/21:00～21:49

Ⓜ 9.16/1:15～2:04

急速に感染が広がる新型インフルエンザ。多くの人は軽症ですむが、わずかに数日で症状が悪化する「ウイルス性肺炎」で死亡するケースが報告されるなど、従来のインフルエンザとは異なる特徴があることがわかってきた。どうすれば重症者や死者を減らすことができるのか。新型ウイルスの正体に迫るとともに、医療現場の課題や最新の対策を伝えた。／大型企画開発センター、科学・文化部、社会番組部、大阪局、沖縄局、NEP

「セーフティーネット・クライシス vol.3
しのびよる貧困 子どもを救えるか」

10. 4/21:00~22:28

Ⓜ 10. 7/ 0:45~ 2:13

日本社会に広がる貧困や格差が「子どもたちを守るセーフティーネット」に深刻な危機をもたらしている。家計が苦しく、病気になっても医者にかかれない小学生、学費が払えず中退を迫られる高校生。背景にはこの10年余りで進んだ働き方の変化がある。収入が不安定な非正規雇用の増加で、医療や住まいなどのセーフティーネットにほころびが生じ、子どもたちの育ちが脅かされている。日本の子どもの社会保障のあり方を考えた。／大型企画開発センター、青少年・教育番組部、文化・福祉番組部、経済・社会情報番組部、NPN

「原発解体～世界の現場は警告する」

10.11/21:00~21:58

Ⓜ 10.14/ 0:45~ 1:43

今、地球温暖化対策などで、原子力発電が注目され、世界で100基の導入の準備が進んでいる。その陰で120基が寿命を迎え、相次いで解体されている事実は知られていない。知られざる原発解体の現場に初めて密着、放射線という目に見えない壁、そして解体で出る廃棄物の処分場が決まっていなかった現実が見えてきた。この難しい問題に私たちはどう向き合うのか。世界の解体現場からの報告。／おはよう日本部、社会番組部

「秘録 日朝交渉～知られざる“核”の攻防」

11. 8/21:00~21:49

Ⓜ 11.11/ 1:00~ 1:49

Ⓜ 1. 6/ 1:50~ 2:39

核実験やミサイル発射など、国際社会に対し挑発的な行動をとり続ける北朝鮮。日本と国際社会は対応に苦慮している。キム・ジョンイル総書記は何を考えているのか。会談の極秘資料と交渉当事者の証言を手がかりに、2回にわたる日朝首脳会談を核問題の視点から検証。そこには、キム・ジョンイル総書記の“核”への執念と本音があった。核を巡る攻防から、日本と国際社会は、今、北朝鮮とどう向き合えばよいのかを考えた。／政治部、政経・国際番組部、社会番組部

「魔性の難問～リーマン予想・天才たちの闘い」

11.15/21:00~21:49

Ⓜ 12.14/ 1:10~ 1:59

数学史上最大の難問と恐れられ、09年、問題発表からちょうど150年を迎えた「リーマン予想」は、数学の世界の最も基本的な数「素数」の

規則の解明のための最大の鍵とされている。創造主の暗号ともいわれる素数の謎を、CGや合成映像を駆使してわかりやすく紹介し、素数の謎に挑んでは破れてきた天才たちの奇想天外なドラマをたどった。／経済・社会情報番組部

「立花隆 思索ドキュメント がん 生と死の謎に挑む」

11.23/22:00~23:13

Ⓜ 12.13/16:45~17:58

膀胱がんを患ったジャーナリストの立花隆さんは、世界の最前線の研究者たちを取材する中で、がんの正体を根源的な部分から見つめ直そうとした。立花さんの思索の旅を追った。／社会番組部

「真珠湾の謎～悲劇の特殊潜航艇」

12. 6/21:45~22:34

Ⓜ 12. 9/ 1:10~ 1:59

真珠湾の湾外、水深400メートルの海底で、3つに解体された潜水艦が発見された。潜水調査の結果、真珠湾攻撃で出撃した日本軍の特殊潜航艇であることを確認。当時大本営は、潜航艇が戦艦アリゾナを撃沈したと発表し、搭乗員は「軍神」と称揚された。しかし近年、そこには情報操作が秘められていたことが明らかになってきた。真珠湾での潜水撮影、日米海軍の証言から、国家の戦略によって翻弄された特殊潜航艇の悲劇を描いた。／ジャパンプロジェクト、ソフト開発センター、文化・福祉番組部

「攻防 マニフェスト予算～政治主導は実現できたか」

12.26/19:30~20:43

衆議院選挙で歴史的圧勝を果たして誕生した鳩山政権。国民に約束した政権公約＝マニフェストの実現を目指し、政治主導による新たな仕組みでの予算編成に取り組んだ。鳩山政権が発足してから100日、10年度の予算編成の舞台裏に密着した。政権のキーマンとなる閣僚や、予算編成の実働部隊となる副大臣・政務官を取材、予算編成や税制改正などを巡る攻防を追った。／政経・国際番組部、社会番組部、あすの日本プロジェクト

「働き盛りのがん」

12.26/21:00~22:29

Ⓜ 1.31/15:30~16:59

今、増え続ける働き盛りのがん。あるビジネスマンが6回のがんと向き合った25年の軌跡を軸に、働き盛りの患者たちが向き合う現実を織り交ぜながら、彼らの前に立ちはだかる壁とは何か、それを乗り越えるには何が必要かを問いかけるトークドキュメンタリードラマ。「仕事をどうす

る」「家族をどう守る」「人生をどう歩む」など、がんと向き合い方を現実的に提示し、よりよく生きるためにどうあるべきか、その指標を探った。／ソフト開発センター

「生激論2010 にっぽん大転換!？」

1. 1/21:00~22:47

戦後初めて本格的な政権交代が起こった日本。2010年は、まさにこの国の将来を占う重要な年。私たちの生活も、経済も、そして世界の中でのこの国の存在も、大きな転換を迫られる。暮らしはどうなるのか？ 経済の成長戦略は？ 混迷する日米関係はどうなるのか？ 元日の夜、スタジオに時代のキーパーソンである政治家・経済人・有識者などが集まり、生放送でこの国の行方について激論を交わした。／大型企画開発センター、社会番組部、NEP

「ふしぎがり〜まど・みちお 百歳の詩」

1. 3/21:30~22:19

Ⓜ 1.30/15:55~16:44

「ぞうさん」や「やぎさんゆうびん」など、戦後を代表する童謡の作詞家、まど・みちおさんが09年11月、100歳の誕生日を迎えた。最後の詩人と評されるまどさんの創作意欲は衰えを知らない。子どもを楽しませ、大人をふと立ち止まらせる独創的な詩はどのように生まれるのか。老いや死、そして命の尊さを今、どのように受け止めているのか。まどさんの詩作の日々を見つめながら、生命をうたい続けてきた大詩人から生きるヒントをもらった。／青少年・教育番組部、生活・食料番組部

「メイド・イン・ジャパンの命運」

1.24/21:00~21:49

Ⓜ 1.27/0:45~1:34

アジア勢の台頭で危機に立つメイド・イン・ジャパン製品。高度技術もすぐに追いつかれ価格競争に曝される。日本は何を作り、何で稼いでいくのか。電機メーカーの生き残りをかけた取り組みを追った。／大型企画開発センター、経済部

「無縁社会〜“無縁死” 3万2千人の衝撃」

1.31/21:00~21:58

Ⓜ 2.3/0:45~1:43

「地縁」「血縁」「社縁」。日本人を社会と結び付けてきた「縁」が急速に失われている。独自調査によって明らかになった3万2,000人の「無縁死」。その現実と背景に迫った。／社会番組部、大阪局

「ランドラッシュ〜世界農地争奪戦」

2.11/22:00~22:49

Ⓜ 3.11/1:30~2:19

インドや産油国がアフリカで、韓国がロシアで、農地を囲い込んでいる。穀物価格再上昇で新たな食糧危機が懸念される今、アフリカや東欧の農地を外国企業が囲い込む「ランドラッシュ」と呼ばれる争奪戦が激化している。韓国は国内需要の4分の1を賄う食糧基地を国外に設置しようと、ロシアなどに大農場を建設。食糧不足の時代に備え先手を打つ各国と、遅れをとる日本。食糧安全保障を巡る争奪戦の実情を描いた。／大型企画開発センター、生活・食料番組部、経済・社会情報番組部、国際部

「浅田真央 金メダルへの闘い」

2.21/21:00~21:49

Ⓜ 2.24/0:50~1:39

金メダルへの期待を背負い、五輪へ臨む浅田真央選手。今シーズン、世界一の技術に加え、表現力を増すことで、究極のスケーターを目指してきた。1年以上にわたり、浅田のプログラム作りとスケートにかける思いを追った。彼女は技術、表現力をどう磨き上げ、キム・ヨナ選手らライバルに打ち勝とうとしているのか。浅田真央の知られざる闘いの記録。／スポーツ部

「浅田真央 キム・ヨナ “史上最高” の闘い」

2.27/22:00~22:49

Ⓜ 3.3/0:45~1:34

“史上最高”の闘いが繰り広げられ、興奮を巻き起こしたオリンピックの女子フィギュアスケート。韓国のキム・ヨナ選手は総合得点228.56という世界最高記録で優勝、日本の浅田真央選手も高い技術力と表現力で200点を超える成績を上げ、銀メダルに輝いた。ともに19歳という2人は、いかにしてメダルを獲得するに至ったのか。そこには、13歳のジュニア時代から世界のリンクで競い合い、互いに自分の技や表現力を磨き上げてきた6年の歳月と、さらなる高みを目指そうと挑戦する強い志があった。オリンピックという大舞台で世界を魅了した2人。バンクーバーでの競技ドキュメントをベースに、事前の『NHKスペシャル』や秘蔵映像を織り交ぜながら、メダル獲得までの軌跡を描いた。／社会番組部

「権力の懐に飛び込んだ男 100日の記録」

2.28/21:00~21:49

Ⓜ 3.3/1:35~2:24

Ⓜ 3.10/1:00~1:49

1年前、“年越し派遣村”の村長を務めた湯浅

誠さんが政府に招かれ、09年秋から内閣府の参与となり活動を始めた。待ったなしの貧困対策。カメラは官僚や政治家、地方自治体の間を自在に飛び回り、貧困者の対策に乗り出す湯浅さんに密着。現場一筋に解決策を見いだしてきた彼は、果たして行政に横たわるさまざまな障壁を乗り越え、効果的な施策を実現していけるのか。困難に直面しながら格闘し、ときに挫折する男の100日を描いた。／大型企画開発センター、文化・福祉番組部
「命をめぐる対話“暗闇の世界”で生きられますか」

3.21/21:00~21:49

④ 3.24/0:45~1:34

意識があるのに、体を動かすことも見ることも話すことも困難になる「閉じ込め症候群」と「閉じ込め状態」。ある患者が「そうになったら死なせてほしい」と要望し波紋を呼んでいる。作家の柳田邦男さんが「命とは何か」を巡って患者や家族と対話を行った。／大型企画開発センター

「人体“製造”～再生医療の衝撃」

3.28/21:00~21:49

④ 4.2/0:15~1:04

筋肉や臓器などさまざまな種類の細胞に分化する「幹細胞」が、注目を集めている。切断された指の再生や、豊胸手術などにも使われ始め、さらには、難病の子どもを救う幹細胞を得るため、遺伝子の型を選んで別の子どもを出産する夫婦も現れた。生まれた赤ちゃんは「救世主兄弟」と呼ばれ、その是非をめぐる論争が繰り広げられている。人体を“製造”する技術とどう向き合うべきか、作家で医師の海堂尊さんと考えた。／科学・環境番組部

『NHKニュース おはよう日本』

G	月～金	4:30～ 8:13
	土	6:00～ 8:13
	日	7:00～ 7:45
BS2	月～金	5:00～ 7:45
	土	6:00～ 7:30
	日	7:00～ 7:40

第1回93.4.4/09年度の『おはよう日本』は朝の視聴者に向けたコンテンツを強化するため、6時台後半に曜日別の新コーナーを設けた。月曜の「世界が注目！ネット動画」ではインターネットで話題のさまざまなネット動画を紹介。火曜は生活に密着した最新情報を取り上げる「暮らし最新事情」、水曜は音楽や映画を独自の視点で紹介する「Check！エンターテインメント」、木曜はNHKの取材網を生かした驚きの映像を伝える「特ダ

ネ映像」、金曜は08年度から引き続き「ニューヨークスタイル」。7時台は最新のニュースをわかりやすく掘り下げ、気になる出来事や身近な話題を、企画や時には生中継でレポートするなど、45分間を視聴者の関心に幅広く応える構成で放送していった。

毎日の特集企画では、シリーズ企画「絆・はじめよう」を集中的に放送。「生まれてすぐ養子へ」「豪雪の限界集落支える都会の若者」「路上生活者の尊厳守るNPO」など、地域社会や家族の中で失われる絆を改めて見つめ直し、取り戻そうという全国各地の動きをとらえ10本余りの企画で伝えた。

一方、祝日には「75歳の壁を乗り越えろ」「水中映像で迫るサンマの素顔」など、暮らしや自然を見つめたテーマで25分間にわたり放送。スポーツでは、アメリカ大リーグ最新情報のほか、2月のバンクーバーオリンピックでは、開幕前から企画や祝日の特集などで日本人選手の動向や注目点などを詳細に伝え、競技が始まると最新の結果をいち早く伝えるほか、現地から日本人メダリストのインタビューを放送した。ビジネスや生活に関する最新トレンドを紹介し視聴者の強い支持を得ている「まちかど情報室」は、韓国ロケを実施する新たな試みにも挑戦。さらに、番組のホームページを新たに開設、翌日の主なニュースや企画、「まちかど情報室」の問い合わせ先、キャスター・リポーターが執筆する「ブログ」も掲載し、番組の裏話などを毎日交代で紹介した。／キャスター：（月～金・4時台）高瀬耕造・井上二郎アナ、（月～金・5～6時）守本奈実・高瀬耕造・井上二郎アナ、（月～金・6～7時）島津有理子・佐藤龍文アナ、（月～金・7～8時台）阿部渉・守本奈実アナ、（土日祝）森本健成・首藤奈知子アナ、（月～金・スポーツ）望月啓太アナ、（土日祝・スポーツ）増田卓アナ、（月～金・気象）檜山靖洋・加藤祐子・淵岡友美、（土日祝・気象）南利幸、（月～金・まちかど情報室）吾妻謙アナ／おはよう日本部

『NHKニュース7』

G・BS2 月～日 19:00～19:30

第1回93.4.5/夜のメインニュース番組として、その日のニュースにこだわり、NHKの持つ取材力とネットワークを生かした最新の情報を、正確に速く伝えることを目指している。さらにその日の主要なニュースのポイントや背景を、視聴者にわかりやすく伝えるために、現場からの生中継、映像や音声に徹底的にこだわったVTR編集、ス

タジオでの模型や図表を使ったキャスター解説などを重点に構成している。また、主要なニュースに加えて、スポーツや国内外のさまざまなニュースもテンポ良く伝えることで、30分間で一日の幅広い動きがわかる構成を目指している。大きなニュースがあったときには、30分間にこだわらず、放送時間を延長して、視聴者の関心に応える柔軟な編成を行った。／キャスター：武田真一アナ、（土・日）野村正育アナ／テレビニュース部

『NHKのど自慢』

G・BS2・R1 日 12:15～13:00

第1回46.1.19／『のど自慢素人音楽会』としてスタートし、09年で64年目を迎えた。全国各地の出場者の歌を通して、その人柄や土地柄を浮き彫りにする人間ドキュメンタリー番組。09年度は全国45か所で実施。出場希望者は毎回およそ1,000人。20組の出場者の中から「今週のチャンピオン」1組と特別賞1組を選ぶ。／司会：徳田章アナ／エンターテインメント番組部

『お元気ですか 日本列島』

月～金 14:05～14:54

第1回03.9.29／平日の午後のひととき、NHKのネットワークを生かして列島各地のニュース・話題などを伝える情報番組。各局キャスターが地域色豊かなニュース・話題を伝える「ぐるっとニュース」や、地域が抱える課題・元気に頑張る人などに迫るレポート、全国に400以上ある「お天気カメラ」の映像で各地の今の表情を伝える「日本列島天気の旅」。視聴者から寄せられた日本語の疑問に答える「気になることば」。毎月1回シリーズで伝えるヘリコプターからのレポート。また、毎週テーマを決めてお便りを紹介するなど双方向性を重視して放送。／キャスター：谷地健吾アナ／気になることば：梅津正樹アナ／気象キャスター：関嶋梢／「お元気ですか日本列島」プロジェクト

『大人ドリル』 新

G 木（最終）23:00～23:29

㊤水 15:15～15:44

BS2 火 17:30～17:59

第1回09.4.30／今、大人が知るべきことを、NHK解説委員の知識と経験から学ぶ“大人のための情報番組”。テーマに沿って解説委員3人が出題するドリルをきっかけに熱い議論を繰り広げる。／出演：加藤浩次、渡辺満里奈ほか／ソフト開発センター、サラダボール

『課外授業 ようこそ先輩』

G 日 8:25～8:54

BS2 火 15:30～15:59

第1回98.4.2／各界の第一線で活躍する著名人が、母校という舞台上、後輩と出会い、体験を基に独自の授業を展開する。共に考えていきながら、大切なメッセージを伝えていくドキュメンタリー。／出演：郷ひろみ、米村でんじろう、渡辺貞夫、知花くらら、友近、田村淳、瀬戸内寂聴、海堂尊、勝間和代、泉谷しげる、杉良太郎、田淵久美子、鳥越俊太郎ほか／ソフト開発センター、NEP、NED

『カンテツな女』 新

水 0:10～0:39

第1回10.1.20／最終回10.3.3／徹夜で働く女性に一晩密着し、その本音に迫る『カンテツな女』の7回シリーズ。美容師、ディスプレイデザイナー、介護福祉士、降雪作業員、居酒屋店長、トラック運転手、貨物船船長を紹介。担当ディレクターはすべて女性。ロケは1昼夜のみ、その間にインタビューで主人公の心を裸にする。放送時にツイッターを実施。制作裏話などを伝えた。／青少年・教育番組部、NEP、NED

『きょうのニュース&スポーツ』

月～金 23:30～0:10

第1回07.4.2、最終回10.3.26／一日の主なニュースやスポーツの結果をコンパクトに伝えるとともに、ニュースの背景を掘り下げた解説も交えた番組。その日注目されたニュースや最新のニュースを伝えるニュースコーナー、プロ野球などその日のスポーツの結果をしっかりと伝えるスポーツコーナー、ローカルニュース・気象情報、時論公論で構成した。午前0時からの10分間は、その日最後のニュースとしての役割も担った。／キャスター：藤井彩子アナ／おはよう日本部

『きょうの料理プラス』

月～木 9:30～9:54

第1回07.4.2／教育テレビの『きょうの料理』と連動し、番組に登場した料理研究家や著名料理人に、生放送で料理のノウハウや楽しさをわかりやすく伝えてもらう番組。放送中に講師への質問やメッセージを募集し、番組内で直接答えてもらうなど、生放送ならではの“双方向感”を重視。シニア男性など、これまで料理経験が少なかった人にとってもわかりやすい内容を心がけている。／司会：柘植恵水アナ／制作局（委託管理）、NED

『金曜ドラマ』 新

G 金 22:00~22:43

HV 月 18:00~18:43

第1回09.4.3, 最終回10.3.19/外部プロダクションへの直接委託(外部制作委託・本体)などによるエンターテインメントドラマシリーズ。「笑い、テンポ、情報性」をキーワードに、「コンカツ・リカツ(全8話)」「ツレがうつになりまして。(全3話)」「行列48時間(全6話)」などをラインナップ。また、韓国ドラマ「スポットライト」も放送した。/ソフト開発センター, 東北新社, テレビマンユニオン, 共同テレビ

『金曜バラエティー』

金 12:20~12:43

第1回05.10.7/音楽, 演芸, マジックなどさまざまなジャンルからゲストを招き, そのパフォーマンスと絶妙なトークを楽しむバラエティー。09年度は, 「NHKみんなの広場ふれあいホール」から年間49本の公開放送を行った。/司会: 山崎バニラ, 小松宏司アナ/エンターテインメント番組部, NEP

『クローズアップ現代』

G 月~木 19:30~19:56

BS2 火~金 24:10~24:36

第1回93.4.5/事件やニュース, 社会のさまざまな話題を, 最も旬なタイミングで取り上げ, 背景や深層を掘り下げたり, 対策などを考える材料を視聴者に提供する情報番組。放送開始以来一貫して, 「いま起きていることをよく知りたい」という視聴者の声に応える番組作りを追求してきた。ニュースと異なる視点の企画, キャスターの持ち味を生かしたインタビュー, テーマを多面的に捉えるシリーズなど, 多様な手法・演出で「現代」を伝えてきた。企画制作は, 大型企画開発センターNHKスペシャル事務局のもとで, 報道局・制作局・海外総支局・各放送局が担当。/キャスター: 国谷裕子/社会番組部, 経済・社会情報番組部

『経済ワイドビジョンe』 新

土 9:00~ 9:49

第1回09.4.4, 最終回10.3.20/経済ニュースを井戸端会議のように読み解く, 経済ワイドショー。多彩なコメンテーターが, 独自の視点で「暮らしにどう影響するか」「今後どうなるか」活発なトークを繰り広げた。また, 最新のトレンド情報や, 地方から芽吹く再生の取り組みなども紹介。金融危機後の日本経済を明るくしたい!という思いを込めた, ヒント満載の未来志向番組。/キャスタ

ー: 野田稔, 小林千恵アナ, 関口博之/経済部, 政経・国際番組部, 経済・社会情報番組部

『月刊やさい通信』

G 日(最終) 6:15~ 6:45

毎月 16:05~16:35

BS2 水 15:00~15:30

第1回05.4.30/「野菜からはじまる食文化を楽しもう」をキャッチフレーズに, 野菜にこだわり, その魅力を多彩な視点から紹介。野菜作りや家庭菜園の楽しみを伝えるコーナーも。/出演: 糸井重里, クリス智子ほか/ソフト開発センター, NEP

『“坂の上の雲” 明治の夢・歴史の今』

木 22:55~23:00

土 21:55~22:00

日 22:45~22:50

スペシャルドラマ『坂の上の雲』をさらに興味深く見ることができ, また, その背景まで知ることができるミニ番組。各地に残る「坂の上の雲」の世界をたどり, 明治時代の出来事がどう現在の我々に引き継がれ, 1世紀以上の時空を越えてなお我々に語りかける, その意味とは何かを探る, 明治と現在をつなぐ紀行。/朗読: 国井雅比古アナ/語り: 塚原愛アナ/音楽: 久石譲/放送総局, NEP

『先どり きょうの健康』 新

日 5:15~5:45

第1回09.4.5/その週の月曜から木曜に放送する『きょうの健康』に先立ち, その週の放送の中から選りすぐりの回をピックアップし, さらに教育テレビでの週間放送予定を紹介する。/制作局(委託管理), NED

『サラリーマンNEO シーズン4』(前期) 新

G 日 23:00~23:29

BS2 火 2:30~ 2:59

第1回09.4.12, 最終回09.9.27/サラリーマンを題材とした「笑い」と「風刺精神」で作るコメディ番組。俳優が演じるコントの数々とユニークなサラリーマンのミニドキュメンタリーなどをオムニバス形式で構成。07~08年度2年連続で国際エミー賞コメディ部門ノミネート。/出演: 生瀬勝久, 沢村一樹, 田口浩正, 麻生祐未, 中越典子, 入江雅人, 山西惇, 八十田勇一, 堀内敬子, 原史奈, 奥田恵梨華, 中田有紀, いとうあひこ, コンドルズ, 宝田明, 平泉成, 宮崎美子ほか/エンターテインメント番組部

『さわやか自然百景』

G 日 7:45～7:59
 ㊤月 4:15～4:29
 ㊤水 11:05～11:19
 HV 土 8:45～8:59
 BS2 金 11:40～11:54
 ㊤日 5:00～5:14

第1回98.4.5／日本各地の自然と、そこで生きる生き物たちの姿を紹介しながら、四季折々の姿を見せる日本の自然の美しさ、すばらしさ、貴重さ、そして、そこでの環境が育む生き物や植物の大切さを伝えた。09年度は48本を制作した。／札幌局、科学・環境番組部、各放送局、NEP、NP N

『産地発！たべもの一直線』

G 日 6:15～6:50
 ㊤月 16:05～16:40
 BS2 水 15:00～15:35

第1回07.4.8／本物のおいしさを届けようと、誇りを持って農業・漁業を営む全国の生産者を毎回紹介。食材の味の秘密を解き明かし、生産者のこだわりを伝えることで、消費者の“食”への理解を深めることを目指した。NHKの食料プロジェクトの柱として、各放送局のネットワークを生かし、全国各地の生産現場を現地のアナウンサーがレポート。各産地の現状も詳しく伝えた。／司会：井上あさひアナ、永島敏行／生活・食料番組部

『サンデースポーツ』

日 21:50～22:39

第1回85.4.7／日曜のさまざまな競技の結果を、いち早く、わかりやすく、独自の視点で伝えるスポーツ報道番組。また、旬のアスリートへの独占インタビューや舞台裏に密着したドキュメントなど、多彩な特集で、スポーツの醍醐味を伝えた。特に、バンクーバーオリンピックに関する企画を継続的に取り上げ、視聴者のオリンピックへの関心に応えた。／キャスター：与田剛、廣瀬智美アナ／スポーツ部

『時代劇アンコール』 新

10:05～10:48

視聴者からのリクエストが多い時代劇のアンコール放送。

「御宿かわせみ」 3.30～6.1

本放送 03年4月4日～5月30日（8回）

「御宿かわせみ～第二章」 6.8～11.16

本放送 04年4月2日～7月23日（16回）

「御宿かわせみ～第三章」 11.30～10.3.17

本放送 05年5月13日～8月5日（12回）

／ドラマ番組部

『週刊こどもニュース』

土 18:10～18:42

第1回94.4.10／1週間に起こったニュースを子どもたちにわかりやすく伝えるニュース情報番組。子どもたちの興味と関心を引くように、模型やCGアニメを使うなど演出にさまざまなくふうを凝らしている。昨今の難しいニュースがよくわかると、子どもだけでなく大人たちにも好評を得た。／出演：岩本裕（お父さん役）、はしのえみ（お母さん役）、金子雄・奈良瞳・渡辺魁士（子どもたち）、古川登志夫（ピント君の声）／青少年・教育番組部、報道局、解説委員室

『週末プレマップ』

土 18:42～18:45

第1回08.10.4／08年度の後期にスタートした3分の広報番組。番組のコンセプトは『もうすぐ9時 プレマップ』と基本的に同じだが、取り扱う内容を土・日曜の番組やイベントに限定した。幅広い層がテレビを見ている時間帯であることから、受信料に関するお知らせなども積極的に伝えた。／鈴木奈穂子アナ／広報局制作部

『祝女～シーズン1』(後期) 新

G 日 23:00～23:29

BS2 火 2:30～2:59

第1回10.1.10、最終回10.3.28／女の本音や本性をテーマにしたショートストーリーを集めたオムニバスコメディ。女性が遭遇する日常生活の瞬間を切り取り、友人同士や主婦仲間、職場の先輩・後輩、恋のライバルなど、さまざまな人間関係にある女たちの悲喜こもごもを描いた。／出演：友近、YOU、ともさかりえ、市川実和子、佐藤めぐみ、白田あさ美、小出早織、入山法子ほか／エンターテインメント番組部

『出社が楽しい経済学』 新

G 木 23:00～23:29

㊤水 15:15～15:44

BS2 火 17:30～17:59

第1回09.10.8、最終回09.12.10／経済学の基本用語をドラマで学ぶ新感覚番組。厳選した8のキーワードで、仕事やふだんの生活に潜む経済の仕組みを読み解く。経済学の知識が無い人たちにもすぐに役立つ考え方を紹介する。／出演：吉本佳生、劇団スーパー・エキセントリック・シアター／経済・社会情報番組部

『趣味の園芸プラス』

金 9:30～9:54

第1回07.4.6／視聴者から寄せられた園芸に関する疑問，質問に専門家が生放送で答える。「洋ラン」「バラ」「観葉植物」など毎回テーマを設定し，手紙やFAX，番組ホームページで質問を募集。質問に答えるほか，視聴者が育てた植物の写真を紹介する「園芸大好き！」，講師がとっておきの管理のコツを教える「園芸プラスメモ」のコーナーで構成。／司会：柘植恵水アナ／レギュラー講師：金子明人，矢澤秀成，小笠原誓／制作局（委託管理），NED

『趣味悠々選』

水 10:05～10:54

第1回05.10.5／人生をより豊かに過ごしたいという中高年を対象にした生活提案型の趣味講座。「ひと味違う！ダッチオープン入門」「骨董を楽しむ」「中高年のためのいまさら聞けないパソコンABC」「心も体もリフレッシュ ヨガで元気に！」などを放送した。／制作局（委託管理），京都局，NED，NPN

『笑・神・降・臨』 新

火 0:10～0:39

第1回09.4.7／毎週29分間の中にただ1組の芸人だけが出演し，自分たちが作り込んだネタをじっくりたっぷりと演じて魅せる番組。09年度は4～5月に8本，10～11月に8本制作した。／出演：次長課長，アンジャッシュ，インパルス，東京03，フットボールアワー，ますだおかだ，バカリズム，ドラクンドラゴン，サンドウィッチマン，ロバート，キングオブコメディ，2丁拳銃，友近，TKO，麒麟，よゐこ／エンターテインメント番組部

『シリーズ世界遺産100』

月～木 10:55～11:00

火～土 4:15～4:20

金 0:40～0:45

日 22:40～22:45

第1回第1回05.4.4／ユネスコの世界遺産をテーマとした5分の短編ドキュメンタリーシリーズ。番組のタイトル映像に登場するのは，ゴーギャンの代表作のひとつ，「我々はどこから来たか我々とは何か 我々はどこへ行くのか」。／語り：江守徹，鹿賀丈史，松平定知アナ／テーマ音楽：久石譲／文化・福祉番組部，NEP

『知る楽選』

木 10:05～10:55

第1回05.10.5，最終回10.3.11／幅広い知的的好奇

心に癒える肩の凝らない教養番組。教育テレビで月～木曜の夜間に放送している『知る楽』からセレクトして総合テレビで再放送。定番の話を重ねるのではなく，情報の新鮮さ，切り口の斬新さで，本放送とは異なる時間帯の視聴者層にもアピールした。／文化・福祉番組部，京都局ほか，NED

『新日本紀行ふたたび～NHKアーカイブス』

G 土 11:25～11:53

BS2 月 15:00～15:29

第1回05.4.9／かつて『新日本紀行』で紹介した取材地を再び訪れ，当時と現在を対比しながら地域の風土や暮らしを見つめ直す紀行番組。／ライツ・アーカイブスセンター，NEP

『スタジオパークからこんにちは』

月～金 13:05～13:55

第1回95.3.22／スタジオパークにある450オープンスタジオからの公開番組。旬で話題の俳優・ミュージシャン・作家・スポーツ選手など，各界の第一線で活躍する人物をゲストに迎え，多彩なラインナップで生放送する。ゲストが出演する番組の舞台裏，現在の活動から人生談まで，さまざまな角度から掘り下げ，意外な素顔に迫る。趣味や特技の実演も交え，視聴者からのFAXやメールで質問やメッセージを受け付け，ライブ感あふれる番組を展開した。「暮らしの中のニュース解説」では身近な時事問題をわかりやすく解説した。／司会：竹内陶子・岩槻里子・山本志保・住吉美紀・稲塚貴一アナ／解説委員室，制作局（委託管理），NEP

『スペシャルドラマ 坂の上の雲（第1部）』 新

G 日 20:00～21:29

HV（先行放送）日 17:30～18:59

BS2 日 22:00～23:29

第1回09.11.29／司馬遼太郎が10年の歳月をかけ，日露戦争とその時代を生きた明治の青春群像を渾身の力で書き上げた「坂の上の雲」を原作として描く人間ドラマ。全13回のうち第1～5回を第1部とし，09年に放送した。松山に生まれた3人の男，バルチック艦隊を破る作戦を立てた秋山真之，ロシアのコサック騎兵と対等に戦った秋山好古そして俳句・短歌の革新者となった正岡子規を主人公とし，生まれたばかりの「少年の国」である明治の日本が，世界の中でいかに振る舞っていったかを描く。（連続13回）／原作：司馬遼太郎「坂の上の雲」／脚本：野沢尚，柴田岳志，佐藤幹夫／音楽：久石譲／語り：渡辺謙／出演：本木雅弘，阿部寛，香川照之，菅野美穂，松たか子，

竹中直人，片岡鶴太郎，小澤征悦，藤本隆宏，原田美枝子，竹下景子，伊東四朗，西田敏行，石坂浩二，加藤剛，高橋英樹，渡哲也ほか／放送総局『スポットライト』

金 22:00～22:43

第1回09.6.19～第7回09.07.31，第8回10.1.8～最終回10.3.19／韓国・ソウルのGBS放送報道局社会部の若手女性記者ソ・ウジンが，新任キャップ，オ・テソクの叱咤激励を受けながら一人前の記者に成長していく姿を描くドラマ。BS2で09年度に放送したものを短縮版で放送。（全16回）／ソフト開発センター，NEP

『生活ほっとモーニング』

月～金 8:35～9:25

第1回95.4.3，最終回10.3.19／健康や衣食住など暮らしに役立つ情報から，定年後のさまざまな家族の選択や奮闘の物語など人生の応援歌となるドキュメンタリー，さらには災害・事件・事故のレポートまで，確かな情報とさわやかな感動を，わかりやすく親しみやすい演出で伝える生活情報番組。／キャスター：黒崎めぐみ・永井伸一アナ／生活・食料番組部

『世界遺産への招待状』 新

G 月 22:00～22:43

㊦金 16:05～16:48

BS2 水 16:45～17:28

第1回09.3.30，最終回10.3.15／毎回数か所の世界遺産を訪ねる紀行番組。まるで自分が旅をしているような感覚を楽しめるよう構成し，遺産の背後にある謎，歴史や人間のドラマにも迫る。番組プレゼンターとして女優の真矢みきが，声の出演をした。09年度は，「オーストラリア」「フランス」「マヤ文明」「エーゲ海」「西アフリカ」「中国・長江流域」「スロバキア」「カリフォルニア半島」「南アフリカ」「イタリア・サンマリノ」「クロアチア」「南インド」「カリブ海」「エジプト」「ピレネー山脈」「草原のシルクロード」「インドネシア」「スイス・アルプス」「モリタニア」「トルコ」「ドイツ」「ロッキー山脈」「リトアニア」「コンボ」「スイス・ウォッチバレー」「ロシア・クレムリン」「ハンガリー」「中国・五台山」「ベネチア」「シリア」「カナリア諸島」「中国・皇帝陵墓」「セネガル・ガンビア」を制作した。また，最終回は，これまでに放送した番組の中から再構成した「Special Travelようこそ人類の至宝へ」を制作した。／語り：腹筋善之介／声の出演（プレゼンター）：真矢みき／文化・福祉番組部，NEP

『世界と出会った日本人』 新

日 22:45～22:50

㊦木 22:55～23:00

第1回09.4.5，最終回10.3.28／新しい時代を迎えた時，われわれの先人たちはどのように反応し，行動したのだろうか。幕末から明治半ば（20世紀初頭）にかけて，幕府，各藩，そして明治政府は，近代国家の新しいビジョンを求めて使節団や留学生を次々と欧米各国に派遣した。なかには禁を犯し，あるいは私費で海を渡った日本人もいた。彼らはそこで何に出会い，何を発見し，何を持ち帰ったのか…。番組では，近代日本の基礎作りに計り知れない貢献を行った25人の日本人にスポットを当て，彼らがどのように近代文明と出会い，日本を変えるに至ったかを描いた。取り上げた25人は以下のとおり。中村正直，渋沢栄一，大山捨松，福沢諭吉，稲畑勝太郎，伊藤博文，山田わか，辰野金吾，高橋是清，大島高任，成島柳北，大久保利通，黒田清輝，北里柴三郎，南方熊楠，山田耕筰，安達峰一郎，新渡戸稲造，佐野常民，辰巳一，町田久成，津田梅子，高峰讓吉，片山潜，朝河貫一／ソフト開発センター，アジア・コンテンツ・センター

『絶景 日本の名峰』

G 日 4:15～4:20

HV 月・火 12:50～12:55

BS2 木 10:50～10:55

第1回07.5.21／日本を代表する山岳の魅力をコンパクトな5分サイズのミニ番組で年間を通して紹介した。日本各地の46山を四季折々の山岳映像に加えてダイナミックな空撮をふんだんに盛り込むことで，山に登る感動を手軽に味わえる番組として好評を博した。「登る人さえ一生で出会えない絶景がある」をキャッチフレーズにメディアミックスを展開，番組は3冊のDVDブックとして発売するなどマルチ展開を行った。（全46回）／ナレーター：加賀美幸子／衛星放送センター，Gメディア

『双方向解説 そこが知りたい!』

土ほか 10:05～11:54

第1回08.4.18／社会の関心が高いテーマを取り上げ，メールやFAXで寄せられた視聴者の意見を生放送に取り込みながら，議論を重ねる双方向番組。複数の解説委員が議論することで，多層的，複眼的な視点を視聴者に提示した。09年度は特集（12月）を含めて6本を制作。／4.18「世界同時不況・危機への対応は十分か」，6.20「どこまでやれるかCO₂削減～ポスト京都と世界」，9.21

「新政権 どうなる内政 どうする外交」, 11.3
「どんな国をめざすのか」, 12.26 「どう読む2010
年の日本と世界」, 2.11 「“地域主権”の国をどう
創るか」／解説委員室

『ソクラテスの人事』 新

G 木 22:00～22:43

㊦木 16:05～16:48

BS2 火 16:45～17:28

第1回09.4.2, 最終回09.9.17／今, 世の中で求められている能力とは? 知識や経験に頼らず, ゼロから発想し解決する力=“地頭力”が注目されている。先が読めない時代, 企業は人事採用の試験でさまざまな難問奇問を出題し, 激しい人材獲得競争を繰り広げている。こうした“ソクラテスもびっくり!?”のユニークな問題の数々に, 芸人や俳優, 学者などさまざまな分野の才能が挑戦! スタジオには実際に出題している企業の人事担当者が集まり, 出演者の可否を判定する。08年9月に放送し, 反響を得た番組を半年間のレギュラー化。司会とゲスト受験者, 人事部の絶妙な掛け合いで進行する新感覚バラエティー。最終回は, 出演者が合格した企業に体験入社, JAXA(宇宙航空開発機構)が宇宙飛行士に向く人材を選ぶなどの内容で75分の特集として放送した。／キャスト:高田純次, 南原清隆, ほしのあき／文化・福祉番組部

『それいけ!民謡うた祭り』

土・日 15:05～15:49ほか(不定時)

第1回03.4.27／地域にこだわった民謡ステージショーでふるさとの魅力をたっぷりと紹介した。／八戸市, 朝倉市, 常滑市, 伊達市, 砺波市, 妙高市, 日立市, 足利市, 奈良市で実施。年9回。／司会:伍代夏子, 滑川和男アナ／音楽・伝統芸能番組部

『SONGS』

G 水 23:00～23:29

㊦火 15:15～15:44

BS2 月 17:30～17:59

第1回07.4.11／1960年代から現代までのJ-POPの名曲を送る, 大人のための音楽番組。09年度は, 松任谷由実, 坂本龍一, 矢沢永吉, 中森明菜, 美輪明宏, 井上陽水ら時代を象徴するアーティストたちが, 貴重なスタジオライブで名曲を披露した。／エンターテインメント番組部

『ダーウィンが来た!生きもの新伝説』

G 日 19:30～19:59

BS2 火 15:00～15:29

第1回06.4.9／家族で楽しめる自然番組。ジャ

ングル, 深海から里山, 都会まで, 自然の中に埋もれる驚きのスcoop「新伝説」を発掘。特殊撮影を駆使し, 本格映像で紹介した。CGキャラクター「ヒゲじい」が視聴者の素朴な疑問を代弁, アナウンサーとの掛け合いで, わかりやすく伝えた。／科学・環境番組部, NEP

大河ドラマ

G 日 20:00～20:45

㊦土 13:05～13:50

HV(先行放送) 日 18:00～18:45

BS2 日 22:00～22:45

第1回63.4.7／昭和38年から始まり, 今回で48作目となるNHKの看板番組の一つ。スケールの大きな主人公を中心に, 人物群像と時代の息吹を描き出す本格時代劇。基本的には1月放送開始の1年1作。

『天地人』

第1回09.1.4, 最終回09.11.22／戦国の世, 謀略と裏切りが繰り返された時代にあって, 兜に愛の一文字を掲げ, 義と仁愛の精神を貫いた武将がいた。上杉景勝の家臣でありながら, 豊臣秀吉, 徳川家康らを魅了し, また, 最も恐れられた男, その名は, 直江兼続。失われつつある「日本人の義と愛」を兼続の人生に重ね合わせて描き出した歴史ドラマ。大河ドラマ48作目。(連続47回)／原作:火坂雅志「天地人」／脚本:小松江里子／音楽:大島ミチル／出演:妻夫木聡, 北村一輝, 常盤貴子, 田中美佐子, 高嶋政伸, 小栗旬, 長澤まさみ, 玉山鉄二, 相武紗季, 加藤清史郎, 東幹久, 小泉孝太郎, 比嘉愛未, 城田優, 深田恭子, 松田龍平, 上地雄輔, 杏, 石原良純, 木村佳乃, 吉川晃司, 笹野高史, 中尾彬, 高島礼子, 宇津井健, 富司純子, 阿部寛, 松方弘樹ほか／語り:宮本信子／ドラマ番組部

『龍馬伝』 新

第1回10.1.3／「幕末史の奇跡」と呼ばれた風雲児・坂本龍馬33年の生涯を, 幕末屈指の経済人・岩崎弥太郎の視線から描くオリジナル作品。

黒船目撃, 脱藩, 海軍操練所建設, 薩長同盟…いつも自分の一歩先を進む龍馬への憧れ, ねたみは弥太郎をさいなむ。長崎で再会した2人は衝突を繰り返す中で急接近。「世界の海援隊を作る」龍馬の志は龍馬暗殺の後, 弥太郎に引き継がれていく。世界的な不況の時代, 名も無き若者が世界を動かす「龍」へと成長していく壮大なストーリーで, 希望の新ヒーローを描いた。大河ドラマ49作目。(連続48回)／作:福田靖／音楽:佐藤直紀／出演:福山雅治, 香川照之, 大森南朋, 広末

涼子，寺島しのぶ，貫地谷しほり，宮迫博之，佐藤健，大泉洋，杉本哲太，谷原章介，生瀬勝久，渡辺いっけい，伊勢谷友介，上川隆也，蒼井優，余貴美子，高橋克実，近藤正臣，松原智恵子，蟹江敬三，倍賞美津子，児玉清，里見浩太郎ほか／ドラマ番組部

『タイムスクープハンター』 新

水 0:10～ 0:39

第1回09.4.1／従来の時代劇や教科書では決して描かれなかった無名の人々を主人公に，人間の存在感を楽しむ歴史エンターテインメント番組。未来に存在する会社からタイムワープし派遣されたジャーナリストが，人間の営みをアーカイブしていく設定で，さまざまな時代を紹介した。数百年前，現代に通じる悩みや熱き志を持ち，壁を壊そうと懸命に生きた人々の身に起きた些細な事件や出来事を徹底した時代考証を行ったうえで，ドキュメンタリーテイストとしたドラマ。年間8本制作した。／出演：要潤／ソフト開発センター

『ためしてガッテン』

G 水 20:00～20:43

㊤火 16:05～16:48

BS2 木 8:15～ 8:58

第1回95.3.29／食や健康を中心にした身近な疑問に答えるため，ユニークな実験や徹底調査を取行，生活科学番組としてさまざまな役立ち情報を提供した。／司会：立川志の輔，小野文恵アナ／ゲスト：山瀬まみ，ほか／科学・環境番組部

『探偵Xからの挑戦状!』 新

木 0:10～ 0:39

第1回09.4.2，最終回09.11.26（春と秋の2シリーズを放送：春09.4.2～5.21，秋09.10.8～11.26）／テレビ番組と携帯小説を融合させた初の試み。推理作家が書き下ろしたミステリー小説を携帯電話で6日間かけて配信し，読者は，犯人を推理してNHKの携帯サイトに投票。最後にテレビの番組内で事件の真相が明かされる，という仕組み。番組は，携帯に配信された小説をドラマ化した「問題編」と，同じくドラマ仕立てで真相を明かす「解決編」からなる。春シリーズでは「問題編」と「解決編」を同一回内で，秋シリーズでは2週にわけて放送した。／原作小説（春）：辻真先作「DMがいっぱい」，白峰良介作「赤目荘の惨劇」，黒崎緑作「猫が消えた」，霞流一作「サンタとサタン」，芦辺拓作「森江春策の災難」，井上夢人作「セブ島の青い海」，折原一作「石田黙のある部屋」，山口雅也作「靴の中の死体～クリスマスの密室」／原作小説（秋）：辻

真先作「嵐の樞島で誰が死ぬ」，井上夢人作「殺人トーナメント」，近藤史恵作「メゾン・カサブランカ」，我孫子武丸作「記憶のアリバイ」／ソフト開発センター，NEP

『地域発!ぐるっと日本』

日 10:05～11:30

第1回08.4.6，最終回10.3.14／全国54局のネットワークを生かして，NHK各局が制作したニュースレポートや地域番組を全国に発信した。地域で生きる人たちの奮闘する姿や地域の抱える課題を通して，“にっぽんの今”を見つめた。／ソフト開発センター，Gメディア

『着信御礼!ケータイ大喜利』

日（第1・3週） 0:00～ 0:45

第1回05.1.5／携帯電話からの投稿で，誰でも大喜利のお題に答えられる視聴者参加番組。大量のテキスト投稿を即時に表示できるサーバー・作画システムを採用し，双方向性・即時性をもった新たなお笑い番組のスタイルを確立した。月2回の定時放送となつてからも，コンスタントに40万件的投稿が寄せられている。09年1月には番組メルマガ会員が10万人を突破，若者が視聴し若者が参加する「若者番組」として支持されている。／出演：今田耕司，板尾創路，千原ジュニアほか／制作局（委託管理），青少年・教育番組部，NEP

『追跡! A to Z』 新

（前期）土 20:00～20:43

（後期）土 22:00～22:43

第1回09.4.18／NHKスペシャルが日・月曜の週2本から，日曜週1本になることに伴い生まれた，新機軸の報道情報番組。視聴者が最も知りたい現象の最前線にいち早く迫り，その背景と本質を深い納得感とともに提供することをねらいとしてスタートした。取材経験豊富なキャスターが積極的に現場に立ち，時代を読み解いていくことも目指した。「調査報道型」の番組では，北朝鮮の核兵器開発のキーパーソンの足取りを追った「北朝鮮 謎の“核調達人”を追う」，年金記録の調査の不備を調べ上げ，社保庁長官に直接迫った「どうなっているのか？年金記録問題」などが大きな反響を呼んだ。また，老人ホームの知られざる実態に迫った「無届け老人ホームの闇」，長崎県的情緒障害児短期治療施設にカメラを据え，被虐待児の心の傷を生々しくとらえた「虐待の傷は癒えるのか」など，「最前線の現場を丸ごと活写する，超リアルなドキュメント」というキャッチフレーズのもと，カメラが出来事の奥深くまで入り込む作品も並んだ。さらに「人々がその週末，

一番見たいもの、知りたいこと」に常に留意しつつ、緊急性のある話題にも臨機応変に対応した。時事的なテーマでは、8月末の政権交代を受けて「民主党 新代表でどう戦うのか」「政権交代 民主党はどう動く」「鳩山新政権 “政治主導”は実現できるか」、スポーツでも「野村監督は何を残したか」「松井秀樹 MVPへの道」「石川遼 18歳賞金王の衝撃」「朝青龍 引退の舞台裏」など、最新的话题を取り上げた。地方局からの参加も活発で、「新型インフルエンザ 何が問われているのか」（大阪局、神戸局）、「暴力団を追い出せるのか 住民達の闘い」（福岡局）、「緊急検証 土砂災害」（山口局、秋田局）など、積極的な展開を見せた。10月からは視聴者の視聴習慣を考慮して、放送時間を午後8時から10時に移行、10年3月からはスタジオセットを一新し、視聴者目線にたったタレントを時にゲストとして起用するなど、演出面でも視聴者本位の演出を模索し続けている。／キャスト：鎌田靖解説委員／大型企画開発センター

『鶴瓶の家族に乾杯』

G 月 20:00～20:43
BS2 月 8:15～8:58

第1回97.4.26／家族のすばらしさやきずなの大切さを再発見することを目的とした、視聴者参加型紀行番組。毎回、旅に出るのは、笑福亭鶴瓶とゲスト。2人が訪ねる先は、どこにでもある町や村。さまざまな家族とぶっつけ本番の出会いを繰り広げ、今の時代に失われがちな人々との触れ合いのすばらしさを伝える。09年度は18か所を旅し、前・後編で36本を放送。／司会：笑福亭鶴瓶、小野文恵アナ／ナレーション：久米明／和歌山県日高川町（ゲスト・白川由美）、佐賀県唐津市（米倉涼子）、新潟県村上市（余貴美子）、鹿児島県龍郷町（渡辺えり）、長野県上田市（奥田瑛二）、熊本県山都町（柳家花緑）、北海道森町（八千草薫）、徳島県美馬市脇町（大杉漣）、群馬県昭和村（渡辺満里奈）、奈良県曾爾村（坂崎幸之助）、宮崎県高原町（田中麗奈）、福島県三春町（徳光和夫）、岡山県高梁市（高橋英樹）、岐阜県羽島市（八嶋智人）、石川県穴水町（西田敏行）、秋田県八峰町（温水洋一）、宮城県石巻市（坂口憲二）、高知県安芸市（川藤幸三）／このほかスペシャルとして、台湾・台南（鈴木杏）／エンターテインメント番組部

『デジタルQ』

日 6:50～6:53
金 15:12～15:15

第1回08.4.6／コールセンターなどに寄せられる、デジタル放送に関する視聴者の疑問や相談にわかりやすく答える番組。／出演：島津有理子アナ、瀬川瑛子、キャン×キャン／広報局制作部、NSC

『東京カワイイ★TV』 新

G 土 23:30～23:59
BS2 水 17:30～17:59

第1回08.4.3／東京は世界のファッション業界で最も注目を集める街。特に渋谷や原宿は、欧米の若者たちが、一度は行ってみたい街の筆頭格である。番組のキーワードは「カワイイ (kawaii)」。トーキョーの新しい魅力をリアルに切り取る女の子のためのカルチャー情報マガジンである。デコ、ネイル、姫、ゴスロリ、制服など、東京発のトレンド最前線を毎回紹介したほか、来日有名人のお買い物にも密着。「カワイイ」を世界に浸透させ、海外のメディアからも注目を集めた。／出演：沢村一樹、BENI／制作局（委託管理、番組開発）、NEP

『TOKYO ニュース REMIX』 新

水 0:10～0:39

第1回09.10.7、最終回09.12.2／日本のニュースを「海外」目線で斬ることで、よりおもしろく・より深く伝える情報バラエティー。毎回のテーマはスポーツ・政治・カルチャー、旬なら何でもござれ。ネット感覚で世界中から集めた海外VTRと各テーマに精通した国際派ゲストとのトーク、さらには、ハリウッド・セレブへのインタビューや海外ロケにも突撃。日本人に、今のニッポンを見つめるもう一つの視点を提示した。／司会：ジョン・カビラ、川平慈英／ゲスト：劇団ひとり、矢口真里、はるな愛、杏ほか／文化・福祉番組部

『ドキュメント20min.』 新

G 金 0:10～0:30
BS2 翌週火 4:25～4:45

第1回09.6.5／若い制作者の企画を、30歳代の中堅ディレクターがプロデュースする“新感覚”のドキュメンタリー。09年度は、夏の特集枠も含め29本を制作。はじめてのトウキョウ、ケータイ予測変換ワード、松本サリン事件15年など硬軟織り交ぜたテーマで編成した。また、疑似中継風リポートやスチール構成、音や早送りにこだわった手法や、リレー形式のインタビュー構成など、挑戦的かつ斬新な演出で、若い視聴者層の開拓に貢献した。／大型企画開発センター

『とくせんETV』 新

金 10:05～10:54

第1回09.4.3, 最終回10.3.19／総合テレビを通して、教育テレビの魅力や役割を伝えるPR番組。新シリーズや注目番組を中心に、月替わりのゲストが基本的に1回2番組を紹介。内容は趣味・実用、語学ほか教育テレビ各ジャンルの番組。また、再放送または新作を先取りで放送することで、視聴者の教育波への誘導、および番組テキストの周知を図った。／ゲスト：西城秀樹、髭男爵ほか／制作局（委託管理）、NED

『特ダネ投稿 DO画』 新

金 0:30～ 0:40

第1回09.4.3／番組が独自に設けた動画投稿サイトに視聴者から寄せられた魅力的な動画の数々と、世界各国の動画サイトから、数万～数十万回も再生・視聴されて人気を集めた動画などを紹介する、動画の“今”をヴィジュアルに伝える番組。／ソフト開発センター、Gメディア

『とっておき世界遺産100』

水 15:45～16:00

第1回06.4.16／複数の世界遺産を、時間と場所を越えたテーマに沿って取り上げることによって、ダイナミックな世界遺産の見方と魅力を提示した。『シリーズ世界遺産100』をはじめ、NHKの世界遺産関連番組のアーカイブスを徹底的に再利用し、世界遺産の地球・歴史・文化的価値を独自の切り口でメッセージ化した。08年度の再放送。文化遺産では「岩絵は語る」「王妃の宮殿・マリーアントワネット」「天空からのメッセージ」「仏の来た道」など、自然遺産では「山水の世界」「化石ロマン」などを放送した。／音楽：久石譲／ナレーション：島津有理子アナ／ソフト開発センター、NEP

『トップランナー』

G 土 0:10～ 0:54
BS2 水 3:00～ 3:44

第1回97.4.4／02年度は休止。03.4.10～08.3.22（E）／音楽・アート・スポーツ・文学・映画など、あらゆるジャンルで活躍するトップランナーをスタジオに招き、彼らの魅力、本音、素顔、意外な個人史などを引き出すトーク番組。総合テレビに放送が変わった08年4月から、司会をクリエイティブディレクター・箭内道彦と、モデル・SHIHOが担当。ゲストには、ミュージシャンのTAKURO（GLAY）、俳優の小栗旬・綾瀬はるか、映画監督の西川美和・細田守、プロ野球選手・岩隈久志、囲碁棋士・張栩、イラストレーター・中村佑介らが登場。熱気あふれるトークやライブを繰り広げた。／青少年・教育番組部

『土曜時代劇』

G 土 19:30～20:00
HV（先行放送）金 18:00～18:30

スタートして2年目を迎えた『土曜時代劇』では「陽炎の辻」「オトコマエ！」の人気シリーズのほか、初めて女性主役のシリーズ「咲くやこの花」を制作。バリエーションを広げ時代劇ファンの支持を得た。

『陽炎の辻 3～居眠り磐音 江戸双紙』

第1回09.4.18, 最終回09.8.8／おこんと湯治に出かけた坂崎磐音は江戸に戻り、両替商・今津屋の財産を狙った一味を捕えるなど、相変わらずの大活躍。剣の師の佐々木玲圓と將軍御側御用取次の速水左近から、將軍の嫡男・家基の警護を頼まれる。老中・田沼意次は権力保持のため、次期將軍として期待される家基の暗殺を企てている。お忍びで江戸城を出た家基を、田沼が差し向けた暗殺集団が襲い、磐音と玲圓が撃退して、家基は無事に城に戻る。磐音は玲圓の養子となって佐々木道場を継ぐことになり、両親の許しを得るために、おこんと故郷・豊後関前に向かう。磐音は、かつての同志で、家老の陰謀にあって死んだ琴平たちの墓参を済ませ、坂崎家でおこんと仮祝言を挙げる。（連続14回）／原作：佐伯泰英「居眠り磐音 江戸双紙」／脚本：尾西兼一／音楽：佐藤直紀／出演：山本耕史、中越典子、宇梶剛士、川村陽介、榎木孝明、辰巳琢郎、小松政夫、近藤正臣ほか／ドラマ番組部、NEP

『オトコマエ！ 2』

第1回09.9.5, 最終回09.12.12／オトコマエな2人がパワーアップして帰ってきた！ 藤堂逸馬は北町奉行所の吟味与力。武田信三郎は評定所の物調役。弱い者に味方し悪を懲らしめる、ハイテンポの1話完結痛快時代劇。その第2シリーズ。（連続14回）／原作：井川香四郎「梟与力吟味帳」シリーズより／脚本：川上英幸、菱田信也ほか／音楽：羽岡佳／出演：福士誠治、斎藤工、片岡鶴太郎、柴田恭兵、佐藤江梨子、石橋蓮司、井上和香、浅田美代子、黒川芽以、松金よね子、小倉一郎ほか／ドラマ番組部、NEP

『咲くやこの花』

第1回10.1.9, 最終回10.3.27／百人一首が大好きで、地味に目立たず生きようとしていたはずの深川の漬物屋「ただみ屋」の一人娘・こいが「大江戸かるた腕競べ」で勝ち進み、江戸中の注目の的となっていく。さらには仇討ちを志す浪人・由良との初恋を経験する中で、人間として成長していく大江戸青春グラフィティ。（連続10

回) / 作：藤本有紀 / 音楽：河野伸 / 出演：成海璃子、平岡祐太、余貴美子、寺田有希、でんでん、内田滋、松澤一之、みのすけ、宍戸美和公、寺泉憲、寺田農、大和田伸也、佐野史郎、松坂慶子ほか / ドラマ番組部、NEP

『土曜スタジオパーク～あなたの声に答えます』

土 14:00～15:00

第1回99.4.10 / NHKの番組・経営・イベントの広報と理解促進を図る60分の生放送番組。NHKの番組に出演するゲストとのトークのほか、視聴者から寄せられた質問に答えたり、NHKの最新情報を紹介するコーナーなどで構成した。NHKスタジオパーク内の450スタジオで、来館者にもくつろいだ気分で観覧してもらった。 / 司会：小野文恵・青井実アナ、ビビる大木 / 広報局制作部、NSC

『土曜スポーツタイム』

土 22:45～23:15

第1回07.4.7 / スポーツ専門番組として、プロ野球やJリーグ・大相撲などの結果を、勝負を分けたポイントにこだわりながら伝えることを目指してきた。また、バンクーバーオリンピックやサッカーワールドカップを控える中、選手の取り組みや意気込みをていねいに伝えることで、大会への期待を盛り上げてきた。そのほか、選手たちの高度な技術を紹介する企画コーナー「究める!」を活用し、ラグビーやハンドボール・アイスホッケーなどにも広く興味を持ってもらえるように努めてきた。競技の裏に隠されたもう1つのドラマにスポットを当てた「アナザーストーリー」は、認知度も高く、番組のもうひとつの“顔”として好評を得た。 / キャスター：一橋忠之アナ / スポーツ部

『土曜ドラマ』

G 土 21:00～21:53

HV (先行放送) 土 18:00～18:53

第1回06.1.14 / 社会派骨太路線とヒューマンドラマの両面に重点を置き、現代性に富んだ題材を厳選して届けた。

『遙かなる絆』

第1回09.4.18, 最終回09.5.23 / 大宅賞受賞のノンフィクションのドラマ化。日中国交回復前の1970年、自力で肉親を探し出し帰国を果たした中国残留孤児の父と、その娘の物語。日本の両親と中国の養母、ふたつの愛情の間で奮闘してきた父の軌跡を追った娘の目を通して、国と世代を越えた人の絆を描く。(連続6回) / 原作：城戸久枝 / 脚本：吉田紀子 / 音楽：渡辺俊幸 / 出演：鈴

木杏、グレゴリー・ウォン、フービン、岳秀清、王維維、西須隼太、徐宏、張春祥、薄宏、大塚道子、伊藤榮子、浜畑賢吉、森下愛子、加藤健一ほか / ドラマ番組部、NEP

『風に舞いあがるビニールシート』

第1回09.5.30, 最終回09.7.4 / UNHCR東京事務所働く若き日本人女性を主人公とした森絵都の短編小説「風に舞いあがるビニールシート」。この直木賞受賞作品を原作に、男女の愛をきっかけに、世界で懸命に生きる人々への愛に気づいて、新たな一歩を踏み出す女性の姿を感動的に描く。

(連続5回) / 原作：森絵都 / 脚本：宮村優子、加藤綾子 / 音楽：菅野よう子 / 出演：吹石一恵、クリス・ペプラー、吉沢悠、篠原ともえ、平岩紙、ダンテ・カーヴァー、佐野史郎、片平なぎさ、ほか / ドラマ番組部

『リミット～刑事の現場2』

第1回09.7.11, 最終回09.8.8 / ベテランと若手の対立、ショカツの実情をリアルに描き好評を得た「刑事の現場」第2弾。世代も価値観も異なる全く異なる刑事が激突。捜査の限界、警察の限界、優しさの限界などさまざまな“リミット”に直面し、乗り越えようとする刑事たちの姿を描く骨太のヒューマンドラマ。(連続5回) / 作：遊川和彦 / 音楽：coba / 出演：森山未來、加藤あい、杉本哲太、細田よしひこ、斉藤洋介、森本レオ、甲本雅裕、黒川芽以、純名りさ、ARATA、若村麻由美、伊武雅刀、武田鉄矢ほか / 名古屋局

『再生の町』

第1回09.8.29, 最終回09.9.26 / 財政破たん寸前の地方都市「なみはや市」を再建する使命を帯びた公務員たちが、困窮する市民の現状と向き合いながら「ふるさと」再生の道を模索する姿を通して、まち作りのあり方を問う行政ヒューマンドラマ。(連続5回) / 作：菱田信也、山本雄史 / 出演：筒井道隆、段田安則、南果歩、矢島健一、久保山知洋、牧瀬里穂、岩本多代、桂吉弥、小西美帆、阿南健治、山西惇、水崎綾女、中原丈雄、佐川満男、石倉三郎、長門裕之、吉田栄作、近藤正臣、岸部一徳ほか / 大阪局

『チャレンジド』

第1回09.10.10, 最終回09.11.7 / 「チャレンジド」は英語で障害者を指す。神からチャレンジという使命を与えられた人の意。主人公の塙啓一郎は熱血教師だったが、病気のため失明する。天職のように思っていた教師の道をあきらめられず、懸命のリハビリを行って教壇に復帰。持ち前のひたむきな姿勢と、たゆみない努力で、生徒たちに

人を愛することの大切さ、生きることの尊さを教えていく。人生の再挑戦を図る教師と、さまざまな問題を抱える思春期の生徒たちとの心の交流を通して、現代の教育のあり方や意義を問いかけた。／作：渡邊陸月／音楽：小西香葉、近藤由紀夫／出演：佐々木蔵之介、富田靖子、村川絵梨、夏八木勲、西郷輝彦、朝加真由美、田中実、川平慈英ほか／ドラマ番組部，NEP，ケイファクトリ

【外事警察】

第1回10.11.14，最終回10.12.19／9・11を機に設立された対国際テロ秘匿捜査の精鋭部隊「警視庁公安部外事4課」を舞台に、日本のインテリジェンス（ちょう報活動）の現在をドラマ化。壮絶な情報戦争，探り合い，だましあいをスピード感豊かに描いた，社会派サスペンス。（連続6回）／原案：麻生幾／脚本：古沢良太／音楽：梅林茂／出演：渡部篤郎，石田ゆり子，尾野真千子，片岡礼子，奥貫薫，平岳大，北見敏之，田口トモロヲ，堀部圭亮，二階堂智，嶋田久作，升毅，遠藤憲一，余貴美子，石橋凌ほか／ドラマ番組部，NEP

【君たちに明日はない】

第1回10.1.16 最終回10.2.27／山本周五郎賞受賞の人気小説シリーズのドラマ化。主人公は，リストラ請負会社に勤める面接官。不景気にあえぐひん死の会社に乗り込んで社員面接を行い，希望退職という名目で相手を退職に追い込むプロ。“リストラ”という決定的な人生の危機に遭遇し，究極の選択を迫られる人々と向き合い，「仕事」とは何か，「会社」とは何か。人が働くことの意味を問い直し，日本の職場に，明るい「明日」を模索した。（連続6回）／原作：垣根涼介「君たちに明日はない」「借金取りの王子」／脚本：宅間孝行／音楽：松本晃彦／出演：坂口憲二，田中美佐子，須藤理沙，北村有起哉，麻生祐未，村田雅浩，堺正章ほか／ドラマ番組部

『ドラマ8』

G 木 20:00～20:43
HV（先行放送） 木 18:00～18:43

第1回08.4.3／ティーンズとその親世代（30～40代）をメンターゲットとした青春エンターテインメントドラマ。若い世代を主人公とし，その成長する姿を描くことで，大人も子どもも爽快感と励ましを得るドラマ枠。

【ゴーストフレンズ】 新

第1回09.4.2，最終回09.6.11／ゴーストたちの心残りをかなえようとする女子高校生の奮闘と，

ゴーストの青年と彼女の切ない恋を描く。（連続10回）／脚本：高橋留美，増本庄一郎，遠藤彩見，瀧川晃代，高山なおき／音楽：窪田ミナ／出演：福田沙紀，西島隆弘ほか／ドラマ番組部，NEP

【ふたつのスピカ】 新

第1回09.6.18，最終回09.7.30／宇宙ロケットの設計技師だった父の影響で宇宙に強い関心を持った鴨川アスミは，中学を卒業すると，新設された国立東京宇宙学校の宇宙飛行士コースに進学。アスミは仲間たちとともに，厳しい授業や実習に耐え，過酷なサバイバルレースに挑んでいく。宇宙への関心が高まる中，JAXA（宇宙航空研究開発機構）の全面協力で描く，宇宙を目指す若者たちの闘いと友情の物語。（連続7回）／原作：柳沼行／脚本：荒井修子，松居大悟／音楽：梅堀淳／出演：桜庭ななみ，中村優一，大東俊介，足立梨花，高山侑子，本上まなみ，向井理，RIKACO，ゴルゴ松本，かとうかず子，高嶋政宏，田辺誠一ほか／ドラマ番組部，NEP，ドリマックス・テレビジョン

【恐竜SFドラマ プライミバル 第2章】 新

G 木 20:00～20:43
HV（先行放送） 木 18:00～18:43

第1回09.8.27，最終回09.10.8／時空の亀裂を通して太古の時代から古生物が現代のロンドンに現れ，大暴れするイギリスの人気シリーズ・ドラマの第2シーズン。（全7話）／ソフト開発センター

【ROMES／空港防御システム】 新

第1回09.10.15，最終回09.12.10／世界最先端の防御システム・ROMESを駆使して国際空港を守れ！ 東京湾に浮かぶ人工島にオープンした東京湾国際空港を舞台に，警備チームと犯人たちの白熱の攻防を描くノーストップサスペンス。（連続9回）／原作：五條瑛「ROMES06」「ROMES06女神の誘惑」／脚本：佐伯俊道，山浦雅大／音楽：森悠也／出演：大倉忠義，安田章大，国仲涼子，渡辺裕之，杉浦太陽，近藤芳正，草刈正雄ほか／ドラマ番組部，NEP

【とめはねっ！ 鈴里高校書道部】

第1回10.1.7，最終回10.2.11／若い世代に巻き起こる書道ブームをけん引する人気コミックのドラマ化。とある高校の弱小書道部を舞台に，気弱な男子生徒と元気いっぱい柔道女子生徒の2人が，ひよんなきっかけから書道にのめり込んでいく姿を笑いあり感動あり，生き生きと描いた文化系熱血青春コメディ。 （連続6回）／原作：河合克敏「とめはねっ！ 鈴里高校書道部」／脚本：

旺季志ずか／音楽：鷺巣詩郎／出演：朝倉あき、池松壮亮、亜希子、赤井沙希、浅野かや、奈津子、中村倫也、葉月里緒奈、ダンカン、八嶋智人、山本陽子、高橋英樹ほか／ドラマ番組部、NEP、The icon（ジ・アイコン）

『生中継 ふるさと一番!』

月～木 12:20～12:43

(祝日) 12:15～12:38

第1回05.10.3／全国各地の“地域を支える人”を主役に“地域の魅力と元気”を伝える番組。人々の表情が一番輝く瞬間を、生放送ならではの臨場感と共に伝え、地域に生きる人たちの言葉から、元気に生きるヒントを見つける。／進行役：各局アナ（東京担当：潤隨操司アナ）／旅人：石倉三郎、市毛良枝、いとうまい子、岩本勉、江口ともみ、奥山佳恵、佐藤弘道、篠井英介、滝田栄、林マヤ、渡辺徹／生活・食料番組部

『難問解決！ご近所の底力』

G（年間15本・特集2本） 金 20:00～20:43

㊤日 13:35～14:18

BS2（年間15本） 月 15:55～16:38

第1回03.4.10、最終回10.3.26／身近な悩みから切実な社会問題まで、日本の地域が抱える「難問」を、その地域の人々と一緒になって解決する視聴者参加番組。問題に悩む人々に、全国から寄せられた解決策を、肩の凝らない演出で提案し、「その後」も継続して取材を行った。09年度は「棚田の復活」「消防団員の不足」「森林の保全」「ひとり親の子育て」など、地味だが大切なテーマに取り組み、各地で展開したキャンペーンでも反響を呼んだ。／司会：松本和也アナ、和田アキ子／生活・食料番組部

『日曜討論』

G・BS2・R1 日 9:00～10:00

第1回46.6.23／歴史的な政権交代が起きた09年度は、政治に対する視聴者の関心が高まり、与野党の幹部による討論を繰り返し行った。外交・安全保障の問題から経済政策、そして「政治とカネ」の問題から地球温暖化対策まで、さまざまなテーマが取り上げられた。また、09年度から導入された裁判員制度や激動する世界経済、そして、日米同盟や北朝鮮問題などについては、各界の専門家による討論も行った。／キャスター：影山日出夫・島田敏男解説委員／政経・国際番組部

『日本の、これから』

金・土 随時

第1回05.4.2／視聴者を代表する市民数十人がスタジオに集い、「本音」で「予定調和なし」の

議論を行ったらどうなるか。日本がいま抱えるさまざまな課題について突っ込んだ議論を行う生放送の大型討論番組。市民に加えて、当代一流の識者が議論をリードし、時には政策責任者にその姿勢をただす。携帯電話による即席意識調査も活用し、視聴者も巻き込んで活発な議論を喚起した。大型番組や全局的なキャンペーンとの連動も行った。5.7「独身者急増！どうする未婚社会」、6.20「15%削減・あなたの暮らしを変えられますか？」（“SAVE THE FUTURE”連動）、8.15「“核の時代”とどう向き合うか?」、10.3「鳩山新政権に問う」、12.4「自殺者3万人 命をどう守るか」、3.12「いま考えよう日米同盟」の6本を放送した。／大型企画開発センター

『ニュースウオッチ9』

月～金 21:00～22:00

第1回06.4.3／NHKの国内外のネットワークを生かした取材のほか、番組独自の視点での取材を加えて、多角的で“視聴者が納得できる”ニュース番組を目指して取り組んだ。／キャスター：田口五朗記者、青山祐子アナ／スポーツキャスター：一柳亜矢子アナ／リポーター：堀潤・高井正智・田代杏子アナ／気象キャスター：平井信行気象予報士／ニュースウオッチ9プロジェクト

『爆笑オンエアバトル』

G 土 0:10～1:09

BS2 水 3:00～3:59

第1回99.3.28、最終回10.1.23／15組の若手お笑いタレントが、100人の審査員の前でそれぞれ「ネタ」を披露、審査で勝ち抜いた上位8組だけがオンエアされるという「史上最もシビアなお笑い番組」として、お笑いシーンを牽引。週末夜間の若者をターゲットに「新しい笑い」を提供し、若い視聴者層を開拓してきた。09年度はレギュラー回9本を放送、うち2本は公開派遣収録（7月長野、10月大阪）を行った。／司会：小松宏司アナ／エンターテインメント番組部、NEP

『爆笑問題のニッポンの教養』

G 火 23:00～23:29

㊤月 15:15～15:44

BS2 水 2:30～2:59

第1回07.4.13／知の最前線で何が起きているのか？ 驚きと発見と笑いに満ちた「知の異種格闘技」を目指す教養エンターテインメント。爆笑問題が、毎回、世界水準にある学者たちの実験室や研究フィールドを訪ね、その研究の本質に迫るトークを展開する。哲学から科学まで、ノーベル賞受賞者から世界的な音楽家や漫画家まで、対談

相手はあらゆる分野に及ぶ。恒例のスペシャルでは、東京芸術大学の表現の現場を訪ね、200人以上の学生たちと「自己表現」に関して激論を交わし、大きな反響を得た。／キャスター：爆笑問題／文化・福祉番組部

『パパサウルス』

土 9:50～10:00

第1回07.4.2, 最終回10.3.20／幼い子どもを持つ世代や、予備軍ともいえる20～30代に向けた、子育てを楽しむ新感覚のライフスタイル提案番組。「パパサウルス」とは、子どもから見た「恐竜のように大好きなパパ」を象徴した造語。09年度は、視聴者パパと子どもの「特別な1日」のドキュメントと各界著名人パパによるミニコーナー「パパむすび」をベースに構成。パパイヤ鈴木が町のうわさのパパを訪ねるスペシャル版「出張！パパむすび」も6本制作した。また、事業センターとの連携で、公開イベント「エンジョイ！パパサウルス」を全国5か所で開催。木山裕策が歌うオリジナルソング「over the rainbow」にパパイヤが振り付けしたダンスを大勢の親子が楽しんだ。／放送総局プロジェクト（ソフト開発センター、制作局、報道局、国際放送局、地域局）、NEP、Gメディア

『パフォー！』 新

G 日（隔週） 0:00～0:29
 HV 水 17:00～17:29
 BS2 月 22:55～23:24

第1回09.4.26, 最終回10.3.28（第1回08.4.2『テレ遊び パフォー！』）／NHK初の動画投稿システム連動視聴者参加型番組。ホームページへの投稿をきっかけに、番組で投稿者の才能を磨きプロデュース、新たな表現を世に送り出してきた。09年度は、タイトル・出演者などをリニューアル。BS版を「発掘編」、総合版を「育成編」と位置づけ、2波を連動させながら、世に眠るアマチュア・クリエイターをバックアップした。／出演：テリー伊藤、つるの剛士、はんにゃ、中川翔子、小林千恵アナほか／青少年・教育番組部

『バラエティー生活笑百科』

G 土 12:15～12:38
 BS2 水 15:35～15:58

第1回85.4.6／暮らしの中のトラブルや相談を漫才で取り上げ、個性的な相談員が楽しいトークで自説を展開し、弁護士が最新判例を基に法律の見解を示すバラエティー。／出演：笑福亭仁鶴、上沼恵美子、辻本茂雄、桂吉弥、オール阪神・巨人、宮川大助・花子ほか／大阪局

『びあのピアノ』

土 5:40～5:50

第1回09.4.4, 最終回10.3.27（初回本放送HV07.1.8, 最終回07.12.28）／09年はピアノが誕生してから300年とされる記念の年。ピアノという楽器によって生み出されてきた数々の名曲と、作曲家のエピソードを、日本を代表するピアニストたちの名演奏で伝えた。／ナレーション：宮崎あおい／ソフト開発センター、NEP

『百歳ハンザイ！』

G 土 13:50～14:00
 ㊦水 11:20～11:30
 ㊦日 4:20～4:30
 BS2 日 6:10～6:20

第1回02.4.6／百歳以上のお年寄りは4万人。多彩で深みのある人生を送る人たちの日々を描き、温かい触れ合いや笑顔、百年を経て到達した境地を届けた。09年度は番組開始から200回を超えた。／広島局

『ふだん着の温泉』

G 日 14:20～14:30
 ㊦月 16:40～16:50
 ㊦木 11:20～11:30
 BS2 日 5:15～5:25

第1回98.4.3／暮らしの中に根づき生き続ける番組として好評。人々が育ててきた全国各地の温泉の隠れた魅力を全国で紹介するとともに、土地、風土、暮らし、温泉に寄せる人々の心情を描いた。／仙台局、各放送局

『ブラタモリ』 新

G 木 22:00～22:43
 ㊦木 16:05～16:48
 BS2 火 16:45～17:28

第1回10.10.1／街歩きの人々・タモリさんとともに、東京周辺の街をブラブラと歩く探検散歩番組。普通の街並みの中に何気なく残る痕跡から、意外な歴史や秘密が見えてくる…。古地図を片手に昔と現在を比較したり、CGによる昔の街並み再現などで、イメージーションあふれる時空を超えた街歩きが展開する。路肩の石組みや橋の痕跡など、普段目には見落としているもの、大使館や迎賓館など、普段なかなか見ることのできないもの…。このふたつを発見していくことを柱に、15か所の街歩きを展開した。／早稲田、上野、二子玉川、銀座、三田・麻布、秋葉原、日本橋、本郷、品川、横浜、浅草、神田、新宿・大久保、赤坂、六本木／出演：タモリ、久保田祐佳アナほか／ナレーション：戸田恵子／エンターテ

インメント番組部

『プロフェッショナル 仕事の流儀』

G 火 22:00~22:48

⑨火 0:45~ 1:33

BS2 月 16:40~17:28

第1回06.1.10／さまざまな分野の第一線で活躍中の一流のプロフェッショナルの「仕事」を徹底的に掘り下げる新しいドキュメンタリー番組。時代の最前線にいる彼らはどのように発想し、どんな仕事ぶりを見せているのか。成果主義やニートなど、日本人の“仕事”を巡る状況が激変する時代に、プロフェッショナルな人々の姿を通じて“仕事”の奥深さ、働くことの醍醐味を伝えていく。／キャスター：茂木健一郎、住吉美紀アナ／経済・社会情報番組部

『星新一 ショートショート』

月 15:45~15:55

第1回08.3.31, 最終回09.3.2 (初回本放送⑨第1回09.4.6, 最終回10.3.8)／08年度に好評を博したシリーズの再放送。「ショートショートの様相」といわれるSF作家・星新一(1926~1997)の作品を毎回3つずつ取り上げ、CGアニメや実写ドラマなど、多様な映像手法で表現した大人の童話。特に新進気鋭の映像作家たちによる斬新な作品は、世代や国境を越えて話題となり、第37回国際エミー賞のコメディ部門でグランプリを獲得した。／ソフト開発センター, NEP

『ホリデーインタビュー』

祝日 6:30~ 6:53

第1回93.4.29／さまざまな分野で活躍する著名人にとって、「ふるさと」はどう心に刻まれているのかを、原点となった場所で聞くインタビュー番組。現在の活動の原動力になっているのは、ふるさとでのどんな経験だったのか、ゆかりの地を訪ねながら聞く。09年度は14本制作。／出演：紀田順一郎、柳本啓成、柳葉敏郎、小日向文世、中島啓江、角野栄子、ケイコ・リー、石川文洋、村上章史、弘山晴美、天龍源一郎、近藤良平、佐々岡真司、赤星憲広／アナウンス室

『ママさんバレーでつかまえて』 新

G 日 23:00~23:29

BS2 火 2:30~ 2:59

第1回09.10.11, 最終回09.12.28／20代から70代の個性豊かなメンバーがそろうママさんバレーチーム「マミーズ」を舞台に繰り広げられる抱腹絶倒のノンストップコメディ。チームのモットーは「筋肉痛を残さない練習量」と「隠し事をしない」の2つ。でもキャプテン鈴子は、実は、一回

り年下でイケメンコーチの光太郎と、新婚ホヤホヤの夫婦であることを秘密にしていた。そんな大きな秘密を抱えた夫婦を中心に、部室周りで起こるママさんチームのコミカルな日常を描いた。毎回3日間の濃密なけいこを重ね、約100人の観客を前に一発勝負のノンストップで収録を行った。全8回。／作・演出：西田征史／出演：黒木瞳、向井理、横山めぐみ、片桐はいり、ほか／ソフト開発センター, NEP

『三つのたまご』

日 11:30~11:50

第1回07.4.8／NHKの予算・事業計画, NHK“約束”評価といった経営情報から全国各地の放送, 技術, 営業, 事業などが取り進むさまざまな活動を紹介する。最終週には, コールセンターに寄せられた視聴者の声をお伝えするとともに, そうした声にNHKがどのように応えているかなどを紹介した。／司会：黒沢保裕アナ, 宮崎瑠依, 矢野竜司, 棚橋麻衣／広報局制作部

『見どころNHK』

木 22:45~22:55

第1回06.4.7, 最終回10.3.11／主として総合テレビの番組や週末の看板番組, 大型シリーズなど, 見どころを伝える番組ガイド。／司会：小田切千アナ・加藤夏希／広報局制作部, NSC

『MUSIC JAPAN』

日 23:30~23:59

第1回07.4.7／J-POPの人気アーティストを中心に, 新しく良質な音楽を届ける若者向け番組。新人や海外アーティストも積極的に発掘している。NHKホールでの公開収録およびスタジオでの収録。／ナビゲーター：関根麻里, Perfume／ナレーション：水樹奈々／エンターテインメント番組部

『みんなのうた』

G 月~金 9:55~10:00

月~金 13:55~14:00

土 4:55~ 5:00

E 火~木 14:50~14:55

月~金 18:55~19:00

HV 月~金 12:55~13:00

R2 月~土 16:25~16:30

月~土 23:55~ 0:00

月~土 8:35~ 8:40

日 9:00~ 9:05

日 22:55~23:00

※R2とFMはネット放送あり

第1回61.4.3／子どもを中心に, 家族そろって

楽しめるオリジナル曲の開発を目的とするミニ番組。アニメーション、VTRロケによる楽しい映像で構成し、隔月の新曲（年間20曲）に加え、過去の作品もテレビ、ラジオの再放送枠で紹介した。09年度の話題はいきものがかりが歌った「YELL」。若者たちへの応援歌であるこの曲は、09年度の『NHK全国学校音楽コンクール』中学校部門課題曲としても歌われ、若者を中心に大きな反響を呼んだ。また、加藤清史郎が歌った「かつおぶしだよ人生は」や、アヤカ・ウィルソンの「ひよこぐも」などのコミカルな歌は、老若男女を越えた幅広い層の視聴者から、共感の声が届いた。このほか「グラスホッパーからの手紙～忘れないで」（高見のつば）、「ふるさと」（ファンキーモンキーベイビーズ）など。／テキスト発行／青少年・教育番組部，NEP

『みんなの体操』

G 月～金 9:25～ 9:30
BS2 土・日 5:55～ 6:00

第1回99.10.10／国際高齢者年に放送が始まった体操。ゆっくりしたテンポで座ったままでも行える、体にやさしい8つの運動で構成。ラジオ体操では動きがきつくて運動しにくいという高齢の方や体が不自由な方も、リラックスしながら萎縮しがちな全身の筋肉を伸ばし、血行促進を図ることができる。09年は『みんなの体操』が制定されて10周年になるのを記念して、特別巡回ラジオ体操が行われた全国8会場で収録を行い、後日、総合テレビとBS2で放送した。／体操指導：長野信一，多胡肇，西川佳克，岡本美佳／解説本，DVD発行／スポーツ業務監理室，Gメディア

『みんなの童謡』

G 木 15:12～15:15
日 11:50～11:53
E 金 5:30～ 5:33
金 12:25～12:28

第1回00.4.1／人々に親しまれ、歌い継がれてきた日本の童謡・唱歌などを、わかりやすい解説付きで次の世代に伝える童謡番組。／曲名：「庭の千草」「はしれ・ちょうとつきゅう」ほか／音楽・伝統芸能番組部

『名曲アルバム』

G 日 5:45～ 5:50
E 火～木 14:55～15:00
金 5:05～ 5:10
土 5:20～ 5:25
HV 月～水 11:55～12:00
金 16:55～17:00
土 6:55～ 7:00

第1回76.4.5／誰もが知っている世界の名曲をゆかりの地の文化、歴史や風土などの取材による映像とともに紹介した。クラシック曲のほか日本の民謡も4曲放送。／音楽・伝統芸能番組部

『もうすぐ9時 プレマップ』

月～木 20:43～20:45

第1回08.3.31／NHKの番組の見どころやイベントの楽しみ方から経営関連情報まで幅広く伝える2分の広報番組。『プレマップ』のゴールデンタイムの定時化をして2年目、放送時間を午後8時台に変更した。／司会：鈴木奈穂子アナ／広報局制作部

『歴史秘話ヒストリア』 新

G 水 22:00～22:43
Ⓜ水 16:05～16:48
BS2 水 8:15～ 8:58

第1回09.4.1／9年間続いた『その時 歴史が動いた』の後継新番組。歴史に秘められた偉人の思いや知られざる逸話をわかりやすく紹介する、歴史が苦手な視聴者でも楽しめる歴史番組。内容のみならず、司会者の着物やセットの華やかなCG合成、アニメなどで人気の作曲家の起用で話題に。／出演：渡邊あゆみアナ／音楽：梶浦由記／大阪局

『連続テレビ小説』

G 月～土 8:15～ 8:30
Ⓜ月～土 12:45～13:00
HV（先行放送）月～土 7:30～ 7:45
BS2（先行放送）月～土 7:45～ 8:00
Ⓜ月～土 19:30～19:45
Ⓜ土 9:30～11:00

ヒロインの成長を温かく爽やかに描く「朝ドラ」として定着した『連続テレビ小説』は、09年前期の「つばさ」で第80作目。埼玉県を舞台にしたこの作品で47都道府県すべてが朝ドラの舞台地として描かれたことになった。

『つばさ』（前期） 新

第1回09.3.30，最終回09.9.26／埼玉県川越市にある老舗和菓子屋とコミュニティ放送局が「つばさ」の舞台。ヒロイン・つばさは家出した母に

代わって一家の主婦となり、未婚の二十歳にもかかわらず“おかん”と呼ばれるような老成した娘だった。そこへ借金で首が回らなくなった不肖の母が10年ぶりに家に戻って来て…。しっかり者の娘と自由奔放な母という、一見するとあべこべな娘と母が、いがみ合いながらも壊れた家族の絆を取り戻すため、懸命に努力する姿を描く家族再生の物語。「つばさ」は誰もが抱える心の傷や痛みと、その絶望からの救済がテーマの物語だが、ただ暗く悲しいストーリーではなく、笑いと涙の振り幅が大きい、朝から元気の出る懐かしい昭和風味のホームドラマ。(連続156回)／作：戸田山雅司／音楽：住友紀人／出演：多部未華子、高畑淳子、中村梅雀、宅間孝行、松本明子、金田明夫、佐戸井けん太、広岡由里子、井上和香、山本未來、小柳友、富浦智嗣、ROLLY、脇知弘、川島明(麒麟)、三浦アキフミ、吉田桂子、永島敏行、渡辺哲、白川和子、手塚理美、斉藤由貴、山本學、小松政夫、富士真奈美、西城秀樹、吉行和子、イッセー尾形(語り)ほか／ドラマ番組部

『ウェルかめ』(後期) 新

第1回09.9.28, 最終回10.3.27／ウミガメが産卵に来る徳島県美波町に生まれ育った波美の夢は、「世界につながる」雑誌編集者になること。その夢がなつて一流ファッション誌の編集部に入るも突然の廃刊。ひょんなことから徳島市で地元情報誌を発行する出版社に入社した波美は、個性的なメンバーの中で日々奮闘しながら雑誌作りのおもしろさに目覚めていく。夢、家族、仕事、友情、そして恋…。大海原を回遊するウミガメのように、広い世界を目指して旅立ったヒロインが、さまざまな人との出会いを重ね成長し、再び故郷を見つめる物語。連続テレビ小説81作目。(連続150回)／作：相良敦子／音楽：吉川慶／語り：桂三枝／出演：倉科カナ、石黒賢、羽田美智子、坂井真紀、温水洋一、嶋大輔、未知やすえ、正名僕蔵、大東俊介、国広富之、石野真子、松尾れい子、岩佐真悠子、武田航平、田中こなつ、レオナルド・ベヌッチ、あがた森魚、長塚圭史、江良潤、板東英二、瀬川亮、チャーリー浜、益岡徹、星野知子、芦屋小雁、室井滋ほか／大阪局

『私の1冊 日本の100冊』

日 0:30～0:40

第1回09.4.26, 最終回10.3.28(初回本放送HV 08.10.27, 最終回09.3.27)／08年度HVの再放送。各界の著名人100人に“私の最も大切な本”を1冊あげてもらい、その本と出会ったときの状況や時代背景、そしてどんな影響を受けたのかを語っ

てもらった。／出演：安藤忠雄、押切もえ、児玉清ほか／ソフト開発センター、アジア・コンテンツ・センター

『笑いがいちばん』

日 13:05～13:34

第1回94.4.10／落語、漫才からマジック、コントまで、よりすぐりの出演者たちの「芸」を味わってもらおう演芸番組。ベテランから若手まで毎回3～4組がネタを披露、演芸の多様な魅力を伝えつつ、トークや中川翔子のミニコーナーで多彩に構成した。／出演：桂春團治、桂歌丸、橘家圓蔵、三遊亭小遊三、三遊亭楽太郎、桂文珍、月亭八方、江戸家猫八、国本武春、マギー司郎、ナポレオンズ、昭和のいる・こいる、オール阪神・巨人、大木こだま・ひびき、今いくよ・くるよ、青空球児・好児、アンジャッシュ、アンガールズ、NON STYLE、東京03、ナイツほか／司会：林家正蔵、中川翔子／エンターテインメント番組部、NEP

『ワンセグ劇場』 新

火～木 0:40～0:45

第1回09.4.1／「ケータイ劇場」「ミニ時代劇」「ドラマ8プチ」などの、ワンセグ独自番組を総合テレビで紹介。／編成センター

『ワンダー×ワンダー』 新

(前期) 土 22:00～22:49

㊦木 0:45～1:34

(後期) 土 20:00～20:44

㊦木 0:45～1:29

第1回09.4.18／「ワンダー」、それは驚き、不思議。途方もない冒険に思わず息を飲む、迫力ある映像に身を乗り出してしまう。歴史や芸術の陰に秘められた人間ドラマ、新たな謎に想像力をかき立てられる。毎回、さまざまなジャンルから新鮮なテーマでお茶の間に感動と共感を届けた。／司会：山口智充、神田愛花アナ／大型企画開発センター

『ワンダー×ワンダー スペシャル～ほぼ完全公開! 紅白の舞台裏』

1. 2／19:30～20:42

㊦ 1. 5／1:00～2:12

50組、総勢100人近い出演者が1曲ごとに入れ代わり、セットも目まぐるしく転換する紅白歌合戦のステージ。その制作の1か月間に密着。出演者、スタッフが一体となったワンダーなオペレーションを追いながら、4時間を超えるライブショーの魅力に迫った。／司会：山口智充、神田愛花アナ／大型企画開発センター

総合：特集番組

『国会中継』

G・BS2・R1／随時

国会中継は201時間の放送を行った。第171通常国会（09年1月5日～7月21日解散）では、海賊対処法案の審議や党首討論などを中継した。第173臨時国会（09年10月26日～12月4日）では、鳩山総理大臣の就任を受けての「所信表明演説」とこれに対する「代表質問」や衆参両院の予算委員会の質疑などを中継した。第174通常国会（10年1月18日～）では、09年度第2次補正予算案に対する「代表質問」や衆参両院の予算委員会の質疑、施政方針演説などの「政府四演説」と、これに対する「代表質問」や10年度予算案に対する衆参両院の予算委員会での質疑や集中審議などを中継した。／政経・国際番組部

『総理記者会見』

G・BS1・R1／随時

総理記者会見は、国内外あわせて13回。そのうち、麻生総理大臣によるものが5回（中国を訪問した際に北京で行われた会見、イタリアのラクイラサミットでの会見、衆議院解散を受けての会見など）、鳩山総理大臣によるものが8回（総理大臣に指名された直後の会見、初めてG20に出席した後のピッツバーグでの会見、日本を訪れたアメリカのオバマ大統領との共同会見、新政権として初めての予算成立を受けての会見など）だった。／政経・国際番組部

『桂離宮 心ゆき美の館』

4.11／21:50～22:44

「日本美の極致」と讃えられる桂離宮。江戸時代の初期、王朝文化再興を目指した八条宮智仁・智忠親王父子が造営した別荘だが、「素材を選び抜き、その持ち味を最高に生かす」「技巧の限りを尽くしながら、さりげなく表現する」といった日本独自の美意識が、一部の隙もないほどに満ちている。現代の眼から見ても「綺麗」と呼ばれるその洗練された感覚には驚かされる。特別に撮影を許可された満月の夜の映像も織り込みながら、桂離宮の随所に秘められた「美」そのものを徹底的に紹介した。／語り：森本健成アナ／ソフト開発センター、大型企画開発センター、衛星放送制作センター、制作局（委託管理）、NED

『にっぽんの歌 ふるさとの歌 コンサート』

4.12／15:00～15:59

農業の経営や技術改革・発展に寄与した人々を表彰する「日本農業賞」の関連イベントとして表

彰式当日に開催するコンサート。「ふるさと」「家族」「自然」などをテーマに選んだ名曲の数々を、ゲスト歌手たちがフルオーケストラの演奏とともに熱唱した。3月7日NHKホールで収録。／出演：ベギー・葉山、堀内孝雄、佐藤しのぶ、氷川きよし、木村弓、LUXISほか／司会：小田切千・鎌倉千秋アナ／エンターテインメント番組部

『タビうた』

4.16, 6.25, 7.30, 9.24, 10.29, 2.25
／22:00～22:43

人気アーティスト2組が、日本各地を旅して音楽や人生を語り合い、地域の美しい風景をバックに楽曲を披露する。「絶景と音楽のコラボレーション」を届ける音楽番組。／出演：小椋佳&中孝介、加山雄三&キマグレン、夏川りみ&秋川雅史、水谷豊&いきものがかり、世良公則&つるの剛士、谷村新司&一青窈／エンターテインメント番組部

『にっぽん紀行』

「ファインダー越しに笑顔見つめて～東京 世田谷」

4.27／19:30～19:55

東京・世田谷区で、近所に住む人たちを主人公にビデオ作品を趣味で作り続けてきた老夫婦がいる。「ご近所映画」の制作風景を追いながら、夫婦、そして周りの人々との間で紡ぎ出される老後の「豊かさ」を描いた。／社会番組部、首都圏放送センター

「黒潮の海に今ふたり～土佐・カツオ漁師」

4.29／19:32～19:58

土佐足摺沖に、93歳になった今も黒潮の海でカツオを追う漁師がいる。88歳の妻は、夫の衰えを案じ数年前から漁を辞めるよう勧めてきたが、夫はきかない。今では、夫の船に乗って沖について行くようになった。初鯉の季節に老夫婦の日々を追った。／社会番組部、高知局

「“野球オヤジ”が燃える日～沖縄 糸満」

4.30／19:33～19:58

沖縄県糸満市に20年の歴史を誇る草野球の名物大会がある。出場できるのは40歳以上、しかも地元中学の卒業生のみ、という条件にもかかわらず、44チームおよそ700人が参加する。あきれるほどの野球愛に満ちた、沖縄の野球オヤジたちを訪ねた。／社会番組部、沖縄局

「12歳の“成人式”～みんなで挑んだ立山の頂」

8.24／19:30～19:55

富山県の東部にそびえ立つ北アルプス・立山連峰。地元では古くから「立山に登って初めて一人

前」と認める⁵習わしがあり、今も学校登山という形で受け継がれている。夏山を舞台にした小学生たちの“成人式”を見つめた。／社会番組部，富山局

「隊長は82歳～新潟・ライフセーバーたちの夏」

8.25／19:30～19:55

新潟県村上市の海水浴場で「海の守護神」と呼ばれるライフセーバー（水難救助員）の本間錦一さん。82歳の今も、日々の鍛錬と若者に負けない熱い心で現場に立ち続けている。楽しい夏の一日を一瞬にして悲劇に変えてしまう水難事故。それを防ごうと奮闘する本間さんと仲間たちのひと夏。／社会番組部，新潟局

「私だって輝きたい！～福井・女子高生チアダンス」

9.22／19:30～19:55

福井県立商業高校チアリーダー部は09年3月、アメリカで開かれたチアダンス選手権で、チャンピオンに輝いた強豪。ところがメンバーのほとんどは未経験者。夏休みの特訓に密着し、“普通の女子高生たち”が輝き始める瞬間を見つめた。／社会番組部，福井局

「ボクはあひるのヒーローぐあー～しにせ遊園地 復活の主演たち」

9.23／19:30～19:55

大分県別府温泉にある老舗遊園地の名物アトラクション“あひるの競走”。あひるを自在に操って客を沸かせる、あひる使い3代目の父と4代目の息子。2人が時に衝突しながらも互いを思いやり、お客さんを喜ばせようと奮闘する暑い夏を追った。／社会番組部，大分局

「“みんなのバスが走る島～鹿児島 加計呂麻島」

9.24／19:30～19:55

鹿児島県の加計呂麻島。1,500人が暮らす島で唯一のバス会社「加計呂麻バス」は、食料品や新聞などの配達も行うほか、買い物の代行まで行う。しかしこの夏、会社は経営危機に直面。起死回生を目指す社員たちの奮闘記。／社会番組部，おはよう日本部

「きょうも元気です～飛騨 雪の絵手紙」

2.10／19:30～19:55

岐阜県飛騨市。独り暮らしの75歳以上の高齢者のもとに週2回、安否確認の往復の絵手紙が届く。4年ぶりの大雪に覆われたこの冬、それでもこの土地のみずからの生き方を貫く人々の暮らしを、絵手紙を通して見つめた。／社会番組部，岐阜局

「火の粉を払って、進め～福岡久留米 鬼夜」

2.11／19:30～19:55

厳寒の夜、竹でできた巨大なたいまつを、締め込み姿の裸の男たち300人が担いで回る…。福岡県久留米市大善寺に1,600年前から伝わる火祭り・鬼夜だ。男たちが人生をかける伝統の祭りに肉薄した。／社会番組部，福岡局

「夢をつかめ！門真っ子」

2.12／20:20～20:45

大阪・門真市で毎週土曜、教員OBたちが地元の小中学生を対象に開いている無料の学習会「門真っ子」。学校という場を離れてもなお理想の教育を追い求める元教師たち。子どもたちとともに未来を探して奮闘する日々を追った。／社会番組部，大阪局

「宿題は親子でギュッと宮崎・小林市」

3.23／19:30～19:55

宮崎県小林市にある小学校では、毎年2月になると一風変わった宿題が出される。バレンタインデーまでの1週間、親子で毎日ギュッと抱きしめ合って、その感想文を提出するというもの。不思議な宿題を通して結ばれる親子の絆を見つめた。／社会番組部，宮崎局

「巣立ち支えるメロディー～宮崎・岡崎市 5人だけの小学校」

3.24／19:30～19:55

愛知県岡崎市にある児童わずか5人の千万町小学校。この小学校では46年前から「へき地の子どもに自信をつけさせたい」と全校音楽を続けてきた。山あいの小さな学校で、一步一步成長する子どもたちの日々。／社会番組部，名古屋局

「忘れないで ぼくらの島を～長崎・池島」

3.25／19:30～19:55

長崎市の沖合に浮かぶ池島。閉山後の炭鉱の研修事業にやってきたインドネシア人の子どもと元炭鉱マンの日本人の子どもが、兄弟のように仲良く暮らしてきた。しかし、研修事業が終了、子どもたちの別れの時までの日々を追った。／社会番組部，長崎局

『歌謡チャリティーコンサート』

4.28／19:32～20:45

11.23／19:30～20:43

NHKがNHK厚生文化事業団と共催で行ったチャリティーイベント。春は4月9日に兵庫県立芸術文化センター、秋は10月9日に北海道厚生年金会館で開催した。それぞれの収益金で「車いす付介護浴槽」と「障害者用スポーツ器具」を開催地関連の施設に寄贈した。／出演：（兵庫）川中美

幸、木山裕策、酒井俊、坂本冬美、ジェロ、平松愛理、藤あや子、布施明、モーニング娘。、安田祥子・由紀さおり／ゲスト：川井郁子、宮川大助・花子／演奏：大阪シンフォニカー交響楽団／指揮：藤野浩一／司会：ベッキー、三宅民夫アナ、（札幌）岩崎宏美、辛島美登里、佐々木秀実、トワ・エ・モワ、夏川りみ、樋口了一、藤あや子、布施明、細川たかし、森進一／演奏：札幌交響楽団／指揮：藤野浩一／司会：星野真里、三宅民夫アナ／エンターテインメント番組部

『今夜も生でさだまさし』

「長野の春はただいま御開帳」

4.29 / 0:45～ 2:15

「北の国から2009・札幌」

5.31 / 0:00～ 1:35

「奈良よし・鹿よし・あをによし」

8. 1 / 0:10～ 1:40

「夏の終わりに水戸で芸術？」

8.30 / 0:00～ 1:35

「そうだ、京都でやろう」

11. 1 / 0:00～ 1:35

「秋の夜ナハ（那覇）はめんそーれ」

11.28 / 1:10～ 2:40

「年の初めはさだまさしイン国技館」

1. 1 / 0:25～ 2:30

「秋田でまさしときりたんぼ」

1.31 / 0:00～ 1:35

ミュージシャンのさだまさしが、ラジオのディスクジョッキースタイルで送る生放送のトーク番組。05年大みそか深夜の第1回放送以来、年間5本程度を不定期に放送してきた。09年度は、北は北海道から南は沖縄まで、全国各地の放送局を中心に年間8本放送した。また、放送局以外にも、奈良・春日大社や東京・国技館などからも放送した。／出演：さだまさし／制作局（委託管理）、NEP

『連続テレビ小説～だんだん 総集編』

（前編） 4.29 / 8:35～10:03

（後編） / 10:10～11:38

縁結びの神様・出雲大社で運命的な再会を果たした島根・松江の高校3年生・田島めぐみと京都・祇園の舞妓・一条めぐみ。生まれてすぐに離れ離れになってしまった2人には、たった一つの同じ記憶、母が歌った子守唄「赤いスイートピー」があった。2人はその歌で結び付けられ、そして数奇な運命に翻弄されながらも、2人の絆を深めながらデュオ歌手としての道を進んでいく。そんな中、人気絶頂を極めた2人は、別々の道を

選ぶことを決意。2人は、それぞれの人生を再び歩き始める。双子の姉妹であった喜びと苦悩、そしてそれぞれの家族の愛と絆を描く物語。／前編「赤いスイートピー」、後編「縁の糸」（全2回）／作：森脇京子／音楽：村松崇継／主題歌・語り：竹内まりや／出演：三倉茉奈、三倉佳奈、吉田栄作、石田ひかり、鈴木砂羽、京野ことみ、山口翔吾、佐川満男、赤井英和、円広志、久保山知洋、木咲直人、阿南健治、河合美智子、宮田圭子、曾我廼家八十吉、片岡静香、茂山逸平、Mrオクレ、木村文乃、伊藤麻衣、こばやしあきこ、チェン・チュー、多賀勝一、東島悠起、寺田有希、六子、森公美子、せんだみつお、正司照枝、正司花江、辻沢響江、宅麻伸、桂米朝、三林京子、石倉三郎、伊武雅刀、岸部一徳、夏八木勲、藤村志保ほか／大阪局

『日めくりタイムトラベルSP～なるほど！昭和バスツアー』

4.29 / 13:05～14:54

BS2の定時番組『日めくりタイムトラベル』の総合での特集版。「昭和の日」にちなみ、東京都内をその時代を象徴した場所をバスで駆け巡りながら、昭和30年以降、昭和が終わるまでの日本の現代史を振り返った。訪ねたのは、都市再開発の象徴・有明、サザエさんの街・桜新町、新カルチャーの発信源に変貌した秋葉原、住民運動の原点となった立川市の砂川町など。／出演：池上彰、やくみつる、ピエール瀧、八田亜矢子／司会：松本和也アナ／衛星放送センター、NEP

『緊急報告 新型インフルエンザ』

5. 1 / 19:30～20:44

09年3月、メキシコで発生した新型インフルエンザ。ウイルスは国境を越え、感染は世界に広がっていった。なぜ新型インフルエンザは発生したのか。どのように感染は広がり、どんな影響が出るのか。各地の最新リポートから感染の実態に多面的に迫り、対策について考えた。／大型企画開発センター、生活・食料番組部、科学・環境番組部、国際部、社会部、科学・文化部、政経・国際番組部、社会番組部、ヨーロッパ総局、アメリカ総局、ワシントン支局、ロサンゼルス支局、首都圏放送センター、千葉局、NEP

『憲法記念日特集～いま問われる25条“最低限度の生活”』

5. 3 / 9:00～10:30

生活や教育の「格差」が大きな問題となっている今の日本。憲法25条に定められた「生存権」が、改めてクローズアップされている。「すべて国民

は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する（25条1項）と規定された「最低限度の生活」とは何なのか。なぜ、こうした概念が憲法に盛り込まれたのか。そして、その憲法を持つ国民として、私たちは今、何をすべきなのか。ノンフィクション作家の吉岡忍さんを司会に、作家の五木寛之さん、作家で反貧困ネットワーク副代表の雨宮処凛さんが、「生存権」の意味などについて語り合った。／政経・国際番組部

『DEAR～あなたを忘れない』

5. 3/17:00～17:59

亡くなった人を今も大切に思いながら生きる人の姿を伝えるドキュメント。俳優・緒形拳さんは、長男・幹太さんに「舞台上“ある役”を演じてくれ」と告げ、この世を去った。父の遺言となったその舞台に立ったとき、息子は父の思いを初めて知る。ジャーナリスト・橋田信介さんが5年前イラクで亡くなった後、つらい日々を送る妻・幸子さんを支えたのは、夫婦で交わした“ある約束”だった。映画「おくりびと」のテーマを演奏したチェリスト・古川展生が音楽を担当した開発番組。／出演：橋田幸子、緒方幹太、黒崎めぐみアナ／生活・食料番組部

『立体生中継 地球LIVE』

第1部「地球の肺 森が危ない！」

第2部「地球の肺 海が危ない！」

5. 4/19:30～20:45, 22:00～23:28

地球環境の未来を左右する、二酸化炭素。「地球の肺」としてその吸収源となっている、森と海の危機を、宇宙、海洋、深海という視点を立体的に移動しながらわかりやすく伝える生中継番組。日本が誇る地球深部探査船「ちきゅう」をメインスタジオに据え、国際宇宙ステーションに長期滞在中の若田宇宙飛行士との生中継や、中南米の島国バハマからは不思議な石灰岩の様子、インドネシアの泥炭火災のリポートなど、精巧かつ繊細な地球のシステムの大切さを訴えた。／司会：毛利衛、鎌倉千秋アナ／ゲスト：劇団ひとり、眞鍋かをり、ほか／科学・環境番組部

『ABU未来への航海～フィリピンのサンゴ礁で地球を考えたアジアの10代の環境日誌』

5. 5/16:30～17:59

ABU（アジア太平洋放送連合）の国際共同制作番組。09年3月、アジア7つの放送局から25人の10代が開発や違法漁業などでサンゴ礁が傷ついている島々や、海の世界回復の取り組みを続けている島を訪れて地球環境の学習に取り組んだ。／ソフト開発センター、NED

『世界びっくり旅行社～新装開店！児玉トラベル特選ツアー』

5. 5/19:30～20:43

児玉清がオーナーを務める旅行社「児玉トラベル」を舞台に、海外のびっくりする旅のプランを紹介した。実際にゲストも旅に出かけ、小堺一機さんには猫を通してローマの新しい魅力を感じてもらい、大沢あかねさんは、住むことができる世界遺産の物件を探す旅に出かけてもらった。そのほかにも、さまざまな食文化が集まるニューヨークでは、屋台ツアーのほか、究極のグルメツアーも紹介した。そして、その国の習慣やマナーまで、ゲストたちとともに楽しみながら、快適で安全な旅の「知っててよかった情報」を伝えた。／出演：児玉清、黒崎めぐみアナ、タカアンドトシ、あき竹城、大沢あかね、小堺一機、スザンヌ、高木美保、森永卓郎／ソフト開発センター

『復活した“脳の力”～テイラー博士からのメッセージ』

5. 7/22:00～22:58

新進気鋭の女性脳科学者として活躍していたジル・ボルティ・テイラー博士。37歳で脳卒中に倒れ、8年間のリハビリを経て完全復活を果たした彼女の軌跡を追い、生命科学者・中村桂子さんとの対談を交えて人間の脳の神秘に迫った。／科学・環境番組部

『いきものがかりの合唱部にエール！』

G 5. 7/23:00～23:27

Ⓜ 5. 9/ 0:55～ 1:22

E Ⓜ 5. 9/15:00～15:27

HV Ⓜ 6. 2/17:00～17:27

第76回NHK全国学校音楽コンクール中学校の部の課題曲を作ったいきものがかりの3人が、出来上がったばかりの曲「YELL（エール）」を携え、島根県と熊本県の中学校を訪ねたドキュメント。歌を通じて交流する様子を紹介した。／青少年・教育番組部

『クイズでGo！ローカル線の旅～静岡・天竜浜名湖鉄道』

5. 8/19:30～20:43

ローカル線を舞台に、その地域のクイズを出題しながら、そこに暮らす人たちの様子や、食や文化を紹介する紀行番組。特集番組としてこれで3回目の放送になる。今回は静岡県掛川市内の掛川駅から静岡県を東西に走り、湖西市新所原駅までの67.7km、37駅を結ぶ第3セクターのローカル線、天竜浜名湖線を紹介した。鉄道の文化遺産としても貴重な木造の駅舎や車両基地に立ち寄りたり、

天竜川の舟下りを楽しんだり、浜名湖の名産を食したりしながら、地元の人たちとの温かい出会いを紹介した。／出演：石田純一、熊田曜子、原口あきまさ、神田愛花アナ／ソフト開発センター、NEP

『おめでとう森光子さん～「放浪記」2000回記念特集』

5. 9/20:00～20:43

09年5月9日、森光子さん主演の名作舞台「放浪記」が2,000回を迎えた。森光子さんは一人の主役としては前人未到の偉業を達成した。また、この日は森さんの89歳の誕生日でもあった。この日、公演終了後の森光子さんにスタジオに駆けつけてもらい、この偉業をたたえる生放送を行った。ゲストとして、森さんが敬愛する王貞治さん、古くからの友人黒柳徹子さん、森さんを尊敬する萩本欽一さんも出演した。当日の舞台の様子を伝えるとともに、NHKに残された古いVTRなども紹介しながら48年続く「放浪記」と日本人の歴史を振り返った。／司会：三宅民夫アナ／ソフト開発センター、NEP

『愛しあってるかい？～キング・オブ・ロック 忌野清志郎』

5.10/23:30～ 0:19

5月2日に亡くなった“キング・オブ・ロック”こと忌野清志郎さんの追悼番組。4万人が訪れたお別れライブのもようや過去の名曲をアーカイブスで紹介。大きな反響を呼んだ。／出演：忌野清志郎／エンターテインメント番組部

『ディープ ピーブル』

5.28/ 0:10～ 0:39

Ⓜ 7. 5/ 0:05～ 0:34

Ⓜ 1. 2/ 2:50～ 3:19

同じジャンルを極めた3人のカリスマたちが、評論家でも語りえない“本物のディープな世界”を、司会なし台本なしで語りあう、新しいスタイルのトーク番組。テーマは「ボクシング世界チャンピオン」。3人のチャンプが、戦いの中で研ぎ澄まされる感覚や駆け引き、ケガや減量など想像を絶する過酷な体験を吐露。その様子を芸能界きってのボクシング通、関根勤がモニタリングし、独自の切り口で解説。／出演：長谷川穂積、畑山隆則、浜田剛史／解説：関根勤、鈴木奈穂子アナ／青少年・教育番組部

『日本民謡フェスティバル2009』

G 6. 6/15:05～16:30

BS2 7. 5/15:00～17:30

FM 9.23/ 9:20～11:50

日本各地で開催されている、権威ある民謡全国大会のチャンピオンたちが30組、NHKホールに集結、「民謡日本一」を目指して得意の歌を競った。／司会：ゆかり（民謡歌手）、稲塚貴一アナ／音楽・伝統芸能番組部

『第60回 全国植樹祭 2009ふくい』

6. 7/10:55～11:54

福井県の一乗谷朝倉氏遺跡などで開催された第60回全国植樹祭記念式典のもようを生中継。テーマは「未来へつなごう 元気な森 元気なふるさと」。天皇・皇后両陛下によるお手植え・お手まきの様子や市民60人による全国へのメッセージも発信した。／ゲスト：貫地谷しほり／福井局

『HIP KOREA』

G 6.13/ 0:55～ 2:08

HV 6.19/20:00～21:28

Ⓜ 6.20/16:30～17:58

Ⓜ 6.26/14:00～15:28

韓国を代表する2大スター、RAIN（ピ）とイ・ビョンホンの素顔に迫り、韓流パワーの背景を探る。伝統とポップ・カルチャーが混在するソウルのさまざまな表情も交えた、スタイリッシュなドキュメンタリー。パン・プロダクション（シンガポール）との国際共同制作。BS20周年関連企画として、HVでも88分バージョンを放送した。／ソフト開発センター

『難問解決！ご近所の底力スペシャル～SAVE THE FUTURE～あなたの一歩が未来を創る』

6.19/19:30～20:43

2年目を迎えた、地球環境にまつわる問題を考える番組の特別編成『SAVE THE FUTURE』に、定時番組『ご近所の底力』が73分のスペシャル番組として参加。今回扱ったのは、「種の保存」「CO₂削減」「環境汚染」「地球との共存」といった、一見とつきにくいテーマだったが、それぞれ「メダカの復活」「地産地消」「漂着ゴミの清掃」「エコツアー」と、わかりやすい形で読み替えて展開した。「身近にできること」を、ご近所みんなで地道にやるのが、成果に結びつく様子を紹介し、環境への取り組みを一過性のものに終わらせず、「まず何かをやってみる」ことの大切さを訴えた。／出演：和田アキ子、中尾彬、宮本和知、松本和也アナ／生活・食料番組部

『SAVE THE FUTURE』

6.20～21/12:15～

12.19/16:30～

NHKの環境キャンペーンの柱となる環境特集

番組。「子どもから大人まで大自然を感じて環境のことを考えよう。日本全国“まもりびと”大集合！今夜はみんなでキャンドルナイト」をテーマに20時間近く放送、あわせて放送センターでイベントを実施した。12月19日にはCO₂削減について世界が話し合う「デンマークCOP15」会場からの生中継も交え、「科学者ライブ“グリーン・エコノミーで未来を築け！”」『週刊こどもニュース～どうなった？COP15 デンマークから生中継 エコ特集！』を放送した。／メインパーソナリティー：藤原紀香／総合司会：松本和也アナ／大型企画開発センターほか

『ケータイ大喜利スピンオフ～千原ジュニアの40歳まであと何分？』

G 6.21 / 1:40～2:15
ワンセグ 6.9～13 / 0:05～0:10

35歳の誕生日を迎えた千原ジュニアが、5年後、40歳になった際にスペシャルなライブを行うと予告。そのチケットを今から発売してしまうという「日本初」の試みに挑戦した。番組ではそんなジュニアの芸人魂をサポートすべく、35歳の自分をしっかり見つめ直してもらうため、ワンセグの枠で新たな「短くインパクトのあるミニ番組」を企画した。視聴者からのメッセージやリクエストを盛り込み、毎日5分の放送のほか、週末にまとめて25分で流すなど、実験的で柔軟な編成を行った。NHKのワンセグと総合テレビの特性を考慮したマルチ展開の新たな試みとなった。／出演：千原ジュニアほか／青少年・教育番組部

『沖縄 慰霊の日特集～“集団自決” 戦後64年の告白～沖縄・渡嘉敷島』

6.22 / 22:45～23:28

太平洋戦争末期の昭和20年3月、沖縄県渡嘉敷島で起こった“集団自決”において、みずからの家族を手にかけて兄弟が、その時のことや、戦後も引きずってきた思いを、告白した。島が特攻基地として軍民一体の様相を呈していく様、戦陣訓の唱和を通じて「生きて虜囚の辱めを受けず」という教念にとらわれていった歴史的背景などを描いた。「2009年地方の時代映像祭」優秀賞受賞。／沖縄局

『平成21年沖縄全戦没者追悼式～沖縄県糸満市・平和祈念公園から中継』

6.23 / 12:20～12:45

住民・兵士あわせて20万人以上が犠牲になった沖縄戦。最後の激戦地・摩文仁で、旧日本軍による組織的戦闘が終わったとされる「慰霊の日」に行われる式典を中継した。知事による平和宣言や

小学6年生による「平和の詩」朗読のほか、1月に起きた不発弾爆発事故の被害者のその後を取材したりレポートなども通じ、全国に「終わらない戦後 記憶受け継ぐ模索」（式典テーマ）を届けた。／沖縄局

『テレビとネットが合体！伝説の謎解きゲームに挑戦』

6.27 / 15:50～16:29

教育テレビ『天才てれびくんMAX～ビットワールド』で09年3月に放送され大きな反響を呼んだ「緊急生放送！過去と現在2つの部屋・最後の脱出スペシャル」。番組ホームページ上のゲームを通して生放送中に10万人が参加したこの番組が総合テレビ用に装いを変えて復活。元番組レギュラーのシンヤ（上田晋也）をゲストに迎え、あらためて謎解きに挑戦した。ふだん教育テレビを見ない視聴者層に『ビットワールド』が取り組む双方向番組の魅力をアピールした。／出演：いとうせいこう、上田晋也、中田あすみ、ほか／青少年・教育番組部

『マイケル・ジャクソン “KING OF POP”の軌跡』

7.11 / 1:10～2:09

6月25日に亡くなった“KING OF POP”ことマイケル・ジャクソンの追悼番組。「スリラー」「BAD」など往年の名曲を中心に、マイケルの偉大な功績を振り返り、大きな反響を得た。／出演：マイケル・ジャクソン／エンターテインメント番組部

『神と人が会う日～京都・葵祭 一千年の神事』

7.20 / 10:05～10:58

1,300年以上前に起源をさかのぼる、京都の葵祭。「神を迎え、共に遊び、供物を捧げて、都に夏を迎える」という一連の壮大な神事だ。毎年5月、上賀茂、下鴨両神社と京都御所を中心に繰り広げられる。千年以上同じ形で現在まで続く希少な祭の全ぼうを描き、世界遺産の幽玄の森、荘厳な社、王朝絵巻の粋を伝えた。／語り：石田ひかり、磨赤兒、吉田浩アナ／京都局

『波乱続出 激闘！ロボット魂 決定・ロボコン 日本代表～ABUロボコン2009 国内大会』

7.20 / 13:05～13:59

未来のものづくりを担う理工系の大学生がくふうを凝らしてロボットを手作りし、競うのがロボコン。今回の競技テーマは「人とロボットの協調」。介護ロボットや、ペットロボットなど人間とともに活動できるロボットの開発は時代の要請でもある。技術国日本の底力を示したいと困難な技術に

挑んだ若者、子どものころからの夢だったロボット作りに初めて取り組んだ若者など、青春を賭けたロボットレースのもようを伝えた。／司会：山田賢治・神田愛花アナ／実況：大蔵哲士アナ／語り：上川隆也／出演：パパイヤ鈴木、清水ミチコほか／科学・環境番組部

『地球エコ2009 体感生中継！46年ぶりの皆既日食』

7.22／10:30～11:45

日本で起こった46年ぶりの皆既日食を、硫黄島や太平洋上の船からの生中継で伝えた。刻一刻と姿を変える美しい太陽の映像と、現場の人々の感動の声により、視聴者に皆既日食を追体験してもらった。放送とともにインターネットによる映像配信も行った。／司会：三宅民夫・小林千恵アナ／ゲスト：宮本亜門、西田ひかる、常田佐久国立天文台教授ほか／編成局デジタルサービス部、科学・環境番組部、科学・文化部、放送技術局クロスメディア部、ニューデリー支局、上海支局、鹿児島局

『地球エコ2009 体感！46年ぶりの皆既日食』

7.22／19:30～20:43

日本で起こった46年ぶりの皆既日食を、硫黄島や太平洋上の船の鮮烈な映像と、現場の人々の感動の声により構成。豊富な映像により世紀の天体ショーの魅力を伝えた。また、同時に日食の起こったインドや中国などの様子も、現地ドキュメントで紹介した。／司会：三宅民夫アナ／ゲスト：宮本亜門、西田ひかる、常田佐久国立天文台教授ほか／科学・環境番組部、科学・文化部、ニューデリー支局、上海支局、鹿児島局

『ファミリーヒストリー～漫才師・宮川大助』

7.22／22:00～22:43

個人のアイデンティティーと密接にかかわる「家族の歴史」をインタビューや再現映像を交えてひもとき、家族が生き抜いた時代とそのきずなを描く。夫婦漫才で活躍する「大助・花子」の宮川大助さんは、戦後、大陸から引き揚げる際の壮絶な体験と姉の死によって、深い悲しみを抱えた両親の姿が忘れられない。時代にほんろうされた一組の家族の姿が浮かび上がる。／出演：宮川大助、ガレッジセール／経済・社会情報番組部

『どう準備すればいいの？～地デジ完全移行まであと2年』

7.24／10:05～10:54

完全デジタル化2年前の7月24日、石川県珠洲市周辺で午前10時～11時の1時間、NHKおよび民放のアナログ放送が休止され、当日、どんな影

響や反響があるのか、2年後を見据えた課題の検証が行われた。現地のほか、総務省の地デジコールセンターからも中継し、デジタル化に関する視聴者の質問・疑問に答えた。／広報局制作部

『ファミリーヒストリー 女優・市毛良枝』

7.29／22:00～22:43

個人のアイデンティティーと密接にかかわる「家族の歴史」をインタビューや再現映像を交えてひもとき、家族が生き抜いた時代とそのきずなを描く。女優・市毛良枝さんは21年前に亡くなった父に、その波乱に満ちた人生についてしっかり聞いておかなかったことが心残り。出自、戦争、離婚、そして母との再婚…今まで知らなかった父の姿を探す旅に出る。／出演：市毛良枝、ガレッジセール／経済・社会情報番組部

『楽園の絵がやってきた～ゴーギャンが伝えるメッセージ』

8. 1／17:00～17:43

100年に一度といわれる経済危機の中、19世紀末、資本主義社会の矛盾が出てきた前に描かれたゴーギャンの大作が、初めて日本で公開された。「我々はどこから来たか、我々は何者か、我々はどこへ行くのか」。ゴーギャンは19世紀末、資本主義の矛盾が顕在化したころ、文明に背を向けタヒチへ渡り、遺作としてこの絵を描き自殺を図る。今回、日本の芸術家が特別に機会を与えられ大作と対面し、触発されて行動に出た。浅井慎平（写真家）は東京の雑踏の中で写真版「我々は何者か」を制作した。牟岐礼（作曲家）はマオリの末裔の歌手を使って、絵の中にある響きを音楽にした。2人の行動を軸に、ゴーギャンに潜む豊かな世界を紹介した。／ソフト開発センター、NEP

『WALKING EYES アルクメデス』

8. 6／0:10～0:39

司会者も解答者も存在しない新しいスタイルのクイズ番組。コント、パロディーなど、笑いの要素満載の短いVTRをオムニバス形式で構成。その中に、論理パズルや数学クイズなどの問題と解答を織り込んだ。／出演：阿南健治、初音映莉子、野間口徹ほか／声の出演：松重豊ほか／エンターテインメント番組部

『平成21年 広島平和記念式典～広島平和公園から中継』

G 8. 6／8:00～8:37

BS2 8. 6／8:00～8:57

R1 8. 6／8:00～8:55

8月6日、広島は原爆投下から64年目の「原爆の日」を迎えた。09年の8月6日も、平和公園は、

被爆者や世界から核廃絶を訴えたいと集う人々の深い祈りに包まれた。被爆64年の平和式典の様子と、この1年間の被爆者と核廃絶を巡る動きを、インタビューを交えながら、中継で式典終了まで伝えた。／広島局

『少女たちの日記帳～ヒロシマ 昭和20年4月6日～8月6日』

8. 6/20:00～20:43

昭和20年8月6日午前8時15分、広島県立広島第一高等女学校の1年生223人は、爆心地から0.6キロの場所で建物疎開の作業中に被爆、全員が亡くなった。この日、病気で休んでいた梶山雅子さんをはじめ、作業に行かなかった同級生だけが生き残った。当時2年生だった大野充子さんは、亡くなった1年生の日記帳を基に「八月の少女たち」を出版。後に他の遺族からも日記帳が寄せられ、現在、10冊が公表されている（現存9冊）。学校生活、家族、友人のことなど、それぞれの日記帳には、戦争に追い詰められながらも精一杯生きる少女たちのみずみずしい思春期の日常が綴られている。番組では、再現ドラマと10冊の日記帳、梶山さんや遺族の証言を基に、4月6日の入学から8月6日まで120日間の少女たちの日々を描き、原爆によって断ち切られたものの大きさを伝えた。同タイトルの『ハイビジョン特集』のダイジェスト版。／編成局ソフト開発センター、NEP、テレビマンユニオン

『ノーモア・ヒバクシャ～核兵器のない世界を目指して』

8. 7/19:30～20:43

核兵器廃絶に向けて、人類はかじを切れるのか。世界は歴史的な転換点を迎えている。アメリカのオバマ大統領が「核兵器のない世界を目指す」と宣言、核兵器廃絶の大きなうねりが起こっている。人類に初めて核兵器が投下された広島をキーステーションに、長崎、アメリカ、そしてセミパラチンスクを中継で結び、インターネット上に開設したサイトと連動し、ヒバクシャたちの悲願である核兵器廃絶、“ノーモア・ヒバクシャ”のメッセージを世界に向けて発信した。／司会：相沢紗世、出山知樹アナ／出演：姜尚中、岡田恵美子、田中熙巳、成瀬杏実、ローザ・リムバエワ、フルハット・スリヤムベコフ、モートン・ハルペリン／リポーター：江藤泰彦アナ／広島局、長崎局

『ヒバクシャからの手紙』

G・R1 8. 8/23:30～1:00

全国の被爆者の平均年齢は75歳を越え、直接体験を聞くことができるのはあと数年だと言われて

いる。ところがその4割が、いまだに被爆体験を周囲に語っていない。平和のため、体験をしっかり伝えたいとの思いがある一方で、結婚差別を受け独り暮らしを続けていたり、子や孫の病気を自分のせいではないかと思うなど、家族や友人にさえ口にはできない悩みも多い。被爆者のそうしたつらい体験や平和への思いを手紙の形でつづってもらい、広島・長崎の中継映像に乗せて、アナウンサーが静かに手紙を朗読した。／出演：井上ひさし／司会：周山制洋アナ／リポーター：比留木剛史アナ／朗読：杉浦圭子アナ／広島局

『平成21年 長崎平和祈念式典～長崎市・平和公園から中継』

G・BS2 8. 9/10:40～11:50

R1 8. 9/10:55～11:31

被爆64年となるこの日、長崎では29か国の政府代表や被爆者・市民5,800人が出席して平和祈念式典が開かれた。式典のもようを原爆が投下された11時2分の黙とう、長崎市の田上富久市長が「核兵器のない世界を目指す」と明言したアメリカのオバマ大統領に支持を表明し、共に歩んでいこう」と呼びかけた平和宣言を中心に中継。被爆者による平和への誓いを交えて長崎からの核兵器廃絶と平和の願いを全国、そして世界へ伝えた。／国際放送局・長崎局

『男自転車ふたり旅～チェコ ポヘミアの街道に行く』

8.12/19:30～20:42

ヨーロッパ伝統のスローでシンプルな暮らしに触れる自転車での旅。狂言師の茂山宗彦と若手俳優の黄川田将也が、初夏のポヘミア地域の街道を走った。中世の面影残るチェコの首都プラハまでの500キロの道中を紹介した。地元でしか味わえない貴重なワインのほか、今も残る東西冷戦の遺構やチェコ伝統の芸術や文化に触れた。また、チェコ人の狂言劇団と共演するなど、芸術を愛し自国の歴史と文化を大切にすチェコ人たちとの触れ合いを伝えた。／ソフト開発センター、NEP、テレコムスタッフ

『約束のチカラ』

8.13/19:00～20:42

大切な人と交わした「約束」や人生の転機となるような「約束」。そうした約束を果たすことをチカラに頑張っている人たちを追う感動のヒューマン・ドキュメンタリー。誰も作れなかった伝説の花火おきゃじを親父から引き継ごうとする若き花火師の物語など。／司会：井ノ原快彦、住吉美紀アナ／ゲスト：中尾彬、東貴博、矢口真里／ソフト開発

センター, NEP

『多元ドキュメント 夏・東京湾岸24時』

8.14/22:00~22:43

㊤ 8.21/ 0:45~ 1:28

夏に多くの観光客で賑わう東京湾岸。NHK内外のディレクター4人が、このエリアに集まる人々、ここで暮らす人々の姿を描く。人工の街・お台場住人のコミュニティー、京浜工業地帯の風景に魅せられた人々、競馬ファンの常連が集う大井のラーメン店、2,000人以上の若者が集まる新木場のクラブイベント…。4つのドキュメントをつむぎ合わせることで、夏の東京湾岸の多彩な表情を浮かび上がらせた。／語り：なだぎ武／制作局、青少年・教育番組部、文化・福祉番組部、NEP

『究極ヒットパラダイス～アラフォー・エンドレス・サマー』

8.15/ 0:10~ 1:08

40代を中心としたアラフォー世代をターゲットに80年代、90年代の青春期を彩った名曲の数々を熱いライブで届けた。収録は101スタジオ。／出演：稲垣潤一、杉山清貴、スターダスト・レビュー、中村あゆみ、山下久美子／ナビゲーター：杉崎真宏／エンターテインメント番組部

『全国戦没者追悼式』

G・BS2 8.15/11:50~12:05

今年で64回目となる終戦の日。東京九段の日本武道館では、政府が主催する「全国戦没者追悼式」が行われた。09年で47回目となる式典には天皇・皇后両陛下が出席された。また、麻生内閣総理大臣のほか、全国47都道府県から戦没者の遺族の代表などが参列。戦争で亡くなったおよそ310万人に上る方々の霊を慰めるとともに、平和への願いを捧げた。番組では国歌斉唱、内閣総理大臣の式辞、正午の黙とう、天皇陛下のおことばなどを中心に中継で伝えた。／中継担当：秋野由美子アナ／おはよう日本部

『ちょっと変だぞ 日本の自然～気がつけば様変わり 大激変SP』

8.19/19:30~20:42

身近な自然から、その裏に潜む大きな異変を探る環境番組。日本にいつのまにか住みついで野生化し、日本固有の生物の住みかを脅かしたり、人間の生活にまで害を及ぼしたりする外来生物の実態をリポート。夏休み中でもあり、親子そろって楽しめる演出を目指し、身の回りの自然について考え、地球環境の大切さを訴えた。／司会：三宅裕司、住吉美紀アナ／ゲスト：半田健人、石川梨

華ほか／科学・環境番組部

『不屈の者たちへ』

8.19/22:00~22:43

厳しい社会情勢の平成日本で、人生のどん底を経験しながらも、決して諦めずに這い上がり、再生への道を歩もうとしている不屈の人々の物語に迫るドキュメンタリー番組。今回は、脳腫瘍からカムバックしたことで知られる元プロ野球投手・盛田幸妃氏が、現役引退後の今も、病の再発と闘い続け、計3回の手術を乗り越えて力強く生き抜く姿を追った。／出演：大杉漣、山本一力、小郷知子アナ／番組開発部

『検索deゴー！ とっておき世界遺産』

8.21/19:30~20:42

膨大なNHKの映像からキーワードで検索し、世界遺産の新しい魅力と不思議を楽しむ知的エンターテインメント番組。「美容」「グルメ」「住宅」「恋愛」など、身近なことばで検索すると、雄大な自然遺産や豪華な文化遺産に秘められた意外なドラマや驚きの歴史が浮かび上がってくる。／司会：南原清隆、島津有理子アナ／ゲスト：なかにし礼、森公美子、知花くらら、パッコン／文化・福祉番組部、NEP

『天地人がやって来た！ 3～レキジョ大集合』

8.22/18:10~18:40

大河ドラマ『天地人』関連番組として、1月と3月に放送した紀行バラエティー『天地人がやって来た！』の第3弾。今回は歴史好きの女性・レキジョから見た戦国時代や天地人の魅力を紹介。案内人として、比嘉愛未さんがレキジョが出没する都内のスポットを巡り、常盤貴子さんとあき竹城さんは、お船の故郷・新潟県長岡市を旅した。スタジオでは、番組出演者がその様子をVTRで見ながら、女性の戦国ブームについて語った。／出演：妻夫木聡、常盤貴子、比嘉愛未、城田優、あき竹城、美甘子、森本健成アナ／ドラマ番組部

『第41回 思い出のメロディー』

G 8.22/19:30~20:50, 21:00~21:59

BS2 8.30/13:00~15:19

R1 8.29/19:30~20:50, 21:00~21:59

1969年に始まり、41回目を数えた夏恒例の大型歌謡ステージ番組。09年度は、「歌で笑い 歌で泣いた 時代を映した名曲たち」と題して、33組の歌手を迎え、視聴者からのお便りを紹介しながら思い出のヒット曲の数々を放送した。前半は、09年度60回を迎える『紅白歌合戦』を特集し、第1回に出場した菅原都々子さんが熱唱した。後半では開港150年となる横浜を舞台にした歌のコー

ナーを企画し、氷川丸からの中継や、NHKホールで13年ぶりの歌唱となるいしだあゆみさんの登場など、バラエティー豊かな内容で、幅広い視聴者層が楽しめる番組となった。／8月8日NHKホールで収録／司会：伊東四朗、菊川怜、小田切千アナ／出演：秋川雅史、いしだあゆみ、石野真子、五木ひろし、五輪真弓、岩崎宏美、尾崎紀世彦、小林幸子、こまどり姉妹、サーカス、ささきいさお、ザ・ヴィーナス、ジェロ、ジュディ・オング、菅原都々子、千昌夫、園まり、T. AKIRA、天童よしみ、錦野旦、氷川きよし、平野忠彦、藤あや子、布施明、二葉百合子、ベギー葉山、堀江美都子、マヒナスターズ、三沢あけみ、水木一郎、水森かおり、宮路オサム、安田祥子・由紀さおり／ゲスト：大石和太郎さん、関亀夫さん（東海道新幹線一番列車の運転士）、元氷川丸乗組員のみなさん／エンターテインメント番組部

『祝女2～shukujo II』

8.23/23:25～23:54

さまざまな女性を主人公にしたショートストーリー集。女性なら誰でもうなずくような日常生活の瞬間を切り取り、職場仲間や友人同士、恋のライバルなどさまざまな人間関係の中で起こる悲喜こもごもを描くオムニバス・コメディ。／出演：市川実和子、白田あさ美、小出早織、佐藤めぐみ、清水ミチコ、ともさかりえ、光浦靖子、YOUほか／エンターテインメント番組部

『きよしとこの夜 夏のスペシャル・リバイバル』

8.28/19:30～20:43

08年度までの定時番組『きよしとこの夜』の放送終了を惜しむ視聴者からの再開・特集制作の要望に応えたスペシャル番組。歌コーナーでは、「夏」をテーマにした名曲の数々を披露。また、スタジオに50人の小学生を招いての新設のクイズコーナーでは大爆笑の迷答、珍答が続出した。／出演：氷川きよし、グッチ裕三、ベッキー、東貴博、オードリー、高橋英樹、辻希美、秋元順子、天野ひろゆき／エンターテインメント番組部

『よみがえるビートルズ』

9.6/17:00～17:58

『よみがえるビートルズ 完全版』

G 9.12/0:55～2:03

Ⓜ11.21/2:20～3:28

BS2 12.30/13:00～14:08

ビートルズの未公開レア素材を日本初公開。全作品がリマスターされ、09年、再び熱い注目を集めたザ・ビートルズ。CDリリース週を「ビート

ルズ・ウイーク」とする英国BBCで、前日に放送されたばかりの新作ドキュメンタリーをいち早く届けた。NHKでの放送にあたり、ヒストリーなどの内容を追加した。使用する音源は新リマスター音源。9月6日の放送ではBBCドキュメンタリーの48分バージョンを使用。後日、58分バージョンを使用して完全版として再編集し、オンエアした。幅広い音楽ファンに喜ばれた。／曲：「Love Me Do」「Yesterday」「While My Guitar Gently Weeps」「Get Back」ほか／出演：ザ・ビートルズ、ジョージ・マーティン／ナレーション：松本和也アナ／エンターテインメント番組部

『山形発ドラマ～スキップ！～商店街が生んだアイドル』

9.20/10:11～10:54

5年前、山形県の“さくらんぼ商店街”は時代の波を受け、閉店が次々と続くシャッター街化に頭を悩ませていた。そんな時、かつて商店街で育ち東京で音楽トレーナーをする男から「この商店街でアイドルを育てて活性化を図ろう」という仰天プランが持ち込まれる。商店主の多くが反対する中、金物屋の協力でプロジェクトがスタートし、地元高校生3人によるアイドルグループ“SKIP”が結成される。活動するうち3人は、商店街の現実や商店主の思いに接し、だんだん自分自身とも向き合うようになる。1年かけて、ようやく正式デビューコンサートにこぎ着けるが、同時に大きな決断を迫られ、岐路を迎える…。山形県酒田市の商店街アイドルとして活動した「SHIP」の実話をベースにドラマ化。／脚本：白石雄大／音楽：高田耕至／出演：山口馬木也、星井七瀬、通山愛里、東海林愛美、野間口徹、今田裕美子、神原弘之、木野花、渡辺いっけい／山形局

『魚VS釣り名人～解明！水面下の攻防戦』

9.21/8:35～9:48

釣りは魚とのチエ比べ。釣り師は水中の魚の様子を想像してさまざまなくふうを凝らし、釣り上げようとする。そのとき魚は実際にはどのように動き、いかに釣り師の裏をかくのか？一方、釣り師はどんな対抗策を繰り出すのか？カワハギ、クロダイ、メジナ、マコガレイ、アオリイカの5種類について、魚の生態や「駆け引き」を水中カメラで解明し、釣りの多様なおもしろさと難しさを紹介した。／科学・環境番組部、NEP

『ロボコン純情物語 in TOKYO～汗と涙と友情の世界大会』

9.21/19:30～20:43

世界の若者たちが、みずから製作したロボットで技術とアイデアを競うABUアジア太平洋ロボットコンテスト。その第8回大会が、09年8月22日、駒沢オリンピック公園総合運動場（東京）で開催された。参加したのは19の国と地域から選抜された20チーム。日本からは豊橋技術科学大学と金沢工業大学の2校が参加。開催国の誇りをかけて世界の強豪と激突した。涙あり、感動あり、友情あり。アジア太平洋各国の学生が一つの目標に向けて夢中になったひと夏の物語。／プレゼンター：稲垣吾郎／司会：山田賢治・神田愛花・井上裕貴アナ／実況：三輪洋雄アナ／語り：羽佐間道夫／出演：徳光和夫、天野ひろゆき、ほか／科学・環境番組部

『ドラマスペシャル 白洲次郎』

G (第1回) ㊟ 9.21/22:00~23:29
 (第2回) ㊟ 9.22/22:00~23:29
 (最終回) 9.23/22:00~23:29
 HV (第1回) ㊟ 9.19/13:30~14:59
 (第2回) ㊟ 9.19/15:00~16:29
 (最終回) 9.19/16:30~17:59

白洲次郎（伊勢谷友介）は、教師にも平気で反発する「傲慢で驕慢」な少年だったが、英国ケンブリッジ大学に留学、運命の友人・貴族のロビンと出会い、真のジェントルマン道に触れた。帰国後、正子（中谷美紀）との運命的な恋と結婚をきっかけに近衛文麿（岸部一徳）や吉田茂（原田芳雄）と親交を深めた次郎は、戦争回避のための政治活動にのめりこむが、やがて開戦。次郎は正子と鶴川のカントリーライフを決意。終戦後、吉田茂は、次郎を終戦連絡事務局次長に抜擢、GHQと対決する最前線に送り込んだ。流暢な英語を武器に占領軍と渡り合う次郎は「従順ならざる唯一の日本人」と呼ばれた。戦犯指名された近衛文麿が自殺を遂げた。近衛を救えなかった次郎は、クリスマスの夜、ついにマッカーサーへの怒りを爆発させた。次郎は、新憲法作成を巡ってGHQと火花の出るような戦いを繰り返す一方、経済復興に全力を傾ける吉田茂の懐刀として汚れ役を引き受け、通産省創設や外資導入などに蛮勇をふるう。「現代のラスプーチン」と揶揄され、バッシングを受ける次郎を支え、正子は不安に思う子どもたちを諭す。経済復興のため広畑製鉄所を英国に売却しようとした次郎は、社長の永野重雄（遠藤憲一）と鉢合わせし、大喧嘩となる。そしてついに、日本が独立を果たすサンフランシスコ講和条約締結の日を迎える。（全3回）／原案：北康利「占領を背負った男」、牧山桂子「次郎と

正子」／脚本：（第1回）大友啓史、（第2回）大友啓史、近衛はな、（最終回）近衛はな、大友啓史／音楽：大友良英／出演：伊勢谷友介、中谷美紀、原田芳雄、岸部一徳、奥田瑛二、原田美枝子、市川亀治郎、石丸幹二、高良健吾、塩見三省、高橋克実、神山繁、中原丈雄、田中哲司、遠藤憲一ほか／ドラマ番組部

『夏の北アルプス ああ絶景！雲上のアドベンチャー』

G 9.23/8:35~9:48
 ㊟11.3/13:05~14:18
 BS2 10.3/13:32~14:46
 ㊟12.26/16:14~17:28

夏の北アルプスの山頂から山頂へと3週間60キロにわたって歩く大縦走。登山歴1年の内多勝康アナと女性初でエベレストに登頂した田部井淳子さんの笑いあり涙ありの2人旅。日本有数の難ルートにも挑戦した。／長野局、名古屋局、富山局『カンテツな女』

G 9.29/0:10~0:39
 ㊟10.12/9:00~9:29
 ㊟1.16/1:25~1:54
 BS2 ㊟10.11/10:01~10:30

完全に夜を徹して働き、朝を迎える女性のホンネに迫る新感覚ドキュメンタリー。水野緑さん（37歳）は、夜通し注文を受けつけるテレビ通販会社でオペレーター百数十人の頂点に立つコールセンター長。使命はセンター全体を指揮し、1本でも多くの注文をとること。商品への質問やクレームなど、次々起こるハプニング。彼女の一晩12時間に密着。仕事・自己像・結婚観などについて徹底的に質問。深夜ならではの〈裸のキモチ〉に迫った。／青少年・教育番組部

『いきものがかり 15歳へのエール』

G 10.3/16:00~16:29
 ㊟10.10/0:55~1:24
 E ㊟10.4/15:00~15:29

第76回NHK全国学校音楽コンクール中学校の部の課題曲「YELL（エール）」。

大人への第一歩を踏み出す10代の気持ちを描くこの曲に、みずからの思いを託し合唱に取り組む鳥根・栃木・神奈川の中学生の姿を紹介。いきものがかりのオリジナル曲を交え、中学生と彼ら3人との心の交流を伝えた。／青少年・教育番組部

『国民的ことばバラエティー みんなでニホンGO!』

10.9/22:00~22:43

ことばに正解はない…。ならば民意に問え！

おかしな敬語、ギャル語、死語…気になることばを徹底調査、時代のことばとして「イケてるか？イケてないか？」国民投票にかけちゃうバラエティー番組。「“ニラレバ”か？“レバナラ”か？」「“よろしかったでしょうか？”って許せる？」などを取り上げた。／司会：チュートリアル、中尾彬、杉浦友紀アナ／ソフト開発センター、NED

『クエスタ～目指せ！質問王』

10.10／20:00～20:43

用意された「^{キーワード}正解」を、質問を繰り返すことで解き明かしていく「質問力向上クイズバラエティー」。クエスタマスター名倉潤の出題に対し、秋元康チームと関根勤チームが激しいバトルを繰り広げた。／解答者：秋元康、里田まい、レッド吉田、松本明子、関根勤、八田亜矢子、ゴロゴ松本、中澤裕子／ゲスト：IKKO／エンターテインメント番組部

『祝！「新・三銃士」まもなくスタートスペシャル』

10.12／8:35～9:00

Ⓜ10.12／17:35～18:00

ETV50周年を記念して、連続テレビ人形劇としては14年ぶりに制作された『新・三銃士』。その放送直前スペシャルと題した特集番組。番組のダイジェスト映像やメイキングシーンに加えて、収録スタジオの舞台裏を紹介。脚色を担当した三谷幸喜、語り役の田中裕二（爆笑問題）、人形劇の大ファンである太田光（爆笑問題）の3人が、収録スタジオを見学したり、人形に変身して番組に出演している人形たちと絡むなど、ユニークな演出で番組の魅力を紹介した。／MC出演：三谷幸喜、爆笑問題／VTR出演：フィリップ・トルシエ、平井堅（番組エンディングテーマ「一人じゃない」作曲・歌）／青少年・教育番組部

『皇室の名宝 秘められた珠玉の技』

10.12／13:05～13:59

09年10～11月末、天皇即位20周年を記念して、皇室所蔵の美術の名品が、大々的に公開された。鎌倉時代の蒙古襲撃を描いた「蒙古襲来絵詞」、安土桃山時代の天才絵師・狩野永徳の代表作「唐獅子図屏風」、江戸時代の奇想画の傑作、伊藤若冲「動植綵絵」30幅。作品管理を担う三の丸尚蔵館では、最先端の科学技術で絵画や工芸品を調査し、長期保存に耐えうる素材で修復を進めている。その中で、名作の数々がいかに画期的な技法の粋を集めて作られたものが浮かび上がってきた。最新の研究成果を軸に、日本が誇る名宝に秘めら

れた珠玉の技に迫りながら、コレクションの圧巻の美を伝えた。／制作局（委託管理）、NED

『がんばれババママ！ 実況 お仕事スタジオ』

10.12／22:00～22:43

父親や母親が働いている「現場」をマルチカメラで実況中継し、その様子を実況席にいる家族に見てもらおうというファミリーバラエティー。「ビルの窓ふき」の父、「ファミリーレストランの店員」の母、「動物園の飼育員」の父の親子3組が登場し、子どもたちは、ふだん家庭では見せない父や母の真剣な表情を食い入るように見つめた。最後に子どもたちが、初めて親の仕事ぶりに触れた感想を作文にまとめ、朗読した。／司会：住吉美紀アナ、宇梶剛士／実況：松本和也・吉田賢アナ／ゲスト：よるこ、ほっちゃん、濱田マリ、北斗ほか／ソフト開発センター、NEP

『ザ・コーチ 人生ノ教科書～横道にそれてもいいんだ～伝説の国語教師 橋本武』

10.12／22:45～23:28

スポーツ、芸術、学問など、成功の陰には名指導者がいる。一流の指導者の教えを通して、子育てやコミュニケーションのヒントを探るドキュメントバラエティー。今回は、神戸の灘中学・高校で長年国語教師を務めた橋本武さんにスポットを当てた。たった1冊の文庫本を使った「横道にそれる」授業で、同校を私立として初めて東大合格者数日本一に導いた橋本さんのユニークな指導法を紹介、大きな反響を呼んだ。／出演：武田鉄矢、井村雅代、中尾明慶、長島瑞穂、鈴木奈穂子アナ／語り：劇団ひとり／制作局（番組開発）、青少年・教育番組部

『広島発ドラマ 火の魚』

HV 10.14／18:00～18:53

Ⓜ12.30／23:30～0:23

G 3.13／21:00～21:53

瀬戸内の島に住む老作家・村田省三（原田芳雄）のもとに、原稿を受け取るため東京の出版社から女性編集者・折見とち子（尾野真千子）が通ってくる。あるとき小説の装丁を、燃えるような金魚の「魚拓」にしたいと思いついた村田は、折見に魚拓を作ることを命じる。魚拓をとるには、金魚を殺さなければならない。小さな命を巡って、2人の間にさざ波が立つ。／原作：室生犀星／作：渡辺あや／音楽：和田貴史／出演：原田芳雄、尾野真千子、岩松了、高田聖子、笠松伴助、藤山喜子／広島局

『もしも明日…～親の介護が必要になったら』

10.16/20:00～20:43

「生活不安大国」といわれる日本で、ある日突然、予想もしなかった事がわが身に起きたら、一体どうすればいいのか？「本格ドラマ」と「生活情報番組」の融合という新しいスタイルで答える開発番組。親の介護は、誰もがいつか直面するかもしれない身近な問題であり、特に仕事を持つ40代・50代の女性にとっては切実だ。実話を基にしたドラマに続くVTRレポートで、介護と仕事を両立するヒントを紹介した。スタジオには、ドラマのモデルとなった本人も登場、後日談なども聞いた。／ドラマ出演：奥貫薫ほか／スタジオ出演：渡辺えり、黒崎めぐみアナほか／生活・食料番組部・ドラマ番組部

『加藤和彦さんをしのんで～あの素晴らしい歌をもう一度』

10.26/0:25～1:08

10月16日に亡くなった加藤和彦さんの追悼番組。ザ・フォーク・クルセダーズの結成から、近年の活動までを貴重なアーカイブスで紹介。大きな反響を呼んだ。／出演：加藤和彦／エンターテインメント番組部

『わが心の大阪メロディー』

11. 3/19:30～20:43

NHK大阪ホール落成記念のイベントとして始まった番組で9回目を迎えた。全国から「心に残る大阪の歌」のリクエストを募り、視聴者の思い出のエピソードとともに、日本を代表する豪華な歌手の競演で名曲を届ける歌謡ステージ。／司会：上沼恵美子、高山哲哉アナ／出演：小林幸子、坂本冬美、ジェロ、つくく♂、天童よしみ、堀内孝雄、松浦亜弥、八代亜紀ほか／大阪局

『ヒューマンドキュメンタリー～いのち 見つけて～心臓移植 待機患者』

11. 4/22:00～22:58

大阪大学医学部附属病院には、心臓移植をしなければ助からない待機患者が40人余りいた。症状の重い患者は補助人工心臓を装着し、ドナーが現れるのを待つが、血栓や感染症などから医学的に安全を保証されているのは数年間。生と死の間で揺れ続けている。「僕、あと少しで死んじゃうのかな」と日記に綴った青年。「もう子どもと一緒に寝られないのかな」とつぶやく主婦。待機患者が真摯に命と向き合い、闘っていく姿を見つめた。／ソフト開発センター、NEP

『ヒューマンドキュメンタリー～ふたりの14歳～ボッチャ 自立への階段』

11. 5/22:00～22:43

重度の障害者のために考案された競技、ボッチャに打ち込む2人の14歳が、ボッチャを通して、一步一步成長していく姿を温かなまなざしで描いた。／文化・福祉番組部

『三遊亭圓楽さんをしのんで』

11. 8/13:35～14:18

09年10月末に76歳で亡くなった落語家の五代目三遊亭圓楽さんを追悼する番組。NHKアーカイブスに残る本人の名演から「浜野矩随」などを紹介。三遊亭楽太郎、桂歌丸、橘家圓藏など、ゆかりの人々のインタビューとともに、演芸界に多大な足跡を残した故人をしのんだ。／エンターテインメント番組部、NEP

『追悼 森繁久彌さん』

11.13/22:10～23:37

09年11月10日に96歳で亡くなった森繁久彌さんをしのぶ特別追悼番組。大河ドラマをはじめとする、日本のTVドラマや映画、そして舞台などの演劇文化、さらには歌唱や文筆活動など広範囲にわたって大衆芸能の発展に尽くした森繁久彌。テレビ創世記時代から親交の深かった女優、俳優が、故人の業績を振り返り、その思い出と功績を語り合った。／出演：中村メイコ、北大路欣也、西田敏行／司会：山根基世／ドラマ番組部

『日米開戦を語る 海軍はなぜ過ったのか～400時間の証言より』

12. 7/22:00～23:14

09年8月に3回シリーズで放送したNHKスペシャル『日本海軍 400時間の証言』に対し、多くの反響が寄せられたことを受けて、企画制作した番組。反響は特に30～40歳の社会を担っている世代からのものが目立ち、「組織と個人」という視点から自分のこととして戦争をとらえていた。そこで、番組では、同様の視点から太平洋戦争を研究し著作を発表してきた作家の半藤一利さん、澤地久枝さん、歴史研究家の戸高一成さんが「なぜ開戦に至ってしまったのか」をテーマにして、現代と重なる問題について語る鼎談を行った。「組織が持つ“異分子排除の精神”」「国民の熱狂の危うさ」など、未来につながる重要な提起がなされ、放送後大きな反響があった。／司会：報道・社会部 小貫武記者／社会部、社会番組部、編成局

『連続テレビ小説～つばさ スピンオフ』

「好きと言えなくて 青春編」

12.19 / 3:00～ 3:10, 12.22 / 2:25～ 2:35,
12.27 / 14:15～14:25

「好きと言えなくて 中年編 (仮)」

12.19 / 3:10～ 3:20, 12.23 / 2:40～ 2:50,
12.28 / 13:45～13:55

「好きと言えなくて」は09年9月まで半年間放送された『連続テレビ小説～つばさ』から生まれた10分の短編ドラマ。個性的な脇役の活躍を熱望するファンの支持を受けてスピンオフに登場するのは、つばさの弟・知秋とつばさの親友・万里の恋を描いた「青春編」、つばさと共にラジオぼてとにかかわった真瀬や浪岡ら中年男たちのその後を描く「中年編 (仮)」の2本。(全2回) / 作：今井雅子 / 音楽：住友紀人 / 出演：「青春編」富浦智嗣, 吉田桂子, 三浦アキフミ, 「中年編 (仮)」宅間孝行, ROLLY, 脇知弘, 中島ひろ子, 山本未來, 畠山彩奈 / ドラマ番組部

『大河ドラマ～天地人 総集編』

(第1回) 12.21 / 22:00～22:58
(第2回) 12.22 / 22:00～22:58
(第3回) 12.23 / 22:00～22:58
(第4回) 12.24 / 22:00～22:58

戦国時代、上杉家の家臣として、「義」と「愛」の精神を貫いて生きた智将・直江兼続の波乱の生涯を描いた大河ドラマ『天地人』のハイライトシーンを4話に凝縮して4夜一挙放送。(全4回) / 原作：火坂雅志「天地人」 / 脚本：小松江里子 / 音楽：大島ミチル / 出演：妻夫木聡, 北村一輝, 常盤貴子, 田中美佐子, 高嶋政伸, 小栗旬, 長澤まさみ, 玉山鉄二, 相武紗季, 比嘉愛未, 加藤清史郎, 深田恭子, 松田龍平, 吉川晃司, 笹野高史, 高島礼子, 富司純子, 阿部寛, 松方弘樹ほか / 語り：宮本信子 / ドラマ番組部

『こんにちは！動物の赤ちゃん2009』

12.22 / 19:30～20:29

日本全国の動物園で1年間に誕生した動物の赤ちゃんをたっぷり紹介する動物番組の決定版。生まれたての赤ちゃんのかわいらしい姿や親子のほほえましい触れ合いなど、ふだん見ることのできない様子を、飼育員たちが撮影した秘蔵映像を中心に伝える。中でも目玉は、国内で数が減り続けているアフリカゾウの出産と母子ゾウ3頭の成長物語。また、獣医師カメラマンが10年以上も撮りためた映像を一挙公開、奮闘ぶりとともに伝えた。 / ソフト開発センター, NEP

『年の差100歳！～山形 5世代大家族』

12.24 / 19:30～20:40

101歳の誕生日を迎えるおばあちゃんから数え、5世代がともに暮らす山形の農家。収穫の秋から冬支度までの日常を描く。おばあちゃんは100歳年下、5世代目の1歳の子を背負い元気！幼稚園の運動会は一家にとって、4世代目の子ども時代以来、20年ぶりの運動会。弁当作りも一家総出と思いきや早朝から農作業や仕事に出かける面々も。大家族ならではの人間もようを見つめた。 / ソフト開発センター, NEP, 植木商店

『ミステリーロマン 古代エジプト』

12.25 / 19:30～20:40

7～8月にかけて放送した『NHKスペシャル』の大型シリーズ「エジプト発掘」の豊富な素材を基に制作した紀行番組。ピラミッド, ツタンカーメン, クレオパトラ。エジプトに残る、この3つのミステリーの現場を女優の相武紗季さんが訪ね、地元の人々と触れ合いながら、謎解きに挑んだ。今も多くの人々を引き付ける古代エジプトのロマンあふれる魅力をたっぷり紹介した。 / 大型企画開発センター

『究極ヒットパラダイス～アラフォー☆クリスマス』

12.25 / 22:00～22:57

(完全版) 12.28 / 0:05～ 1:23

アラフォー世代をターゲットに青春時代の名曲をライブで届けた。今回はクリスマスをテーマに冬の名曲満載でNHKホールにて開催。また、NHKホールロビーではクリスマスイベントもあわせて行った。そのもようを盛り込んだ完全版を28日に時間を拡大して放送した。 / 出演：杏里, 稲垣潤一, 小野正利, カズン, 辛島美登里, 広瀬香美, 藤田恵美, 渡辺美里 / ナビゲーター：杉崎真宏 / エンターテインメント番組部

『カウントダウン龍馬伝』

G 12.26 / 22:30～22:58

Ⓜ 1. 1 / 23:00～23:28

Ⓜ 1. 2 / 11:25～11:53

HV 1. 3 / 7:30～ 7:58

BS2 1. 3 / 10:00～10:28

坂本龍馬の原動力の源には「食」があった。龍馬に縁のある高知・長崎で龍馬が愛した「美食」を紹介する、龍馬のグルメ旅を決行。「食」を通して、龍馬の人間性に迫った。 / 出演：福山雅治, 児玉清, 杉本哲太, 寺島しのぶ, 松原智恵子, 鳥崎和歌子, 香川照之, 蟹江敬三, 倍賞美津子, 大泉洋 / ドラマ番組部

『NHKのど自慢 熱唱熱演名場面』

12.27/12:15~13:29

46年の開始以来、64年目を迎えた長寿番組『NHKのど自慢』。1年間の放送の中から選りすぐりの名場面、とっておきのパフォーマンスの数々を紹介した。さらに、『のど自慢』ができるまでの舞台裏や、印象的な出場者の素顔なども交えながら『NHKのど自慢』の09年度をバラエティー豊かに振り返った。／エンターテインメント番組部

『サラリーマンNEO ウィンタースペシャル 2009』

12.27/23:10~23:57

⑩ 1. 2/ 1:00~ 1:47

『サラリーマンNEOシーズン4』の年末特集として制作。人気のシリーズや忘年会やボーナスなど年末ならではの話題をモチーフにした新作で構成した。また、市川亀治郎、野村克也、姜尚中、ピーター・バラカンといった異色のゲストが登場し、さまざまなパロディーコトを熱演した。／出演：生瀬勝久、沢村一樹、田口浩正、麻生祐未、中越典子、入江雅人、山西惇、八十田勇一、堀内敬子、池田鉄洋、原史奈、奥田恵梨華、中田有紀ほか／エンターテインメント番組部

『ニュースハイライト2009~チェンジが来た!』

12.28/19:30~20:57

09年、世界を駆け巡ったさまざまなニュースを、NHKが取材した映像で再構成し、1年を振り返る番組。夏に行われた衆議院選挙で民主党が圧勝、社民党・国民新党との連立政権が発足し“政権交代”が実現した。裁判員裁判が始まり、司法の世界にも“チェンジ”が訪れた。アメリカでは“チェンジ”を掲げて就任したオバマ大統領が“核兵器のない世界”の実現を世界に訴え、ノーベル平和賞を受賞した。一方で、雇用情勢の悪化による“派遣切り”が深刻化するなど、景気低迷の出口が見えない状態が続いた。また、新型インフルエンザの大流行は世界に暗い影を落とした。／キャスター：武田真一・小郷知子アナ／テレビニュース部

『ママさんバレーでつかまえて 最終回生放送スペシャル』

12.28/21:15~21:55

抱腹絶倒のノンストップコメディ『ママさんバレーでつかまえて』の年末最終回スペシャル。101スタジオに約300人の観客を迎え、半世紀ぶりとなる生ドラマに挑んだ。個性豊かなママさんバ

レーチーム「マミーズ」。キャプテン鈴子と光太郎コーチが夫婦だとバレてから、1年が過ぎたマミーズ4年目の結成記念日。チームの存亡を左右する2人の新たな隠し事が発覚し、部室は大騒ぎに。放送直前のスタジオの様子をインターネットのライブストリーミングで生中継し、番組への期待感を高めるとともに新たなデジタル展開を図った。／作・演出：西田征史／出演：黒木瞳、向井理、横山めぐみ、片桐はいり、ほか／ソフト開発センター、NEP

『耳をすませば~あの人からのメッセージ』

12.29~31/ 6:15~ 6:39

激動の時代を走り抜け、人々にさまざまな感動やメッセージを発信し続けた人たちが、09年も数多く亡くなった。生前に彼らが残した声や映像を再構成し、残されたメッセージをどう受け継いでいくべきか考えた。3回シリーズ（VTR構成）で放送。／ライツ・アーカイブセンター

『連続テレビ小説~つばさ 総集編』

(前編) 12.29/ 8:15~ 9:44

(後編) 12.30/ 8:15~ 9:44

埼玉県川越市にある老舗和菓子屋とコミュニティ放送局が『つばさ』の舞台。ヒロインのつばさは家出した母に代わって一家の主婦となり、未婚の二十歳にもかかわらず“おかん”と呼ばれるような老成した娘だった。そこへ借金で首が回らなくなった不肖の母が10年ぶりに家に戻って来て…しっかり者の娘と自由奔放な母という、一見するとあべこべな娘と母が、いがみ合いながらも壊れた家族の絆を取り戻すため、懸命に努力する姿を描く家族再生の物語。総集編は本編になかったつばさのその後の物語が新撮追加され、『つばさ』の完結編となっている。／前編「ハタチのおかんとホーローの母」、後編「二度目の春」(全2回)／作：戸田山雅司／音楽：住友紀人／主題歌：アンジェラ・アキ「愛の季節」／出演：多部未華子、高畑淳子、中村梅雀、宅間孝行、松本明子、金田明夫、佐戸井けん太、井上和香、山本未來、広岡由里子、小柳友、富浦智嗣、ROLLY、脇知弘、川島明(麒麟)、三浦アキフミ、吉田桂子、渡辺哲、永島敏行、白川和子、手塚理美、斉藤由貴、山本學、小松政夫、富士真奈美、西城秀樹、イッセー尾形(語り)、吉行和子ほか／ドラマ番組部

『松本清張ドラマスペシャル~顔』

12.29/21:00~22:13

松本清張生誕100年に当たり、清張の原点ともいべき傑作短編をドラマ化。戦後の復興期、売

れない劇団俳優だった男は、ある大作映画の準主演に抜擢され、一躍スターへの道を歩き始める。しかし、男にはひた隠しにしてきた殺人の過去があった。みずからの「顔」がスクリーンに大きく映し出される前に、どうしても過去を抹殺しなければならなかった。栄光への渴望と、過去が露見する恐怖の間で揺れ、やがて自滅していく男の運命をスリリングに描いた。／原作：松本清張／脚本：中園健司／音楽：佐橋俊彦／出演：谷原章介、原田夏希、高橋和也、大地康雄、中本賢、塩野谷正幸、瀬川亮、押元奈緒子、美保純、建蔵、伊藤聡、林遼威、原田麻由、大久保麻理子、石原茂史、篠原真衣、末広ゆい、和泉敬子、吉原拓弥、谷本一、針原滋ほか／ドラマ番組部

『爆笑問題のもうひとつの龍馬伝』

12.30／21:00～21:57

これまでにない角度から「生身の人間・龍馬」に迫る、もう一つの龍馬伝。冗談や下ネタ満載の自筆の手紙、浮気の言い訳に即興で作った歌、恋愛エピソードなどから、お茶目で人の心をつかむのがうまい、まるで一流芸人のような龍馬像が浮かび上がる。また、龍馬の体格や現存する写真を手がかりに、龍馬の声の再現にも挑戦。大の龍馬ファンの爆笑問題・太田光と大河ドラマ『龍馬伝』主演の福山雅治が、縦横無尽に「人間・龍馬」を語り合う対談も行った。／キャスター：爆笑問題／ゲスト：福山雅治、野村克也、真鍋かをり、美甘子／文化・福祉番組部

『タイムスクープハンター スペシャル～幕末決死行！～江戸牢獄・限界長屋の実態』

12.30／23:10～23:53

定時番組として09年度は10本放送した『タイムスクープハンター』。有名人を一切使わず、庶民的視点から、ドキュメンタリータッチで描くことで、タイムマシンに乗って本当の過去へさかのぼったような感覚を味わせようという演出。スペシャル編では黒船の来襲を契機に、物価高騰する庶民生活に視点を当てた。米蔵の襲撃騒ぎに巻き込まれる主人公の視点から幕末の牢獄の様子と混乱する時代の雰囲気をとらえた。／ソフト開発センター

『第60回 NHK紅白歌合戦』

G・HV・BS2・R1 12.31／19:15～23:45

09年の日本歌謡界を代表する歌手と話題曲で構成し、1年を締めくくると大型歌謡番組（NHKホールから生放送）。「60回」のメモリアル回であり、また、第58回から3年間で「歌力」をテーマにリニューアルを進めた、その集大成でもある今回の

紅白のテーマは「歌の力∞無限大」。テーマソングとして、全国の視聴者からフレーズを募集したものを歌詞にし、久石譲が作曲した「歌の力」を制作、紅白歌手全員で歌った。司会陣は第57・59回に続き3回目の組み合わせとなる中居正広、仲間由紀恵の2人を起用。紅組応援歌手として来日したスーザン・ボイル、白組特別出場歌手としてサプライズ出演した矢沢永吉をはじめ計52組の紅白歌手が歌の力を競った。また、人気の子どもたちを集めた「こども紅白」や、この年に亡くなったマイケル・ジャクソンを追悼するステージなどの企画も披露。大きな関心を集めた。／司会：（紅組）仲間由紀恵、（白組）中居正広、（総合司会）阿部渉アナ、（ラジオ中継）山田康弘・神田愛花アナ／歌手：（紅組）aiko、秋元順子、絢香、アンジェラ・アキ、いきものがかり、石川さゆり、AKB48、大塚愛、GIRL NEXT DOOR、川中美幸、木村カエラ、倅田來未、伍代夏子、小林幸子、坂本冬美、天童よしみ、DREAMS COME TRUE、中島美嘉、中村美津子、浜崎あゆみ、Perfume、平原綾香、水樹奈々、水森かおり、和田アキ子、（紅組応援歌手）スーザン・ボイル、（白組）嵐、アリス、五木ひろし、EXILE、NYC boys、北島三郎、北山たけし、コブクロ、ジェロ、SMAP、東方神起、TOKIO、徳永英明、氷川きよし、FUNKY MONKEY BABYS、布施明、福山雅治、flumpool、細川たかし、ボルノグラフィティ、美川憲一、森進一、遊助、ゆず、レミオロメン、（白組特別出場歌手）矢沢永吉／「蛍の光」指揮：平尾昌晃／「歌の力」指揮：久石譲／ゲスト審査員：阿部寛、勝間和代、草刈民代、城田優、杉山愛、西田敏行、白鵬翔、原辰徳、深田恭子、森光子／エンターテインメント番組部

『ゆく年くる年』

G・BS2 12.31～1.1／23:45～0:15

全国各地の年越しの風景を、新たな年への祈りとともに生中継でリレーしていく『ゆく年くる年』。09年は「故郷の祈り、希望を託して」をテーマに、新年に込めた人々の願いや思いを伝えていった。番組では徳川家の菩提寺として知られ、多くの人たちが年越しに訪れる東京港区の増上寺にキーステーションを置き、山形県・慈恩寺をはじめ、大分県・両子寺、愛知県・豊川稲荷、石川県・妙成寺など全国10か所を結び、5.1chサラウンドの臨場感たっぷりの音声とともに中継で伝えた。／キャスター：森本健成・島津有理子アナ／おはよう日本部

『招福・日本の元旦めでたいスペシャル』

1. 1 / 8:30~11:54

日本全国の選りすぐりの“めでたい”縁起物を人気の若手芸人たちが紹介するバラエティー。麒麟が推薦する「見るだけで福を呼ぶ動物」、原口あきまさ推薦の女子高校生がパフォーマンスで見せる「長生きする書初め」など盛りだくさん。ゲストも婚約中の石田純一、結婚した大沢あかね、世界一のニューハーフに選ばれたはるな愛など、とにかく“めでたい”。／司会：三宅裕司、島崎和歌子、青井実アナ／ソフト開発センター，NEP

『正月時代劇～陽炎の辻 スペシャル～居眠り磐音 江戸双紙～海の母』

1. 1 / 19:20~20:33

酒乱の設楽貞兼が妻のお彩に暴力を振るい、止めに入った嫡男・小太郎の剣の師匠・佐江傳三郎に切りかかり、傳三郎が貞兼を切り捨てる。傳三郎とお彩は遁走。磐音は將軍お側御用取次・速水左近に相談。速水は13歳の小太郎に仇討ちを、磐音に助太刀を命じる。磐音らは上総の網小屋に隠れていたお彩を発見するが、お彩の父・参左衛門が来て、2人を許してほしいとすがる。2人が安房の湊から上方に向かうと知った磐音らは湊に急行。停泊中の船にひそかに乗り込んだお彩だが、岸壁に立つ小太郎の姿を見て、船から下りる。小太郎は心を鬼にして仇に向かい、磐音が助太刀する。／原作：佐伯泰英／脚本：尾西兼一／音楽：佐藤直紀／出演：山本耕史，中越典子，水野美紀，宇梶剛士，川村陽介，榎木孝明，辰巳琢郎，小松政夫，近藤正臣ほか／制作局（委託管理），NEP

『京都・南禅寺界限 山紫水明のユートピア』

1. 2 / 7:20~ 8:13

年間5,000万人もの観光客が訪れる京都にあって、ガイドマップに一切載らず、ひっそりとたたずむ別天地、南禅寺界限の別荘群。明治維新で召し上げられた9万坪もの広大な南禅寺の敷地を、明治から大正時代にかけて勃興した政財界の大家たちが買い求め、持てる財力と美意識のすべてを注ぎ込み、競い合いながら作り上げた極上の空間が12件、今にそのまま残されている。これまで非公開とされてきた“京都最後の秘境”である南禅寺界限の別荘群を初めて本格的に撮影。秋の夜の名月や紅葉など、季節の彩りもあでやかに、究極の日本美の空間を味わい尽くした。／語り：平幹二郎／制作局（委託管理），NED

『新春TV放談2010』

1. 3 / 0:00~ 1:13

④ 2.15 / 1:10~ 2:24

09年新春に第1回を放送。第2弾は、2009年のテレビ番組を振り返りながら、2010年のテレビの行方を考えるスタジオトークバラエティー。NHK・民放問わず、話題になった番組やテレビ業界の出来事を取り上げ、パネラーたちが歯に衣着せぬ自由なトークを展開、番組制作の裏側までも語り尽くした。／司会：千原ジュニア，塚原愛アナ／パネラー：テリー伊藤，森達也，箭内道彦，鈴木おさむ，真鍋かをり／青少年・教育番組部，NEP

『7サミット 極限への挑戦』

1. 4 / 19:30~20:43

エベレストなど世界7大陸の最高峰「7サミット」に、みずからカメラ片手に撮影をしながら挑戦し続ける登山家・栗城史多さんを描く絶景満載のドキュメント。氷河の裂け目を飛び越える！切り立った絶壁をよじ登る！驚くべき映像の連続に加え、命がけの挑戦や極限状態での決断を見つめた。／文化・福祉番組部

『NHK歌謡コンサート～祝700回！歌まつり2010』

1. 5 / 19:30~20:43

93年にスタートして以来、18年でついに700回目の放送となった『歌謡コンサート』。ここまで支えてくれた視聴者に感謝の気持ちを込めて歌あり、芝居あり、踊りありのスペシャルステージを届けた。／出演：北島三郎，森進一，倍賞千恵子，二葉百合子，細川たかし，八代亜紀，千昌夫，石川さゆり，安田祥子・由紀さおり，坂本冬美，山川豊，長山洋子，瀬川瑛子，秋川雅史，石原詢子，冠二郎／司会：小田切千アナ／エンターテインメント番組部

『絢香 22歳のラストステージ』

1. 7 / 22:00~22:43

④ 1.11 / 13:05~13:48

09年限りで無期限活動休止を宣言した絢香。ラストステージとなった『紅白歌合戦』までの3か月に密着。彼女が大切にしてきた歌、ライブとともに最後のメッセージを届けた。紅白から時間をおかず放送したことによる効果もあって、20代、30代を中心に反響が多かった。／出演：絢香／ナレーション：松本和也アナ／エンターテインメント番組部

『二本の木』

1. 9 / 21:00~22:13

がんはいつ、誰を襲うかわからない。元NHKディレクターの小沢爽が生前残した、妻の発病から書き残した日記や膨大な写真、ビデオを基に、自身もがんと闘いながら、その存在を確かめ合った夫婦の命と愛の記録を綴ったドキュメンタリー。／原作：「二本の木」小沢爽・千代／音楽：渡辺俊幸／出演：片岡仁左衛門、竹下景子、小沢北太郎、小沢冬平ほか／ナレーション：鎌田正幸アナ／制作局（委託管理）、NEP

『あしたをつかめスペシャル～命にまっすぐ～病院で働く若者たち』

G 1.11 / 8:35～ 9:29

㊦ 2.21 / 2:05～ 2:59

E ㊦ 1.23 / 15:10～16:04

『あしたをつかめ』の成人の日スペシャル版。熊本市の済生会熊本病院で働く若い医療スタッフに1か月密着。24時間365日“断らない救命救急”を目指す救急外来では、30歳の医師らが、一分一秒を大切に治療を続けている。入院病棟では25歳の看護師らが、がん患者の心に寄り添おうと努力している。ひとりひとりの命を救うため、ひたむきに働く、若者たちの姿に迫った。／青少年・教育番組部

『時々おとも迷々』

G 1.11 / 9:30～ 9:59

㊦ 2.18 / 1:20～ 1:49

E ㊦ 1.23 / 16:05～16:34

小学校中学年向け道徳番組『時々迷々』の成人の日特集番組。電車でお年寄りにうまく席を譲れない新成人の女性。市役所で上司の顔色をうかがう公務員。年老いた親と同居するかどうか迷う夫婦。マンションで規則違反のイグアナを飼う青年。大人だからこそその悩みを、神出鬼没のキャラクター『時々迷々』が解き明かし、悩みながら生きる大人たちへのエールをドラマ番組として描いた。／出演：片桐はいり、村上東奈ほか／青少年・教育番組部

『かみさまのいじわる～神戸 幼き被災者の15年』

1.14 / 22:00～22:43

震災の1年後、「かみさまのいじわる」と題された文集が自費出版された。神戸市長田区で被災した子どもたちが率直なことばで被災体験をつづったものだ。そして震災から15年がたった。神戸では当時文集に作品を寄せた人たちに再び呼びかけ、震災後の歩みを改めて作文にしてもらおうという取り組みが始まった。震災は子どもたちの人生をどう変えたのか、そして今、彼らは震災をど

う受け止めているのか。子どもたちのそれぞれの人生を追いながら震災が残したものの大きさを考えた。／大阪局

『よみがえる震災の記憶』

1.17 / 8:25～ 8:54

阪神・淡路大震災から15年。今、改めて市民が撮影した震災の記録に脚光が集まっている。被災者たちの姿を撮影することへの葛藤を抱えながら使命感から行われた記録だ。3人に1人が震災を知らない今、震災を伝える必要に駆られて寄せられた。“復興とは、震災を忘れることではない”市民の視点で記録した「震災」の映像から秘められた物語をひも解き、震災が何をもたらしたのか改めて考えた。／ソフト開発センター、桜映画社

『震災15年 命をみつめる 心をつなぐ』

1.17 / 10:05～11:54

阪神・淡路大震災から15年。地震で家族を失った人たちは今どんな思いで暮らしているのか。私たちは震災から何を学んだのか。神戸放送局のスタジオをキーステーションに、三宮・東遊園地、長田区の商店街、この日オープンする神戸震災復興記念公園からの中継を交えて、遺族の15年の歩みや街の復興、国内外で活躍する災害ボランティア、そして震災について知りたいと動き出した若者たちなどを紹介した。また、全国の被災地を支援するNHKのウェブサイト「リエゾン被災人」に連動して、震災についてのメッセージを募集。神戸から未来につながるメッセージを生放送で発信した。／司会：真下貴アナ／ゲスト：竹下景子、佐渡裕／中継：上田早苗・今城和久・西堀裕美アナ／大阪局、神戸局

『阪神・淡路大震災15年 特集ドラマ その街のこども』

1.17 / 23:00～ 0:13

神戸の街を舞台に、幼いころに実際に震災を体験した森山未来と佐藤江梨子がリアルな感情で挑んだロードムービー。1月17日の震災の日を、15年ぶりに故郷神戸で迎える若い男女の一晚の会話劇を軸にして、彼らの等身大の心の震災を見つめた。／作：渡辺あや／音楽：大友良英／出演：森山未来、佐藤江梨子、津田寛治ほか／大阪局

『NHKアーカイブス あの冬 誰もが熱くなった～札幌五輪 日の丸飛行隊』

2.11 / 13:05～14:23

冬季五輪に日本中の注目が集まるきっかけとなったのが1972年の札幌五輪。日の丸飛行隊のメダル独占までを描いた番組を紹介するとともに、バンクーバー五輪期待の選手たちを紹介し、冬季五

輪ならではの魅力に迫った。／ライツ・アーカイブセンター, NEP

『福岡発ドラマスペシャル〜母さんへ』

2.11/16:45~17:58

福岡県南部, 美しい川の流れやどこまでも広がる茶畑に彩られた山間の里・黒木町。町の中でも特に山深い地区にある笠原小学校に, 臨時教師として2学期から赴任してきた若い女性教師・ひかりが主人公。ひかりが担当することになった6年生のクラスには, 1人の山村留学生・亜矢がいた。亜矢は町に来て数か月たつが, いまだに学校や里親になじめず, 心を開こうとしない。ひかりは, 亜矢が博多で働く母親との間に問題を抱えている事を知る。ひかり自身, あるわだかまりが解けないままに母親を亡くしていた。ひかりは亜矢の笑顔を取り戻すため奔走する。やがて, 笠原小学校の伝統である人形浄瑠璃の公演が迫ってきた。ひかりは, すれ違う母子の愛情を描いたこの人形浄瑠璃に取り組みすることで亜矢と母親を救おうとする。／作：羽原大介／音楽：榊原大／出演：前田亜季, 小澤征悦, 今田萌, 西田尚美, 津川雅彦ほか／福岡局

『第43回NHK福祉大相撲〜おたのしみ歌くらべ』

2.21/17:14~17:59

43回目を迎えた『福祉大相撲』は, 障害のある方やお年寄りへの福祉事業の一環として開催・放送され, 相撲ファンのみならず幅広い視聴者から親しまれている。番組では国技館の特設ステージで行われた人気力士と女性歌手による「おたのしみ歌くらべ」のもようを放送し, NHKの福祉事業への貢献を, 視聴者に向けて広くアピールした。2月11日両国国技館にて収録。／出演：豊ノ島, 安美錦, 嘉風, 鶴竜, 三保ヶ関親方, 秋元順子, 小林幸子, 長山洋子, 水森かおり, モーニング娘。／司会：山田康弘アナ／演奏：ザ・サウンドメイカーズ／エンターテインメント番組部, NEP

『平成21年度 NHKのど自慢チャンピオン大会』

G・R1 3.6/19:30~20:59

BS2 3.14/10:00~11:29

09年度に実施した『NHKのど自慢』のチャンピオン47組から15組を厳選, NHKホールから生放送でグランドチャンピオンを決定した。／審査員：弦哲也, 中尾彬, 真矢みき, 水木れいじ, 森公美子, 湯川れい子, 近藤保博エンターテインメント番組部長／司会：徳田章アナ／グランドチャ

ンピオン「契り」(ホベルト・カザノバさん), 優秀賞「home」(大場一一さん), 「命船」(山田裕美さん)／エンターテインメント番組部

『龍馬を愛した女たち〜ヒロインたちの龍馬伝』

G 3.6/21:15~21:58

HV(先行放送) 3.6/18:00~18:43

幕末の風雲児・坂本龍馬。龍馬が成長し, 偉業を成していくプロセスには多くの女性がいた。大河ドラマ『龍馬伝』の中にも数々のヒロインが登場する。番組では広末涼子さん, 貫地谷しほりさんの「女性」対談を軸に, 撮影に奮闘する2人のドキュメントを紹介する。また, 新しく龍馬の妻「お龍」役として, 撮影に入る真木よう子さんが, 龍馬とお龍のゆかりの地である鹿児島県霧島市高千穂峰を登山する様子をドキュメントする。ヒロインたちの奮闘や素顔を通して, 龍馬を愛した女性が何を感じ, どのような魅力的な力を持っていたかに迫った。／出演：福山雅治, 広末涼子, 貫地谷しほり, 真木よう子, 蒼井優ほか／ナレーション：要潤／ドラマ番組部

『バンクーバー・パラリンピック 世界に挑む日本代表』

G 3.7/15:05~15:59

E 3.7/22:00~22:54

冬の障害者スポーツの祭典, バンクーバー・パラリンピック。活躍が期待される日本代表選手を中心に, その見どころをたっぷり伝えた。／文化・福祉番組部

『ふるさとの食 につぼんの食〜大集合!わたしの自慢のお弁当』

3.13/10:05~11:52

NHK食料プロジェクトの特集番組。テーマは日本が誇る食文化として注目されている「お弁当」。東京・渋谷のNHK放送センター前でのイベント「ふるさとの食につぼんの食 全国フェスティバル」と連動しながら, お弁当の持つパワーをさまざまな角度から生放送で楽しく伝えた。スタジオにはお弁当作りの達人が集合, すばやくできるお弁当作りの技やキャラ弁の裏技を紹介した。／司会：井上あさひアナ, 永島敏行／出演：早見優, 奥村彪生, 宮澤真理ほか／生活・食料番組部

『まいど238号〜日本放送作家協会主催 第33回創作テレビドラマ大賞最優秀作品』

3.20/21:00~21:43

20歳の引きこもり青年・文也が, 大好きな祖母・ツネが余命3か月のガンと聞いて, 発明家である祖父・謙吉の手助けで, 介護ロボット238号

となり、認知症の祖母の介護に挑んでいく。引きこもり青年の心の扉を開けようと頑張る家族と、友人たちのハートウォーミングな物語を大阪を舞台に描いた。／作：辻本昌平／音楽：榊原大／出演：津川雅彦、辻本祐樹、まつこ、岩本多代、逢坂じゅん、田岡美也子、吉田羊、石井光三ほか／制作局（委託管理）、NEP

『第16回 家族で選ぶにっぽんの歌』

3.22/19:30～20:43

NHKの番組モニターに協力していただいている視聴者約500家族に「あなたの元気がでる歌は」「家族の姿が思い浮かぶ歌は」などのアンケートを実施し、時代を越えて家族で楽しめる名曲の数々を華やかなステージ演出で紹介した。今回で16回目。／司会：伊東四朗、柴田理恵、中山優馬／出演：秋川雅史、秋元順子、石川ひとみ、五木ひろし、岡本敦郎、坂本冬美、ジェロ、FUNKY MONKEY BABYS、前川清&クール・ファイブ、真琴つばさ、山本潤子、山本リンダ、YOU&優馬／エンターテインメント番組部

『放送記念日特集～激震マスメディア～テレビ・新聞の未来』

3.22/22:00～23:28

テレビや新聞を取り巻く状況が激変する中、今後のマスメディアやジャーナリズムのあり方を問い直した討論番組。メディア先進国アメリカが直面するマスメディアの危機的現状や、日本のテレビ・新聞の模索の最新状況もリポート。さらには、ツイッターやメールで寄せられた視聴者の声を積極的に取り入れて放送した。／大型企画開発センター、社会番組部、Gメディア

『チャレンジド～総集編』

3.23～25/20:00～20:43

10～11月に放送した『土曜ドラマ～チャレンジド』を再編集して3夜連続で放送。主人公の塙啓一郎（佐々木蔵之介）は熱血教師だったが、病気のため失明。天職と思っていた教師の道をあきらめられず、リハビリを行って教壇に復帰。持ち前のひたむきな姿勢と、たゆみない努力で、生徒たちに人を愛することの大切さ、生きることの尊さを教えていく。人生の再挑戦を図る教師と、さまざまな問題を抱える思春期の生徒たちとの心の交流を描いたドラマ。／作：渡邊睦月／音楽：小西香葉、近藤由紀夫／出演：佐々木蔵之介、富田靖子、村川絵梨、夏八木勲、西郷輝彦、朝加真由美、田中実、川平慈英ほか／ドラマ番組部、NEP、ケイファクトリー

『外事警察スペシャル～89分リミックス版』

3.24/22:00～23:29

09年11～12月に放送された『土曜ドラマ～外事警察』のダイジェスト版。再放送を希望する反響に応え、全6回の内容を89分に凝縮しスペシャル版として放送。ストーリーを大幅に再構成し、国際テロに立ち向かう「外事警察」の世界をスピード感豊かに描いたサスペンスドラマ。／原案：麻生幾／脚本：古沢良太／音楽：梅林茂／出演：渡部篤郎、石田ゆり子、尾野真千子、片岡礼子、北見敏之、滝藤賢一、渋谷清彦、山本浩司、二階堂智、遊井亮子、嶋田久作、升毅、遠藤憲一、余貴美子、石橋凌ほか／ドラマ番組部、NEP

『難問解決！ご近所の底力 最終回スペシャル～悩んだ！動いた！日本が変わった！』

3.26/19:30～20:43

「ご近所からニッポンを変えよう！」を合言葉に03年から7年間続いた番組の集大成。当初は誰も知らなかった、蛍光色ジャンパー着用の住民パトロールが日常の風景となるなど、「地域のことは地域住民で」という意識は全国に浸透し、大きな足跡を残した。最終回スペシャルでは、地域を変えた数々の例を基に、本気になった地域住民のパワーを改めて紹介するとともに、これまで番組が蓄積してきたノウハウを大公開。「どうすれば地域をまとめ、活性化できるのか」というご近所共通の悩みに答えた。／出演：和田アキ子、清水圭、松居直美、松本和也アナ／生活・食料番組部

『春うた2010』

3.27/21:00～22:28

卒業・就職など、出会いと別れの季節である春に、平成生まれのヒット曲・名曲で旅立つ人へエールを贈る音楽番組。紹介した各曲にまつわるエピソードをドキュメントとして織り込み、また、桜の下でのダイナミックな中継などの趣向を凝らした演出を施した。男女13～19歳の視聴率が6%を記録し、若年層の支持を得、接触者率アップに貢献した。NHKのスタジオ101をキーベースにした生放送。／中継：八王子市、名古屋市ほか／出演：aiko、アンジェラ・アキ、いきものがかり、AKB48、北乃きい、SPEED、徳永英明、FUNKY MONKEY BABYS、水樹奈々、レミオロメン／司会：北乃きい、青井実アナ／エンターテインメント番組部

教育テレビ

教育：定時番組

『ITホワイトボックス』 新

E 木 23:30~23:54

Ⓜ日 14:00~14:24

BS2 (後期) 土 5:00~ 5:24

第1回09.4.2/インターネットやEメール、携帯電話など、身の回りにあふれるIT(情報技術)のメカニズムを解き明かし、その中に込められたコンセプトに迫ることで、ITをブラックボックスからホワイトボックスにする。/司会：森下千里、高市佳明アナ/ゲスト：IT専門家/ナレーション：宮本愛子アナ/科学・環境番組部，NED

『あさだ！からだ！』 新

月～金 7:35～ 7:40

第1回09.3.30，最終回10.3.26/子どもたちが体を動かす楽しみを知り、遊びながら身体感覚を高めてゆくきっかけを提供するミニ番組。子どもが実際にやってみたくなるような「体を使った遊び」や「体操」などのコーナーなどで構成。/制作局(委託管理)，NED

『アジア語楽紀行』

火～木 0:55～ 1:00

Ⓜ金～日 6:25～ 6:30

第1回05.4.5/アジア各国の観光地で撮影，旅行に役立つフレーズを毎回1つずつ覚える12回のミニシリーズ。観光に役立つ情報や，それぞれの地域文化も紹介。09年はタイ語，トルコ語，ネパール語，ベトナム語，マレー語，ヒンディー語を再放送で紹介。/テキスト発行/制作局(委託管理)，NED

『あしたをつかめ～平成若者仕事図鑑』

E 火 23:30～23:55

Ⓜ金 19:35～20:00

BS2 水 16:00～16:24

第1回04.4.5/社会へ出ることを考え始めた10～20代の若者に，さまざまなジャンルの仕事で実際に働く若い人々の姿を紹介し，その仕事の現実や魅力について考えてもらう“仕事ガイダンス番組”。09年度はアクション俳優，救急救命医，すし職人，家電販売員など39職種を紹介。過去6年間で233職種を紹介した。地方局参加番組。/ナレーション：緑川光/青少年・教育番組部

『アニメ あずきちゃん・選』

土 9:25～ 9:50

第1回96.7.6(Ⓜ第1回10.1.16，最終回10.3.27) /「ETV50もう一度見たい教育テレビ リクエスト」で多くの支持を集めたアニメを第1シリーズ全39話の中から11話セレクトして放送。野山あずきは小学生の女の子。みんなからは「あずき」と呼ばれている。5年生になった4月，同じクラスに小笠原勇之助という男の子が転校してきた。出会ったその瞬間から，勇之助のことを考えると，なんだかドキドキしてしまうあずき。これって，もしかして…恋！？/監督：小島正幸/アニメーション制作：マッドハウス/ソフト開発センター，NEP，SV

『アニメ エレメントハンター』 新

土 18:00～18:25

第1回09.7.4，最終回10.3.27/元素消失！未来は僕らに託された…地球の危機を救うため，子どもたちによる“エレメントハンター”が結成され，人類の存亡をかけてネガアースへ元素回収に向かった！/アニメーション制作：NEP，HEEWON ENTERTAINMENT/製作：エレメントハンター製作委員会/ソフト開発センター

『アニメ おさるのジョージ』

土 8:00～ 8:24

第1回08.4.5/世界中で半世紀にわたって，親から子へと親しまれてきた人気絵本「ひとまねこざる」「おさるのジョージ」(マーガレット&H.A.レイ原作)を基に製作されたテレビアニメ。黄色い帽子のおじさんといっしょに暮らす，こざるのジョージが好奇心から毎回騒動を引き起こす。/制作：NBCユニバーサル/ソフト開発センター，NEP

『アニメ おじゃる丸』

E 月～金 18:00～18:10

Ⓜ日 17:50～18:00

HV 火～金 19:50～20:00

第1回98.10.5/千年前の世界からやって来た妖精貴族の子ども「おじゃる丸」と，現代の子どもたちや町の人々との触れ合いを通じて，日常生活を見つめ直す，ほんわかとした雰囲気のあるアニメ。未就学児童から大人まで楽しめるギャグも盛りばめた。/原案：犬丸りん/監督：大地丙太郎/ソフト開発センター，NEP

『アニメ 今日からマ王！3』

土 9:25～ 9:50

第1回08.4.3，最終回09.2.19(BS2)，(Ⓜ第1回09.4.11，最終回10.1.9) /異世界へと流され，

魔王に任命された有利^{ユウリ}は持ち前の前向きな姿勢で、魔王として成長していく。第3シリーズでは、世界各国が平和への道を歩み始めている中、小シマロンの少年王・サラレギーが有利と接触する。喬林知原作の小説をアニメ化した第3シリーズの再放送。全39回。／監督：西村純二／アニメーション制作：スタジオディーン／ソフト開発センター，SV

『アニメ 獣の奏者エリン』

土 18:25～18:50

㊥土 23:00～23:25

第1回09.1.10，最終回09.12.26／上橋菜穂子のファンタジー小説「獣の奏者」をアニメ化。獣の医師師だった母を失った少女エリンが、さまざまな人に出会い、助けられながら成長する姿を描く。翼を持つ巨大な獣「王獣」を操る術を身に付けたエリンは、王国の存亡にかかわる秘密に巻き込まれていく。全50話。／監督：浜名孝行／アニメーション制作：プロダクションI.G，トランス・アーツ／ソフト開発センター，NEP

『アニメ スポンジ・ボブ』

水 19:00～19:23

第1回07.7.1／09年度は4.1～6.24と12.30～10.3.24に放送／アメリカをはじめ世界中で人気のアニメシリーズ。海底都市ビキニタウンに住む黄色くて四角い海綿くん「スポンジ・ボブ」はバーガーショップ「カニカーニ」でのバイトが大好きで明るく楽観的。何事にも一生懸命な彼は、親友のヒトデのパトリックやバイト仲間のイカルドたちと、毎回楽しい騒動を巻き起こす。／制作：アメリカ・ニコロデオン／ソフト開発センター

『アニメ ぜんまいざむらい』

月～金 7:15～7:25

㊥月～金 17:30～17:40

第1回06.4.3／江戸が明治に変わることなく続いたパラレルワールド「からくり大江戸」を舞台に、「ぜんまいざむらい」が活躍する子ども向けアニメ。泥棒であった「ぜんまい」は事故で命を落とすが、「善行」を続けるという約束で神様に再び命を授かる。だんご剣を使って、ユーモラスにさまざまな事件を解決していく「ぜんまいざむらい」の活躍の物語。／監督：やすみ哲夫／制作局（委託管理），アニプレックス

『アニメ 忍たま乱太郎』

月～金 18:10～18:20

㊥土 17:50～18:00

第1回93.4.10／「忍たま」とは、忍者のタマゴのこと。先祖代々のヒラ忍者の家に生まれた乱太

郎は「忍術学園」に入学。戦国時代の忍者学校を舞台に、乱太郎や風変わりな同級生、変人ばかりの先生たち、くの一組や謎の天才忍者などが加わって、波乱万丈の学園生活を描くギャグシリーズ。／原作：尼子騷兵衛／総監督：芝山努／ソフト開発センター，SV

『アニメ 南の島の小さな飛行機 バーディー』

土 7:15～7:25

第1回06.4.8／南の島・パードパラダイスで働く新米小型遊覧飛行機「バーディー」の活躍を描く、3DCGアニメーション番組。／アニメーション制作：スタジオディーン／アニメーション監修：ジミー・ムラカミ／ソフト開発センター，SV

『アニメ メジャー 3，4』

土 9:00～9:25

第1回04.11.13／（第3シリーズ）第1回07.1.6，（㊥第1回09.4.11，最終回09.10.3）／（第4シリーズ）第1回08.1.5，（㊥第1回09.10.10，最終回10.4.10）／『アニメ メジャー』の過去のシリーズから、海堂高校をやめた吾郎が、野球部のない聖秀高校に編入するところから始まる第3シリーズ（全26話）、いよいよメジャーリーグに挑戦するため、吾郎がひとりアメリカへと海を渡ったところから始まる第4シリーズ（全26話）を再放送した。／ソフト開発センター，NEP，小学館プロダクション

『アニメ メジャー 5』

土 18:00～18:25

㊥水 19:00～19:25

第1回04.11.13／（第5シリーズ）第1回09.1.10，最終回09.6.27／週刊少年誌で連載されている人気漫画「MAJOR（メジャー）」（原作：満田拓也）をアニメ化。メジャーリーグ挑戦のため渡米した主人公・吾郎が、日本代表チームの一員としてWBCで世界を目指す第5シリーズ（全25話）後半を放送した。／ソフト開発センター，NEP，小学館集英社プロダクション

『アルフ』

月 19:00～19:24

第1回08.10.6／09年度は第25～72回までを放送／80年代に放送されたファミリーSFコメディ。アメリカのごく普通の4人家族が暮らす一軒家に、ある晩、宇宙船が落ちてきた。毛むくじゃらのぬいぐるみのような宇宙人アルフと一家のドタバタを描く。主な登場人物の吹き替えは、所ジョージと小松政夫。／ソフト開発センター

『ETV特集』

日 22:00～23:00 (23:30)

第1回04.4.10/04年の放送開始以来、現代に起きるさまざまな事象を、文化や歴史的なアプローチで、深い視点で読み解いてきた。09年度は日本と朝鮮半島の交流史を日韓双方の学術的成果から読み解く「シリーズ日本と朝鮮半島2000年」が高い評価を得た。「シリーズ戦争とラジオ」では現代史を、「死刑囚永山則夫」「裁判員へ」「いま憲法25条“生存権”を考える」「あるダム履歴書」などで貧困、裁判員制度や公共事業など社会的課題を取り上げ大きな反響を得た。「ピアニストの贈り物」「迷走 碁打ち・藤沢秀行という生き方」など文化芸術分野の番組にも多くの反響があった。／文化・福祉番組部

『囲碁の時間』

日 12:00～14:00

第1回60.7.9/総合『囲碁・将棋の勘どころ』としてスタート。62.4.2教育『趣味講座～囲碁』、81.4.12同『囲碁の時間』となる。／最初の20分間は現役の棋士を迎えた講座。後半100分は『第57回NHK杯テレビ囲碁トーナメント』を放送した。／上半期「あなたも囲碁仲間」講師：石倉昇、聞き手：高倉梢/下半期「厚みの戦略」講師：横田茂昭、聞き手：稲葉禄子/NHK杯優勝：結城聡九段/司会：万波奈穂/テキスト発行/制作局(委託管理), NED

『いないいないばあっ!』

月～金 8:15～ 8:30

㊥月～金 16:00～16:15

第1回96.10.7 (BS2, 96.4.1) / 0歳児から2歳児を対象に、赤ちゃんの感性に直接働きかける「映像」と「音」で構成した「乳幼児が初めて出会うテレビ番組」。スタジオではワンワン・ことちゃん・うーたんとその仲間たちが大活躍、そのほかアニメーションや体操など新しいコーナーが満載。また、親にとっては、乳児との遊び方を知る上で役立つ育児支援番組でもある。／出演：チョー、空閑琴美、間宮くるみ、ほか/制作局(委託管理), NED

『英語が伝わる! 100のツボ』

(後期) 月～木 23:00～23:10

㊥金・土 6:40～ 7:00 (2本ずつ)

第1回08.3.31/日常生活でよく聞くフレーズを取り上げ、豊かで繊細な日本語を英語に置き換える発想のツボを伝授する講座。100のフレーズを使いこなせる発想力を身に付けることを目指した。(08年度の再放送) / 講師：西蔭浩子(大正

大学教授) / 出演：優木まおみ、サイラス・望・セスナほか/テキスト発行/制作局(委託管理), NED

『えいごであそぼ』

月～金 7:50～ 8:00

㊥月～金 17:15～17:25

第1回90.4.2/『英語であそぼ』としてスタート。05.4.4改題。／未就学児を対象とした子ども英語バラエティー。番組キャラクターのケボ・モチとともに、英語の音・文字・意味でさまざまな遊びを繰り広げる。／出演：エリック、ジェニーほか/制作局(委託管理), NED

『えいごでしゃべらないとJr.』

金 10:15～10:30

(前期) ㊥月 19:25～19:40

第1回07.4.2/これから英語を学ぶ小学生を応援する番組。さまざまな方法で英語に挑戦する「えいごキッズ」、ポップソングで英語を学ぶ「ウェイクアップコール」、カタカナで英語を聞きとる「えんけれせ塾」などのコーナーで構成。／出演：小林克也/教師用テキスト発行/青少年・教育番組部

『えいごルーキー GABBY』 新

火 10:45～11:00

㊥金 10:45～11:00

(後期) ㊥月 19:25～19:40

第1回09.4.7/「総合的な学習の時間」に対応する小学校高学年向け英語番組。主人公であるロボットGABBYが、コメディードラマやクイズなどさまざまなコーナーで英語にチャレンジする。20の基本動詞を毎回ひとつずつテーマとして取り上げた。／出演：ジャスティン・ベルティほか/教師用テキスト発行/青少年・教育番組部

『NHK高校講座』

月～木 15:00～16:00

金 14:00～16:00

㊥火～金 1:10～ 2:40

第1回59.1.12/全国の通信制高校生の学習支援を目的に、13番組、年間40本(「数学基礎」「情報A」のみ隔週編成で年間20本)を計画的かつ継続的に放送、番組視聴によってスクーリング(面接指導)時数を減免できる番組として利用されている。その他の高校生の自宅学習や生涯学習の目的でも視聴されている。また、午前1時台の再放送は、通信制高校の前・後期2期制の後期入学生の学習に対応。毎年10月から始まり、本放送から半年遅れでその年度の番組を翌年夏までにすべて再放送している。本放送を見られない高校生や、教

師のビデオ録画等にも応える枠となっている。09年度制作は「日本史」「物理」「地学」「情報A」の4番組。一部制作は「地理」の1番組。再放送は「世界史」「数学基礎」「数学Ⅰ」「理科総合A・B」「化学」「生物」「英語Ⅰ」「家庭総合」の8番組。さらに、08年度より番組ホームページ上で始まった、番組インターネット配信の利用は年々飛躍的に増加、番組視聴回数は年間約1,255万回に上り、08年度の1.6倍と急増している。／09年度からテレビ全テキスト休刊／制作局（委託管理）、NED

『NHK手話ニュース』

月～金 13:00～13:05

土・日 19:55～20:00

第1回94.4.3／聴覚に障害のある人に、手話を使ってニュースと気象情報を簡潔に伝えている。手話と合わせて音声、字幕スーパーも放送し、主なニュースは映像も付けている。手話と字幕だけでニュースの内容が理解できることを基本に、わかりやすいニュースを目指している。5人の手話キャスターが交代で出演。／テレビニュース部

『NHK手話ニュース845』

月～金 20:45～21:00

第1回97.4.7／聴覚に障害のある人や、高齢化に伴って増えている難聴の人などを対象に、一日のニュースをまとめて伝えている。手話、音声、字幕、映像を組み合わせて制作している。また、難解なニュース項目には、手話によるキャスター解説を加え、聴覚障害者にわかりやすいニュースを目指している。キャスター10人のうち6人が聴覚障害者である。／テレビニュース部

『NHK短歌』

日 7:00～7:30

㊦木 5:05～5:35

第1回05.4.9／これまでと同様に、視聴者の投稿作品に対する選者の講評を中心に構成。古今の歌人みずからによる自作自詠コーナー「うたびとのことば」を新設。各界のゲストを招き、今野寿美、加藤治郎、東直子、米川千嘉子の4人の新選者が入選12首を紹介、添削指導した。／司会：内藤啓史アナ／テキスト発行／制作局（委託管理）、NED

『NHK俳句』

日 7:30～8:00

㊦水 5:05～5:35

第1回94.4.8／08年度と同様、視聴者の投稿を基に、4人の選者の個性を生かした「選」と「選評」を中心に構成。毎回ゲストを招き、VTRで

は俳人による自作自詠を紹介する「俳人のことば」を設けた。／新選者：西村和子、三村純也、高野ムツオ、片山由美子／司会：石井かおるアナ／テキスト発行／制作局（委託管理）、NED

『NHKみんなの手話』

日 19:00～19:25

㊦土 11:15～11:40

第1回90.4.2／初歩の手話を学ぶ人のための番組。聴覚障害者の講師がふだん使う自然な手話を紹介、健聴者の講師がポイントをわかりやすく解説する。聴覚障害者同士の生きた会話を毎回紹介。手話について理解を深めるコーナーも設けた。／文化・福祉番組部

『N響アワー』

日 21:00～22:00

第1回80.4.26／NHK交響楽団の定期公演を中心とした演奏を、音楽にまつわる話題とともに送る番組。09年度は池辺晋一郎さんから作曲家の西村朗さんに司会が交代し、岩槻里子アナウンサーとともに音楽の聴きどころをわかりやすく紹介した。番組の終わりにはクラシック音楽周辺的话题を短く紹介する「今宵もカプリッチョ」のコーナーを新設し、多様な視聴者層のための音楽鑑賞ガイドとした。／音楽・伝統芸能番組部

『エリンが挑戦！にほんごできます。』

金 0:30～0:50

㊦金 5:10～5:30

第1回06.10.6／日本に在住、または留学している外国人向けの初級日本語講座。日本にやってきた交換留学生・エリン（17歳）を主人公に、日本語でさまざまな場面に挑戦する学園ドラマ風スキットで、生きた日本語表現を身に付ける。（06年度の再放送）／監修：国際交流基金日本語国際センター／出演：豊田エリー、倉科カナ、石井めぐる、石黒英雄、夕輝壽太／ガイドブック発行／制作局（委託管理）、NED

『オーケストラの森』

第5日 21:00～22:00

第1回06.4.30／『N響アワー』枠の第5週日曜放送（5.31、8.30、11.29、1.31）を原則に、日本各地の名門オーケストラを紹介する音楽番組。山形交響楽団、京都市交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団の計4団体を紹介。／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『おかあさんといっしょ』

月～土 8:35～9:00

㊦月～金 16:20～16:45

㊦土 17:00～17:25

第1回59.10.5／2～4歳児を中心とした在宅児童を対象とした番組。低年齢児の知的、感覚的、身体的な発達を助けることをねらいとしたセグメント形式の幼児向けバラエティー。ぬいぐるみ人形劇や、お兄さん、お姉さんの歌のコーナー、そして幼児参加の「たいそう」のコーナーなどを中心に構成。09年度からは新しい人形劇「モノランモノラン」が登場。3人の子鬼たちが古道具たちの暮らす町・ものものランドで一人前の風神、水神、雷神になるべく修業をしながら暮らす物語。また09年度は、番組が50周年を迎えた記念として、夏・冬の枠内特集で歴代人形劇の紹介や歴代出演者等を招いたミニライブなどを放送した。／出演：横山だいすけ、三谷たくみ、小林よしひさ、いとうまゆ、ほか／制作局（委託管理）、NED

『おしゃれ工房』

E 月～水 11:30～11:55
 ㊤月～水 21:30～21:55
 BS2 ㊤土 2:45～4:00

第1回93.4.5／美容・健康・ファッション・手芸まで幅広いジャンルを網羅する女性向け総合番組。「暮らしもキレイも私らしく！」をキャッチフレーズに、手作りやライフスタイルの提案など、50～60代の女性が求める情報を発信する。／司会：高市佳明・山本美希アナ／テキスト発行／制作局（委託管理）、NED、NPN

『おはなしのくに』

火 9:00～9:15
 ㊤金 9:30～9:45

第1回90.4.2／小学1～3年生向け国語番組。日本や世界の名作を語り手が表情豊かに語る「語り聞かせ」の番組。美しい日本語に触れて、言語感覚と読書習慣をはぐくむことをねらう。／出演：菊池麻衣子、安達祐実ほか／教師用テキスト発行／青少年・教育番組部、NED

『カラフル！～世界の子どもたち』 新

木 19:40～19:55
 ㊤水 9:30～9:45
 ㊤金 9:45～10:00

第1回09.4.2／一般視聴および小学3～6年生「総合・道徳」向けの教育番組。さまざまな子どもの生活や、日常の中で感じる悩みを子ども自身の一人語りでドキュメントし、「人は一人で生きているのではないこと」「ひとりひとり違った考えがあり、そのどれもが尊いこと」を伝えた。／青少年・教育番組部

『きょうの健康』

E 月～金 20:30～20:45

㊤月～金 13:05～13:20

BS2 火 3:00～4:00

第1回67.4.3／医学の最新情報をわかりやすく伝える健康番組。専門の医師とともに、科学的な根拠に基づいた治療法や生活の中でできる予防法などを患者や家族の立場に立って伝え、長寿番組に対する信頼に応えてきた。金曜はその週のテーマについて、視聴者から寄せられた相談に回答。／テキスト発行／制作局（委託管理）、NED

『きょうの料理』

E 月～木 11:00～11:25
 ㊤火～金 21:00～21:25
 BS2 金 2:30～3:45

第1回57.11.4／日々の献立作りに役立つさまざまなレシピを、料理研究家や著名料理人などの講師が紹介。家庭で出来る安全・簡単な冷凍レシピや、おいしく体によい、免疫力UPレシピ、減塩レシピなど、時代に合わせた料理法を紹介するとともに、産地ならではの料理を紹介する「地元の味をいただきます」など、幅広く家庭料理の魅力を伝えた。／司会：後藤繁榮・江崎史恵・山本美希アナ／テキスト発行／制作局（委託管理）、NED、NPN

『きょうの料理ビギナーズ』

E 月～木 11:25～11:30
 ㊤月～木 21:25～21:30
 BS2 金 3:45～4:00

第1回07.4.2／『きょうの料理』放送50周年を記念に放送。料理の初心者向けにアニメーションのキャラクター・高木ハツ江さんが料理のコツを紹介。料理道具の使い方、買い置き野菜の有効活用、さまざまな食材の扱い方から、ごはん、パスタ、鍋物のバリエーションなど、ビギナーズでなくても役に立つノウハウを紹介する。幅広い視聴者の獲得を目指した。／ナレーション：佐久間レイ／テキスト発行／制作局（委託管理）、NED

『きらっといきる』

金 20:00～20:29
 ㊤金 13:20～13:49

第1回99.4.7／障害のある人を主人公に、その生き方や活動を紹介することで、障害のある人の社会参加や自立を応援する番組としてスタート。放送開始から10年、放送回数は400回を超えた。障害のある人自身、特に若い人たちにもっと見てもらいたいと、09年4月からは司会陣にラジオDJの山本シュウ氏、当事者として自立生活運動に携わる玉木幸則氏を新たに迎え、さらにパワーアップ。主人公の本音にぐっと迫るトークを展開

している。また、「視聴者とともにつくる番組」を目指し、視聴者から寄せられた悩みや疑問をきっかけにテーマを掘り下げる「おたよりスペシャル」を年4本制作した。07年度より解説放送を開始。／出演：山本シュウ、小林紀子、玉木幸則／大阪局

『クインテット』

月～金 7:25～7:35

土 8:25～8:35

㊞月～金 17:50～18:00

第1回03.4.7／子どもから大人まで楽しめる、パペットによるクラシック音楽バラエティー。形式は人形と人間の掛け合いによるトーク&音楽ショー。クラシックから唱歌、民謡まで幅広く取り上げ、パペットショーでありながら、サウンドを重視した演出を行った。／制作局(委託管理), NED

『クッキンアイドル アイ!マイ!まいん!』

新

月～金 17:40～17:50

第1回09.3.30／子どもたちにアニメと実写で楽しく料理の魅力を知ってもらふ番組。架空のテレビ局を舞台に、ひよんなことから料理番組の司会を務めることになった、主人公まいんが大活躍。歌と料理で子どもたちのクッキンアイドルとして成長していく。／出演：福原遥、どーよテル／制作局(委託管理), NED

『グラン・ジュテ～私が跳んだ日』 新

土 23:25～23:55

㊞土 12:00～12:30

第1回09.10.3, 最終回09.12.19／毎回, “今”輝いている女性の生き方を紹介する番組。「今のままでいいのか?」「自分の夢とは?」と自問しながら, 夢を実現させるまでの軌跡や, そのターニングポイント, さらに現実の壁を乗り越えた方法や心の持ち方などを丹念にたどる。同世代や少し下の世代の女性たちにとって, 人生の新たな一歩を踏み出すヒントを伝える。「グラン・ジュテ」はバレエ用語で「跳躍」の意味。／制作局(委託管理), NED

『芸術劇場』

金(第4週を除く) 22:30～0:45

第1回82.4.11／国内外の優れたステージ・アートを提供する番組。クラシック音楽(第1・3週), 演劇(第2週), 古典芸能(第5週)の構成。各週の情報コーナーでは芸術に関する最新の話題や公演, 旬のアーティスト・インタビューなどを多彩に編成した。公演コーナーではオペラ, バレエ,

オーケストラ, 室内楽, 演劇, 舞踊, 歌舞伎, 文楽など, 東西の一流ステージを柔軟に編成して紹介。／司会：磯野佑子・高橋美鈴・中川緑・黒崎めぐみアナ／音楽・伝統芸能番組部, NEP

『芸能花舞台』

木 14:00～14:44

㊞日 23:30～0:14

第1回88.4.8／日本舞踊や邦楽の名曲を, 人間国宝をはじめとする各流派の代表格の人たちや, 実力のある中堅若手の出演で紹介。人気のある歌舞伎俳優の舞踊や成長著しい若手舞踊家の舞台を紹介する一方, 故人となった名人たちの芸もNHKに残された貴重な映像を用いて, 「伝説の至芸」と題して紹介した。また, 演目の前後には, 鑑賞のガイドとなるさまざまな解説を行った。／司会：高橋美鈴アナ(前期), 葛西聖司アナ(後期), 中川緑アナ(大阪局), 橋本奈緒子アナ(名古屋局)／音楽・伝統芸能番組部, 大阪局, 名古屋局

『劇場への招待』

第4金 22:30～0:45

商業演劇・歌舞伎など広範囲にわたる良質なソフトを中継放送した。／主な放送：俳優祭, 明治座「眉山」, ヨーロッパ企画「ボス・イン・ザ・スカイ」, 「怪談 牡丹灯籠」, 文学座「定年ゴジラ」など10本／音楽・伝統芸能番組部, 大阪局, NEP, NPN

『コーパス100!で英会話』 新

月～木 23:00～23:10

㊞金・土 6:40～7:00(2本ずつ)

㊞火～金 12:30～12:40

第1回09.3.30, 最終回09.9.24／好評な「100語でスタート!」シリーズの後続番組。have, get, takeなど, 日常会話で重要な役割を果たす基本的な動詞のフレーズを, ネイティブスピーカーたちの使用頻度を基にランク付けして効率よく学べるよう設計した。／講師：投野由紀夫(東京外国語大学大学院准教授)／出演：福田萌, マシュー・まさる・パロンほか／テキスト発行／制作局(委託管理), NED

『ここが聞きたい!名医にQ』

土 20:00～20:59

㊞土 13:00～13:59

第1回08.4.5／病気や健康の悩みについて, 視聴者からメールやFAXで寄せられる疑問に, 複数の医師や専門家が, 模型やCGを駆使してわかりやすく答える番組。09年度は, 「更年期障害」「統合失調症」など, 相談しにくいテーマも積極

的に取り上げた。1つの症例に対して複数の医師がベスト治療法を議論する「マルチオピニオン」や、予防のための運動・料理を紹介するコーナーなどで構成。／制作局（委託管理）、NED

『こころの時代～宗教・人生』

日 5:00～6:00

㊥月 14:00～15:00

第1回82.4.11／さまざまな宗教が示す生きる指針や実際の人生の困難を乗り越えた人々の言葉を手がかりに、人間の心を深く見つめ直す。月1回、町田宗鳳（広島大学大学院教授）が「法然を語る」と題し、法然の教えの本質を解説した。／文化・福祉番組部

『ことばおじさんのナットク日本語塾』

月～金 13:55～14:00

第1回06.4.3／総合テレビ「気になることば」で蓄積した言葉に関するQ&Aを、梅津正樹アナウンサーがバーチャルスタジオでコンパクトに解説。間違いやすい表現や、微妙なニュアンスの違いについて、イラストなどを駆使し、わかりやすく解説した。09年度は30本を制作した。／アナウンス室

『こども手話ウイークリー』

日 19:45～19:55

第1回98.4.10／聴覚に障害のある子どもたちにニュースやさまざまな話題を伝えている。手話と字幕、映像を組み合わせ、耳の聞こえない子どもにわかりやすい番組作りを心がけている。子どもたちにニュースに関心を持ってもらうと同時に、身近な疑問を掘り起こして、わかりやすく伝えることを目指している。キャスターは聴覚障害者である。／出演：河合祐三子／テレビニュース部

『こどもにんぎょう劇場』

E 月 10:30～10:45

BS2 火 04:30～4:45

第1回90.4.5／4～6歳の子どもたちを対象に人形劇を通して豊かな感性と想像力を育てることがねらい。国内外の昔話や名作、それに現代の優れた創作童話から、人形劇の表現にふさわしいものを選んで制作・放送した。／制作局（委託管理）、NED

『コミ☆トレ』 新

月 9:45～10:00

㊥水 9:45～10:00

第1回09.4.6／人とうまく付き合うことが苦手な発達障害のある子ども向けの特別支援教育番組。主人公の中学1年生の男の子・しおんと小学6年生の妹・みくりが忍術修行の過程で、日常生

活のさまざまな課題にぶつかりながらも、コミュニケーションや社会生活のためのスキルを身に付けていく。／出演：興津正太郎，岸本華和，小森麻由，坂口あずさ，スコット・クロウ／声の出演：銀河万丈／大阪局

『サイエンスZERO』

E 土 22:00～22:35

㊥金 19:00～19:35

BS2 木 2:30～3:05

第1回03.4.9／最先端の科学技術と現代社会の関係を独自の視点で解き明かす科学情報番組。皆既日食にあわせて「太陽」の最新の研究や、ノーベル賞受賞の研究内容、また、「ミトコンドリア」や「DNA解読技術」など、細胞レベルで解明が進む生命科学の分野、さらには新型インフルエンザの最新情報など、幅広いテーマを取り上げた。バーチャルセットを駆使し、超微細なナノサイズから巨大な宇宙空間まで、あらゆるテーマをわかりやすく伝えた。／司会：山田賢治アナ，安めぐみ／科学・環境番組部

『佐野元春のザ・ソングライターズ』 新

E 土 23:25～23:54

㊥土 12:00～12:29

BS2 土 5:00～5:29

第1回09.7.4，最終回09.9.26／佐野元春がホストになって、毎回ソングライターをゲストに招聘。「詞」の世界にスポットを当て、創作の世界に迫っていく。立教大学の教室で公開講義の形で収録。ギャラクシー賞09年7月の月間賞を受賞。／ゲスト：小田和正，さだまさし，松本隆，スガシカオ，矢野顕子，Kj降谷建志／エンターテインメント番組部

『ざわざわ森のがんこちゃん』

月 9:00～9:15

㊥木 9:00～9:15

㊥土 7:45～8:00

第1回96.4.8／小学1～2年生向け道徳番組。「規格外」の新生児、恐竜のがんこちゃんと仲間たちが巻き起こす珍騒動やかっとうを通して、道徳的テーマを感じ取ってもらう。／脚本：末吉暁子／音楽：比呂公一／出演：あきやまなるな，野沢雅子ほか／青少年・教育番組部

『3か月トピック英会話』

水 23:10～23:30

㊥水 6:40～7:00

㊥水 12:40～13:00

第1回05.4.7／3か月ごとにテーマを定め多様な英語番組を展開するシリーズ。／4～6月「カ

リフォルニア縦断！シンプル会話術」講師：田中真紀子（神田外語大学准教授），出演：池端えみ，ビル・クラウリー／7～9月「体感！ニュー Yorkerの会話術」講師：浅田浩志，出演：金井紗智子，クリス・ドロス（08年度の再放送）／10～12月「ハートで話そう！マジカル英語塾」講師：大西泰斗（東洋学園大学教授），出演：ポール・クリス・マクベイ，あさりど／1～3月「話して聞きたる！ネイティブ発音塾」講師：斎藤兆史（東京大学大学院准教授），制作協力：イアン・ウィルソン，出演：根本はるみ，レイチェル・スミス（08年度の再放送）／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『Jブンガク』 新

火～金 0:25～0:30

㊞月～木 6:25～6:30

（後期）㊞火～金 12:30～12:40（2本ずつ）

第1回09.3.31／日本人が培ってきた独自の感性を「文学」の中から抽出し，英語で読み解く5分間のミニ番組。古典から現代文学までさまざまな名作を日本語と英語で深く味わい，ケータイ小説世代も楽しめるポップな日本文学案内を目指した。NHKエデュケーショナル，共同テレビジョンとの国内共同制作。／出演：ロバート・キャンベル（東京大学大学院教授），依布サラサ／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『しぜんとあそぼ』

木 10:30～10:45

第1回90.4.4／幼児向けの自然・環境番組。さまざまな生き物の表情や生態をじっくり見せていくことによって，自然界の営みの不思議さや，生命のすばらしさを身近に感じとってもらうのがねらい。09年度の新作は「うさぎ」「からす」など。／制作局（委託管理），NED

『視点・論点』

E 月～木 22:50～23:00

金 21:50～22:00

G ㊞火～土 4:20～4:30

第1回91.10.7／政治や経済から文化まで，さまざまなテーマを専門家や有識者がみずからの言葉で語るオピニオン番組。各界の第一人者だけでなく，新進気鋭の論者の発掘にも努めてきた。また，「介護問題」「太宰治生誕100年」「裁判員制度」「改正臓器移植法」「終戦特集」「鳩山政権」「普天間基地移設問題」「COP15」「阪神・淡路大震災15年」など同じテーマを複数の論者が語るシリーズにより，多角的な提言や主張を展開した。09年度は252本を制作。／解説委員室

『シャキーン！』

月～金 7:00～7:15

第1回08.3.31／登校前にシャキーン！と目覚め，楽しい一日のスタートを切ってもらうことを目指す番組。元気な不思議少女「あやめちゃん」と「ジュモクさん」「ネコッパチ」が，学校で話題にしたくなるようなトピックを紹介。「ものを見方を変えてみる」をテーマに，クイズや歌，アニメにコントなど，さまざまなコーナーで構成。／出演：小島あやめ，片桐仁，やついいちろう，ほか／制作局（委託管理），NED

『シャキーン！ザ・ナイト』 新

水 19:25～19:45

㊞日 0:25～0:45

第1回09.4.1／お目覚め番組『シャキーン！』が「先行蔵出し放送」として夜にも登場。朝の『シャキーン！』の月～木曜の本放送から，人気コーナーやベストセレクションを，前の週にいち早く放送した。また，独自のコーナー「アートコーナー」も盛り込んだ。／出演：片桐仁ほか／制作局（委託管理），NED

『週間手話ニュース』

土 11:40～12:00

第1回95.4.8／聴覚に障害のある人を対象に1週間のニュースをまとめて伝えている。単なるまとめだけでなく，日々のニュースで伝え切れなかったニュースの背景や，生活とのかかわりを，映像や手話による解説を使って時間をかけて伝えている。また，スポーツ，企画ニュース，トピックスなど幅広い話題を扱っている。キャスターは聴覚障害者2人のコンビ。／出演：赤堀仁美ほか／テレビニュース部

『出社が楽しい経済学』

土 23:25～23:54

㊞土 12:00～12:29

第1回10.1.9，最終回10.2.27／経済学の基本用語をドラマで学ぶ新感覚番組。経済学の知識が無い人たちにもすぐに役立つ考え方を紹介する。／出演：吉本佳生，劇団スーパー・エキセントリック・シアター／経済・社会情報番組部

『趣味の園芸』

日 8:30～8:55

㊞金 21:00～21:25

第1回67.4.8／花と緑を楽しみ，育てる喜びを伝える園芸ハウツー番組。草花，花木，観葉植物，盆栽など，植物全般にわたって栽培のヒントを紹介，初心者からベテランまで楽しめるようくふうした。季節の花の楽しみ方や管理法を紹介するメ

インコーナーと、手軽におしゃれに植物を楽しむアイデアを紹介する「フルール」の2コーナーで構成。／司会：山田香織／フルールナビゲーター：多岐川華子、牧田哲也／テキスト発行／制作局（委託管理）、NED、NPN

『趣味の園芸ビギナーズ』

日 8:25～ 8:30

㊥金 22:25～22:30

第1回08.4.6／園芸初心者に植物の育て方の基本を伝えるミニ番組。水やりや植え替え、せん定など季節の作業のハウツーや、良く使う園芸用語の解説も行う。／テキスト発行／制作局（委託管理）、NED

『趣味の園芸 やさいの時間』

日 8:00～ 8:25

㊥金 21:25～21:50

第1回08.4.4／1年を通じて、季節ごとにできる野菜作りを楽しく伝える趣味実用番組。大人気のトマトやナスからピーマンやレタス、ホウレンソウなど多彩な野菜の栽培方法を案内。露地を使っておしゃれに栽培を楽しむ「ベジタブルガーデン」や鉢で育てる「ベジコン（ベジタブルコンテナ）」など、幅広く野菜栽培の魅力を伝えた。／司会：亀井薫／講師：藤田智／ゲスト：西城秀樹／テキスト発行／制作局（委託管理）、NED

『趣味悠々』

月～木 22:00～22:25

㊥月～木 12:00～12:25

第1回59.1.16（『技能講座』81.4.6、『趣味講座』91.4.2、『趣味百科』97.4.7、改題）／人生をより豊かに過ごしたいという中高年を対象にした生活提案型の趣味講座。水墨画や植物画などの美術系や、インターネットやデジタルカメラを扱ったIT系、ピアノやリコーダーなどの音楽系のほか、ヨガ、登山、4コマ漫画、骨董、動物画、茶の湯など多彩なジャンルを扱った。／テキスト発行／制作局（委託管理）、京都局、NED、NPN

『将棋の時間』

日 10:00～12:00a

第1回60.7.9／総合『囲碁・将棋の勘どころ』としてスタート。62.4.4教育『趣味講座～将棋』、81.4.12同『将棋の時間』となる。／10時から20分間は現役の棋士を迎えた講座。後半100分は『第59回NHK杯テレビ将棋トーナメント』を放送した。／上半期「受けのテクニク教えます」講師：橋本崇載、聞き手：中村桃子／下半期「すぐわかる現代将棋」講師：先崎学、聞き手：北尾まどか／NHK杯優勝：羽生善治名人／司会：矢内

理絵子／テキスト発行／制作局（委託管理）、NED

『知る楽』

月～木 22:25～22:50

㊥月～木 5:35～ 6:00

第1回05.4.4／『知るを楽しむ』としてスタート。09.3.30改題。／幅広い知的好奇心に応える肩の凝らない教養番組。

『探究この世界』 新月

第1回09.3.30、最終回10.3.22／森羅万象のひとつひとつに必ずいる専門家や、各分野で大きな業績をあげた人が自分をとりこにした世界の魅力を語る。各シリーズ2か月（8回）。／制作局（委託管理）、NED

『歴史は眠らない』 新火

第1回09.3.31／「あらゆる事象は歴史軸でとらえてこそ本質が見えてくる」をコンセプトに、現代日本が抱える諸問題を歴史的に読み解く。気鋭の専門家がテーマゆかりの現場を訪ねながら、史実の背景と意味を探究する。各シリーズ1か月（4回）。／文化・福祉番組部、京都局

『こだわり人物伝』 新水

第1回09.4.1／近現代のカリスマ的人物（故人）について、時代を共有した戦友もしくは影響を受けたファンが、「正伝」とは一味違う人物伝を語る。意外な語り手も見どころの1つ。各シリーズ1か月（4回）。／文化・福祉番組部、京都局ほか、NED、NPN

『仕事学のすすめ』 新木

第1回09.4.2／20代から40代の第一線のビジネスパーソンに向けて、仕事の達人がその方法と哲学を伝授する「ビジネス教養」番組。ビジネスの世界で求められる本物の知を提示する。各シリーズ1か月（4回）。／制作局（委託管理）、NED

『新・三銃士』 新

金 18:00～18:20

第1回09.10.12／ETV50周年企画。連続テレビ人形劇としては、14年ぶりに制作された。アレクサンドル・デュマの名著「三銃士」を三谷幸喜が脚色。第1部と第2部からなる全40話。人形劇のスケールを超えたセット、緻密で温かみのある人形や小道具に加えて、豪華なキャストと練り込まれた演出や撮影手法が話題を呼んだ。無鉄砲だがまっすぐな心を持つ主人公ダルタニアンがパリの街に出て伝説の三銃士と出会い、さまざまな困難を経ながら立派な銃士へと成長する姿を描いた。／キャラクターデザイン：井上文太／音楽：スパニッシュ・コネクション、エンディングテーマ：

「一人じゃない」平井堅／人形製作・操演：スタジオ・ノーヴァ／語り：田中裕二（爆笑問題）／声優：池松壮亮，江原正士，貫地谷しほり，瀬戸カトリーヌ，高木渉，戸田恵子，山寺宏一，西田敏行，太田光（爆笑問題）／公式ガイドブック，DVD発行／青少年・教育番組部

『すイエんサー』 新

火 19:25～19:55

④土 10:00～10:30

第1回09.3.31／日常生活の中で抱く，ちょっとした“素朴なギモン”や“気になる思い”に，司会のお笑いコンビ・品川庄司と，大島麻衣さんの3人と，リポーター役のアイドルグループ・AKB48が体当たりで挑み，自分たちの力だけで紐解いていく番組。視聴者といっしょに，徹底的に考え，答えを探り出す過程を楽しむ。科学アニメ「マリー&ガリー」などのコーナーも設け，「ゆるーい雰囲気の中で，しっかり伝える」ことを目指した。／制作局（委託管理），NED

『スーパーピアノレッスン』

『スーパーバレエレッスン』

金 12:00～12:25

世界の一流アーティストによるピアノの超一流技術の伝授が見どころの上級者向けレッスン番組。09年度は，08年度の「巨匠ピレシュのワークショップ」の再放送のほか，新シリーズとして「ロイヤル・バレエの精華 吉田都」（講師：吉田都，8.28～11.27，全14回），「トルコ 情熱の巨匠 フセイン・セルメット」（講師：フセイン・セルメット，12.4～3.19，全15回）を放送。／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『すくすく子育て』

土 21:00～21:29

④金 11:30～11:59

第1回03.4.11／育児ビギナーのパパ・ママに基本的な育児情報を提供する番組。0～3歳児の親を対象に「どうつきあう？アトピー」「もりもり食べる3つのツボ」「赤ちゃんと図書館へGO！」「ナイスパパの必殺技」など多彩なテーマを楽しく伝える。／制作局（委託管理），NED

『スタイルアップ』 新

木 11:30～11:55

④木 21:30～21:55

第1回09.4.2／世界のカリスマアドバイザーが，日々の生活のスタイルアップのお手伝いをする，海外ライフスタイル番組。「ティム・ガンのファッションチェック」「毎日がイタリアン」「パーフェクトな妻たち」「ミス・ホワンのお手軽チャイ

ニーズ」を放送し，主婦層の人気を得た。／ソフト開発センター，NEP

『ストレッチマン2』

火 9:45～10:00

④木 9:45～10:00

第1回02.4.9 最終回10.3.9／養護学校小学部や小学校の障害児学級で学ぶ知的障害のある子どもたちが，遊びやストレッチなどを通して活動の世界を広げ，自発性を培うことをねらいとしている特別支援教育番組。なお，09年度で『ストレッチマン2』は終了し，10年度より『ストレッチマン・ハイパー』となる。／出演：宇仁菅真，村崎真彩，白宰栄，水谷優希／大阪局

『住まい自分流』 新

月～木 12:25～12:30

④月～木 23:55～0:00

第1回09.3.30／“住”がテーマの生活実用番組。従来の『住まい自分流～DIY入門』を刷新し，自分の手で暮らしやすい住まいにするための実用ハウツーや家を个性的に彩るアイデアを紹介する5分番組として新たにスタート。家の修繕，収納，掃除，防災対策などニーズの高いテーマに加え，地デジ化対策や車の補修など多彩なテーマで放送。毎月末には突然起きる住まいのトラブルを簡単に解決する「とっさのDIY」を紹介。また，視聴者から公募する作品コンテスト「住まい自分流DIY大賞」を3年連続で開催し，千葉・幕張メッセから特番を公開生放送した。／出演：各ジャンルの専門家講師／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『住まい自分流アルファ』 新

日 6:40～7:00

第1回09.4.5／『住まい自分流』1週分の内容を再構成した20分番組。進行役タレントが登場し暮らしに役立つノウハウを紹介した。／出演：パンチ佐藤，小野真弓，各ジャンルの専門家講師／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『青春リアル』 新

E 土 22:35～23:00

④水 23:30～23:55

BS2 木 3:05～3:30

第1回09.4.4／社会状況が目まぐるしく変化する中，「今」を生きる10～20代は何を感じ，どんな葛藤を抱えているのか。番組ウェブサイトを通じて，互いの悩みや疑問を語り合い，自分や社会と向き合う日々を描いた。／青少年・教育番組部

『地球ドラマチック』

木 19:00～19:40

第1回04.4.8／恐竜が暮らしていた時代へタイムスリップする科学ドラマ「プレヒストリックパーク」や、精密なCGで太陽系の惑星をひとつひとつ巡る「プラネットツアーズ」、活気のない町に合唱団を作り住民の絆を強めた「町中みんな合唱団」など、子どもから大人まで楽しめる良質なドキュメンタリーを放送。ドラマチックな地球各地の表情を生き生きと伝えた。／ソフト開発センター，NEP

『中学生日記』

土 19:15～19:44

㊥土 12:30～12:59

第1回72.4.9 (G) / “中学生に直接役に立つ”ことを制作の基本とした。4月は、新入生応援シリーズとして、ドラマとトークを3本放送。教育現場で問題になっている「中1ギャップ」にスポットを当て、新入生の不安に応えた。夏には、全国からドラマの主演を募集する「全国オーディション」の第2回目を実施。耳の不自由な女子中学生が主役の「少年は天の音を聴く」は、聴覚障害者向けに全編字幕を付けて再放送した。秋には、トーク「いじめ・電話で救いたい」を放送。文部科学省等による“24時間いじめ相談ダイヤル”を取り上げ、いじめで悩んでいる子どもに“今すぐ役に立つ”情報を提示した。一般公募した出演生徒“日記生”222人への徹底取材に基づくテーマ設定と、日記生の個性を生かしたシナリオ作りという基本姿勢は09年度も踏襲。中2病、草食系男子、マイケルジャクソンブーム、授業妨害など、時代に寄り添ったドラマとトークを数多く制作した。／名古屋屋

『つくってあそぼ』

火 10:30～10:45

㊥土 7:30～ 7:45

第1回90.4.2／牛乳パックや段ボールなど身近な素材を使って造形活動を展開する番組。工作上手なお兄さんのワクワクさん（久保田雅人）とクマのゴロリが、くふうを重ねながら仕事を完成させることで、子どもたちの表現意欲を掘り起こす。09年度の新作は「かざぐるま」「あきかんゲーム」など。／構成：長崎武昭／音楽：福田和禾子、井川雅幸／造形：ヒダオサム、石崎友紀／制作局（委託管理），NEP

『つくってワクワク』

月～水 16:45～16:50

第1回99.4.5／15分の『つくってあそぼ』をマルチユースした5分のミニ番組。遊べるおもちゃを作ることを主眼に置いている。／制作局（委託

管理），NEP

『伝える極意』

木 10:45～11:00

第1回08.4.8／小学5～6年生の子どもたちに、「自分の考えを、相手に伝わるように伝える力」を付ける番組。表現力が乏しくコミュニケーション能力に欠けると指摘される現代の子どもたちに、文章、話し方、映像などの表現手法の心得、“極意”を伝える。番組では、「伝える」ことに挑戦する子どもたちと、彼らを導く表現の達人たちの姿を通して、さまざまな伝える手法の特徴や活用方法をわかりやすく紹介した。／語り：小山菜美／青少年・教育番組部，NEP

『てれび絵本』

月～金 7:45～ 7:50

第1回03.4.7／子どもたちが愛する童話・絵本の世界を、創造性豊かな原画と音楽、ユニークな読み手で紹介し、「読み聞かせ」の持つ魅力をあらためて伝えていく番組。原作の魅力に加え、現在にふさわしいアニメやCGサンプリング手法を演出に加味。また、シリーズ「えほん寄席」では、「死神」（落語：柳家さん喬，絵：水木しげる）、「蜘蛛駕籠」（落語：柳家権太楼，絵：しりあがり寿）などを放送。／制作局（委託管理），NEP

『テレビスポーツ教室』

日 14:30～15:00

第1回61.4.8／陸上や体操、トライアスロンからヨットまで、さまざまなスポーツの基礎から高度な戦術まで映像で詳しく伝えた。逆立ちが苦手な子どもたちのために「逆立ちで培う運動の基礎」なども放送。日本を代表する指導者や選手が出演し、最新のトレーニング法や一流の技術を伝授。小学生から中高年まで幅広いスポーツ愛好家の要望に対応している。／スポーツ業務監理室，Gメディア

『テレビ体操』

E 月～日 6:30～ 6:40

G 月～金 14:55～15:00

第1回57.10.7／朝は「みんなの体操」と「ラジオ体操」（第1か第2）を行うほかにストレッチや用具を使った体操も織り交ぜながら10分間の放送。午後は5分間で「みんなの体操」を中心に、火曜は「ラジオ体操第1」、木曜は「リズム系の体操」も紹介。番組では常に高齢の方々も楽しめるよう、いすに座ったままでも出来る「ラジオ体操」と「みんなの体操」も実践。／体操指導：長野信一，多胡肇，西川佳克，岡本美佳／ピアノ伴奏：幅しげみ，名川太郎，加藤由美子／解説本，

DVD発行／スポーツ業務監理室，Gメディア

『テレビでアラビア語』

(前期) 水 0:30～ 0:55

(前期) ㊥土 5:35～ 6:00

(後期) 金 5:35～ 6:00

第1回04.10.4 (『アラビア語会話』08.10.1改題)／カタールのテレビ局「アルジャジーラ・チルドレンズ・チャンネル」との共同制作。カタールの首都ドーハとモロッコのマラケシュでのロケVTRを基に、実践的な会話とともに、アラビア文字の書き方や文法をしっかりと学ぶ講座を再放送した(08年度の再放送)。／講師：木下宗篤(東京外国語大学講師)／出演：宍戸開，エバ・ハッサン，リーム・アフマドほか／テキスト発行／制作局(委託管理)，NED

『テレビでイタリア語』

火 0:30～ 0:55

㊥金 6:00～ 6:25

第1回90.4.8 (『イタリア語会話』08.4.1改題)／4～6月は知られざるウンブリア州の魅力をもつVTR構成で紹介する語学珍道中。豊かな自然や文化を通してイタリア語の世界へ誘った。／7～9月は「ヴォカボリ宮殿」クイズショー形式でボキャブラリー力を高めることを目指した。また、回答を寄せた視聴者の中から抽選で番組特製CDをプレゼントした。／講師：鈴木マリア・アルフォンサ(東京大学講師)／出演：マッテオ・インゼオ，ルカ・チェッカテッリ，アリーチェ・スィニョレツリ／10～3月は「素顔のヴェネツィア・宇宙言語研究所」(08年の再構成)。／講師：京藤好男(慶応義塾大学講師)／出演：モニカ・ブレッサリア，ジャコモ・ジェルバズツェイ，ダニエラ・トラモンターノ，レオナルド・ベヌッチ，ルカ・チェッカテッリ，マッテオ・インゼオ，青山草太，大佐藤崇／テキスト発行／制作局(委託管理)，NED

『テレビでスペイン語』

金 0:00～ 0:25

㊥火 6:00～ 6:25

第1回67.4.4 (『スペイン語会話』08.4.3改題)／前期は「魅惑のスペインを旅しよう！」街全体が世界遺産というトレドとスペインの魅力がぎっしりつまったアンダルシア地方が舞台。穴場スポットを紹介しながら、旅を楽しむためのとっておきのフレーズを紹介した。／講師：粕谷てる子(千葉商科大学講師)／出演：伊礼彼方，マリア・ゴメス，エドゥアルド・モレノ／後期は「味なスペイン」(07年度の再構成)。／講師：粕谷て

る子／出演：関根麻里，ミゲルアンヘル・イバニェス，ペゴーニャ・ビジャマリン，マリア・ドローレス・マルティネス，ホルヘ・ディアス，ウリエル・ロドリゲス，ドロズ石本／テキスト発行／制作局(委託管理)，NED

『テレビで中国語』

火 0:00～ 0:25

㊥水 6:00～ 6:25

㊥日 0:50～ 1:15

第1回67.4.3 (『中国語会話』08.3.31改題)／年間を通して「実感！伝えるヨロコビ」がテーマ。10年の上海万博に向けて活気あふれる上海をローラ・チャンがレポート。地元の人々の声を伝えた。また、表現の丸暗記+文法の整理という2つのアプローチから発音・コミュニケーションの基礎を徹底的にマスターすることを目指した。／講師：荒川清秀(愛知大学教授)／出演：ローラ・チャン／生徒役：北陽(お笑いタレント)／テキスト発行／制作局(委託管理)，NED

『テレビでドイツ語』

木 0:30～ 0:55

㊥月 6:00～ 6:25

第1回59.10.5 (『ドイツ語会話』08.4.3改題)／前期は「ベルリン再発見！」ベルリンの壁崩壊から20年を経たベルリンの今を見ながら、旅行に役立つ便利なフレーズを紹介した。／講師：矢羽々崇(独協大学教授)／出演：LIZA，フランク・リースナー，マライ・メントライン，ユリアーネ・マッカーティー／後期はロマンチック街道を自転車で巡る旅スキットを基に、旅行での会話に役立つ表現を繰り返し覚えるシリーズ(08年の再放送)。／講師：矢羽々崇／出演：石井正則，ユリアーネ・マッカーティー，夏目ナオキ，児玉清ほか／テキスト発行／制作局(委託管理)，NED

『テレビでハングル講座』

水 0:00～ 0:25

㊥木 6:00～ 6:25

㊥月 12:30～12:55

第1回84.4.1 (『アンニョンハシムニカ～ハングル講座』08.4.1改題)／韓流スター，ソ・ドヨンやオ・ジホ，ソウルで活躍する歌手グループ・トロットナイトキングらが出演するドラマ仕立てのスキットを基に楽しくハングルを学ぶ講座。単語力を鍛えるほか、韓国俳優のインタビューやK-POPの情報から“生きたハングル”を伝えた。／講師：チョ・ヒチョル(東海大学教授)／出演：ヨンア，コン・テユ／生徒役：増田英彦(ますだおかだ)／スキット出演：コ・ユソン(前期)，

塩田貞治（後期）／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『テレビでフランス語』

木 0:00～ 0:25
 ㊥土 6:00～ 6:25

第1回59.10.3（『フランス語会話』08.4.2改題）
 ／前期は「あなたにとって仕事とは？」「美しいと思う愛の告白の言葉は？」“人生と言葉”をテーマに、自分らしい仕事を選んだ人々や街を行き交うパリの人々へのインタビューのほか、フランスの流行事情などをレポートした。／講師：（4～9月）北村亜矢子（上智大学非常勤講師），クリステル・ル・カルヴェ（慶應義塾大学講師），（7月）桑瀬章二郎（立教大学准教授），（8～9月）三浦篤（東京大学教授）／出演：ロランス・ニコラ，ミゲル・クインタナ，クリステル・ル・カルヴェ，ジェシー・ルーセル，マリー＝ピエール・リコ，セドリック・リヴォー，髭男爵，三井シシル／後期は08年の再放送。／講師：佐藤康（学習院大学講師），北村亜矢子／出演：沢井美優，ヴァンソン・ジリほか／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『テレビでロシア語』

（後期）水 0:30～ 0:55
 ㊥土 5:35～ 6:00

第1回73.4.7／（『ロシア語会話』09.9.30改題）
 ／「シベリア4都市紀行」と題し、ウラジオストク・ハバロフスク・ヤクーツク・イルクーツクの各地の今を伝えるレポートを通してロシアの奥深い文化の一端を紹介。「シベリア旅行社」という設定のスタジオでは、基本的なフレーズを学んだ。「ジーマといっしょにサバイバル単語」のコーナーでは、覚えておくと役に立つ単語をコンパクトに伝えた。／講師：沼野恭子（東京外国語大学大学院教授）／出演：セルゲイ・ポノマリョフ，ナターリヤ・ダヴィドワ，ドミトリー・デムチェンコ／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『天才てれびくんMAX』

月～木 18:20～18:54

第1回03.4.7／小・中学生の子どもたちに夢や希望を贈る番組。番組レギュラーの子どもたち「てれび戦士」が、ドラマ・ゲーム・音楽・お笑い・スポーツ・自然体験など、さまざまな分野に挑戦した。CGによるバーチャルセットを中心にロケも交え、多彩な演出手法で構成。／出演：照英，西山茉希，にしおかすみこ，ハリセンボン，あべこうじ，杉浦太陽ほか／青少年・教育番組部

『天才てれびくんMAXビットワールド』

金 18:20～18:54

第1回07.4.6／子どもたちの自由な発想とアイデアを、サイバー空間上の世界「ビットワールド」で繰り広げられる冒険とともに紹介する参加型番組。子どもたちが考えた想像上の生き物「ビーボ」を驚きのCG映像で再現，それらが起こす事件を解決していく。また年間4回行った生放送では視聴者が番組ホームページ上のゲームなどを通して番組展開に参加。放送当日だけで数百万のアクセスを記録するなど大きな反響を呼んだ。／出演：いとうせいこう，金子貴俊，升野英知ほか／青少年・教育番組部

『10min.ボックス』

火～土 1:00～ 1:10

第1回97.4.8／中学校，高校の授業で利用しやすい10分サイズの番組。各教科20回を4～9月の前期，10～3月の後期に分けて編成した。09年度の新作は，「日本史」20本（火），「情報・メディア」5本（火），「職業ガイダンス」10本（土），「生活指導」5本（土），「理科」15本（木・金）。／青少年・教育番組部，NED

『道徳ドキュメント』

水 10:45～11:00

第1回06.4.12／小学5～6年生向けの道徳番組。結論の出しにくい現実社会の問題をドキュメンタリー形式で描き，「キミならどうする？」「人生はチャレンジだ」「人とつながる」という3つのシリーズで構成。社会の問題を教室で考えてもらうことを目指した。／出演：石井正則，高山みなみ，ほか／教師用テキスト発行／青少年・教育番組部

『ど～する？地球のあした』

水 10:15～10:30

第1回07.4.2／地球の未来のため，子どもたちが自分で考え行動することを応援する，小学校高学年向け環境教育番組。落語家・林家たい平のナビゲーションで，地球温暖化・ゴミ・生態系・食の安全などの環境問題を紹介。アニメキャラクター“こたい平一家”とともに，日々の暮らしと地球環境とのかかわりについて考える。／出演：林家たい平／ナレーション：駒村多恵／教師用テキスト発行／青少年・教育番組部

『時々迷々』 新

水 10:00～10:15

㊥金 10:00～10:15

第1回09.4.8／誰の心の中にもある迷う気持ちをドラマ形式で描く，小学校中学年向け道徳番組。

俳優・片桐はいりが扮する神出鬼没のキャラクター『時々迷々』が、主人公の前に現れ、時に子どもたちを悪い行動へと誘惑し、時にいさめる。87年から22年間放送してきた『さわやか3組』の後継番組。／出演：片桐はいり／教師用テキスト発行／青少年・教育番組部

『とっさの中国語』

土 19:45～19:50

Ⓜ金 0:50～0:55

Ⓜ土 5:30～5:35

第1回07.4.2／07年の再放送。旅先で役立つフレーズを紹介する、5分サイズのミニ番組。北京の人たちと会話しながら、実用的な表現を学ぶ全25回シリーズ。／出演：陳淑梅、谷原章介、盧思、福原愛／ガイドブック発行／制作局（委託管理）、NED

『突然！サバイバル』 新

火 19:00～19:23

第1回09.9.29／09年度は第1～26回を放送。／ロサンゼルスの高校生たちが太平洋でのエコキャンプに向かっていて。しかし乗っていた小型旅客機が悪天候のために無人島と思われる孤島に不時着。突然、サバイバル生活を送ることになった彼らの冒険を描くアメリカドラマ。全30回。／ソフト開発センター

『となりの子育て』

土 21:30～21:59

Ⓜ金 11:00～11:29

第1回08.4.5（『土曜親じかん』09.4.4改題）／小学生を中心にした子育て中の親を支援する番組。子育て中のタレントや、各テーマに沿った専門家をスタジオに招き、最先端の情報を伝え、VTRをきっかけにしたトークを繰り広げた。子育てで日々直面するさまざまなテーマに親がどうかかわっていけばよいのか、具体的なノウハウをバリエーション豊かに紹介した。毎月最終週は「育てた人にきいてみる」と題して、著名人の親の子育てをインタビュー形式で紹介。／出演：藤井隆（タレント）、高野優（育児まんが家）、平田オリザ（演出家・劇作家）、浅野温子（女優）／制作局（委託管理）、NED

『トラッドジャパン』 新

火 23:10～23:30

Ⓜ火 6:40～7:00, 12:40～13:00

第1回09.3.31／すし・着物・東京タワーなど、身の回りにある“美しい日本”を外国人に英語で説明する時に役立つ表現の数々を学ぶ新しい英語番組。英語学習を通して、知っているようで知ら

ない日本を再発見してもらうことを目指した。NHKのアーカイブス映像を活用し、美しい映像に明解なイギリス英語のナレーションを乗せた。国際放送番組『Begin Japanology』と連携することで、低コストで高品質な番組を実現した。／講師：江口裕之／出演：ステュウット・ヴァーナム・アットキン／テキスト発行／制作局（委託管理）、NED

『トラッドジャパン・ミニ』 新

土 23:55～0:00

Ⓜ金 12:40～12:45

第1回09.4.4／『トラッドジャパン』のエッセンスを5分間にまとめたミニ番組。／声の出演：青山優子、ステュウット・ヴァーナム・アットキン／制作局（委託管理）、NED

『日曜美術館』

日 9:00～10:00

Ⓜ日 20:00～21:00

第1回76.4.11（97.4.6～09.3.22は『新日曜美術館』）、09.4.5改題／古典から現代アートまで美術の魅力をダイナミックに伝える番組。09年度は、司会者やセット、テーマ音楽をリニューアルした。「本編」（45分）では毎回1つのテーマを掘り下げ、わかりやすく深みのある美術鑑賞を目指した。美術作品の紹介だけでなく、作家の人生や作品に込めた思いに深く迫るVTR部分と、多彩なゲストによるトークによって展開するスタジオ部分が構成。時には展覧会場でも収録、作品を間近にした臨場感ある演出も試みた。「アートシーン」（15分）では、今、開かれている展覧会情報や美術界の最新の情報を紹介した。／司会：姜尚中（政治学者）、中條誠子アナ／制作局（委託管理）、NED

『日曜フォーラム』

日 18:00～19:00

第1回07.4.15、最終回10.3.21／環境、医療、教育、街づくりなど、暮らしに密接にかかわる話題から、食料問題や国際社会のありようまで、その道の第一人者や現場で実践している人、有識者などがじっくり、深く議論した。公共放送ならではの真摯で実直な討論番組として、全国各地で開催されたシンポジウムの録画を核に構成した番組。／ソフト開発センター、NEP、NED、Gメディア

『にほんごであそぼ』

月～金 8:00～8:10

Ⓜ月～金 17:05～17:15

第1回03.4.7／4歳から小学校低学年の子どもと親を対象に、日本語の豊かな表現に慣れ親しみ、

楽しく遊びながら「日本語感覚」を身に付けてもらう番組。新たに歌舞伎も加え、伝統芸能の手法もさまざま取り入れている。／制作局(委託管理), NED

『日本とことん見聞録』

火 10:00～10:15

第1回03.4.7／小学5年生向け社会科番組。日本の国土や産業を“とことん”見つめ、日本の社会の成り立ちに興味を持てるように構成した。09年度は、シリーズ全20本のうち10本が新作。／ナレーション：昌子洋子／教師用テキスト発行／青少年・教育番組部, NED

『日本の伝統芸能』

水 14:00～14:30

㊥火 5:05～ 5:35

第1回90.4.7／代表的な伝統芸能について、初心者にも興味深く鑑賞できるよう、わかりやすく紹介する番組。歌舞伎、能・狂言、文楽の3分野計13本を放送。各分野の第一人者が講師役を務め、歌舞伎は市川團十郎、能・狂言は野村四郎・茂山千之丞、文楽は豊竹咲大夫・鶴澤燕三・吉田玉女。副音声で外国人のための英語解説も行った。／司会：高橋美鈴アナ／テキスト発行／音楽・伝統芸能番組部

『日本の話芸』

E 火 14:00～14:30

㊥月 5:05～ 5:35

G ㊥日 4:30～ 5:00

BS2 日 3:00～ 3:30

第1回91.4.5／落語・講談という「語り」を中心とした演芸の世界から、現代に生きる「語りべ」たちの至芸を30分間たっぷり味わってもらおう独演番組。6月、東京落語会600回記念公演が行われ、夏期に演目を集中編成するなどした。／出演：桂米丸、三遊亭圓歌、桂歌丸、鈴々舎馬風、柳家小三治、笑福亭鶴光、桂三枝、桂文珍、一龍齋貞水、宝井馬琴ほか／エンターテインメント番組部, 大阪局, NEP

『ニャンちゅうワールド放送局』

日 17:00～17:30

第1回05.4.10／人気キャラクター“ニャンちゅう”とおねえさんが世界中のおもしろ子ども番組や楽しいアニメを紹介。“ニャンちゅう”は、幼児ゾーンのアンコール・リクエスト放送を紹介するキャラクターとして『母と子のテレビタイム日曜版』(93.4.11～)、『あつまれ! わんパーク』(2000年度～)、『あつまれ! わんパーク土曜版』(02年度～)、『ニャンちゅうといっしょ』(03年

度～)に登場。05年度からは、海外の子どもソフトを紹介する番組となっている。／制作局(委託管理), NED

『ニュースで英会話』 新

木 6:40～ 7:00

㊥木 12:40～13:00, 23:10～23:30

第1回09.4.2／『リトル・チャロ』に続くクロスメディア企画第2弾。「英語ニュース」を中心に、テレビ・ラジオ・ワンセグ・ウェブを使ってさまざまな角度から時事性の高い実用的な英語を学べる仕組みとした。eラーニング機能を充実させた会員制のウェブサイト「ニュースで英会話オンライン」は会員数が3万人にも上り、月間ページビューも1,000万を超え、NHKサイトの中でも屈指のデジタルコンテンツとなった。／講師：鳥飼玖美子(立教大学大学院教授)、伊藤サム(英字新聞回担当・元ジャパントイムス編集局長)／出演：ジョセフ・ショールズ, ジェイソン・ハッチェル, 山内木の実／制作局(委託管理), NED

『ハートをつなごう』

(第4週)月～木 20:00～20:29

㊥月～木 13:20～13:49

第1回06.4.24／障害や心の悩みなど、さまざまな困難や悩みを抱える当事者をスタジオに招いて語り合う番組。4年目を迎えた09年度は、さまざまな障害がある人たちのクロストーク、みずからも悩んできた著名人たちが、お便りを寄せてくれた人々と語る「今夜はもっとつながりたい」、視聴者のビデオレターなど、これまでにない演出に取り組んだ。また、「LGBT」「依存症」に加え、「摂食障害」「性暴力被害」など新たなテーマも開拓。番組を中心としたコミュニティーをさらに広げた。番組のホームページ「NHK福祉ポータル ハートネット」では、掲示板を通じての視聴者どうしの議論も活発に行われている。／司会：桜井洋子アナ, 石田衣良, ソニン／文化・福祉番組部

『はろ～! あにまる』

E 土 9:50～10:00

HV 日 9:00～ 9:50

第1回08.4.7(HV)／世界のは乳類を毎回1種、10分ずつ紹介する。全240回の「連続TV図鑑」。HVでは5回分をまとめて放送。09年度は08年度HVで放送したものの再放送(第1回09.4.4)。／科学・環境番組部, ソフト開発センター, NEP

『ピタゴラスイッチ』

水 10:30～10:45

㊥土 7:00～ 7:15

㊥土 17:35～17:50

第1回02.4.9／4～6歳児を対象にした「考え方」を育てる番組。身近なことから、日常に隠れているさまざまな「ルール」を発見していくことで、個別の事象から抽出した「概念」へ認識を広げていく。教育的な目的としても、映像的表現としても、これまでにない新たな試みの番組だが、楽しみながら、いつのまにか「わかってしまう」ことを狙った。／制作局（委託管理）、NED

『ピタゴラスイッチミニ』

月～金 8:10～8:15

㊥月～金 17:25～17:30

第1回02.4.1／幼稚園・保育所向け番組『ピタゴラスイッチ』のマルチユース番組。セグメントで構成されている15分の『ピタゴラスイッチ』から、いくつかのコーナーを組み合わせて、5分に構成、「考え方」が身に付くようなエッセンスを提示。／制作局（委託管理）、NED

『美の壺』

E 金 22:00～22:25

㊥月 0:15～0:40

G ㊥土 5:15～5:40

HV 金 7:00～7:25

BS2 火 16:00～16:25

第1回06.4.7／放送開始後4年目に入り、ナビゲーターが谷啓さんから草刈正雄さんに交代した。番組のテーマとなるのは「くらしの中に根づく美」。「手ぬぐい」「滝」「香りの道具」など、日本人の暮らしにある身近で多彩なアイテムを取り上げ、その美の観賞法をいくつかの「ツボ」に分けてわかりやすく解説した。ジャズをBGMに使い、伝統的な美をしゃれた演出で紹介。これまでの和の美から一歩踏み出し、日本人の暮らしに馴染んだ西洋の美「木の椅子」「帽子」「洋食器」なども積極的に紹介した。10～11月には特別編として「鎌倉」の美を、3月には「金沢」の美を訪ねた。また、正月には総合テレビで「着物」をテーマにした特集を放送した。／ナビゲーター：草刈正雄／ナレーション：古野晶子アナ／制作局（委託管理）、NED

『ヒミツのちからんど』

土 18:50～19:15

㊥土 10:30～10:55

第1回08.4.5／バーチャルスタジオを使った異空間「ちからんど」で、学校ではなかなか身に付けることができない「ちから」の数々を、楽しみながら自分のものにできる番組。その道の達人であるゲスト「ちからマスター」が、「ちから」を

付けるための目からうろこの極意や神髄をわかりやすくていねいに子どもたちに教えた。エンターテインメントや音楽、アート、スポーツなどのテーマを中心に、子どもたちが「楽しむことのできる力、本質を知ることのできる力」を得ていく姿を描いた。／出演：ホリ、神奈月／制作局（委託管理）、青少年・教育番組部、音楽・伝統芸能番組部、NED

『日めくり万葉集』

E 月～金 5:00～5:05

日 6:00～6:25

HV 月～金 6:55～7:00

第1回08.1.7（HV）／HVで1年間放送した日めくり形式ミニ番組を教育テレビで再放送（第1回09.1.5）。さまざまな分野で活躍する、作家や歌人、研究者、俳優、音楽家などが選者となり、約4,500首にも及ぶ「万葉集」の歌の中から「一日一首」、それぞれ「わが心の万葉集」を選び、歌への熱い思いを語った。全240回。／語り：檀ふみ／テーマ曲：葉加瀬太郎／制作：アジア・コンテンツ・センター（予約購入）／ソフト開発センター

『ひょうたんからコトバ』 新

水 9:00～9:15

㊥金 9:00～9:15

第1回09.4.8／小学3～6年生向け国語番組。子どもたちが「豊かな言葉の使い手」になることを目指し、ことわざ・慣用語・故事成語などを取り上げ、これらの言葉の生まれた歴史や使い方を伝える。／出演：が～まるちよば／ナレーター：うえだゆうじ／教師用テキスト発行／青少年・教育番組部、NED

『福祉ネットワーク』

月～木 20:00～20:29

㊥月～木 13:20～13:49

第1回03.4.7／障害や心の悩み、介護など、さまざまな困難や悩みを抱えながらも日々を懸命に生きる人々の“しあわせ（福祉）”の実現を目指す総合情報番組。09年度は社会的関心が高い「介護保険」「障害者自立支援法」など制度を検証するシリーズを放送。また、公共放送キャンペーン「子どもサポートネット」の基幹番組として、親の悩み、虐待、孤立する子どもの実相、子どもたちの成長を社会で支えていくための仕組み作りなど、毎月1回2～3本のシリーズで考えた。また「自殺」に関して、失業者の増加、国の政策の動きなどともからめ、緊急提言として伝え、「命」の大切さを訴えるキャンペーンも展開。総合テレ

ビ『生活ほっとモーニング』『日本の、これから』『NHKスペシャル』や地域局などとも連動した。「NHKハート展」や「介護百人一首」なども制作。バンクーバーパラリンピックにかけるアスリートの思いも伝えた。「なるほど！なっとく介護」では、認知症やパーキンソン病の人たちの介護法を紹介。また、ジャズシンガー・綾戸智恵さんの介護体験を放送した。／キャスト：町永俊雄アナ／文化・福祉番組部

『プチプチ・アニメ』

月～金 8:30～ 8:35

㊥月～金 16:15～16:20

第1回94.4.4／セルアニメではなく、粘土、砂、立体など、さまざまな手法を用いて制作するアニメーション番組。才能ある若手アニメ作家を発掘し、数多くの受賞歴をもつ「ニヤッキ！」や、「ロボットパルタ」のように30話を超える人気作品から、布を使った「王さまものがたり」、ペーパーアニメの「鬼警アンパン」、また海外（メキシコ）のアニメーターによる「ケンとかいじゅう」など、新たな作品の制作に挑戦している。／制作局（委託管理）、NEP

『フルハウス』

火 19:00～19:24

第1回05.4.5，最終回09.9.1／09年度は第172～192回を放送／サンフランシスコのタナー家を舞台に、3人の男性が子育てに大奮闘する愛と笑いのホームコメディ。／ソフト開発センター

『まいにちスクスク』

月～木 19:55～20:00

㊥月～木 13:50～13:55

(アンコール) ㊥ 金 13:50～13:55

定時番組『すくすく子育て』のコンテンツをマルチユースした5分のミニ番組。／制作局（委託管理）、NED

『マテマティカ2』

木 10:00～10:15

第1回07.4.2／アニメーションを使って、算数を図工のように“手触りのあるもの”として教える番組。対象は小学4～6年生。子どもたちを公式や計算方法が直感的に理解できるように導いた。／監修：畑村洋太郎／声の出演：高戸靖広ほか／教師用テキスト発行／青少年・教育番組部

『まる得マガジン』

月～木 11:55～12:00

㊥月～木 21:55～22:00

第1回03.4.7／「スマートな食べ方の流儀」や「エコで楽しいリメイク術」などちょっと知って

おくだけで暮らしに役立つヒントが満載の5分間ミニ番組。／テキスト発行／制作局（委託管理）、NED、NPN

『〇〇の国の王子様』

E 土 23:25～23:55

BS2 土 5:00～ 5:30

第1回08.7.5（第2シリーズ第1回09.4.4，最終回09.6.27）／イケメンの王子様が超初心者のお姫にデート気分で趣味の手ほどきをしてくれる講座番組の第2シリーズ。かぶり物をかぶったキャラクターたちとレッスンをしたり、CGアニメを用いて王宮の内部を描くなど、従来の講座番組とは一線を画する雰囲気を作った。講師を務める王子役には、各界の第一線で活躍する若手の実力者たちを迎えた。姫を演じるのは柳原可奈子、姫のお付きの鳥ガマリアには、有吉弘行が扮し、アニメで登場する姫の友人・カナメール王子の声は、俳優の要潤が演じた。09年度はネイル、カレー、犬の飼育の3つの趣味についてわかりやすく教えた。／ソフト開発センター，東北新社

『みいつけた！』 新

月～金 9:15～ 9:30

㊥月～金 16:50～17:05

第1回09.3.30／4～5歳児向け教育的エンターテイメント番組。就学前の子どもたちが楽しめて、しかも、ゆるやかに発達を後押しできることを目指している。イスのキャラクター・コッシーと女の子・スイちゃん、そして、大きなサボテン・サボさんが大活躍しながら、子どもたちの新しい世界を広げていく。／制作局（委託管理）、NED

『見えるぞ！ニッポン』 新

火 9:30～ 9:45

㊥木 9:30～ 9:45

第1回09.4.7／新学習指導要領に対応した小学3～4年生向け社会科番組。物知り犬“チーズ”から与えられた謎に少年“みえる”が挑戦。自然、伝統・文化、産業などの視点から都道府県の姿を学ぶ。／声の出演：代永翼，釘宮理恵／ナレーター：村上由利子アナ／教師用テキスト発行／青少年・教育番組部

『見える歴史』

火 10:15～10:30

㊥月 19:40～19:55

第1回08.4.8／小学6年生向け社会科番組。歴史への理解と関心を深めるため、CGやドラマ映像を活用、今も残る歴史・伝統の跡を取材し、人物を中心に生きた人間の営みとして歴史を学べる番組。／声の出演：津川雅彦，緒形拳，ベッキー

／ナレーター：濱中博久アナ／教師用テキスト発行／青少年・教育番組部，NED

『マイクロワールド』

E 金 1:00～1:10
 HV 水 11:50～11:55
 ㊦金 17:50～17:55

第1回04.4.10／顕微鏡を使って拡大すると突然開ける意外な世界。ミクロの視点で初めて見えてくるさまざまな形，色彩，仕組み，秩序の世界を，ハイビジョン顕微鏡カメラの機能を駆使して，美しく鮮明な画像で描くミニ番組。教育テレビでは一度に2本ずつ放送。09年度の新作は10本。／青少年・教育番組部，NED

『ミニアニメ』

月～金 7:40～7:45
 土 7:25～7:30
 ㊦土 17:30～17:35
 日 17:30～17:35

第1回97.4.7／年間6タイトルを放送。「やさいのようせい」は，天野喜孝原作のアニメーション。ナレーションは原田知世。ニューヨークのとあるキッチンを舞台に，やさいの妖精たちが繰り広げる楽しい物語。各回5分・全26話のアニメーションを2シリーズ放送した。／制作局（委託管理），N，Y，SALAD製作委員会，NED

このほかに「うっかりベネロペ」「なぜ？どうして？がおがおぶーっ！」「ぼくチロ」「マノン」「ミッフィーとおともだち」を放送。／制作局（委託管理），NEP，MICOほか

『名曲アルバム選』

E 土 0:45～1:00
 HV 土 12:45～13:00

第1回85.4.14／『名曲アルバム』で放送した作品について，国，地方，風景，情緒，作曲家，季節などのテーマを設け，それぞれのテーマにふさわしい3本を選んで再構成した。／音楽・伝統芸能番組部

『めざせ！会社の星』

E 日 0:00～0:25
 ㊦月 23:30～23:55
 BS2 木 3:30～3:55

第1回08.4.5／若手ビジネスマンを主な対象としたビジネス情報番組。番組ロゴデザインのリニューアルをはじめ，「失敗しない！オフィスメイク術」「秘書に学べ！麗しの仕事術」など若い女性層を意識した番組も制作。3月と9月には，名古屋局のスタジオで公開収録を実施。夏のスペシャルでは「オンナ磨きオトコ磨きバスツアー」を

制作。さらに，大学生の就活を扱った拡大版や，北欧流ワークスタイルの紹介（前・後編），上司と部下が互いの本音を言い合う「激突！上司・部下 部下のホンネ編」など，ふだんの仕事術紹介以外にも，より多彩でエンターテインメント性を重視した企画を制作した。／司会：アンジャッシュ，橋本奈穂子アナ／ナレーション：DALE／名古屋局

『モリゾー・キッコロ 森へいこうよ！』

日 17:35～17:50
 ㊦日 11:00～11:15

第1回07.4.7／“自然との共存”をテーマに05年に開催された「愛・地球博」で大活躍した人気キャラクターのモリゾーとキッコロが，子どもたちと森に入り，さまざまな遊びを体験しながら自然の大切さを体感する。／制作局（委託管理），NED

『理科3年 ふしぎだいすき』

月 9:30～9:45

第1回05.4.5／小学3年生向け理科番組。いろいろなアニメキャラクターが登場し，自然のヒトコマを最新機材で撮影した科学映像を紹介した。ブロックごとの視聴もできるセグメント型番組。／教師用テキスト発行／青少年・教育番組部

『理科4年 ふしぎ大調査』

月 10:00～10:15

第1回05.4.5／小学4年生向け理科番組。アニメキャラクター「名探偵モンパン」が科学の力で事件を解決する様子を通して，問題解決能力を養う。ブロックごとの視聴もできるセグメント型番組。／教師用テキスト発行／青少年・教育番組部

『理科5年 ふしぎワールド』

月 10:15～10:30

第1回06.4.12／小学5年生向け理科番組。仮想空間「ふしぎワールド」で繰り上げられるクイズ番組形式。実験や現象を伝えるVTRから答えを導き出し，考える力を養う。ブロックごとの視聴もできるセグメント型番組。／教師用テキスト発行／青少年・教育番組部

『理科6年 ふしぎ情報局』

月 10:45～11:00

第1回06.4.12／小学6年生向け理科番組。物事を科学的に考え，理解することの大切さと楽しさを，説得力あるハイビジョン映像で伝えた。ブロックごとの視聴もできるセグメント型番組。／教師用テキスト発行／青少年・教育番組部

『リトル・チャロ』

水 19:45～19:50

㊥土 10:55~11:00

第1回08.4.2/ニューヨークで迷子になった子犬の大冒険アニメ。全50話を通して、テレビ、ラジオ、ウェブサイト、携帯、テキストなど、さまざまなメディアを組み合わせて、ネイティブの英語が学べる仕組みにした。NEDとの国内共同制作。(08年度の再放送) /出演：純名里沙ほか/制作局(委託管理), NED

『リトル・チャロ〜カラダにしみこむ英会話』

月 23:10~23:30

㊥月 6:40~ 7:00

第1回08.3.31/アニメ『リトル・チャロ』の物語に親しむうちに、ネイティブがよく使う表現を覚えたり、聞き取りのコツを学んだり、知らず知らず英会話が体に身に付く講座を目指した。

(08年度の再放送) /講師：佐藤良明(元東京大学教授) /出演：SHELLY, マイケル, 純名里沙ほか/テキスト発行/制作局(委託管理), NED

『ろうを生きる 難聴を生きる』

日 19:30~19:45

㊥金 12:45~13:00

第1回77.4.8/聴覚障害者のための情報や多様な分野で活躍する人々を紹介するとともに、聴こえない人が直面する課題をわかりやすく解説。健聴者にも広く見てもらい聴覚障害についての理解を深めてもらうことを目指した。/文化・福祉番組部

『ロシア語会話』

(前期) 金 5:35~ 6:00

第1回73.4.7, 最終回09.9.25/07年度の再放送。活況を見せるロシア経済の象徴・首都モスクワが舞台。ありきたりの海外旅行に飽きた若い女性層をターゲットに、旅行に役立つ言葉の学習と、文化情報を紹介。/講師：沼野恭子(東京外国語大学大学院教授) /出演：小林恵美, アナトーリ・クラスノフ, アナスタシヤ・ボルドウィレヴァ, ヴィクトル・ニジェリスコイほか/テキスト発行/制作局(委託管理), NED

『わかる国語 読み書きのツボ5・6年』

木 10:15~10:30

第1回06.4.12/読み書きの実践的な技術を身に付けることを主眼とした小学5~6年生向け国語番組。言語技術教育の知見を取り入れ、論理的かつ正確に物事を伝える能力を高めることがねらい。/出演：光浦靖子, パペットマペット, 徳田章アナ/青少年・教育番組部, NED

『わたしのきもち』

金 10:30~10:45

第1回04.4.8, 最終回10.3.19/他者と上手にかかわるコツ=スキルをドラマなどで表現し、人間関係を結ぶ楽しさを伝える。子どもたちが自己表現力や他者への配慮を身に付け、よりよい人間関係を築くことにつながることをねらいとしている。/制作局(委託管理), NED

『わたしのきもちミニ』

木・金 16:45~16:50

土 17:25~17:30

第1回05.4.7, 最終回10.3.27/15分の『わたしのきもち』をマルチユースした5分のミニ番組。/制作局(委託管理), NED

『ワンセグとくせん』 新

火~金 2:40~ 2:50

第1回09.3.31/美しい映像と音楽で一日の緊張を解きほぐす「ヒーリングTV」など、ワンセグ独自番組を教育テレビで紹介する。/編成センター

『ワンポイント介護』

土 19:50~19:55

第1回96.4.1/在宅介護のノウハウを伝える番組。本人と家族だけでも無理なくできる介護術をわかりやすく解説。介護する側, される側, お互いが楽に, 楽しく介護できる方法を紹介した。/文化・福祉番組部

『ワンポイント手話』

日 19:25~19:30

第1回96.4.1/簡単な手話をわかりやすく伝える番組。聴覚障害者との出会いの場でよく使われる手話を紹介。/文化・福祉番組部

教育：特集番組

『第37回ローザンヌ国際バレエ・コンクール』

4.26/15:00~17:00

新進バレエ・ダンサーの登竜門として国際的に権威のあるローザンヌ国際バレエ・コンクールのもようを、専門家の解説を交えて紹介した。/司会：磯野佑子アナ/解説：安達悦子(舞踊家)/音楽・伝統芸能番組部, NEP

『子どもサポートネット~親の悩み“どうすればよい?”編』

5. 2/21:00~22:59

子どもや子育てをする大人たちをどう支えられるかを考え続ける子どもサポートネット。子育てに悩む親から寄せられた声を掘り下げた。/文

化・福祉番組部

『ETV50 こどもの日スペシャル～もう一度見たい教育テレビ 第2弾』

5. 5 / 9:00～11:00

08年11月から始まった「もう一度見たい教育テレビ」リクエスト大募集の中間発表として、リクエストの多いキャラクターのベスト50を発表。「たいそうのおにいさん大集合」「おーい！はに丸くんの今」などのスペシャル企画、また、小学校2年生の社会科番組として大人気だった『はたらくおじさん』が新作で登場した。「渋谷DEども」NHK正面の会場からの中継を交えた生放送。／出演：城島茂、小島あやめ、チョー、砂川啓介、佐藤弘道ほか／司会：渡邊あゆみアナ／ソフト開発センター，NED

『おかあさんといっしょ ファミリーコンサート～NHKホール・2009春』

5. 6 / 9:00～10:00

4月から登場した新人形劇「モノランモノラン」のキャラクターたちが初めてコンサートに登場。お兄さん・お姉さんたちと楽しく過ごす中、「お天気自動販売機」を発見。販売機が暴走し、天気がめちゃくちゃに。「モノラン」の3人は、それぞれ会場の力を借り、雨を降らせたり風を吹かせたりして天気をもとに戻していく。初登場のキャラクターとお兄さん・お姉さんがおなじみの歌や踊りを展開する楽しいステージのもようの中継録画して放送した。／制作局（委託管理），NED

『第50回「科学技術映像祭」入賞作品から』

5.23 / 14:15～15:35

科学技術の普及と向上を目的に、毎年開催されている「科学技術映像祭」。09年は、76の出品作品から、全部門を通じての最優秀賞にあたる内閣総理大臣賞をはじめ、文部科学大臣賞6作品と部門優秀賞8作品が選ばれた。入賞作品の中から、内閣総理大臣賞を受賞した「黒い樹氷～自然からの警告」（企画・制作 アール・ケー・ビー毎日放送）と文部科学大臣賞を受賞した「日常にひそむ数理曲線」（企画：ベネッセ教育研究開発センター，慶応義塾大学佐藤雅彦研究室／製作：ユーフラテス）を放送した。／ソフト開発センター

『決定！こども将棋名人～第34回小学生将棋名人戦』

5.30 / 14:00～16:00

日本将棋連盟主催の「小学生将棋名人戦」は34回目を迎えた。女子の参加も増え、レベルの高い全国規模の大会である。渡辺明竜王，羽生善治名

人をはじめ、歴代の小学生名人で、プロ棋士となり活躍している人も多い。準決勝2局と決勝戦の対局を、大盤解説会と組み合わせて収録し伝えた。／解説：羽生善治NHK杯／聞き手：里見香奈，倉敷藤花／司会：永井伸一アナ／制作局（委託管理），NED

『Nコンマガジン ハモリ倶楽部』

6.27, 7.25, 8.29, 9.19 / 14:00～14:30

合唱に情熱を燃やす小・中・高校生向けの音楽バラエティー番組。部員が男子だけ・全校34人全員参加などユニークな合唱部の紹介や、合唱に関する悩み相談、息の長さを競うロングトーンバトルほかのマガジン形式で構成。NHK全国学校音楽コンクールの最新情報とともに、合唱の楽しさを伝えた。／出演：ゴリ，辻秀幸，藤井まどかアナほか／青少年・教育番組部

『栄光へのステップ～第30回日本インターナショナルダンス選手権』

E 7. 5 / 15:00～16:30

BS2 7.11 / 14:00～15:30

日本武道館で繰り広げられる社交ダンスの祭典，日本インターナショナルダンス選手権。専門家の解説を交え，プロによるスタンダードとラテンの2部門を中心に紹介。また，長く日本の社交ダンス界を支えてきた名ダンサーの引退記念演技も紹介した。／司会：山田賢治アナ／解説：和田恵（ダンサー），柳橋慎太郎（ダンサー）／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『モリゾー・キッコロ 森へいこうよ！夏のスペシャル～北海道・知床で森の神様に会っちゃった！』

7.19 / 17:00～17:44

モリゾー・キッコロがいつもの森を離れて，子どもたちと世界自然遺産「知床」にやって来た。人類による開発の手がほとんど入っていない知床の森で，子どもたちがあるのままの大自然との触れ合いに挑戦。自然観察・生きもの調査，森と共存するアイヌの暮らしを学ぶ姿を通して，命と命の不思議なつながりや環境に対する気づきの大切さを伝えた。／制作局（委託管理），NED

『天才てれびくんMAX プレゼンツ～ABUアジア子どもドラマシリーズ』

7.27～31 / 10:00～10:40

5年目を迎えた国際共同制作。08年制作の新作8作品と過去に放送した旧作2作品，合計10本のバラエティーに富んだアジアの子どもドラマを放送。09年度は『天才てれびくんMAX』と初めてコラボレーション。小・中学生の「てれび戦士」

が各国の文化や生活事情についてわかりやすく解説し、1日2本ずつドラマを紹介。／(月) モンゴル「できる?」・日本「図書館」／(火) 韓国「スケッチブック」・ブルネイ「おもいやり」／(水) 中国「スイーツをがまんして」・ブータン「ソナム君」／(木) 香港「ご近所さん」・モンゴル「通学路」／(金) マレーシア「誕生日の計画」・日本「ダイスケの悩み」／ドラマ番組部

『愛の劇場～男と女はトメラレナイ』

7.27～28/22:25～22:49

オペラの名作に描かれている男と女のさまざまな愛の形を紹介しながら、今の世の中に照らし合わせてスタジオトークを展開する、古典名作入門バラエティー。オペラのあらすじや登場人物のキャラクターを、現代の設定に置き換えたショートドラマを見ながら、オペラの恋物語を、そして現代の男と女の微妙な関係を本音トークで語った。／第1夜「カルメン」、第2夜「蝶々夫人」／出演：夏木マリ、YOU、マツコ・デラックス／音楽・伝統芸能番組部

『熱血体育会系! 歌舞伎部』

7.29/22:25～22:49

Ⓜ 8. 5/19:30～19:54

歌舞伎の基本動作や見得、衣装、立ち廻りなどを実際に体験、歌舞伎のおもしろさ、魅力を感じてもらおうバラエティー番組。歌舞伎を体育会系と位置づけ、歌舞伎俳優の市川右近が監督を務める「体育会系歌舞伎部」に、タレントの吉澤ひとみと、お笑いコンビのペナルティが新入部員として体験入部。今まで知らなかった歌舞伎の身体能力や衣装の重量などを体感しながら、頭で考えるのではなく、体でまるごと歌舞伎を楽しむ趣向。／出演：市川右近、吉澤ひとみ、ペナルティ、江崎史恵アナ／音楽・伝統芸能番組部

『真夏の夜のガールズトーク めっちゃ文楽』

7.30/22:25～22:49

Ⓜ 8. 6/19:30～19:54

文楽の不思議をガールズトークで語り倒す、ワイドショー的バラエティー番組。名作「義経千本桜」を中心に、物語や人形、義太夫の不思議にゆるく迫った。開発番組として制作。／出演：桐竹勘十郎(文楽人形遣い)、辛酸なめ子、今井りか、東海林のり子／音楽・伝統芸能番組部、NED

『ETV50 青春プレイバック～もう一度見たい教育テレビ 第3弾』

8. 2/22:00～ 0:00

『若い広場』『YOU』『土曜倶楽部』『真剣十代しゃべり場』そして現在の『青春リアル』まで、

“10代、20代の若者たちのメッセージを発信する”番組のお宝映像を交えながら、若者たちのその時代時代の生き方について語ると同時に今の若者たちへのメッセージを届けた。／出演：城島茂、いとうせいこう、椿姫彩菜、篠山紀信、所ジョージ、コシノヒロコほか／司会：渡邊あゆみアナ／ソフト開発センター、NED

『ケータイ親子の道しるべ』

8. 3/9:30～10:00

04年から放送してきた、ネット社会で生き抜く指針を提示するシリーズの第5弾。今回のテーマは「ケータイとの賢いつきあい方」。携帯電話を子どもに持たせる時のルール作りのポイントや、コミュニケーションツールとしての可能性を、ドラマと解説で示した。／青少年・教育番組部、NED

『ABU未来への航海 アジアの10代 フィリピン・サンゴ礁の旅』

8. 3～ 5/10:00～10:44

フィリピンでは世界有数のサンゴ礁が危機的状況に陥っている。人口の増加や観光開発による海の汚染、そして乱獲や爆薬漁などの違法漁業が原因である。09年3月、アジア7か国から10代の25人が集まり、さまざまな体験を通して環境問題について真剣に考え、仲間たちと語り合った。日本から参加した4人の10代がこの旅を通して成長していく姿を描いた。／ソフト開発センター、NED

『海外ドラマ アンネの日記』

8. 3～ 7/19:00～19:30

Ⓜ 9.19/14:30～17:00

世界的に有名な少女の日記を映像化したイギリスドラマ。全5話。／ソフト開発センター

『子どもサポートネット～“きずな”求めて』

8. 8/22:00～22:59

公共放送キャンペーン「子どもサポートネット」の関連番組。同キャンペーンのインターネット掲示板に寄せられた、虐待、貧困、家族の崩壊などで、行き場を無くした子どもたちの心の実相を描いた。／文化・福祉番組部

『ティーンズビデオ2009』

8.12～13/ 9:30～10:15

09年で56回目となった「NHK杯全国放送コンテスト」には、1,561校、1万4,016人が参加、テレビ部門には852本の作品が寄せられた。7月24日にNHKホールで開かれた決勝大会の様子と、「テレビドキュメント部門」「創作テレビドラマ部門」の入賞作品を2回シリーズで紹介した。／

出演：中谷日出解説委員、遠藤久美子／青少年・教育番組部

『LIFE 井上陽水 40年を語る 第一夜～第四夜』

8.24～27／23:00～23:54

09年に芸能活動40周年を迎えたシンガーソングライター・井上陽水の特集。4夜連続で放送した。これまでみずからの創作活動について多くを語らなかった井上陽水に、ロングインタビューを敢行。さらに、貴重なライブ・資料映像や関係者・著名人からのコメントなどを交え、バールに包まれた井上陽水の世界の深淵に迫った。／出演：井上陽水／ナレーション：宮沢りえ／エンターテインメント番組部

『決定！こども囲碁名人～第30回少年少女囲碁大会』

8.30／15:00～17:00

日本棋院主催、文化庁・NHK後援の少年少女囲碁大会・全国大会は第30回を迎えた。日本棋院（東京・市ヶ谷）での熱戦のようや、子どもたちの囲碁ブームを紹介しながら、小学生の部・中学生の部、それぞれの日本一を決める全国大会決勝戦の対局を中継録画した。／解説：溝上知親八段／聞き手：岡田結美子六段／司会：関口泰雅アナ／制作局（委託管理）、NED

『ETV50キャラクター大集合 とどけ！みんなの元気パワー～輝け！こども番組元気だ！大賞』

9.21／9:00～10:15

子どもたちに最も元気を与えた番組に与えられる「元気だ！大賞」。しかし、謎のマシーンたちのせいで会場は大混乱。教育テレビ50周年を記念して、人気キャラクターがNHKホールに大集合。歌に踊りに、夢のコラボレーションを繰り広げる。NHK大阪ホールでも公演あり。／参加番組：『おかあさんといっしょ』『いないいないばあ！』『つくってあそぼ』ほか14番組／制作局（委託管理）、NED

『ETV50～天才てれびくんMAX～Dreaming～時空をこえる希望の歌』

9.22／9:00～10:15

『天才てれびくんMAX』恒例の公開イベント。舞台は2009年の現在世界と、150年後の未来の世界。悪の支配者から自由に夢や希望を持つことが禁じられた未来の子どもたちからSOSを受け取った「てれび戦士」は、時空を越えて未来へ旅立つ。悪の支配者の狙いは、夢や希望を持たない従順な人間社会を作り、世界を支配しようというもの。

「てれび戦士」は、悪の支配者を倒し、夢と希望に満ちあふれた世界を取り戻すことができるのか？NHKホールでの公開収録時は1日2回公演を行い、満員の観客を集めた。またETV50周年を記念して、卒業戦士の参加に加え、神戸でも公演を行った。／青少年・教育番組部

『第63回全日本アマチュア将棋名人戦』

9.27／15:00～17:00

将棋ファンの熱い注目に支えられ、長い伝統を誇る全日本アマチュア将棋名人戦（日本将棋連盟・共同通信社主催、NHK後援）。前名人、支部名人、それに都道府県の予選を勝ち抜いたアマ強豪、計64人がアマ名人位を争う。大会3日目の決勝戦の対局を中継録画して放送した。／解説：片上大輔六段／聞き手：千葉涼子女流三段／司会：潤髄操司アナ／制作局（委託管理）、NED

『カウントダウン！ 新・三銃士』

10.5～9／18:00～18:20

⑩10.12／9:00～10:40

ETV50周年を記念して、連続テレビ人形劇としては14年ぶりに制作された『新・三銃士』の見どころを紹介した特別番組。ダイジェスト映像やメイキングシーンに加えて、過去のNHK人形劇や世界の人形劇なども紹介。第1回（10.5）：台湾の人形劇「聖石伝説」①、歴代のNHK人形劇、『新・三銃士』脚色の三谷幸喜インタビュー、第2回（10.6）：台湾の人形劇「聖石伝説」②、NHK人形劇「新八犬伝」（ゲスト：辻村寿三郎）、『新・三銃士』の人形制作秘話、第3回（10.7）：イタリアの伝統人形劇、歴代のNHK人形劇の音楽、『新・三銃士』テーマ音楽、第4回（10.8）：チェコの糸操り人形、NHK人形劇「三国志」、第5回（10.9）：飯田市の国際人形フェスティバル、歴代のNHK人形劇の声優、『新・三銃士』声優（ゲスト：池松壮亮、貫地谷しほり）／出演（第1回～第5回）：三谷幸喜、田中裕二（爆笑問題）、瀬戸カトリーヌ／青少年・教育番組部

『第76回NHK全国学校音楽コンクール』

(小) 10.10／14:00～17:00

(中) 10.11／14:00～17:00

(高) 10.12／14:00～17:00

全国8ブロックを勝ち抜いた小学校・中学校・高等学校の代表がNHKホールで課題曲・自由曲2曲の合唱を演奏し、金・銀・銅の入賞校が決定、その様子を生放送で伝えた。審査時間を利用して、合唱指導者による公開レッスン（小学校の部）、課題曲を作詞・作曲した3人組バンド・いきもの

がかりと生徒との交流（中学校の部）、クラス合唱選手権（高等学校の部）をスペシャルステージとして紹介した。／司会：山田賢治・藤井まどかアナ／ゲストコメンテーター：秋川雅史・大沢あかね（中）、大谷研二・バックンマックン（高）／青少年・教育番組部

『デジタルメディア時代の授業術』

10.18／16:00～16:44

デジタルテレビ、電子黒板、実物投影機などの機器が次々と学校現場に入ってきている。デジタルメディアの活用によって、より楽しくよりわかりやすい授業を実践している仙台、広島、松山の小学校と愛知県岡崎市の高校の取り組みをレポートした。「第60回放送教育研究会全国大会」関連番組。／青少年・教育番組部

『こどもたちへ 宮崎駿・養老孟司の対話』

10.24／16:00～16:50

「マンガばかりみてはダメ、現実に眼を向けろ」「自分の眼で夕焼けの美しさを知れ」。辛口でありながら愛情に満ちた熱いエールを子どもたち、若者たちへ送る、世界的な映画作家・宮崎駿さんと解剖学者にして無類の虫好き・養老孟司さん。「アニメ」と「虫眼」が語り合う対談に、アニメの制作現場や昆虫採集の様子などを交え、2人が現代日本に送るメッセージを伝えた。／ソフト開発センター、NEP

『ETV50 学ぶ冒険～もう一度見たい教育テレビ 第4弾』

10.25／9:00～9:44

多くの知の巨人たちの言葉を記録してきた教育テレビ。番組では、その中から、「学び」をテーマにした言葉を抽出するとともに、蜷川幸雄さん、養老孟司さん、瀬戸内寂聴さんの3人に、新たに「学ぶこと」について語ってもらった。／出演：城島茂、瀬戸内寂聴、養老孟司、蜷川幸雄／司会：渡邊あゆみアナ／ソフト開発センター、NEP

『第76回NHK全国学校音楽コンクール～全国コンクール ハイライト』

10.25／15:00～17:00

10月10日から12日までの3日間、NHKホールで行われたNHK全国学校音楽コンクール全国コンクールのもようを、全出場校の自由曲演奏を中心にダイジェストで伝えた。／青少年・教育番組部

『ETV50 美の贈り物～美術番組ベストセレクション』

10.30／22:25～23:40

ETV50年を記念して、これまで教育テレビで放送された2,000本的美術番組から取って置きの映像を一挙に紹介した。『日曜美術館』からは、手塚治虫、岡本太郎、武満徹ら第一級の芸術家が美と出会う喜びを赤裸々に語る貴重な映像や、赤塚不二夫の心優しい話も登場した。そのほか、美術通の山田五郎が世界のユニークな美術館の独自の楽しみ方を紹介したほか、珠玉の国宝の映像を若手尺八奏者・藤原道山の生演奏とともに堪能するなど、エンターテインメント的要素も盛り込んだ。／ゲスト：五木寛之（作家）、小澤征良（エッセイスト）／司会：山根基世、山田五郎（タレント）／制作局（委託管理）、NED

『生放送！ETV50学ぶ冒険～NHK教育フェア2009』

E 10.31／9:50～11:15, 13:00～17:00
G 10.31／12:40～12:45

放送センターで行われたNHK教育フェア2009のもようを5時間半にわたり生放送。人形劇『新・三銃士』をはじめ『えいごであそぼ』や『シャキーン!』など人気番組のショーを交えながら、50周年を迎えた教育テレビの魅力を紹介した。／出演：城島茂、チョー、増田英彦、髭男爵、森下千里、中條誠子・稲塚貴一アナ／青少年・教育番組部、NED

『子どもサポートネット～世界の“子ども支援”～日本はどうする？』

10.31／20:00～21:59

オランダやイギリスなど世界各国の「子ども政策」を基に、今、日本で求められる「理念」とあり方は何か、スタジオに子どもたちも招いて考えた。／文化・福祉番組部

『第36回日本賞授賞式～輝け！教育コンテンツ』

11. 1／21:00～22:00

36回目を迎えた「日本賞」。65の国と地域から324作品が応募。栄えある授賞式のもようを中継録画で伝え、ノミネート作品、世界の教育コンテンツのナンバーワンを紹介した。／司会：クリス・ペプラー、住吉美紀アナ／ゲスト：吉田兄弟／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『第36回日本賞受賞作品』

11.2／18:00～20:00

第36回を迎えた教育番組の国際コンクール「日本賞」には、世界65の国と地域から324の作品や企画の応募があった。番組では、「日本賞」の概要、各賞を受賞した6作品を吹き替えて紹介した。／青少年・教育番組部

『ABU未来への航海 アジアの10代からの環境メッセージ』

11. 3 / 9:00~10:00

09年10月、過去3回「ABU未来への航海」に参加したアジアの10代の代表17人が兵庫県豊岡市に集結、コウノトリの保護活動が続ける地元の人たちと交流しながら「ABU未来への航海」で学んだことを発表した。／ソフト開発センター・NED

『第35回将棋の日』

11.21 / 15:00~17:00

日本将棋連盟の創立記念事業として毎年行われる将棋のお祭り「将棋の日」。江戸時代将軍の前で対局した「御城将棋」の日を記念して、09年は兵庫県・加古川市にて開催された。将棋ファンとプロ棋士たちの交流の場として高い人気を集めているイベントのもようを、中継録画で伝えた。／出演：羽生善治NHK杯ほか／司会：潤穂操司アナ、鈴木環那女流初段／制作局（委託管理），NED

『おかあさんといっしょ ファミリーコンサート～NHKホール・2009秋』

11.23 / 9:00~10:00

お兄さんお姉さんたちのもとに「おかあさんといっしょランド」への招待状が届いた。不思議な遊園地には空に浮かぶメリーゴーラウンドがあり、木馬が回るたびに懐かしい歴代のお兄さんお姉さんたちが次々に登場…。歴代のお兄さんお姉さん、歴代のキャラクターたちが大集合し、半世紀の間に番組で生まれ世代を越えて親しまれてきた歌や体操、人形劇がいっぱいの、50周年ならではのスペシャルコンサートのもようを中継録画して放送した。／制作局（委託管理），NED

『ありがとう ノボさん～正岡子規の日本語改革』

11.29 / 7:00~ 7:59

日本が近代国家として生まれ変わろうとしていた明治時代、文学や言葉の世界で大改革を起こした人物がいる。愛媛・松山出身の正岡子規、通称ノボさんである。写生との出会い、日清戦争の従軍記者としての挫折、夏目漱石との俳句を通じた交流。並々ならぬ言葉へのこだわりや表現することへの強い思いなど、日本語に新しい風をもたらした子規の足跡を描いた。／松山局，NPN

『ETVワイド ともに生きる～もしもの時 どうしたらええねん!?～“障害者と災害”を考える』

12. 5 / 20:00~21:59

阪神・淡路大震災で、障害のある人たちは避難が遅れたり、危険を察知できないといった事態に陥った。その後も自然災害が起きるたびに障害者や高齢者の支援のあり方が問題になっている。震災から15年、あの日の教訓はどこまで生かされているのか。災害時、障害者にとって本当に必要な対策とは何か。VTR取材を基に、障害当事者や専門家がスタジオに集まり考える。／出演：山本シュウ、玉木幸則、小林紀子ほか／大阪局

『あすの音楽家たち 挑戦の記録～第78回日本音楽コンクール本選会』

12.12 / 15:00~17:00

新進音楽家の登竜門として権威と伝統のある日本音楽コンクール。その本選に向けてのファイナリストたちの動きと表情と想いを追ったドキュメンタリー。／音楽・伝統芸能番組部

『思い出の名演奏』

12.13 / 15:00~16:35

クラシックファンの要望に応え、過去に来日した演奏家の名演奏を、NHKに残る貴重なアーカイブを用いて放送。(12.13) 1988年収録「プレートル指揮パリ・オペラ座管弦楽団演奏会」／解説：船山信子（音楽学者），司会：杉浦隆アナ，(2.7) 1986年収録「エディット・マティス ソプラノ・リサイタル」／ゲスト：小林道夫（鍵盤楽器奏者），司会：森山春香アナ，以上2本を放送。／音楽・伝統芸能番組部

『NHK音楽祭2009ハイライト』

12.18 / 22:30~ 1:30

NHK音楽祭の4つのコンサートのもようを、3時間にわたってハイライトで伝えた。また、この音楽祭の意義や今回ならではの楽しみ方などを、スタジオにゲストを迎えて語り合った。／出演：鈴木慶一（ミュージシャン），さそうあきら（漫画家），諸石幸生（音楽評論家），黒崎めぐみアナ／音楽・伝統芸能番組部

『こどもミュージカル～エルコスの祈り』

12.23 / 9:00~10:40

近未来の管理社会の学校が舞台。心を持ったロボット＝エルコスが子どもたちに人間らしい気持を取り戻させていく、子ども向けミュージカル。浅利慶太氏が演出したステージを、NHKホールで収録し、100分のテレビ版に編集して放送した。／出演：劇団四季／制作局（委託管理），NED

『第36回NHK古典芸能鑑賞会』

12.25 / 22:30~ 1:30

豪華な顔合わせとバリエーション豊かな演目

で、さまざまなジャンルの芸能の至芸を紹介してきた番組。今回は舞楽・箏曲・舞踊・歌舞伎の名作を届けた。臨場感あふれる5.1サラウンドでの放送。／演目：舞楽「還城楽」宮内庁式部職楽部、地唄「笹の露」米川文子、山勢松韻、富山清琴、山本邦山、舞踊「鶯娘」吾妻徳彌ほか、歌舞伎「梶原平三誉石切 鶴ヶ岡八幡社頭の場」中村吉右衛門、市川段四郎、中村歌昇、中村芝雀、中村錦之助、中村歌六ほか／案内：片山千恵子アナ／音楽・伝統芸能番組部

『全身音楽体験～大野和士と子どもたち』

12.26 / 15:00～16:29

世界的に活躍する指揮者・大野和士が、首席指揮者をつとめるフランス国立リヨン歌劇場管弦楽団のメンバーとともに日本の小学生を対象に行った教育ワークショップのドキュメント。コンサートの映像も交えつつ、子どもたちの成長の様子と、大野さんの音楽教育への情熱を伝えた。／青少年・教育番組部

『京都南座顔見世大歌舞伎』

12.27 / 15:00～16:45

京都の町に師走の到来を告げる京都南座の恒例顔見世興行から、華やかな舞台のもようをお届けした。／演目：「恋飛脚大和往来 封印切」坂田藤十郎、片岡仁左衛門、市川左團次、坂東玉三郎、片岡秀太郎ほか、「石橋」中村翫雀、片岡愛之助ほか／大阪局

『ETV50 もう一度見たい教育テレビ フィナーレ』

12.31 / 16:00～18:20

1年にわたって「もう一度見たい教育テレビ」リクエストを大募集し、およそ55万通が寄せられた。番組では、ベスト50を紹介しながら、水木一郎さん、神崎ゆうこお姉さんなどが懐かしのテーマ曲などをスペシャルライブでお届けするとともに豪華ゲストと教育テレビの過去・現在・未来についてトークを繰り広げた。／出演：城島茂、中尾彬、水木一郎、神崎ゆう子、パパイヤ鈴木、安めぐみ、ほか／司会：渡邊あゆみアナ／ソフト開発センター、NED

『週末は僕らの庭へ～イエンスのデンマーク式菜園生活』

12.31 / 18:55～19:54

Ⓜ 1.30 / 14:00～14:59

デンマーク日本大使館に勤めるイエンス・イエセンさんが小田原市で始めたデンマーク式の家菜園「コロニヘーヴ」の取り組みを1年間にわたって取材。都会と田舎をしなやかに往復して菜

園作りを楽しむ姿や、イエンスさんの活動に賛同して集まってきた仲間たちの様子を通して新たな園芸スタイルの提案をした。／ナレーター：中山エミリ／制作局（委託管理）、NED

『N響“第9”演奏会』

E 12.31 / 20:00～21:25

FM 12.22 / 19:00～21:10

HV 12.26 / 12:00～13:21

BS2 12.31 / 13:00～14:25

年末恒例となったN響の“第9”。指揮はクルト・マズア。教育、BS2ではベルリンの壁が崩壊した際のマズアと第9のエピソードを合わせて紹介した。／ソプラノ：安藤赴美子、メゾ・ソプラノ：手嶋眞佐子、テノール：福井敬、バリトン：福島明也、合唱：国立音楽大学、東京少年少女合唱隊／出演：尾高忠明（指揮者）／司会：山田美也子／音楽・伝統芸能番組部

『クラシック・ハイライト2009』

12.31 / 21:25～ 0:05

大晦日の夜に09年のクラシック音楽シーンをコンパクトに紹介。09年はヘンデルやハイドン、メンデルスゾーンといった大作曲家のアニバーサリー・イヤーを迎えての記念演奏会やイベント、ウィーン・フィルやミラノ・スカラ座といった著名団体の来日公演が相次いだ。辻井伸行のクライバーン・コンクール優勝など、09年のクラシック・シーンの話題を織り交ぜながら、NHKが収録した話題の公演のハイライトを放送した。／音楽・伝統芸能番組部

『新春能狂言』

1. 1～ 3 / 7:00～ 8:00

元旦から3日間、新春の朝のひととき、人間国宝や能楽各流を代表する演者による能・狂言の名作を届けた。／(1.1) 観世流能「八島 弓流素働」梅若玄祥ほか、(1.2) 大蔵流狂言「魚説経」茂山千作ほか、和泉流狂言「舟渡掣」野村万作ほか、(1.3) 金剛流能「巻絹」金剛永謹ほか／音楽・伝統芸能番組部、大阪局

『新春お好み将棋対局～次の将棋界をになう！東西若手対抗戦』

1. 1 / 12:00～13:59

恒例の新春お好み将棋対局、今回は東西若手対抗戦。近年、台頭しつつある東西の若手棋士が女流1人を含む3人チームでいろいろな趣向を凝らしたチーム戦で対局した。／出演：羽生善治NHK杯、矢内理絵子女王ほか／司会：比留間亮司アナ／制作局（委託管理）、NED

『新春桧舞台』

1. 1～ 2/14:00～16:00

初春を寿ことほぎ、人間国宝を中心とした邦楽界の第一人者の演奏や舞踊、人気実力を兼ね備えた歌舞伎俳優の舞台などを2日にわたり届けた。／

(1.1) 新歌舞伎十八番の内「船弁慶」中村勘三郎ほか、箏曲「桜狩」山勢松韻ほか、舞踊「松の内」花柳寿南海、山彦節子ほか、(1.2) 素浄瑠璃「近頃河原の達引～堀川猿廻しの段」竹本住大夫ほか、箏曲「松竹梅」中島靖子、米川文子、山本邦山、舞踊「連獅子」中村富十郎ほか／スタジオゲスト：(1.1) 吉行和子、富士真奈美、(1.2) 林家三平／司会：葛西聖司アナ／音楽・伝統芸能番組部

『ウィーン・フィル ニューイヤー・コンサート 2010』

E 1. 1/19:10～21:45
FM 1. 1/19:15～21:45
HV 1. 2/17:00～19:33
G 1. 3/10:05～11:38 (第2部のみ)
BS2 1.11/ 9:00～11:33

毎年1月1日、ウィーン楽友協会大ホールで開催され、全世界に生中継されているクラシック界最大のイベント。10年はフランスの巨匠ジョルジュ・プレートルが08年に続いて2度目の登場を果たしウィーン・フィルを指揮。例年のシュトラウス一家の名曲に加えて、オッフエンバックの喜歌劇「ラインの妖精」序曲などフランスゆかりの作品を演奏した。そのほか、アンコールでは「美しく青きドナウ」「ラデツキー行進曲」など、恒例の名曲が演奏された。／(TV) 司会：中條誠子アナ／(FM) ゲスト：奥田佳道 (音楽評論家)、司会：大林奈津子 (フリーアナウンサー)／音楽・伝統芸能番組部

『新春お好み囲碁対局～日本最強の3兄弟 夢の挑戦』

1. 2/12:00～13:59

全国の小学生たちが3人一組で争うチーム戦、全国小学校団体戦。その頂点に立った3人組は、お揃いのシャツで注目を集めた「堀3兄弟」。ふだんいっしょに囲碁に親しんでいる兄弟3人が、力を合わせて女流最強トッププロ・謝依旻に挑戦。「作戦タイム」「封じ手クイズ」などの趣向を盛り込んだ対局のようを伝えた。／解説：井山裕太名人／聞き手：万波奈穂二段／司会：万波佳奈四段／制作局 (委託管理), NED

『こいつあ春から～初芝居生中継』

1. 2/19:00～22:00

東京・歌舞伎座から「寿初春大歌舞伎」の初日のようを生中継。現在の建物では最後となる正月興行で、豪華な大顔合わせの舞台を届けた。演目は「京鹿子娘道成寺」「車引」「源氏店」など。また、51年(昭和26年)に開場した現・歌舞伎座の歴史と名舞台を、日本俳優協会会長の中村芝翫の話を交えて放送。あわせて歌舞伎座をはじめ、新橋演舞場や大阪松竹座など東西各座の初日のようをダイジェストで紹介。／ゲスト：小山観翁、生稲晃子／司会：古谷敏郎アナ／音楽・伝統芸能番組部

『第53回NHKニューイヤーオペラコンサート 2010』

1. 3/19:00～21:00

新春恒例のオペラ・ガラ・コンサート。今回はバロックオペラからR.シュトラウスまで、時空を超えてオペラ史をたどる演劇的な演出を行い、オラトリオなど、オペラ以外にも枠を広げた。幕間では、バレリーナの吉田都によるスペシャル感あるステージを届けた。／司会：寺田農 (俳優)／出演：緑川まり、幸田浩子、森麻季、小山由美、林美智子、佐野成宏、福井敬、堀内康雄、松位浩、吉田都ほか／指揮：沼尻竜典／演奏：東京フィルハーモニー交響楽団、藤原歌劇団合唱部、二期会合唱団、新国立劇場合唱団／音楽・伝統芸能番組部

『平成21年度 NHK全国短歌大会』

2. 7/ 7:00～ 7:59

Ⓜ 2.13/14:00～14:59

『平成21年度 NHK全国俳句大会』

2.14/ 7:00～ 7:59

Ⓜ 2.21/15:00～15:59

NHKとNHK学園が主催する『NHK全国短歌大会・俳句大会』は、短歌および俳句の世界における最大級のイベントである。09年度は一般の部、ジュニアの部を合わせ、全国から4万首以上の短歌作品と、8万句以上の俳句作品が寄せられた。日本の歌壇・俳壇からそれぞれを代表する20人の選者と、特選に選ばれた作者たちがNHKホールに一堂に会した大会のようを収録、各選者の講評と作者の声を紹介した。／短歌大会司会：内藤啓史アナ、小島ゆかり (歌人)／俳句大会司会：石井かおるアナ、鷹羽狩行 (俳人)／制作局 (委託管理), NED

『ぼくの絵 わたしの絵～第69回全国教育美術展から』

2.21/16:00～17:00

12万点を超える作品が寄せられた「第69回全国

教育美術展」で特選に選ばれた作品を、幼稚園・保育所、小学校、中学校の部門別に紹介。成長に合わせて生き生きと変化していく子どもの絵の魅力を伝えたほか、子どもたちの個性を伸ばす優れた美術教育の指導法を紹介した。／出演：はな、橋本光明、永井伸一アナ／青少年・教育番組部

『テストの花道』

2.23／19:25～19:55

放課後のクラブ活動「勉強クラブ」略して「ベンブ」に集まってきた勉強が苦手な現役高校生たちの思考力アップを応援する番組。10年度に向けたパイロット番組。今回は“考えるチカラ”を働かせるための「発想の扉」を開くカギ、イメージマップの活用法を伝えた。／出演：所ジョージ、城島茂、荒木美和アナほか／ソフト開発センター、NED

『子どもサポートネット～“子育て”を考える！』

2.27／20:00～21:59

幼少期、学齢期、そして社会へと巣立っていく子どもたちが置かれている現状を取材。子どもたちの“育ち”が保障される社会のあり方を、担当大臣や子どもたち、そして子どもたちを支援する人々とともに考えた。／文化・福祉番組部

『第24回NHK能楽鑑賞会』

3. 6／14:00～16:00

10年1月27日に横浜能楽堂で公開収録した「第24回NHK能楽鑑賞会」のもようを紹介。／和泉流狂言「萩大名」野村萬ほか、大蔵流狂言「柿山伏」茂山宗彦・七五三親子、観世流能「土蜘蛛」を“黒頭・ささがに”という小書（特殊演出）で紹介、関根祥人ほか／案内・副音声解説：児玉信／音楽・伝統芸能番組部

『オーケストラ 生まれる～コバケンとその仲間たちスペシャル2010』

3.20／15:00～16:29

“炎のコバケン”こと、指揮者・小林研一郎さんとその仲間たちが、10年3月、NHK厚生文化事業団、NHKとともに、障害のある人とない人がともにオーケストラの一員になって演奏するというコンサートを開いた。オーケストラの結成から演奏会までを、音楽家たちの心の交流を交えて追う音楽ドキュメント。／文化・福祉番組部、音楽・伝統芸能番組部

『おかあさんといっしょ スペシャルステージ～青空ワンダーランド』

3.22／ 9:00～10:00

さいたまスーパーアリーナで開かれた『おかあ

さんといっしょ』のステージイベント。アリーナ中央に築かれた円形舞台、場内を練り歩くパレードや気球など、アリーナという空間をいっばいに使い、コンサートとはまた一味違う参加型のイベントのもようを中継録画して放送した。／制作局（委託管理）、NED

『発表！Nコン2010課題曲』

3.22／10:00～11:00

Ⓜ 4. 1／ 9:30～10:30

NHKみんなの広場ふれあいホールでの公開収録番組。『第77回NHK全国学校音楽コンクール』の課題曲合唱を、混声・女声など歌唱形態別に演奏し、作詞・作曲・編曲者の曲に込めた思いを伝えた。／出演：パッケンマッケン、山田賢治アナほか／青少年・教育番組部

『未来の食を育てます～第39回農業賞』

3.28／20:00～21:00

先進的な農業経営を行う個人や集団を表彰する日本農業賞。39回目を迎えた09年度は、エサの自給とジェラート販売で小規模酪農の可能性を示し「個人経営の部」で大賞を受賞した新潟県の酪農家や、10年かけて新しい作物“カラーピーマン”の産地化を成功させ「集団組織の部」で大賞を受賞した宮崎県の専門部会、生き生きと畜産に取り組み「食の架け橋賞」大賞を受賞した神奈川県の高校生たちを中心に紹介。産業としての農業の可能性を探った。／司会：阪本篤志アナ／ゲスト：八木宏典（東京農業大学教授）、押切もえ（モデル）、あゆか（農ドル）／レポート：内藤裕子アナ／生活・食料番組部

ハイビジョン

ハイビジョン：定時番組

『アートエンターテインメント 迷宮美術館』

HV 月 22:00～22:43

Ⓜ火 12:00～12:43

Ⓜ水 8:00～ 8:43

G 木 15:15～15:58

(セレクション) BS2 金 8:15～ 8:58

第1回03.4.26／ハイビジョンの高画質画面で名画をじっくり味わいながら、その奥に潜むさまざまな謎を解き明かしていくアートクイズバラエティー番組。毎回のテーマを提示する番組冒頭の「オープニングクイズ」、スタジオで作品や制作過程を再現し名画の謎を発見する「今日の特別展」、名画の裏に隠された巨匠たちの人生の謎に迫る「迷宮伝説」の3コーナーで構成。また、美術館で本物の作品を前に収録を行う出張版も7本制作。クイズ解答者のトークを交えながら、誰にでも親しめる絵画鑑賞法を提供した。金曜のBS2は、HVで放送した新作から選んで、年間20本を放送した。／出演：段田安則，住吉美紀アナほか／衛星放送センター，NEP

『アインシュタインの眼』

HV 日 18:45～19:29

Ⓜ月 11:00～11:44

Ⓜ木 8:00～ 8:44

(セレクション) BS2 金 9:00～ 9:44

第1回07.1.9／マイクロ単位の技を持つ職人や秒速の世界でプレーするスポーツ選手、驚異の自然現象など人の眼や耳では通常とらえることのできない世界。しかし日進月歩で進化する撮影技術によって、こうした世界もかいま見ることができるようになった。1秒間に20万コマ撮れる超ハイスピードカメラ、通常のカメラの400倍という超高感度カメラ、直径わずか12ミリの超マイクロカメラ、1,000℃以上の高温の中で撮影できるカメラ…。こうした最新カメラの数々を駆使して、私たちの身近にある「モノ」や「できごと」の世界を多角的に撮影することで、時間や空間を超えて人の眼が届かない世界へ。最新の映像世界を堪能しながら不思議に迫る科学番組。BS2では秀作選を放送した。／司会：恵俊彰，塚原愛アナ／衛星放送センター，NEP，Gメディア

『アニメ映画劇場』

土 (最終) 23:30～ 1:30

第1回04.4.16／ハイビジョンにふさわしい高画質、5.1サラウンドの大作から、知る人ぞ知る隠れた名作まで、大人の鑑賞に堪える国内外の劇場版アニメを購入して、月1回放送。また、ハイビジョンでの放送後にBS2で随時編成した。／主な作品：「河童のクゥと夏休み」「マインド・ゲーム」「風が吹くとき」「アズールとアスマール」「EX MACHINA」「皇帝とわ・た・し」「時をかける少女」ほか／ソフト開発センター，NEP

『アニメ メジャー1～4』

土 8:00～ 8:50

(第1シリーズ) 第1回04.11.13, Ⓜ09.4.5～6.28／(第2シリーズ) 第1回05.12.10, Ⓜ09.7.5～9.27／(第3シリーズ) 第1回07.1.6, Ⓜ09.10.4～12.27／(第4シリーズ) 第1回08.1.5, Ⓜ10.1.3～3.28／週刊少年誌で連載されている人気漫画「MAJOR (メジャー)」(原作：満田拓也)をアニメ化。プロ野球選手の父を持つ主人公吾郎が、事故で父を失いながらもメジャーリーグを目指して一步一步階段を上ってゆく姿を描いた長期シリーズのうち第1シリーズから第4シリーズまでを、1日2本ずつ放送した。／ソフト開発センター，NEP，小学館プロダクション

『ウイークエンドシアター』

土 23:00～ 3:00

第1回07.1.13, 最終回10.3.20／ハイビジョンの特性を生かし、高品位な映像と音声で多岐にわたる芸術作品を総合的に紹介する番組。ミラノ・スカラ座公演・歌劇「ランスへの旅」、歌舞伎座さよなら公演「仮名手本忠臣蔵」の通し狂言、蜷川幸雄演出「NINAGAWA十二夜」ロンドン公演など、クラシック音楽、古典芸能、演劇公演の中から、国際共同制作・独自収録・番組購入など、バラエティー豊かなラインアップで放送した。／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『COOL JAPAN』

～発掘！かっこいいニッポン』

HV 火 22:00～22:44

Ⓜ月 8:00～ 8:44

BS1 日 0:10～ 0:54

第1回06.4.5／06年度から放送を開始、日本文化を斬る外国人の新鮮な意見が好評を得て、07年度からBS1でも毎週放送。日本人が気づかない日本文化の魅力を、外国人が発掘する知的トークバラエティー。／司会：鴻上尚史，リサ・ステッグマイヤー／衛星放送センター，NEP

『クラシック倶楽部』

HV 月～金 6:00～6:55
 ㊿翌週月～金 13:00～13:55
 BS2 月～木 10:55～11:50

第1回04.3.29/BS2の『クラシック倶楽部』と連動して、内外の一流アーティストによる室内楽の演奏を、高画質、高音質で放送。珠玉の名曲が55分というコンパクト・サイズで毎日楽しめるという好評を得ている。また、モノオペラ“アンネの日記”日本初演など、スタジオ収録も積極的に行った。/音楽・伝統芸能番組部、NEP、大阪・名古屋局など

『クラシックミステリー 名曲探偵 アマデウス』

HV 日 20:00～20:44
 ㊿火 8:00～8:44
 ㊿土 12:00～12:44
 BS2 金 8:15～8:59
 G 金 15:15～15:59

第1回08.4.4/名曲とされる曲は、何ゆえ「名曲」なのか。笈利夫演じる名曲探偵と黒川芽以演じる助手が、依頼者からの求めに応じ、曲に秘められた絶妙な技法や作曲家の思いをドラマ仕立ての中で解明していく。野本由紀夫玉川大学准教授らの専門家の解説を加え、曲の実演も紹介。新趣向のクラシック入門番組として年間30本を放送。/衛星放送センター、NEP

『刑事コロンボ』

HV 土 18:55～20:30ほか
 BS2(後期) 木 21:00～22:40ほか

第1回09.1.3/70年代に日本中の視聴者を取りこにした刑事ドラマが、デジタル・リマスター版として再登場。70年代に作られた45本の『刑事コロンボ』に、90年代に作られた24本の『新・刑事コロンボ』を加え、合計69本の作品を10年度にかけて一気に放送。/ソフト開発センター

『こんなステキなっぼんが』

HV 火 21:30～21:55
 ㊿月 7:00～7:25
 ㊿水 12:30～12:55
 BS2 金 18:00～18:25
 ㊿日 5:30～5:55
 G 火 10:05～10:30

第1回07.4.14/懐かしい時代の面影を記録した1枚の写真を手がかりに、忘れられかけた「ステキなっぼん」を見つめる紀行ドキュメンタリー。時代の大きな変化の中、日本各地には、今も伝統的な暮らしの知恵や地域のきずなを受け継いで生

きる人々がいる。各界で活躍する旅人が、そうした暮らしを訪ね、にっぼんの原風景を再発見。6月には3時間特集「やまとうみのあいだに」(6.7/20:30～23:29)も放送した。/衛星放送センター、NPN

『週刊 日本の名峰』

HV 木 12:00～12:20
 E 水 14:30～14:50
 ㊿土 5:00～5:20

第1回06.10.15/日本を代表する山岳の魅力と珠玉のハイビジョン映像で紹介した『週刊 日本の名峰』全52回のアンコールシリーズ。これまで放送した46の山だけでなく、特集として、花や空撮の映像を6本にまとめた。四季折々の山岳風景にダイナミックな空撮や精度の高いCGが加わり、まるで山登りをしているような体感を得られる番組として視聴者の高い支持を改めて集めた。メディアミックスを積極的に行い、DVDブック(全9冊)や番組素材を利用した大型商品(全10巻)を発売するなどマルチ展開を行った。(全52回)/ナレーター：明石勇・高橋美鈴・古屋和雄・磯野佑子アナ/衛星放送センター、Gメディア

『証言記録 兵士たちの戦争』

土(最終) 8:00～8:44
 ㊿金 16:00～16:44

第1回09.4.25/08年度まで特集番組として20本制作の後、09年度より定時番組化された。戦後64年が過ぎ、日中戦争や太平洋戦争の貴重な戦場体験を持つ元日本兵の大半は、80代半ばを越えようとしている。全国のNHK各局が制作に参加し、この数年が話を聞く最後の機会だと考えられる元兵士たちに取材を敢行。彼らの証言を網羅的に収集・記録した。2011年(太平洋戦争開戦70年)にアーカイブ化を目指す「NHK戦争証言プロジェクト」の基幹シリーズ番組。/衛星放送センター、大型企画開発センター、NEP、NED

『シリーズ土曜ドラマアンコール』 新

水 18:00～18:58

視聴者からのリクエストが多いドラマのアンコール放送。

『ジャッジ～島の裁判官奮闘記』 4. 1～4. 29
 本放送 07年10月6日～11月10日(5回)

『ジャッジII～島の裁判官奮闘記』
 5. 6～6. 10
 本放送 08年10月25日～11月22日(5回)

『マチベン』 6.17～7.29

本放送 06年4月8日～5月13日(6回)

『新マチベン～オトナの出番』 8. 5～10. 7

本放送 07年 6月30日～8月4日（6回）
「広島発ドラマ 火の魚」 10.14
 本放送 09年 7月24日（1回）
「リミット～刑事の現場 2」 10.21～11.18
 本放送 09年 7月11日～8月8日（5回）
「ウォーカーズ～迷子の大人たち」
 11.25～12.16

本放送 06年11月11日～12月2日（4回）
「フルスイング」 10.16～ 2.10
 本放送 08年 1月19日～2月23日（6回）
「監査法人」 2.17～ 3.24
 本放送 08年 6月14日～7月19日（6回）

／ドラマ番組部

『新 漢詩紀行』 新

月～金 7:25～7:30

㊦土 6:00～6:25, (翌週) 1:30～1:55

第1回09.3.30, 最終回09.9.18／千年を越えて日本人に広く親しまれてきた漢詩。杜甫, 李白, 白楽天など人気の漢詩を、送別, 交友, 望郷, 自然, 戦乱など25のテーマに分け、詩の内容や背景, 詩人の生涯などとともに紹介した。週末は“余話”として、監修の中国文学者・石川忠久さんが出演し漢詩にまつわるエピソードを語った。年度後期は再放送。(全125回)。／朗読：加藤剛(中国語：賀蘭)／語り：松岡洋子／テーマ曲：広瀬香美／タイトル画：王子江／制作：アジア・コンテンツ・センター(予約購入)／ソフト開発センター

『世界ふれあい街歩き』

HV 木 22:00～22:44

㊦金 8:00～8:44

G 金 22:45～23:29

第1回05.3.29／ハイビジョンの映像特質を生かし、徹底的に「街の歩き方」にこだわる新感覚紀行番組。特殊機材による滑らかな移動映像で街の路地を歩く手法を貫いた。まるで自分が現地を歩いているかのような映像から、人々との会話や感情、その街ならではのたたずまい、暮らしに触れる感覚を味わえるよう、「名所訪問」などを極力避け「路地歩き」に比重を置いた。09年度は欧州の人気都市に加え、中国・中南米の街も取り上げた。総合テレビでの放送も反響を呼び、夜間の定時番組として定着した。／テーマ音楽：村井秀清／衛星放送センター, NEP

『蒼穹の昴』 新

土 22:00～22:43

第1回10.1.2／浅田次郎の小説「蒼穹の昴」を、実物大の紫禁城セットを舞台に完全ドラマ化した

壮大な歴史絵巻。西太后役に田中裕子を起用。オール中国ロケによる日中共同制作ドラマ。／制作：アジア・コンテンツ・センター(予約購入)／ソフト開発センター

『双方向クイズ につぼん力』

HV・BS2 土(最終) 22:00～23:30

第1回08.4.26, 最終回10.3.27／お茶の間からテレビのリモコンや携帯電話でクイズに参加することで、ひとりひとりの点数や全国順位がわかり、ゲストと成績を競ったり、携帯メールでスタジオトークに参加できる、デジタルテレビ時代を先取りした「未来型ファミリークイズ番組」。09年9月には、さいたま市の鉄道博物館から「鉄道スペシャル」を放送、9,000人近い視聴者がクイズに参加した。また、10年1月末には「オリンピック」をテーマにクイズを出題するなど、旬の話題のクイズを通して、日本の魅力を再発見した。／司会：地井武男, 江崎史恵アナ／衛星放送センター, NEP

『につぼん釣りの旅』

HV 金 18:30～18:54

㊦水 7:00～7:24

㊦木 12:20～12:44

BS2 土 8:00～8:24

(前期) ㊦木 23:45～0:09

(後期) ㊦土 17:00～17:24

G 火 10:30～10:54

第1回03.4.3／多彩なゲストが全国各地の海や川, 湖沼を訪ね、地元の名人のいざないで釣りに挑戦。地域色あふれる釣りの「技」「道具」「知恵」に触れる。名人の技や釣り場の紹介などで、愛好家に新たな発見を伝えるとともに、釣り人の人間性, 釣りをする場所の魅力も伝える旅番組でもある。初心者や、釣りに関心が少ない人たちにも楽しんでもらえる番組。／衛星放送センター, NEP

『猫のしっぽ カエルの手～京都大原 ベニシアの手づくり暮らし』 新

HV 日 19:30～19:59

㊦水 12:00～12:29, 21:30～21:59

BS2 土 23:00～23:29

第1回09.4.5／京都・大原に住む英国人女性のベニシアさんは、築100年の古民家で日本の知恵を生活に取り入れながら、200種類以上栽培しているハーブを使って、人と自然に優しい暮らしを実践している。自身が英語で語る“ダイヤリー”“エッセー”と、役立つレシピ, 隣人たちの交流を、四季の移ろいの中に織り込んで描く、癒やし

感覚あふれる番組。(全30回)。／語り：山崎樹範／音楽：川上ミネ／制作：NEP，テレコムスタッフ（共同制作）／ソフト開発センター

『熱中時間～忙中“趣味”あり』

HV 日 21:00～21:44
 ㊥月 12:00～12:44
 BS2 土 18:00～18:44
 G (15分版) 水 22:45～23:00
 BS2 (15分版) 土 7:30～7:45

第1回04.4.17，最終回10.3.28／コレクション，創作，スポーツ，調査など，ジャンルを越えて“ちょっと変わった”趣味に深く打ち込む人＝「熱中人」を紹介。熱中人に密着したVTRパート「熱中ドキュメント」と，レギュラー出演者とのトークを交えながら熱中人の魅力に迫るスタジオパートの2部構成。これまでに500人を超える熱中人が登場した。多様化して細分化した世界に誇るニッポンの趣味の世界。その趣味の世界を紹介するだけでなく，熱中人の“のめり込みぶり”を徹底的に取材。その生き方・人生にも注目した。実は身近に潜んでいる趣味世界の扉。人間にとってホントに豊かな時間とは何なのかが，そこから見えてくる。「熱中ドキュメント」を再構成した15分版の『熱中時間』をG，BS2でも毎週放送。／司会：葉丸裕英，井上あさひアナ／出演：石井正則，藤岡弘，黒崎政男，名越康文，平山あや，大山顕ほか／衛星放送センター，NEP

『ハイビジョンアニメシリーズ』

火～金 19:00～19:50

高画質・高音質のハイビジョンへの新規視聴者の誘導を狙い，NHKが制作，購入した高品質アニメを，新作と交えてゾーン編成を行った。目玉は新作の「スター・ウォーズ／クローン・ウォーズ」(22本)。このほか「精霊の守り人」「火の鳥」「ふたつのスピカ」「スポンジ・ボブ」「名探偵ポワロとマーブル」「無人惑星サヴァイヴ」「カードキャプターさくら」「アリソンとリリア」「電脳コイル」「今日からマ王!」「彩雲国物語」などのラインナップで放送した。／ソフト開発センター

「スター・ウォーズ／クローン・ウォーズ」
 新

火 19:00～19:23

第1回09.3.31，最終回09.9.8／「スター・ウォーズ」シリーズの，「エピソード2／クローンの攻撃」と「エピソード3／シスの復讐」で少しだけ描かれた戦いが，本シリーズの舞台。共和国を崩壊させるため，元ジェダイ・マスターのドゥー

カー伯爵は，冷酷な暗殺者アサージ・ヴェントレスや，サイボーグのグリーヴァス將軍を使ってさまざまな陰謀を画策する。対する共和国は，ジェダイが率いるクローン兵団を投入。銀河各地での戦いは熾烈を極めていた…。／監督：デイブ・フィローニ／製作：ルーカスフィルム・アニメーション／ソフト開発センター

『ハイビジョン時代劇／西部劇シネマ』 新

日 13:00～15:00

第1回09.4.5，最終回10.3.14／日曜午後に時代劇・西部劇に特化した映画枠を編成。時代劇は19本編成。「宮本武蔵5部作」(4.5～26)，「大菩薩峠3部作」(6.7～21)，「真剣勝負」(8.23)，「雪之丞変化」(11.15)，「眠狂四郎シリーズ」(2.14～3.7)などを放送。また，亡くなった南田洋子さんをしのび「幕末太陽傳」(12.20)，藤田まことさんをしのび「必殺！Ⅲ・裏か表か」(3.14)を放送した。西部劇は，「捜索者」(5.10)，「ワーロック」(7.5)，「血と怒りの河」(8.2)，「荒野の1ドル銀貨」(10.11)，「エル・ドラド」(11.29)，「ヴェラクルス」(1.24)，「OK牧場の決斗」(2.7)など21本を放送した。／ソフト開発センター，NEP

『ハイビジョン スーパーゴルフ』

HV 土 7:00～7:25
 BS1 (4～10月) 日 7:10～7:35
 (11～3月) 日 5:10～5:35
 ㊥日 17:10～17:35

第1回03.4.4，最終回10.3.28／ワンランク上を目指すゴルファーのためのレッスン番組。「今田竜二のUSAテクニク」を12本放送。再放送枠では，「水巻善典・全美^{ジョン・メジヨン}ゴルフスイングの真実 これに分かればうまくなる」「マッシー倉本のチャンピオンズゴルフ 90を切ろう」を加えて放送した。／衛星放送センター，NED

『ハイビジョンステージ』

土 9:00～12:00

第1回05.4.8，最終回10.3.13／歌舞伎などの古典芸能，華やかな宝塚歌劇団の公演，注目の商業演劇や現代演劇など，話題の舞台を厳選して送る劇場中継番組。週末の朝にふさわしいバラエティーに富んだ舞台をハイビジョンの高画質で提供した。／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『ハイビジョン特集』

土 20:30～21:59
 日 22:00～23:29
 ㊥金 22:30～23:59
 ㊥日 16:30～17:59

第1回04.3.29/NHK,制作プロダクション,国内外を問わず優れた番組制作者たちが,89分(ときに109分)という長時間の放送枠を生かして,ダイナミックに描きあげる本格的ドキュメンタリー番組。ハイビジョンの高品質な映像を意識して企画制作される,ハイビジョン放送の中核ソフトである。09年度は,午後8時台に自然,歴史,紀行,人物を扱う定時枠『プレミアム8』が新設されたことから,よりドキュメンタリー色の濃い作品を中心に制作した。総合テレビ『ワンダー×ワンダー』の迫力ある映像を中心に再構成したマルチユース番組も編成した。さらに,世界の放送機関とのネットワークを生かした国際共同制作番組や海外の秀作ドキュメンタリーを『ハイビジョン特集 フロンティア』として放送した。以下,各月別に主なシリーズ,単発作品を掲載する。

4月:シリーズ「黄土の大地を走る～村医者・父と子の物語」「郵便配達 山里を行く～中国・雲南省の春」「驚異の結晶洞窟」「津軽 雪の里」

5月:シリーズ「教皇の美術館 バチカンの至宝」,シリーズ「決定版 につぼん巡礼」「よみがえる信仰の殿堂～西本願寺御影堂～大修復完成」

6月:「イブ・サンローランの革命」「エンジェルス,偵察せよ～ブラジル富裕社会の闇」「時道中江戸芝居」「アンデス 天空の鐘」

7月:シリーズ「エジプト発掘(国際共同制作)」「物理学者 がんを見つめる 戸塚洋二 最期の挑戦」「封印された瞬間～四川大地震博物館遺品は語る」

8月:「少女たちの日記帳 ヒロシマ昭和20年4月6日～8月6日」「渡辺謙 アメリカを行く星条旗の下に生きたヒバクシャたち」「エトワール 最後の60日～密着マニユエル・ルグリのバレエ人生」

9月:シリーズ「世界遺産 西本願寺 10年大修復を迫る」,「追憶～ブルゴーニュ 小さな村のがらくた市」「上原多香子 トルコ・ベリダンスの心にふれる」

10月:「瓦と砂金～働く子供たちの13年後」
「アニメ青春時代 夢に挑んだ男たち」「上海の蜘蛛人」

11月:「最後の帰郷～旧満州開拓団 姉妹の69年」「世界絶叫マシン紀行」「素数の魔力に囚われた人々」

12月:「津軽」～生誕100年 太宰治と故郷
「太宰治 “人間失格” 裁判」「真珠湾の謎」「零戦～栄光と悲劇の航跡」

1月:シリーズ「東京モダン」,「金メダルを決

める一瞬」^{かん}「贗作の迷宮～闇にひそむ “名画”」

2月:「60万人の帰省ラッシュ～ブラジル・長距離バスターミナル」「命の一滴 いただいて」
「羽田空港大百科A to Z」

3月:シリーズ「FROM EDGE」,「鬼太郎 幸せ探しの旅～100年後の遠野物語」「世紀の大発見 謎の小型人類」

／編成局,制作局,報道局,国際放送局,各地域局,NEP,NED,Gメディアほか

『ハイビジョンふるさと発』

土 8:00～ 8:43

Ⓜ金 16:00～16:43

第1回04.4.16,最終回10.3.22/今なお日本各地には,知られざる風俗習慣が残り,そこには魅力的な人びとが暮らしている。その現在の息吹を,ハイビジョン映像で伝える番組。NHKの地方放送局各局の競作で制作。／衛星放送センター

『ハイビジョンプレミアムシネマ』 新

(月1回) 金 21:00～ 0:00

第1回09.4.3,最終回10.3.5/週末に長編映画を編成。「荒野の七人」(4.3),「シービスケット」(5.1),「マスター・アンド・コマンダー」(7.3),「ビルマの堅琴」(8.14),「ベン・ハー」(9.25),「ニュー・シネマ・パラダイス 完全オリジナル版」(10.2),「ラストエンペラー ディレクターズカット版」(12.25),「未知との遭遇 ファイナル・カット版」(1.8),「インサイド・マン」(3.5)など15本を放送した。／ソフト開発センター,NEP

『「風林火山」アンコール』 新

火 18:00～18:45

第1回09.3.31,最終回10.3.23/大河ドラマ『風林火山』を再放送。本放送は07年1月7日～12月16日(50回)。／ドラマ番組部

『ふるさとから,あなたへ』

月～木 16:00～17:00

Ⓜ火～金 1:00～ 2:00

第1回08.4.2/地域向けに放送されたハイビジョン番組を全国に発信する地域番組アワー。紀行番組をはじめ,地域の文化・歴史や芸能に焦点を当てた番組などを紹介し,地域文化の多彩さやふるさとの魅力を伝えた。／プライムH「とことん!ふるさとステージ～札幌市」(3.30),ワンダフル東北「厳冬 火の光景を訪ねて」(4.6),ふるさと発スペシャル あいたい「空の達人～桂文珍・広島へ」(6.3),金とく「神宝～1300年受け継がれる・技と心」(7.7),かんさい特集「甲子園球場物語～85年の歴史探検」(8.5),四国スベ

シャル「贈られた言葉～正岡子規と秋山真之 交流の記録」(11.16), 金曜茨城スペシャル「大人のためのナットウ講座」(12.1), 九州沖縄スペシャル「自慢の鍋でいざ勝負～宮崎 ふるさとの味探し」(1.14) など／編成センター

『プレミアム8』 新

月～木 20:00～21:29
 金 20:00～20:59
 ㊦月～木 14:00～15:29
 ㊦金 14:00～14:59
 ㊦土 13:00～15:59, 16:30～17:29
 ㊦日 10:00～12:59

第1回09.3.30／曜日ごとにさまざまなジャンルのシリーズ番組を編成する大型定時番組。

(月)：自然

『ワイルドライフ』 新

月 20:00～21:29
 ㊦日 11:30～12:59
 ㊦月 14:00～15:29

第1回09.3.30／本格派自然番組。最新の機材を駆使し、長期の取材でとらえた極上の映像と臨場感あふれる音で大自然の素顔に迫った。知られざるアフリカやヨーロッパの自然シリーズ、絶滅にひんしている動植物の実態とそれらを救おうと奔走する専門家なども積極的に取り上げ、壮大な絶景や生命の世界を描いた。／科学・環境番組部, NEP

(火)：文化・芸術

第1回09.3.31／今までにないユニークな視点と斬新な演出で、文化・芸術・歴史を巡る壮大な世界に迫る大型特集番組のシリーズ。名作ミステリー作品を次々と生み出した作家たちにスポットを当てた「偉大なるミステリー作家たち」や、歴史に名を残す芸術家たちを最新の研究と独自の視点で解明していく「巨匠たちの肖像」など、さまざまな文化・芸術の魅力を深く広く楽しく伝えていくことを目指した。ほかに「「皇帝」たちの野望」「華麗なる宮廷の妃たち」「世界史発掘！時空タイムス編集部」「伝統芸能の若き獅子たち」「城王たちの物語」の各シリーズを放送。／衛星放送センター, NEP, NED

(水)：紀行

第1回09.4.1／ハイビジョンらしい、ダイナミックかつ本格的な紀行番組の枠として始まった。個性的な旅人が世界で一番の町や村に行き、地球の多様性と人間のすばらしさを発見する「世界一番紀行」、各界のエキスパートがその分野の殿堂や聖地を訪ね、エッセンスを学び取る「夢の聖地

へ」、世界のさまざまな地域に根づく稲作文化を見つめ、人類と食のかかわりを描く「コメ食う人々」など、4～5本のシリーズを月間編成で放送した。／衛星放送センター, NEP, NED, Gメディア

(木)：人物

『100年インタビュー』

(月1回) 木 20:00～21:29

第1回07.4.12／各界で活躍する第一人者に、時代を切り開く人生哲学や、未来へのメッセージをじっくりと語ってもらう90分。混迷深まる今の時代への提言だけでなく、100年後の人たちにも聞いてもらえる番組を目指している。ゲストとアナウンサーの「真剣勝負」を、大型スクリーンとクレーンカメラを駆使してとらえた。09年度は、初の海外ロケを行い、指揮者・小澤征爾に、音楽監督を務めるウイーン国立歌劇場でインタビューした。12月には、ゲストが残した「珠玉のこぼれ」を振り返るスペシャル版を放送。／4月：立川談志, 5月：岸恵子, 6月：小澤征爾, 8月：柳田邦男, 9月：蜷川幸雄, 10月：金子兜太, 11月：船村徹, 2月：蓮池薫, 3月：大江健三郎／アナウンス室

(木曜はこのほかに『未来への提言』『知る楽インタビュー』も放送した。)

(金)：エンターテインメント

『SONGSプレミアム』 新

金 20:00～20:59
 ㊦金 14:00～14:59
 ㊦土 16:30～17:29

第1回09.4.3／07年より総合テレビで放送してきた『SONGS』から選りすぐりの回を1時間バージョンに再構成し、未公開映像や最新情報も交えて、HVならではの豪華感で送る音楽番組。／出演：竹内まりや, 松任谷由実, 高橋真梨子, 忌野清志郎, 矢沢永吉, さだまさし, 美輪明宏, 中森明菜, 絢香, 松田聖子ほか／エンターテインメント番組部

(金曜はこのほかに『どれみふぁワンダーランド』も放送した。)

『ワールド・プレミアム・ライブ』

日 23:30～ 0:59

第1回07.1.12, 最終回10.3.28／ハイビジョンで制作された海外のトップアーティストによる最新ライブを紹介する番組。ビートルズの作品が録音されたことで有名なアビーロードスタジオでのライブや、ボリス, マドンナ, マイケル・ジャクソンらのライブを放送した。／ソフト開発センター,

NEP

『わたしが子どもだったころ』

HV 水 22:00～22:44

⑨金 12:00～12:44

G 月 0:10～0:54

第1回07.1.10／著名人の子どもの時代を、本人の語りとドラマによって描き出していく番組。著名人は、その原点ともいえる子ども時代をどのように過ごしたのか。当時の子どもの世界とはどんな社会だったのか。そして周囲の大人たちは、子どもにどのように接していたのか。当時のエピソードをふんだんに盛り込みながら、情感豊かに描いていく。／衛星放送センター、NEP

 ハイビジョン：特集番組

『ロックの学園2009』

4.27～29／23:00～0:29

神奈川県三浦市にある旧県立三崎高校。5年前に学校統合で廃校になったが、校舎や体育館はほぼそのまま残され、映画のロケなどで使われている。その学校を全面的に借り切り、09年3月20日から22日の3日間行われたのが音楽イベント『ロックの学園2009』である。体育館ではスガシカオ、斉藤和義などのライブコンサート、校舎内で人気ミュージシャンによる「ロックの授業」、バンドコンテストや展示・楽器スクールなどさまざまな展示やコンテンツが教室を埋め、中庭では特設ステージでのインディーズライブなどが繰り広げられた、まさにロック一色の“学園祭”だった。そのもようを3日間にわたり紹介した。／製作：ロックの学園実行委員会／ソフト開発センター

『BS20周年関連企画 歌舞伎名舞台』

5. 3／21:00～1:35

5. 4／22:00～23:21

5. 5／22:00～23:56

5. 6／22:00～23:30

衛星放送開始20年にちなみ、第一線で活躍する人気歌舞伎俳優の舞台を4日間連続で放送。ハイビジョンならではの映像美と臨場感で、歌舞伎の魅力余すところなく伝え、豪華なラインナップも好評を博した。／通し狂言「競伊勢物語」市川猿之助、市川右近ほか／「平家女護島 俊寛」松本幸四郎ほか／「口上」一條大蔵譚 中村勘三郎、片岡仁左衛門、坂東玉三郎、中村雀右衛門ほか／「極附幡随長兵衛」市川團十郎、中村魁春、坂東三津五郎、河原崎権十郎ほか／音楽・伝統芸能番組部

『連続ドキュメンタリーEXIT アメリカ更生学校の10週間』

HV 5. 7～7. 9／23:00～23:25

⑨ 7. 6～8／23:00～0:15

⑨ 8.23／8:50～13:00

E 8.11～15／1:10～2:00

アメリカ教育界で注目を集めた公立「更生」学校の10週間（＝ひとりの少年の平均的更生期間）を取材したドキュメンタリー。1回の放送ではなく、少年の更生期間と同様の10週にわたり連続放送するというテレビドキュメンタリーとして新しい放送形態を試みた。（教育テレビでは夏休みに5夜連続2回ずつ放送）。番組ホームページで視聴者の感想を毎週掲載し視聴者の声を毎回の編集に反映させた。教育関係者および中高生の関心が高かった。／ソフト開発センター、NED、ドキュメンタリージャパン

『街道てくてく旅 山陽道～大宰府から平城京へ』

HV・BS2 5.11～7. 3, 9.28～11.13

／8:00～8:15

HV 5.11～7. 3, 9.28～11.13／22:45～23:00

BS2 5.11～7. 3, 9.28～11.13／19:45～20:00

「歩くことで見えてくるニッポン」をコンセプトに全国各地の街道を歩きながら、「出会いと触れ合い」を深めていく生中継シリーズ。09年度は山陽道800キロを九州太宰府天満宮から奈良平城宮跡まで旅した。一日の旅をコンパクトにまとめたVTRのほか、宿駅など生中継を行った場所の祭りや名産品などを紹介した。各回、地元ケーブルテレビ局のリポーターを中継MCに起用してBS普及に貢献。／旅人：原田早穂（北京オリンピック シンクロ銅メダリスト）／衛星放送センター

『ガリレオもびっくり！ハイビジョン宇宙館』

6. 1／20:00～23:00

BS開局20年、ガリレオ生誕400年にあたり、ハイビジョンカメラが記録してきた宇宙の神秘を紹介する長時間特集番組。天文学の父ガリレオが、望遠鏡で初めて夜空を見上げてから400年。ガリレオが発見したさまざまな宇宙の真実を、ハイビジョンで追体験する。高感度ハイビジョンカメラを使った佐賀県立宇宙館からの星空の生中継を交えて、月から惑星、恒星、そして何万光年の宇宙に広がる星雲の姿まで、NHKのアーカイブに蓄積された、まさにガリレオもびっくりの映像で味わう宇宙旅行気分。／出演：中山エミリ、夢枕獏、田中直樹（ココリコ）、斉藤慶子、篠原ともえ、渡部潤一ほか／衛星放送センター、NED

『ハイビジョン特集～秩父山中 花のあとさき～ムツばあさんのいない春』

7.20 / 7:45～ 8:59

埼玉県秩父の山あいの村。そこで故・小林公一・ムツさん夫妻は先祖代々の山の畑をひとつひとつ閉じながら、20年近く花を植えていた。09年春、2人のいなくなった畑に花が咲き誇っている。集落の人々が、ムツさんが残した花の手入れを続けてきたからだ。ムツさんの思いと、それを守ろうとする人々の姿を描いた。／語り：長谷川勝彦／ソフト開発センター

『あべ一座旗揚げ公演～あべ上りの夜空に』

HV 8. 7 / 20:00～21:30

BS2 8.29 / 21:00～22:30

若者に最も人気がある構成作家・演出家・映画監督の宮藤官九郎が、芸能界から一般まで「あべさん」を集めて一座を結成。宮藤官九郎が番組のために書き下ろした、一夜限りの旗揚げ公演のようをたっぷりと届けた。NHKホールにて収録／構成・演出：宮藤官九郎／音楽：阿部義晴 from ユニコーン／出演：阿部サダヲ、阿部力、あべ静江、あべこうじ、安倍麻美、阿部寛、アベディーン・モハメッド、田辺誠一、全国のあべさん／総合司会：阿部渉アナ／エンターテインメント番組部，NEP

『あなたが選ぶ スペイン・ポルトガル絶景30』

8.17 / 20:00～22:00

Ⓜ 8.29 / 11:00～13:00

“あなたが選ぶ絶景”シリーズ、情熱のスペインと哀愁のポルトガル編。アルハンブラ宮殿、フラメンコ巡礼からリスボン市電の旅まで、思わず息をのむ雄大な景観・美しい町並みに溶け込んだ歴史ある建築物を視聴者からの投票でランキング。旅の思い出のお便りを紹介しながらハイビジョンならではの絶景を伝えた。／出演：伊武雅刀、安野光雅、千足伸行、壇ふみ／語り：藤井克典・鎌倉千秋アナ／声：武虎、佐竹海莉／衛星放送センター，NEP

『ファッションISTA・ビス』

『ファッションISTA』

(ビス) 8.17～20 / 22:00～22:24

Ⓜ 9.26 / 16:30～17:19

Ⓜ 9.27 / 15:15～16:04

(秋冬) 8.29 / 15:00～16:29

(ビス) 2.15～18 / 23:10～23:34

(春夏) 2.21 / 15:00～16:29

世界最先端のファッションをハイビジョンの美しく鮮明な映像で見せる『ファッションISTA』シ

リーズ。4夜連続の『ファッションISTA・ビス』では、ニューヨーク・ミラノ・パリ（プレタポルテ）、パリ（オートクチュール）の各コレクションを、周辺情報も交えながらマガジン形式で紹介。89分の『ファッションISTA』では、4つのコレクションすべてを、臨場感あふれる映像でたっぷりと紹介。秋冬と春夏、年に2回の特集として放送した。／制作：インファストコム／ソフト開発センター，NEP

『あなたが選ぶ ドナウ川絶景30』

8.18 / 20:00～22:00

Ⓜ 8.29 / 13:00～15:00

“あなたが選ぶ絶景”シリーズ、ヨーロッパの大河ドナウ川を巡る旅。ドイツに始まりチェコ、ハンガリー、ブルガリア、河口のルーマニアなどの絶景を視聴者からの投票でランキング。2人の女性音楽家が流域の古城・渓谷・自然を訪ね、ドナウが育んだ芸術・文化の魅力を伝えた。／出演：西村由紀江、幸田浩子、池内紀、織作峰子／語り：杉浦隆・鎌倉千秋アナ／声：堀秀行、金月真美／衛星放送センター，NEP

『ハイビジョン特集～エトワール 最後の60日 密着マニュエル・ルグリのバレエ人生』

8.21 / 20:00～23:00

Ⓜ 12.19 / 23:00～ 2:00

世界屈指のバレエ団、パリ・オペラ座バレエのエトワール（最高位のダンサーの称号）、マニュエル・ルグリ（45歳）が、完璧なテクニックと繊細な表現力で圧倒的な存在感を示す中、09年5月に定年のためパリ・オペラ座を引退した。09年3月から5月15日の引退公演まで、ルグリのオペラ座での最後の日々に密着し、過酷なレッスンや若手の指導など、知られざるエトワールの日常を紹介。全身全霊を込めた引退公演に向けての舞台裏のドラマをつぶさに伝えるドキュメンタリーを、パリ・オペラ座と国際共同制作。また、ドキュメンタリーに続いてパリ・オペラ座バレエ団公演、マニュエル・ルグリ主演によるバレエ「ドン・キホーテ」をノーカット放送。／音楽・伝統芸能番組部

『史上最大のお笑いフェス'09夏』

HV 8.23 / 15:00～17:59

BS2 8.29 / 13:30～16:29

09年7月18日から3日間にわたって幕張メッセ（千葉市）で開催された史上最大の笑いの祭典「LIVE STAND09」。総勢600人のお笑い芸人が出演、6万人の観客を集めた。番組は、3日間のイベントを3時間に凝縮！芸人たちの爆笑ネタ

はもちろん、新喜劇、若手とベテランの爆笑対談、出演者たちで盛り上がる楽屋リポートなど、盛りだくさんの内容で放送した。／エンターテインメント番組部、NEP

『ドキュメント 夏・東京湾岸4ストーリーズ
～お台場 島びとたちの物語』

8.28/23:00～23:20

Ⓜ 9. 2/14:00～14:20

年間4千万人が訪れるレジャースポット、お台場には、数千人の人々が暮らす新しい街としての顔がある。外国人留学生1,000人が住む巨大な寮に最近引っ越してきたブラジル人チアゴ。お台場の住人たちの暮らしを撮る写真家・真島香さん。住民が集まれる場所を作ろうと、おでん屋を開いた仲岡隆さんなどの姿を通して、新しい街に生まれた人々のつながりを描いた。／語り：荒川良々よしよし／制作局

『ドキュメント 夏・東京湾岸4ストーリーズ
～どうしても“工場萌え”』

8.28/23:20～23:40

Ⓜ 9. 2/14:20～14:40

戦後日本の高度経済成長を支えてきた湾岸の工場群。今、その景観の美しさに惹かれ、工場地帯を訪れる人が増えている。かつては公害のイメージと結び付けられた風景に、人々は何を見出すのか。写真集「工場萌え」の著者・石井哲さんが主宰するツアー、1人工場で歌うミュージシャンなど、湾岸のテクノスケープに魅せられた人々を追う。／制作局、文化・福祉番組部

『ドキュメント 夏・東京湾岸4ストーリーズ
～大井競馬場通り おふくろの味』

8.28/23:40～ 0:00

Ⓜ 9. 2/14:40～15:00

変貌へう著しい湾岸の一角。大井競馬場通りに、20年以上前から変わらぬたたずまいの店がある。佐川秋康さん、みつ江さん夫妻が経営するラーメン屋には、夏のナイター競馬の開催日、馬券を手にテレビでレースを観戦する常連客が集まる。湾岸の小さなラーメン屋を舞台に繰り広げられる一喜一憂の物語を見つめる。／語り：国井雅比古アナ／制作局

『ドキュメント 夏・東京湾岸4ストーリーズ
～ミッドナイト パーティー@新木場』

8.29/ 0:00～ 0:20

Ⓜ 9. 2/15:00～15:20

毎週末、新木場のライブイベントスペースに数千人の若者が集まる。深夜から夜明けまで続く国内最大規模のクラブイベントだ。「ここには奇跡

の瞬間が訪れる」というDJ、DAISHI DANCE。「自分が一番輝ける時」だという、元世界チャンピオンのポールダンサー・REIKOさん。クラブイベント初体験の社会人1年生など、深夜の湾岸に集まる人々の姿を描く。／語り：森岳志／制作局、青少年・教育番組部

『登川誠仁“伝説のライブ”～沖縄民謡スーパー
スターの競演』

8.30/11:30～12:59

沖縄民謡界をリードしてきた「至宝」登川誠仁に加え、大城美佐子、知名定男、大工哲弘といった大御所たちが史上初めて同じステージに立ち、大阪・東京・沖縄を巡った、豪華ライブツアーに密着。新旧織り交ぜた沖縄民謡のベスト版的選曲に加え、戦前に行われていた三線遊びも再現し、日本全国に根強いファンがいる沖縄民謡の歴史と今のすべてがわかる舞台の熱気を伝えた。／沖縄局

『ジャパンカップ2009 チアリーディング日本
選手権大会』

HV 8.30/16:00～17:15

BS1 Ⓜ 9. 5/15:10～16:00

Ⓜ 9. 6/ 0:10～ 2:00

チアリーディング日本選手権大会は、地方予選を勝ち抜いた全国各チームが、8月最終週の3日間、国立代々木競技場第一体育館で日本一を目指す大会。NHKは90年の第4回大会から放送してきた。09年度は、大会最終日、高校・大学の各部門の決勝戦を生放送。また、BS1の再放送では、社会人部門の決勝戦も含めて放送した。／衛星放送センター

『サイトウキネンフェスティバル松本 2009小
澤征爾』

9. 6/16:00～18:00

12.31/ 7:30～ 9:20

毎年8月から9月初旬にかけて、日本中の音楽ファンの注目の的となる「サイトウキネンフェスティバル松本」。小澤征爾指揮、サイトウキネンオーケストラのオーケストラ・コンサートを長野県松本文化会館から生中継。／曲目：ブラームス作曲「交響曲第2番ニ長調」ほか／ゲスト：藤原浜雄（バイオリン奏者）、諸石幸生（音楽評論家）／司会：高橋美鈴アナ／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『TOKYO REAL FASHION 2009 秋冬』

HV 9.19/20:30～22:29

BS2 9.24/21:00～22:59

若い女性に大人気のファッションイベント

「TOKYO GIRLS COLLECTION」のもようを丸ごと伝える長時間番組。東京のブランドが発信する安くてオシャレなふだん着，リアルクローズを人気のトップモデルがまとう華やかなショーは，全ブランド・全ポーズを漏れなく紹介。ショーの裏方や全国から来場する若い女性のファッションも取材し，日本の女の子のエネルギーを伝えた。／司会：クリス・ペプラー／衛星放送センター

『サマーピクニック フォーエバー in つま恋』

9.20／13:00～18:00, 18:45～20:00

南こうせつが長年手がけてきた夏の野外音楽イベント「サマーピクニック」。静岡県つま恋で行われたコンサートのもようを7時間弱にわたり生放送。団塊の世代を中心に大きな反響を呼んだ。／出演：南こうせつ，松山千春ほか／エンターテインメント番組部，NEP

『落語家 桂枝雀の世界』

9.23／15:00～20:00

落語家・桂枝雀没後10年・生誕70年にあたり，師が残した絶品の高座の数々を今一度堪能していただいた。枝雀のアーカイブ映像と関係者のインタビュー，そして枝雀の落語を愛する人たちのスタジオトークでつづった5時間。／出演：國村隼，松尾貴史，小佐田定雄，春風亭小朝，林家正蔵，春風亭昇太，立川談春，桂南光，桂雀三郎，桂雀松，桂雀々，桂九雀，桂文我，桂紅雀／エンターテインメント番組部，NEP

『東京JAZZ2009』

HV 9.28～10. 1／23:00～ 0:29

Ⓜ12.24／11:00～16:59

BS2 10. 6～ 9／ 0:40～ 2:09

Ⓜ10.22～23／15:00～17:59

09年で8回目となる国際的ジャズフェスティバル「東京JAZZ」。東京国際フォーラムで行われた5公演の熱いステージを4夜連続で放送。／出演：(第1夜) 矢野顕子，上原ひろみ，神保彰，ジョン・スコフィールド，東京スカパラダイスオーケストラほか，(第2夜) NHK交響楽団，メロディー・ガルドー，上原ひろみ，リマージュほか，(第3夜) マッコイ・タイナー・トリオ，チャイナ・モーゼス，ウーター・ヘメル，マンハッタン・ジャズ・クインテット，原信夫とシャープス&フラッツ，(第4夜) 大西順子トリオ，マッコイ・タイナー・トリオwithジョン・スコフィールド，ルー・ドナルドソン，東京JAZZ2009スーパージャム／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『華麗なるメトロポリタンオペラ』

10.11／20:00～ 0:34

10.12／22:00～ 0:33

10.13／22:00～ 0:49

10.14／22:00～ 0:56

3. 1／22:45～ 0:27

3. 2／23:10～ 2:03

3. 3, 5／23:10～ 2:05

3. 4／23:10～ 1:40

125年の歴史を誇るニューヨーク・メトロポリタン歌劇場。08～09年に上演された選りすぐりのオペラを，支配人ピーター・ゲルブによる歌劇場の案内や幕間の出演者の様子などを交え放送。／

(10月) 楽劇「トリスタンとイゾルデ」ワーグナー作曲，歌劇「ボエム」プッチーニ作曲，歌劇「マノン・レスコー」プッチーニ作曲，歌劇「ピーター・グライムズ」ブリテン作曲 (3月) 歌劇「オルフェウス」グルック作曲，歌劇「ルチア」ドニゼッティ作曲，歌劇「蝶々夫人」プッチーニ作曲，歌劇「夢遊病の女」ベルリニ作曲，歌劇「シンデレラ」ロッシニ作曲／ジェームズ・レヴァイン指揮，メトロポリタン歌劇場管弦楽団ほか／衛星放送センター，NEP

『華麗なる英国競馬の世界～三浦皇成 イギリス武者修行の旅』

11.20／21:00～23:59

今，日本で最も注目されている騎手・三浦皇成。08年，武豊騎手の持つ年間新人最多勝記録を破った。その三浦が9月，3週間にわたり英国の世界最大の競馬の町・ニューマーケットへ武者修行の旅に出た。調教や騎乗術を一から学び，本場でのレースの騎乗を経験。三浦騎手の挑戦を追うとともに，知られざる英国競馬の魅力と奥深さに迫った。スタジオには三浦をはじめ高橋源一郎さん，徳光和夫さん，安田美沙子さんなど競馬通が集結。／衛星放送センター，NPN

『サラリーマンNEOシーズン4 ～一挙放送&蔵出しスペシャル』

11.23／ 7:45～18:00

勤労感謝の日にレギュラー回全20本を連続放送する特別企画。各回の間には番組のファンだという著名人が番組の見どころを熱く語る「NO NEO, NO LIFE」や，本放送時に編集上カットになった未発表コントを紹介する「蔵出しスペシャル」などのコーナーを交えて編成した。／ゲスト：清春，世良公則，山崎ハコ／出演：生瀬勝久，沢村一樹，麻生祐未，中越典子，入江雅人，山西惇，堀内敬子，田中要次，中村祐一郎，中村靖日，

原史奈, 奥田恵梨華, 宮崎美子, 平泉成ほか／エンターテインメント番組部

『25分 私が初めて創ったドラマ』

12.21～23/23:00～23:25

ドラマの演出経験のない映像関係者が自身で脚本を書き応募, その中から数本を厳選しドラマ映像化するという企画。09年度は, 08年に引き続いての2回目。応募脚本149本の中から, 「ウラ声ボーイズ」「5Q」「恐竜とおじいちゃん」の3本を選びドラマ化した。(すべてNHK外のプロダクションからの提案であった。) 現実の取材から生まれたストーリー, サスペンス, ファンタジーなど多彩なジャンルで新しい才能が腕を振った。／ソフト開発センター

『大型演劇スペシャル～蜷川幸雄演出「コースト・オブ・ユートピア」』

12.30/13:00～22:00

上演時間9時間, 19世紀のロシアを舞台にしたトム・ストッパードの世界的に注目を集めた名作を, 蜷川幸雄が演出。豪華なキャストを迎えた本作品を一挙放送。／出演: 阿部寛, 勝村政信, 石丸幹二, 池内博之, 別所哲也, 紺野まひる, 水野美紀, 麻実れい, 栗山千明ほか／音楽・伝統芸能番組部, NEP

『文楽通し狂言～義経千本桜』

1. 1～3/9:00～12:30

2009年4月に国立文楽劇場開場25周年記念公演として上演された文楽の通し狂言「義経千本桜」。8時間に及ぶ名舞台を3日にわたり一挙に放送した。番組では解説のほか, 現在も残る「義経千本桜」ゆかりの地を巡り物語の世界観を伝えた。

(1日) 初段「堀川御所の段」, 二段目「伏見稲荷の段」「渡海屋・大物浦の段」, (2日) 三段目「椎の木の段」「小金吾討死の段」「すしやの段」, (3日) 四段目「道行初音旅」「河連法眼館の段」／出演: 竹本住大夫, 鶴澤寛治, 吉田簀助, 吉田文雀ほか／ゲスト: 豊竹咲大夫(文楽大夫)／インタビュー: (1日) わかぎゑふ(劇作家), (2日) 篠田正浩(映画監督), (3日) 三谷幸喜(脚本家)／司会: 中川緑アナ／大阪局

『2010年世界の英知が語る』

(第1部) 1. 1/20:00～21:29

(第2部) 1. 1/21:30～22:59

世界の第一級の知識人が人類全体の直面する大きな課題と可能性を論じ合う。同じテーマを巡って複数の英知を選び, 詳細に取材したオピニオンを基に構成討論として提示し, グローバルな視野で分析。テーマは世界経済とウイルスとの闘い。

第1部「マネーの奔流はどこへ向かうのか」

世界経済の行方をジャック・アタリらEU, アメリカ, 中国の第一級の専門家が大胆予測。独自の視点からの未来予測とリスクの可能性, 人々の暮らしへの影響など, 大きく様変わりする世界構造の中で読み解いた。／衛星放送センター, NEP

第2部「未知なる脅威 ウイルス」

新型インフルエンザが世界中で猛威を振るう今, ウイルスと人類の戦いの歴史を振り返るとともに, 新たな脅威の可能性とその対応策を, 世界を代表する気鋭の学者たちが読み解いた。／衛星放送センター, Gメディア

『にっぽん巡礼～2010年 こころの旅がはじまる』

1. 2/20:00～21:59

10年4月から始まる定時番組『にっぽん巡礼～あなたの心に響く場所』へのプロローグとして制作した特別番組。「場所や風景には心を見つめ直し, 癒やし, 希望を見いだす力がある」をコンセプトに, 俳優・仲代達矢が亡き妻とともに見た能登半島・別所岳の風景をはじめ, 視聴者から寄せられたお便りを基にしたさまざまな場所と人生との物語を紹介。スタジオで多彩なゲストとともに, 味わいを深めていった。／司会: 阿川佐和子, 国井雅比古アナ／ゲスト: 鎌田實, 衣笠祥雄, 中山エミリ／衛星放送センター, NED

『夢の美術館～魅惑の国スペイン 美の旅1万年』

1. 3/19:15～23:15

毎年恒例となった長時間の美術まるごと鑑賞番組『夢の美術館』, 10年は美術大国スペインの1万年を時代や政治, 経済とのかかわりの中でたっぷり紹介した。アルタミラ洞窟に始まり, ギリシャ・ローマ時代, イスラム支配の時代, レコンキスタからベラスケスの活躍したハプスブルク王朝, 天才ゴヤ, そして20世紀のピカソ・ダリ・ミロまで, 俳優の松平健がユニークに案内。／衛星放送センター, NED

『新春スペシャル～グレートサミッツ 美しき世界の名峰へ』

1.10/20:00～22:00

㊦ 1.23/14:30～16:30

世界各地を代表する名峰を描き出す「グレートサミッツ」, 北米のマッキンリー, アルプスのモンブラン, アフリカのキリマンジャロなど地域のシンボルとして鎮座する10の山々。『プレミアム8』で春から放送する本シリーズに先駆けて, と

っておきの絶景を紹介する開幕スペシャルを新春番組として放送。スタジオに登山家の田部井淳子さんらを招き、モンブラン山麓シャモニーやキリマンジャロ山麓からの中継録画や秘蔵アーカイブス映像などを楽しみながら世界の名峰の魅力を伝えた。／キャスター：滑川和男・内藤裕子アナ／衛星放送センター，Gメディア

『井上陽水 LIFE&SONGS』

2.11／13:00～18:00

09年に芸能活動40周年を迎えたシンガーソングライター・井上陽水。8月には教育テレビ・四夜連続で『LIFE 井上陽水 40年を語る』，そして11月から12月にかけて4週連続・総合テレビで『SONGS～井上陽水』を放送したが，それらの映像素材を基に再構成，休日の午後5時間の特別番組とした。／出演：井上陽水／ナレーション：松平定知／エンターテインメント番組部

『ドラマをつくらう！～私が初めて創ったドラマ』

2.14／14:25～15:39

ドラマを撮ったことのないテレビマンたちによるオリジナルドラマ『私が初めて創ったドラマ』の演出家たちを中心に映画監督の原田真人，脚本家の市川森一をゲストに「ドラマ作りの楽しさ」を熱く語るスタジオバラエティー。／ソフト開発センター，NEP

『カメラマンシリーズ 冬』

3. 2～ 4／22:45～23:10

NHK各局のカメラマンがみずから企画し，演出と撮影を行った紀行シリーズ。地域の人々と風土が織り成す豊かで温かいたたずまいを，各地の冬景色の中で独自の視点と手法で描いた映像詩。／「鎌倉 漁師が生きる浜」(3.2)，「山の神さま 来ました」(3.3)，「長崎相生地獄坂」

(3.4)／衛星放送センター，制作技術センター，長崎局，仙台局

『新日本風土記』

3.16～19／20:00～21:29

3.20／20:10～21:39

各地域で，長い年月をかけて継承され，やがて消え去ろうとしている，日本各地に伝わる貴重な自然や風景，文化や風習，産業などを美しい映像で記録し，その記録を通して，日本人がどのように生きてきたかを見つめ，日本の「こころ」や「原風景」をたどる番組。新たに取材記録し，これまで蓄積してきたアーカイブス映像も活用しながら番組を制作，ビデオクリップ化した映像をデジタルアーカイブスとして保存登録し一般公開も

行っていく。番組とアーカイブスの3Screens展開も探る。最終的には，風景，自然，歴史，文化，芸能など，さまざまな分野を網羅した総合的な「映像版百科事典」を，各県別に，アーカイブス上で整備し，未来に伝える貴重な映像遺産とすることを目指している。／「出雲～祈りの大地 神々のふるさと」(3.16)，「富士山～千年の美一瞬の夢」(3.17)，「阿波おどり～踊る阿呆に見る阿呆」(3.18)，「風の国 風の民」(3.19)，「塩 いのちと心の物語」(3.20)／衛星放送センター，大型企画開発センター，甲府局，松江局，徳島局

『体感！デジタルパワーがやって来る』

3.20／ 9:10～18:50

11年7月にアナログ放送は終了し，地上波・衛星波ともデジタルに完全移行するのに先駆け，広く多くの視聴者にデジタル化がもたらす便利さ・おもしろさ，そして仕組みを伝える目的で9時間40分の長時間テレソンを実施。番組では「デジタル質問箱」を設置，デジタル化のさまざまな疑問にわかりやすく答えた。同時に，東京スカイツリーを出発し秋葉原，新宿など都内各所で生中継しながら直接視聴者の声を聞き，終日，秋葉原駅前と新宿アルタ前でデジタル化周知PRを行った。スタジオではデジタル化の未来を占うテレビの最新テクノロジーをリポート，ハリウッドの3D映像技術，ネットと融合する“つながるテレビ”，開発が進む“触るテレビ”“香るテレビ”，スーパーハイビジョンなどを紹介した。／衛星放送センター，ソフト開発センター，Gメディア，NEP，NED

衛星第1 テレビ

衛星第1：定時番組

『アジアクロスロード』

月～金 16:40～17:57

第1回07.1.4/NHKのアジア総支局と連携し、アジアに関する情報を硬軟取り混ぜて伝えるデイリーの情報番組。総支局によるレポートや解説委員による時事問題の分析、アジア各国の当日昼のニュースのほか、各国で人気の番組や、日本に住むアジア人を招いたゲストコーナー、そしてアジア料理コーナーなど、バラエティーに富んだ構成。/キャスター：岩淵梢、小林恵子/政経・国際番組部、Gメディア

『アジアンスマイル』

BS1 土 18:30～18:50

②日 23:40～ 0:00

(4～10月) ②水 9:35～ 9:55

(11～3月) ②火 18:15～18:35

(11～3月) ②水 9:15～ 9:35

G 日 14:30～14:50

第1回08.4.6/アジアの若者たちが今を懸命に生きる姿を、同世代の若いディレクターたちが等身大で切り取るドキュメンタリー番組。2年目の09年度は「20歳の挑戦」などテーマを絞ったシリーズも展開、好評を博した。ミャンマー移民の子どもたちの教育に奔走する女子大生、台湾の公園に店を開く青空床屋の青年、車社会が進む北京の交差点に立ち続ける警官など、若者たちの背中越しに、今、急速な発展を遂げるアジアの現実が見えてくる。/衛星放送センター、NEP

『アジわいキッチン』 新

月～金 15:55～16:00

②火～土 4:55～ 5:00

②月～金 9:55～10:00

第1回09.3.30, 最終回09.8.1 (10.3.15～『アジアクロスロード』内コーナーとして放送) /アジアの旅先で出会う「おいしい発見」、すてきな「アジわい」を紹介するミニ番組。各国出身の腕利きシェフや大使夫人などが「本場の味」を披露し極意を伝授、身近な食材のできる役立ちレシピを5分間にまとめた。番組の案内役は、アニメキャラクターの三毛猫・ミャーである。かつてのご主人がアジアの某国へ海外赴任したことにより、野良猫になってしまったミャーは、ご主人との再会を夢見て日本を旅立ち、アジア放浪の旅に出た。

そして、旅先で発見した「名物料理」のレシピをマスターしていく。旅の情緒を味わいながら、おいしいアジア料理のコツもわかる「味見旅」。/ソフト開発センター、NEP

『@キャンパス』 新

日 18:10～18:30

②月 0:10～ 0:30

②日 9:10～ 9:30

第1回09.4.5/大学生が制作する大学生のための国際情報番組。直近に世界で起こった出来事を掘り下げる「@ワールドニュース」、海外のトップアーティストやVIPを直撃する「@インタビュー」、学生独自企画「@スペシャル」の3つのコーナーからなる。09年度は36校が登場し、若者目線からユニークなレポートを発表、作家やタレントなどのゲストを交えスタジオトークを展開した。12月には、通常の収録場所である「NHK@キャンパス」(東京・青山)を出て、関西の2校(立命館大・関西外国語大キャンパス)で収録を行った。/衛星放送センター、NEP

『アメリカ・ABCニュース』

(4～10月) 火～金 9:15～ 9:34

(11～3月) 火～金 9:35～ 9:54

第1回87.7.4/3大ネットワークのメイン・ニュースの一つとして、アメリカのテレビ・ジャーナリズムを代表する番組。長い間、ニュース・キャスターとして評価の高かったチャールズ・ギブソンが降板し、12月から、朝の情報番組の「顔」だった、女性のダイアン・ソイヤーがキャスターを務めている。/政経・国際番組部、Gメディア

『アメリカ・ABCニュース「ジス・ウイーク」』

月 14:15～14:54

第1回87.7.4/アメリカABCを代表するウイークリーの政治報道番組。ジョージ・ステファノプロス記者に続き、12月からはホワイトハウス担当のジェイク・タッパー記者を中心に、キャスターがワシントンの政治の当事者たちと白熱した討論を繰り広げる。ここでの発言がそのままニュースになることも多い。ABCベテラン記者の座談コーナーも人気。/政経・国際番組部、Gメディア

『アメリカ・ABCニュース「ナイトライン」』

火～金 16:15～16:35

第1回87.7.4/アメリカを代表する深夜の報道番組。3大ネットワークの他局がトーク・コメディを放送している時間帯に、ABCがマガジン・スタイルの情報番組を放送し、高い評価を得ている。国内外の重要問題をレポートやインタビューで鋭く切り込む。/政経・国際番組部、Gメ

ディア

『アメリカ・CNNスチューデント・ニュース』
新

月～金 15:15～15:25
 ㊤土 22:10～23:00

第1回09.3.30／CNNが作る中高生向きのデイリー・ニュース。クイズなども織り込み、楽しくニュースを見せるくふうがしてある。英語の勉強にも最適。／政経・国際番組部，Gメディア

『アメリカ・CNNヘッドラインニュース』

月～金 11:15～11:24
 土 11:10～11:19
 日 12:10～12:19
 日・月 0:55～1:00

世界の動きをいち早くコンパクトに伝える衛星放送開始以来の定番番組である。／政経・国際番組部，Gメディア

『アメリカ・PBS「ジム・レーラー・ニュースアワー」』

火～金 14:15～14:59

第1回87.7.4／アメリカ公共放送ネットワークPBSの報道番組。偏らず、時流に流されず、ジャーナリズムの王道を行く、アメリカのテレビを代表するニュース番組。国内政治、国際政治、経済から文化芸術まで、幅広いテーマをいち早く取り上げ、当事者や専門家と討論も行う。／政経・国際番組部，Gメディア

『ABCニュースシャワー』

火～土 4:50～4:55
 火～金 16:35～16:40
 土 17:45～17:50
 (11～3月)月～金 18:50～18:55
 (11～3月)火～土 8:55～9:00
 (11～3月)火～土 11:55～12:00

第1回06.11.1／アメリカABCのニュース番組「ワールド・ニュース」の中から時事英語を選び、解説を交えてリスニングしながら、生きた英語を学べるミニ番組。／政経・国際番組部，MICO

『エキサイティングスポーツ』

(4～10月)月～金 18:05～21:30
 (11～3月)月～金 19:15～21:00
 土 19:00～21:00

第1回97.4.1／プロ野球やJリーグなど、国内のプロスポーツの生中継や、アメリカのMLB（大リーグ）、NFL（プロフットボール）、NBA（プロバスケットボール）、PGA（プロゴルフ）、イングランドのプレミアリーグなど、メジャースポーツの中継録画を放送。／スポーツ部，Gメディア

ア

『MLBハイライト』

(4～10月)月～金 21:30～21:59
 (4～10月)土 21:40～21:59

第1回03.4.1，最終回09.10.5／松坂大輔，松井秀喜，イチロー，岩村明憲らの活躍もあって，MLBへの関心はいっそう高まっている。午前中の生中継を視聴できないサラリーマン層をターゲットに，日本人選手中心に，試合のハイライトを伝えた。09年度より土曜も放送。／スポーツ部

『おはよう世界』

(4～10月)月～金 6:15～7:59
 (4～10月)土 6:10～7:59
 (11～3月)月 6:15～8:59
 (11～3月)火～金 6:15～8:54
 (11～3月)土 6:10～8:54

第1回04.11.2／世界の今がわかる朝の国際情報番組。放送直前にアメリカで放送される経済情報のブルムバーグ・ニュース，日本時間の未明に放送される欧米各国の夜のメインニュース，アジアの朝のニュースをいち早く伝えている。海外総支局とつないでニュースを厚く伝えるコーナー「世界の扉」のほか，アメリカABCのニュースを同時通訳でリアルタイムで伝えている。／キャスター：高橋弘行，税所玲子（～8月），高橋佑介（9月～），徳住有香，小穴薫／政経・国際番組部，Gメディア

『ガッチャン！世界につながる 学生チャンネル』 新

土 21:40～22:00
 ㊤月 9:15～9:35
 ㊤金 18:15～18:35

第1回09.10.17／東京・青山に新設されたサテライトスタジオ，NHK@CAMPUSから送る大学生のための新しい国際情報マガジン。「地球を守る魚型ロボット」「宇宙エレベーター開発」「世界が注目！空飛ぶ電気」「ビートルズ学」など，世界の大学のアツと驚く最新研究やユニークな授業を現地で取材した。VTRに登場した海外の研究者とスタジオを直接，テレビ電話で結び，日本の学生の反応を交えながら，学ぶ楽しさや研究への情熱を伝えた。さらに学生ならではの目線で世界の今を見つめた投稿ビデオや海外の学生の夢，人気のファッション，グルメ，サークル活動などを紹介し，素顔のキャンパスライフに迫った。／出演：関根麻里，ミック・コレス／音楽：谷村奈南／ソフト開発センター

『きょうの世界』

月～金 22:15～23:40

第1回04.11.1／一日の世界の動きをまとめて伝えるBS1のフラッグシップ的番組。NHK海外総支局の分厚い取材，BS1に入ってくる世界各国の報道，そして内外一流の専門家の視点を交えて，国際的な価値基準でニュースを切り取っている。「ほかのチャンネルでは得難い情報がある」と視聴者から評価を得ている。／キャスター：市瀬卓，丁野奈都子／政経・国際番組部

『経済最前線』

月～金 23:40～0:00

第1回05.3.28，最終回10.3.26／国内外の経済の最新情報を，海外マーケットの動向や解説を交えながら伝えるニュース情報番組。ニューヨークなど世界の市場の動きを，現地の専門家とテレビ電話で結び，生で伝えている。／キャスター：神子田章博（～5月），露口泰昌（6月～），掛橋愛理／経済部，政経・国際番組部，経済・社会情報番組部

『こだわりライフ ヨーロッパ』

BS1	土	18:10～18:30
	(4～10月) ㊟木	9:35～9:55
	(11～3月) ㊟水	18:15～18:35
	(11～3月) ㊟木	9:15～9:35
	(11～3月) ㊟土	11:20～11:40
HV	月	21:30～21:50
	㊟土	16:00～16:20

第1回06.4.8／ヨーロッパの新たな動きや息吹を，その地に暮らす人々の活動や思いを通して描く番組。ヨーロッパの魅力は，豊かな文化や伝統を受け継ぎながら，現代社会に合った多様なライフスタイルを構築しているところにある。家族，地域社会，高齢化・少子化，福祉，教育，環境，芸術，ファッション，伝統の継承など，日本にとっても参考になるような分野にスポットを当てながら，多様な価値観を生み出し続けるヨーロッパの今を伝えた。／語り：佐藤ゆかり，南部広美／衛星放送センター，NEP

『Jリーグタイム』

土 21:10～21:39

第1回06.3.5／基本的には土曜のJリーグ中継の直後に，どこよりも早く各試合の結果とJ1すべてのゴールシーンをコンパクトに伝えた。／スポーツ部・Gメディア

『ジェネレーションY』

第2日 20:10～20:59

第1回08.4.12，最終回10.3.14／日本に滞在する

外国人の若者たちがスタジオに集い，日本の課題，世界の課題についてトークバトルを繰り広げる，新しいタイプの若者向け討論番組。09年度は「婚活」「お金」「親子」「世界に通用する日本」など，より若者世代に身近なテーマを取り上げた。外国人の若者たちからは日本人にない新鮮な視点の意見が，同席した日本人の若者からはそれに対する賛成や反対の意見などが出され，活発な議論が展開された。08年度後半からは，視聴者からメールで意見を募集し，番組の最後4分間を生放送にして紹介している。／出演：市川祐（タレント），小郷知子アナ／衛星放送センター，NEP

『新BSディベート』

(月1回) 日 22:10～22:59

第1回07.4.29，最終回10.3.7／テレビ電話やウェブカメラを活用して，毎回海外の論者が議論に参加する新しいスタイルの国際討論番組。09年度は放送枠を49分にスリム化し，タイムリーなテーマに迅速に対応すべく機動性を強化した。民主党政権が発足した9月には「日本外交はどう変わるのか 民主党に問う」(09.9.27)を，年始には「2010FIFAワールドカップ どう戦う日本勝利への道」(10.1.1)を特集番組として放送，そのほか「復活か 崩壊か “終身雇用”を問う」(09.6.28)，「温室効果ガス 25%削減の衝撃！」(09.10.25)，「どうする日米同盟」(10.1.31)などを制作した。09年度は11回放送。／キャスター：野村正育アナ，吉井歌奈子／衛星放送センター，Gメディア

『スポーツ&アンコールゾーン』

土 12:10～17:00
日 12:20～17:00

プロ野球，Jリーグ，バレーボールのVプレミアリーグやバスケットボールのWJBLなどのスポーツ中継や，『BSドキュメンタリー』などの再放送を編成。／スポーツ部，Gメディア

『スポーツ大陸』

BS1 日 19:10～19:53
㊟日 11:10～11:53
G 月 22:45～23:28

第1回04.4.4／アスリートが極限に挑む姿を通じて，あきらめないこと，努力し続けることの尊さなど，私たちの日常にも勇気を与えてくれるスポーツの魅力を存分に伝えるスポーツドキュメンタリー。プロ野球や大リーグ，Jリーグ，ラグビー，バスケットボール，柔道，ボクシング，テニス，ゴルフ，トライアスロンなど多彩なスポーツシーンの主役に迫ったほか，バンクーバー五輪に

向けて、注目・期待の選手を重点的に取り上げ、結果も踏まえた大会後のドキュメントも制作した。特集シリーズとして、08年度までの「スポーツ史の一瞬」に代わり、「大逆転スペシャル」を5本制作。単なる偶然ではなく、絶えざる努力と戦略の末に生まれた、かつて国民の心を揺さぶった“大逆転”のドラマを掘り起こすシリーズである。／衛星放送センター

『世界のエコツアー』 新

BS1 日 21:40～22:00
 (4～10月) ㊥金 9:35～ 9:55
 (11～3月) ㊥金 9:15～ 9:35
 (11～3月) ㊥木 18:15～18:35
 HV 金 17:30～17:50

第1回09.4.5, 最終回10.3.14／エコツアーとは、環境問題や自然保護に精通した専門のガイドの下、大自然の魅力を体感しつつ、生き物を取り巻く環境の現状を見つめ学ぶ旅のこと。単なる秘境ツアーとは一線を画し、若い世代を中心に人気が高まっている。08年度に放送された大型番組『世界一周！地球に触れる・エコ大紀行』で取り上げた30のエコツアーの醍醐味を、20分に再構成した。／ソフト開発センター、衛星放送センター、NEP

『関口知宏のファーストジャパニーズ』

第1日 20:10～20:59

第1回08.4.5, 最終回10.3.7／関口知宏が世界各地で活躍する20代、30代の日本人を訪ねる新スタイルの紀行番組。海外のさまざまな分野で、新たな担い手として頭角を現してきたファーストジャパニーズたち。その活躍の現場や日常の暮らしを関口知宏が訪ね、ともに時間を過ごす中で、彼らの生き様や、日本人だからできたことなどを見つけ出していく。主人公を浮き彫りにする人物ドキュメンタリーと、旅人の体験を生かす紀行番組の手法を融合させ、海外で自分の可能性を模索する日本人の等身大の姿を描き出した。09年度は10人を紹介。／切り絵作家 蒼山日菜(フランス・スイス)／建築家 丸山剛史(アラブ首長国連邦・ドバイ)／エコガイド 藤井慶輔(オーストラリア)／陶芸家 北原由紀子(スペイン・グラナダ)／ギタリスト 長谷川陽平(韓国・ソウル)／ビール醸造家 今井礼欧(ベルギー・ブリュッセル)／ギター職人 川上祐介(カナダ・バンクーバー)／花屋 加納安奈(モロッコ・エッサウイラ)／犬ぞりマッシャー 今野里紅(アラスカ・ウィロー)／中国武術 横山春光(中国・北京、鄭州)／旅人：関口知宏／語り：首藤奈知

子アナ／衛星放送センター、Gメディア

『大リーグ インサイドレポート』

(4～10月) 土 11:20～11:40
 (4～10月) ㊥月 9:35～ 9:55
 (4～10月) ㊥月 16:15～16:35
 (4～10月) ㊥日 7:35～ 7:55

第1回03.5.23／大リーグの舞台裏や選手たちの素顔、また、さまざまな「おもしろ記録」などを楽しく紹介するウイークリー・マガジン番組。／スポーツ部、Gメディア

『地球アゴラ』

日 22:10～22:59

第1回07.4.15／海外で暮らす日本人とNHKのスタジオをウェブカメラとインターネットを使って生でつなぎ、世界各地のユニークな話題や出来事を生活者ならではの視点で伝え語り合う番組。「アゴラ」とは、古代ギリシャで市民が集い、さまざまな議論を交わした「広場」のこと。毎月3回の放送に加えて、6月、BS放送20周年にあわせて特集番組『地球アゴラで世界一周 10 HOURS』も放送。／司会：川平慈英、住吉美紀アナ／衛星放送センター、NEP

『東京マーケット情報』

月～金 11:25～11:49
 月～金 15:25～15:55

第1回87.7.4／東京株式市場の第1部・2部の値動きを中心に、債券市場、外国為替市場などの最新の動向を伝える金融情報番組。午後は専門家が一日の市場動向を分析している。経済活動最前線の動向を伝えるレポートや、最新の経済ニュースを放送し、個人投資家を中心に熱心な視聴者を獲得した。／キャスター：佐藤真由美、加藤桂子／政経・国際番組部、Gメディア

『土曜解説』

土 17:10～17:39

第1回05.4.2／放送の時点で社会の関心が高いニュースの背景や構図を複数の解説委員が視聴者の目線でわかりやすく伝えた。「裁判員制度」「新型インフルエンザ」「オバマ政権」「衆議院選挙」「アフガニスタン問題」「鳩山政権」「日本経済」「東西の壁崩壊から20年」「台頭する中国」など。09年度は39本を制作。／キャスター：藤澤秀敏解説委員長、神志名泰裕、岡部徹、山崎登、柳澤秀夫、山田伸二解説委員、滝島雅子アナ／解説委員室

『にっぽん木造駅舎の旅』 新

月～金 15:55～16:00
 ㊥火～土 4:55～ 5:00

㊥月～金 9:55～10:00

第1回09.4.27／全国各地の鉄道や路線の歴史を今に伝える木造駅舎を訪ね、時代とともに味わいを増した駅舎の姿を紹介した。JR・私鉄を問わず、全国各地で今も使われている古くて趣のある木造駅舎100駅を厳選、駅舎外観はもちろん、待合室・窓口・改札口・装飾など印象的な造形、駅周辺の風景なども丹念に紹介した。／衛星放送センター、NEP

『ニューヨークウエーブ』 新

BS1 日 18:30～18:50

(4～10月)㊥月 0:30～ 0:50

(4～10月)㊥火 9:35～ 9:55

(11～3月)㊥月 18:15～18:35

(11～3月)㊥火 9:15～ 9:35

HV 土 17:30～17:50

第1回09.4.6／新しいビジネス、芸術、ライフスタイルを常に世界に発信し続けるニューヨーク。この街ならではの、自由で大胆な発想を生み出す原動力は、世界中から集まるやる気満々の若者たち。若い力が躍動するニュービジネス・エコ活動・ボランティア・パフォーマンスなどを多角的に取材・紹介した。／リポーター：はな・バーンズ／語り：松田亜紀子、ヨシ天尾／衛星放送センター、NEP

『BS世界のドキュメンタリー』

(4～10月)火～土 0:10～ 0:59

(11～3月)月～金 21:10～21:59

土 23:10～23:59

㊥月～日 10:10～10:59

第1回04.4.1／国際情勢、経済、環境などのグローバルな話題から、医療、教育、高齢化、犯罪などの社会問題まで、幅広いテーマで海外の現場取材に軸を置き、描き出す番組。海外から購入した秀作の日本語版と、NHKが制作したドキュメンタリーを一体として編成。09年度は社会主義の崩壊から20年を迎えた旧東欧諸国の実像や建国60年を迎えた中国の新国家建設から文化大革命までを民衆のこぼれつぶる証言記録、四川大地震によって大きな被害を受けた地域に生きる人々の姿など、ジャーナリスティックな視点と現場での一点突破取材を大切にして、世界の“今”を切り取ってきた。また特集シリーズとして「ビートルズ解散40年」「爆走都市」「第二次世界大戦 開戦70年」「合唱団(クワイア)を作ろう」などを組み込み、内外に幅広く多彩なメッセージを発信した。08年度よりNHK自主制作番組と海外制作番組を統合し、ホームページなどで広報を行い、視聴者

へのアピール、認知度を高めた。／ソフト開発センター、衛星放送センター、NEP、Gメディア、NEDほか

『BSニュース』

月～日 毎正時 10～15分

第1回04.11.1／24時間ニュースに向けての第一歩としてスタートした。平日は毎正時15分、土・日と祝日は毎正時10分が基本で、国内外の主なニュースをはじめ各地の話題、為替と株の情報、日本・世界の気象情報など豊富な内容で伝えている。また、地震や事件・事故などの緊急報道にも迅速に対応している。ニュースはコンパクトかつ多項目が編集方針で、ヘッドラインでその時間のニュースが一目でわかるように構成されている。09年度からはスタジオの再撮を生かした新たな演出を始めた。大リーグやプロ野球などのスポーツ中継がある場合は、中断ニュースになる。／キャスター：岡野暁・原口雅臣(～3月)・羽隅将一・広瀬靖浩(～3月)・中尾晃一郎アナ、平尾由希、斎藤綾乃、島ひとみ、藤田真奈美、結野亜希／テレビニュース部

『BSベストスポーツ』

日 21:10～21:34

第1回08.4.6／MLB、NBA、NFLなどアメリカのメジャースポーツから、イギリスのサッカー・プレミアリーグ、フランスの自転車レース大会ツール・ド・フランスまで、さまざまなジャンルのワールドスポーツのドラマチックなシーンを伝える番組。視聴者のリクエストに応じて、その週の好ゲームを振り返るほか、選手やチームに関する最新情報も交えて放送。／司会：生島淳、荒木美和アナ／衛星放送センター、NEP

『BS列島ニュース』

月～金 13:15～13:59

第1回07.4.2／各地の放送局が正午に伝えたローカルニュースをまとめて全国向けに放送。ふだんは見ることが少ない全国各地の動きがわかることから好評を得ている。また、画面の下には国内外の主なニュースを字幕で流すスクロールニュースも実施しており、全国と地域のニュースを同時に知ることができる。NHKオンデマンドでも配信している。スポーツ中継が延長した場合などは短縮、もしくは休止。／キャスター：平尾由希、斎藤綾乃、島ひとみ、藤田真奈美、結野亜希／テレビニュース部

『PGAゴルフツアー』

(4～10月)月・日 5:10～ 7:00

(11～3月)月・日 6:10～ 8:00

第1回92.1.5／世界のトッププロが競うゴルフツアーの最高峰。レギュラーツアー37試合の決勝ラウンド（ザ・プレーヤーズ チャンピオンシップと、ザ・ツアー チャンピオンシップは4日間）を生放送。世界ゴルフ選手権4大会とワールドカップは大会初日から伝えた。チャンピオンズツアー（シニア）6大会は最終日ハイライトを放送。／スポーツ部，Gメディア

『未来への提言』

BS1 第4日 20:10～20:59
HV（『プレミアム8』枠内）木 20:00～21:30
㊥木 14:00～15:30

第1回06.4.23（特集番組）／21世紀の人類が抱える共通の課題について、世界のキーパーソンに徹底インタビューし、未来を切り開くヒントを探るシリーズ。4月は貧困撲滅のためアフリカやアジアの現地で活動する経済学者のジェフリー・サックス。5月は日本文学研究の権威ドナルド・キーンに在日韓国人の作家梁石日^{キムソギル}が聞いた。6月は画期的な銀行貸付システムを発明し、ノーベル平和賞を受賞したムハマド・ユヌス。7月はオランダの労働組合活動家ロペバイク・デ・ワール。9月はエネルギー学者のエイモリー・ロビンス。10月はノルウェーの犯罪学者ニルス・クリスティー。厳罰主義を改めることで犯罪の大幅減少に成功した提言には大きな反響があった。11月は退官直後の前ユネスコ事務局長松浦晃一郎に世界遺産保護の困難さなどについて貴重な提言を得た。12月は科学ジャーナリストのローリー・ギャレットに新型インフルエンザの脅威について、2月（BS1 1.31）は物理学者ジェームス・ジムゼウスキーにナノテクの未来について、3月は中国の環境保護活動家楊勇^{ヨウ ユウ}に中国大陸で進行する水の危機について知られざる事実を聞いた。なお番組は09年度でBS1での放送を終了（10.3.28）し、10年度からはHV『プレミアム8〈人物〉』枠での放送のみとなる。／衛星放送センター，Gメディア

『ワールドニュースアワー』

月～金 5:15～ 5:59
月～金 12:15～12:59
火～土 4:10～ 4:50
土 5:10～ 5:59
土 9:10～ 9:54
（4～10月）月～金 8:15～ 8:59
（4～10月）土・日 8:10～ 8:59
（11～3月）月～金 18:35～18:49
（11～3月）日 8:10～ 8:59

第1回00.3.27／海外のニュースをいち早く、現

地で伝える衛星放送ならではの番組の一つ。米ABC, CNN, PBS, 英BBC, ITN, 仏F2, 独ZDF, ARD, スペインTVE, ロシアRTR, 中国中央テレビ, 上海テレビ, 香港ATV, フェニックスTV, 韓国KBS, フィリピンABS-CBN, タイCH9, ベトナムVTV, シンガポールCNA, カタール・アルジャジーラ, ブラジル・バンディランテスなど、定時放送しているものだけで世界14か国, 21の放送機関のニュースを伝えた。／政経・国際番組部, Gメディア

衛星第1：特集番組

『小池栄子の世界TVランド』

4.29, 8.8, 11.3, 3.20／22:10～0:00

世界で放送されているテレビ番組を紹介し、スタジオに集まったゲストや外国人が、番組や放送されている国の文化、慣習などについて語り合った。ドナウ川やメコン川流域の国々やオランダの番組、そしてテレビの未来を予感させる番組を4回にわたって特集した。／第1回ドナウ特集, 第2回メコン特集, 第3回オランダ特集, 第4回テレビの未来／キャスター：小池栄子, 野村正育アナ／ソフト開発センター, NEP

『渋谷DEども'09 公開生放送 世界のSL映像館』

BS1 5.2／15:10～17:00
㊥ 5.4／0:30～0:55, 1:10～3:00
G・BS2 5.2／12:15～12:40

NHKのアーカイブスに残る膨大な資料の中から世界中のSL映像を選び、汽笛や蒸気音を生かしながら、勇壮に走る姿を一举に公開。「渋谷DEども'09」の公開生放送会場の様子や実物そっくりのミニSLの紹介も交えながら放送。南北アメリカ, ヨーロッパ, オセアニア, アフリカ, アジア各国のSLを特集した。／衛星放送センター, NEP

『BS20年 テレビ, こう見ると世界がわかる』

／ソフト開発センター, 政経・国際番組部, N
EP

第1部「おはよう世界スペシャル」

6.6／19:10～20:00

BS20年を期に、世界の有名ニュース・キャスターに直撃インタビュー。『おはよう世界』のキャスターもニュース・スタジオを飛び出して、視聴者とともに、激動の20年を世界のキャスターはどう伝えてきたかを振り返った。／ゲスト：デー

ブ・スペクター／キャスター：高橋弘行，徳住有香

第2部「国際政治 テレビ公開ゼミ」

6. 6/20:10～20:59

激動の世界を伝えてきた世界のドキュメンタリーをいかに見るか。大学での公開ゼミをまるごと伝えた。／出演：中山俊宏・津田塾大学准教授

第1部「きょうの世界スペシャル」

6.13/19:10～20:00

BS本放送が始まった20年前は、ベルリンの壁崩壊の年。『きょうの世界』のキャスターがニュース・スタジオを飛び出して、ベルリンの壁崩壊後の世界を視聴者とともに考えた。ゲストは、旧東側のハンガリー出身で、ベルリンの壁を東西から見つめた大道芸人であり数学者であるピーター・フランクル氏。／ゲスト：ピーター・フランクル／キャスター：市瀬卓，丁野奈都子

第2部「音楽は時代の叫び」

6.13/20:10～20:59

激動の20年間、音楽も時代とともに変わった。欧米中心だった世界の音楽は、地域発の音楽まで伝え、広まるようになった。音楽と社会の変化について、音楽に詳しいブロード・キャスター，ピーター・バラカンさんのトーク・ショーをそのまま伝えた。／出演：ピーター・バラカン

『地球アゴラで世界一周 10HOURS』

6. 7/13:10～22:59

BS放送20周年を記念し、世界五大陸30余りの国と地域に住む総勢40人の日本人を、ウェブカメラとインターネットを使って生でつなぎ、現地のホットな話題や、この20年の暮らしの変化を伝えてもらった。アジア・オセアニアをスタートしてヨーロッパ・アフリカ、南北アメリカと現地の日本人をリレー形式でつなぎながら、10時間かけてぐるっと世界一周。さらに『ジェネレーションY』や『BSベストスポーツ』『関口知宏のファーストジャパニーズ』といったBS1の番組やラジオ番組『地球ラジオ』とのコラボレーションも実施。生活者の視点から見た世界の今を楽しく多角的に伝えた。／司会：川平慈英，住吉美紀アナ／衛星放送センター，NEP

『BS特集～気候変動が子どもを襲う～アグネス・チャン 西アフリカ報告』

7. 4/22:10～22:59

サハラ砂漠の南に位置する西アフリカのブルキナファソは、農業と放牧によって成り立つ小国。今、気候変動の影響で砂漠化が進み、作物の不作や飢饉が続き、住民の生活を圧迫している。特に

子どもたちへの影響は大きく、5歳未満の子どもの死亡率は18%と際立って悪い。日本ユニセフ協会大使のアグネス・チャンがブルキナファソに入り、現状を報告。／ソフト開発センター，NEP，テムジン

『BS特集～インド巨大財閥の挑戦～世界最安カーはこうして生まれた』

8.29/23:10～23:59

インド経済成長の主軸を担い、コーラス製鉄やジャガー・ランドローバーの買収、さらに1台20万円という世界最安値の自動車ナノを発売し、世界を驚かせたインド巨大財閥タタ。冷徹でユニークな戦略を次々と打ち出し、世界から「グローバルマーケットで最も目が離せない存在」とまで言われるようになった。総帥ラタン・タタ会長の単独インタビューに外国メディアとして初めて成功、急速な成長を可能にした秘密をひもとくとともに、世界不況の中での成長戦略に迫った。／衛星放送センター，NEP，アクセルオー

『発掘アジアドキュメンタリー』

9.22/ 0:10～ 1:00

9.23/ 0:10～ 0:59

9.24/ 0:15～ 1:00

「アジアの優れた番組制作者を発掘し、アジアの視点で、今を伝えよう。」NHKの呼びかけで、国際共同制作の新しい試み「アジア公開提案会議」が始まった。アジア全域のローカル制作者に対して番組企画を募集、優れた企画を3～5本選び出し、ローカルの視点によるユニークな番組の開発を目指すものだ。2年目を迎えるこのイベントから、09年度は4本の番組が誕生した。／(9.22)「シェークスピアに愛をこめて」(中国)，北京オリンピックで英語熱が高まる中国。シェークスピアの十四行詩に取り組み幼い子どもたちに密着／(9.23)「私は黄砂と闘う」(中国)，政府の退去勧告を拒否してまで故郷に残り、植樹を続ける一組の夫婦、「夢を織るプリンセス」(フィリピン)，フィリピン南部に暮らすイスラム少数民族の女たちの暮らし／(9.24)「ダイヤモンドの運び人アンガディア」(インド)，インドの主要産業、ダイヤモンドを秘密裏に運ぶ専門職人たちの実態／ソフト開発センター，MediaCorp (シンガポール)

『BS特集～民衆が語る中国・建国60年』

10.13～14/ 0:10～ 0:59

45年10月1日の中国人民共和国の建国宣言から60年、あらゆる面で中国は大きな変貌を遂げた。限りなく資本主義の様相を呈する社会、増大する

格差と不満、新たな価値観に生きる一人っ子世代など。今人々は改めて建国当時の波紋の日々をどう振り返り、今の中国に何を思うのか。ようやくみずからの言葉で語るができるようになった民衆の証言で綴る2回シリーズ。第1章は、共産党と国民党が主導権を巡って全面戦争に突入した国共内戦がテーマ。民衆は何を考え、どう動いたのか、新国家樹立の熱狂的な雰囲気の中、急速な復興が成されてゆく新たな時代に、民衆はどのような夢を描いたのか「新中国誕生」を見つめた。第2章は、毛沢東の指示で農地が共有化・集団化された人民公社の時代と餓死者数千万ともいわれる悲劇を生んだ大躍進の時代を民衆はことば少なに語る「人民公社と大躍進の時代」。／ソフト開発センター、NEP、テムジン

『1989-2009 壁崩壊が世界を変えた』

11. 9/18:15~22:00 (『BSニュース』あり)

歴史の大きな転換点となったベルリンの壁崩壊から20年。『BSニュース』はこの年に始まり、その後も激動する世界情勢と、その中で懸命に生きる人々を見つめてきた。20周年にあたるこの日、東京のスタジオと壮大な式典が行われたベルリンを結び、BSが記録してきた膨大な資料映像に最新情報を加えながら、「あの日は世界に何をもたらしたのか」「世界はどこに向かおうとしているのか」分厚く伝えた。／(第1部)ドイツ・統一の影で、(第2部)ヨーロッパの激動、(第3部)超大国アメリカの迷走、(第4部)ジャック・アタリが語る 市場経済の20年／中継出演：長崎泰裕ヨーロッパ総局長／スタジオ出演：藤原帰一・東京大学大学院教授、江川紹子・ジャーナリスト／司会：岡部徹解説委員／衛星放送センター、NEP

『BS特集～北朝鮮に帰ったジュナ～“帰国事業”50年目の再会』

12. 5/23:10~23:59

59年12月、在日朝鮮人の北朝鮮「帰国事業」が始まった。その後84年までに9万数千の人々が帰還した。彼らはどんな歳月をたどったのか。西日本の町に生まれ、いっしょに育った2人のいとこ。ひとり家族とともに北朝鮮に帰り、ひとは日本に残った。長い年月を経て2人は再会し、これまでの経験を、人生を、語り合った。数多くの写真や手紙も交えながら、「帰国事業」を経て再会した2人の対話に耳を傾けた。／衛星放送センター、NED

『BS特集～シリーズ立花隆 思索紀行 人類はがんを克服できるのか』

12.27~29/21:10~22:00

膀胱がんを発病した評論家の立花隆さんが、がんの正体を根源的に突き止めようと、みずから世界の研究者を訪ね歩きながら思索したシリーズ。第1回「“がん戦争”100年の苦闘」では、人類がなぜがんを完全には克服できないのか、抗がん剤開発の歴史とその挫折の軌跡をたどりながら、人類を翻弄し続けるがん細胞の果てしない“複雑さ”に迫った。第2回「生命の進化ががんを生んだ」では、がんという病が、生命誕生の神秘や、進化の歴史と分かち難く結び付いた“宿命”の病であることを解き明かした。第3回「生と死を越えて」では、がんの克服が困難な中で、私たちはこの病とどう向き合えばいいのか、立花さん自身の選択を手がかりに考えた。／社会番組部

『BS特集～ゴルバチョフ 若者たちとの対話』

12.27/22:10~22:59

旧ソビエト連邦の元大統領ミハイル・ゴルバチョフが、09年12月来日した。滞在中、元大統領との対話集會に臨んだのは明治大学の学生たち。ベルリンの壁が崩れた79年前後に生まれた若者たちにとって、冷戦終結の一方の立役者、ゴルバチョフは伝説の人物だ。対話集會の準備のため歴史を学ぶ中で、若者たちは何を得たのか。ゴルバチョフのことばは彼らにどう響いたのか。100日に及ぶ若者たちの日々を追った。／衛星放送センター、NEP

『BS特集～あなたは何%減らせますか？私たちの温暖化対策2010』

1. 2/19:10~20:00, 20:10~21:00

COP15 (コペンハーゲン) の開催で、地球温暖化への関心が高まる中、「この問題を自分のこととしてとらえ、自分に何ができるか」を考える市民会議が、世界38か国、4,400人が参加して行われた(9月26日)。BS1の年始特集として、この会議に参加した世界4か国の市民をインターネット中継で結び、スタジオのゲストとともに、自分の身の回りのできる温暖化対策とは何か、具体的にわかりやすく伝えた。／出演：山田五郎、山瀬まみ、福山哲郎・外務副大臣、国立環境研究所・江守正多／司会：小野文恵アナ／衛星放送センター、京都局、NED

『BS特集～核なき世界へ オバマの戦略』

1. 3/19:10~20:00, 20:10~21:00

09年4月、チェコの首都プラハで核なき世界を呼びかけ、ノーベル平和賞を受賞して衝撃を与えたアメリカのオバマ大統領。賞賛の声が高まる一方で、理想論にすぎないと疑問視する向きもある。

オバマ大統領はなぜ、宣言に踏み切ったのか。実現の見込みはあるのか。専門家が徹底的に討論した。／出演：姜尚中・東京大学大学院教授，李鍾元・立教大学教授，中山俊宏・津田塾大学准教授，田中浩一郎・日本エネルギー経済研究所理事，秋山信将・一橋大学准教授／司会：柳澤秀夫解説委員／衛星放送センター，Gメディア

『BS特集～反骨の映画監督 マイケル・ムーア』

1. 9 / 22:10～22:59

「ドキュメンタリーは売れない」という常識を覆しヒット作を連発，各映画賞を総なめにしてきた映画監督，マイケル・ムーア。企業による大量解雇，産業としての銃社会など，一貫してアメリカに巣くう巨大な権力にカメラを向けてきたムーア監督が初来日。監督の目に日本の姿はどう映ったのか。作品に込めた思いとともに浮き彫りにしていく。／出演：マイケル・ムーア，国谷裕子／経済・社会情報番組部

『関口知宏のオンリーワン～ニッポンを元気にする若者たち “広島・尾道”』

1.11 / 22:10～22:55

鉄道紀行シリーズ，そして海外で活躍する日本の若者「ファーストジャパニーズ」を訪ねる旅で，世界中の人々と出会ってきた関口知宏さん。10年度新番組に先駆けての特別番組で彼が会うのは，独自の視点と行動力で活躍する全国各地の若者「オンリーワン」たち。スタートは広島県尾道市。「坂の町」として文人たちにも愛されたレトロな町並みは今，過疎化が進み空き家が急増，廃屋も増え，高齢者には特に住みにくくなっている。町を何とかしたいと立ち上がった「空き家再生プロジェクト」の若者たちは，空き家の居住者を県外からも募り^{あつせん}，改修から引っ越しまで徹底的にサポートする奮闘を続けている。「坂の町」再生にかける若者の活動と思いに迫った。地元小学校の体育館で，地域住民を交えて公開収録を行った。／進行：関口知宏／アシスタント：豊田エリー／衛星放送センター，Gメディア

『BS特集～わたしたちはそばにいる～神戸発・災害ボランティア 四川に挑む』

1.17 / 20:10～20:59

死者6万9,000人という甚大な被害を出した四川大地震。政府による復興が進められる中，援助の届きにくい地方の農村部で被災者支援に奮闘する災害ボランティアがいる。神戸のNGOメンバー・吉椿雅道さん。大切にしているのは被災者がみずからの力で地域を再建していけるような支援だ。心のケアから村の産業振興まで，被災者にと

もに復興に取り組む吉椿さんの活動に密着。真の復興支援とは何か，四川での格闘の日々を見つめた。／大阪局

『BS特集～テレビ新時代～変わるメディアと公共放送の挑戦』

1.24 / 20:10～20:55

② 3. 5 / 1:10～1:55

時代とともに進化してきたテレビ放送は，今，インターネットやデジタル技術によってどのように変わろうとしているのか。09年12月，京都で行われた「国際公共放送会議」(PBI:Public Broadcasters International)での各国公共放送の代表や専門家による議論と，世界のメディアの最新の動きを通じて，次世代のテレビ放送の可能性を探った。内容は，仏独共同プロジェクトHbbTV，韓国VOD編集サービス，台湾市民記者制度，オンラインゲーム(プレイステーション ホーム)，動画共有サイト(ニコニコ動画)ほか，番組の英語版をワールドTV，ラジオ日本でも放送し，世界各地から大きな反響を得た。／出演：村井純・中村伊知哉・慶応大学教授ほか／国際放送局

『我が思い出の冬季オリンピック「雪上の勇者たち」「銀盤の戦い」』

1.30 / 22:10～23:00

バンクーバー冬季五輪を前に，札幌五輪日の丸飛行隊の飛行，長野五輪スピードスケート清水宏保選手の快走など，日本人に思い出深い名シーンを，懐かしい映像と著名人の思い出トークとともに振り返り，五輪への期待を高めた。雪上編(スキーなど)25分，氷上編(スケートなど)25分の2部構成。素材を共有した5分番組『冬季オリンピック栄光の瞬間』も計10本制作。／衛星放送センター，Gメディア

『BS特集～零戦～栄光と悲劇の航跡』

2. 6 / 23:10～23:59

太平洋戦争を通じて海軍の主力戦闘機として戦った零式艦上戦闘機，通称「零戦(ゼロセン)」。旋回性能や航続距離などの優れた性能と開戦当初の華々しい戦果によって，数々の伝説に彩られてきた。終戦までの5年間に1万機以上が生産されたが，戦争の進展にともなって敵の格好の標的になり，戦争末期には特攻機としてパイロットともども無残な“死”に追いやられるなど悲劇的な結末をたどった。太平洋戦争を通じて零戦はどのような運命をたどったのか。番組では，元日本軍パイロットと零戦と戦った元アメリカ軍パイロットの証言で明らかにしていく。そこからは，開戦前からアメリカ軍によって零戦の情報収集と弱点の

研究が行われ、“対ゼロ戦法”が編み出されていた事実が明らかになり、戦争の中盤、アメリカが新型機を投入しても零戦にしがみついて戦うしかなかった日本のパイロットたちの苦悩が伝わってくる。同タイトルの『ハイビジョン特集』の49分ダイジェスト版。／ソフト開発センター，NEP，テムジン

『BS特集「第1部 岐路に立つテレビ・新聞」

「第2部 ウェブジャーナリズムの未来」

3.21/19:10～20:00, 20:10～20:59

アメリカでは今、ウェブ・メディアが躍進する一方で、半世紀にわたって主役を演じてきた新聞、テレビの2大メディアが激しく地盤沈下。権力の監視役というジャーナリズムの使命そのものが危ぶまれている。既存のメディアは、インターネットへの参入を存続の活路としながら、いまだビジネスモデルが描けずにいる。巨大な地殻変動に飲み込まれる既存メディアとジャーナリズムの現状、そして今後の展望をレポートした。／衛星放送センター，Gメディア

衛星第2 テレビ

衛星第2：定時番組

『あなたのアンコール サタデー／サンデー』

土 13:30～16:00

日 10:00～11:54

第1回07.1.14/視聴者コールセンターに寄せられる番組に対する意見や再放送希望の中から、特に反響が大きかった直近の番組を選び、紹介する。／司会：桜井洋子アナ/広報局制作部，NSC

『あなたの街で夢コンサート』

BS2 金 21:00～21:49

HV 木 11:00～11:49

第1回08.4.19/日本全国の街にお邪魔し、音楽をこよなく愛する地元の人たちと舞台を作り上げるステージショー。毎回、熱い思いを持った音楽愛好家が登場し、その音楽人生と個性あふれる素顔を紹介、最後はプロのオーケストラとの共演を果たすという、笑いと感動の夢ステージを届けた。／司会：渡辺徹，首藤奈知子アナ/音楽・伝統芸能番組部

『アニメギガ』

BS2 月 0:20～ 0:59

HV 土 0:50～ 1:29

第1回07.4.25, 最終回10.3.15/話題のアニメの制作者や声優などを、毎回1人スタジオに迎え、ロングインタビューするトーク番組。年10回放送。／司会：渡邊隆史，村井美樹/衛星放送センター，SV

『アニメ・ななみちゃん』

BS2 日 8:45～ 8:50

Ⓜ金 12:55～13:00

HV Ⓜ日 20:55～21:00

第1回04.5.17/04年5月に視聴者から届いた9万通の公募で名前が付けられた，BS新キャラクターを主人公とする5分のアニメ。木の実から生まれたななみが，小学校3年生の未知，その父遊作と母洋子，しあわせ荘の個性的な住人たちを巻き込んで起こす，ほほえましく楽しい物語。09年は16本を制作，合計で92本となった。／声の出演：小桜エツ子，かかずゆみ，ほか/衛星放送センター，NEP

『囲碁・将棋ジャーナル』

土 12:10～13:28

第1回98.4.9 (『囲碁・将棋ウィークリー』(第

1回89.9.3)を改題)／囲碁・将棋界のその週の話題と各棋戦の結果を中心に伝える「トピックス」と、タイトル戦など注目の対局を解説する「大盤解説」で構成する情報生番組。毎回、旬の棋士をゲスト解説者に迎えた。／制作局(委託管理)、NED

『器 夢工房』

日 6:20～6:30

第1回03.4.6, 最終回10.3.28／全国各地の陶芸家たちの作品を、「用の美」の視点から紹介する番組。日本の伝統的な手法を受け継いだ作品や、自由な創造力を発揮した個性的な作品を作る陶芸家たち、さらに新進気鋭の若手作家たちを紹介したこの番組は、陶芸ファンのみならず多くの視聴者からの支持を得た。09年度は、名古屋局が15本、福岡局が5本を制作。／語り：河野多紀／名古屋局、福岡局、NPN

『衛星アニメ』

火 20:00～20:50

新規視聴者の誘導を狙い、NHKが制作、購入した高品質アニメを、新作と交えてゾーン編成を行った。「脳コイル」「ツバサ・クロニクル」「こぼと。」を編成。

【アニメ こぼと。】 新

火 20:00～20:25

第1回09.10.6, 最終回10.3.23／人気創作集団CLAMPが雑誌連載中のマンガ「こぼと。」と「Wish」を原作にアニメ化。正体不明の少女、小鳩には「行きたい所」があるらしい。そこに行くためには「ピン」に人々の傷ついた心を集めなければならない。偶然人手不足の保育園を手伝うことになる小鳩だが、そこはトラブルで廃園の危機にあった。小鳩は保育園を救うことができるのか？全24話。／監督：増原光幸／アニメーション制作：マッドハウス／製作：こぼと。を守る会／ソフト開発センター、SV

【アニメ ツバサ・クロニクル】

火 20:25～20:50

第1回05.4.9／㊦(第1シリーズ)09.4.14～12.15, (第2シリーズ)09.12.22～／人気創作集団CLAMP原作の人気コミック「ツバサ-RESERVOIR CHRONICLE-」をアニメ化。全52話。考古学者を志す少年小狼と、クロー国の姫サクラは幼なじみ。ある夜サクラは、彼女の持つ力を手に入れようとする飛王の陰謀によって、すべての記憶を失ってしまう。サクラの命を救うために、小狼は異世界へと旅立つ。／監督：真下耕一・モリヲカヒロシ／アニメーション制作：ビートル

イン／ソフト開発センター、NEP

【アニメ 脳コイル】

火 20:00～20:25

第1回07.5.12／㊦09.4.7～9.29／今よりもちょっと未来の世界では、子どもたちの間でどこからでもネットに接続できる「脳コイル」が流行していた。大黒市に転校してきた小此木優子も脳コイルを使っていたが、彼女のまわりの脳コイル空間で不思議な出来事が次々に起こる。全26話。／製作：脳コイル製作委員会／アニメーション制作：マッドハウス／ソフト開発センター、NEP

『衛星アニメ劇場』

日 23:00～0:20

第1回90.4.2／木曜夜から日曜夜に移設し、『アニメアンコール』(第1回07.1.8)と合体。国内外から購入したアニメ作品と、NHK制作のシリーズアニメを3本立てで編成。作品と作品の間ではアニメの監督、声優のインタビューや今後のラインナップを紹介した。／作品：「花咲ける青少年」(全39話), 「グイン・サーガ」(全26話), 「スター・ウォーズ／クローン・ウォーズ」(全26話), 「プラネテス」(全26話), 「テニスの王子様」(全13話)／ナレーター：水田わさび／ソフト開発センター、NEP

【花咲ける青少年】 新

日 23:01～23:26

第1回09.4.5, 最終回10.2.14／樹なつみの原作による同名の人気マンガをアニメ化。大財閥パーンズワースの一人娘花鹿に対して父ハリーから仕掛けられた「夫探しゲーム」。次々と現れる魅力的な夫候補たち。しかしその裏には、ある国の王位継承にまつわる秘密が隠されていた。／監督：今千秋・亀垣一／アニメーション制作：びえろ／ソフト開発センター、SV

【グイン・サーガ】 新

日 23:29～23:54

第1回09.4.5, 最終回09.9.27／栗本薫原作による長編ファンタジー小説をアニメ化。キレノア大陸で最も古い歴史を誇る王国のパロ。その王宮クリスタルパレスに突如隣国のモンゴールが侵攻。双子の王女リンダと王子レムスは謎の装置により遠く離れたアルゴスへ脱出を図るが、誤って魔物が住むといわれるルードの森へと送られてしまう。そこでモンゴールの追っ手から間一髪2人を救ったのは、^{ひょう}頭の戦士グインであった。G(金0:45～1:10)でも放送。(09.10.2～10.3.19)／監督：若林厚史／アニメーション制作：サテライト／製作：Project Guin／ソフト開発センター

『衛星映画劇場』

月～金 13:00～15:00

第1回00.3.27／午後在宅率の高い高齢視聴者層に向けて、邦画・洋画の思い出の名画を中心に編成、179本を放送した。4月は時代劇特集（4.6～10）として「あらくれ大名」「はやぶさ奉行」など、5月はファミリー&動物映画特集（5.5～6）として「マイ・ドッグ・スキップ」「レモニー・スニケットの世にも不幸せな物語」など、8月はドイツ・オーストリア名画特集（8.3～7）として「ブルグ劇場」「野ばら」などを放送。9月にはマリリン・モンロー特集（9.28～10.2）として『BS世界のドキュメンタリー～マリリン・モンロー 最後の告白』とあわせ「ナイアガラ」「七年目の浮気」など、11月は生誕100年山中貞雄特集（11.10～11）として「丹下左膳余話 百萬両の壺」「河内山宗俊」「人情紙風船」を放送した。1月はマーロン・ブランド特集として「波止場」「革命児サバタ」など、2月はアカデミー受賞作品特集（2.15～27）として「怒りの葡萄」「十戒」などを放送した。／ソフト開発センター、NEP

『衛星映画劇場』

月 21:00～22:55

(前期) 火～木 21:00～23:00

(後期) 火・水 21:00～23:00

第1回89.10.1／家族で楽しめる話題作やヒット作を中心に127本を放送。4月は大作映画特集（3.30～4.4）として「風と共に去りぬ」「ガンジー」など、6月はミュージカル特集（6.22～25）として「プロデューサーズ」「アニー」など、西部劇特集（6.29～7.2）として「シェーン」「荒野の用心棒」などを放送。8月は、映画カメラマン宮川一夫の没後10年特集（8.24～27）として「雨月物語」「瀬戸内少年野球団」などを編成した。9月から10月にかけて、映画の魔術師スピルバーグ特集（9.21～10.8）として「E. T. 20周年アニバーサリー特別版」「宇宙戦争」「マイノリティ・リポート」「ターミナル」など、10月はNHKアジア・フィルム・フェスティバル特集（10.19～21）として「My Son～あふれる想い」「パンドラの箱」などを放送した。11月は大ヒット映画特集（11.16～18）として「M:I-2」「博士の愛した数式」など、1月は俳優中井貴一特集（1.4～6）として「ビルマの堅琴」「壬生義士伝」などを放送。アカデミー受賞作品特集（2.8～3.18）では、「ローマの休日」「アパートの鍵貸します」「プレイハート」「ベン・ハー」「史上最大の作戦」など、各賞に輝いた作品の集中編成を行った。また、

映画放送前の解説番組として『シネマ・プレビュー』を放送した。／ソフト開発センター、NEP
『衛星映画劇場』

火～金 0:40～ 2:30

日 1:00～ 3:00

第1回94.4.16／ヨーロッパやアジア映画、内外の気鋭の映画監督の個性的な作品、『衛星映画劇場』等で話題となった作品の再放送など、180本を放送した。4月は香港アクション特集（4.12～19）として「男たちの挽歌」シリーズなど、5月はサンダンス・NHK国際映像作家賞特集（5.5～10）として「神の羊」「ウール100%」など、カンヌ映画祭特集（5.12～22）として「甘い生活」「黒い雨」「桜桃の味」など、8月は戦争と人間特集（8.16～21）として「TOMORROW／明日」「上海の伯爵夫人」などを放送。日本映画秀作選（9.15～18）では「幸福な食卓」「ゆるる」など、NHKアジア・フィルム・フェスティバル特集（10.13～18）では「僕たちのキックオフ」「Orzボーイズ!」などを放送した。12月の障害者週間関連特集（12.1～4）では「エマニュエルの贈りもの」「母のいる場所」など、アンジェイ・ワイダ特集（12.8～13）では「夜の終わりに」「約束の土地」など、2月のアカデミー受賞作品特集（2.16～19）では「ミニヴァー夫人」「コールガール」などを放送した。／ソフト開発センター、NEP

『大阪発疾走ステージ WEST WIND』

第4日 18:00～18:48

第1回07.4.29／「NHK大阪ホール」で公開収録を行った音楽バラエティショー。関西出身者を中心としたお笑い芸人と音楽系アーティストが熱いライブを展開。関西ならではの歌と笑いの疾走感にあふれたステージで、温かみと熱気を全国に発信した。11月には滋賀のロックフェスを取り上げる出張版も放送した。09年度は10本放送。／司会：サバンナ、フットボールアワーほか／大阪局

『お好み寄席』

BS2 火 18:00～18:43

HV 水 11:00～11:43

第1回06.4.4／「NHKみんなの広場ふれあいホール」での公開収録で、落語・漫才などの寄席演芸を中心とした上質のエンターテインメントを紹介。実力派による独演「長講一席」のほか、「この人・この芸」「演芸三題」などの企画を軸に展開、さらに「チーム対抗大喜利合戦」を新規に始めた。／出演：三遊亭金馬、柳家さん喬、三増紋

也、玉川スミ、あした順子・ひろし、灘康次とモダンカンカンほか／司会：塚原愛アナ／エンターテインメント番組部，NEP

『海外連続ドラマ』

月 20:00～20:45
 ㊥火 23:00～23:45
 水・木 23:00～23:45
 日 21:00～22:00

09年度のBS海外ドラマは、以下のシリーズを放送した。／ソフト開発センター

「名探偵モンク6」新 月，㊥火

第1回04.3.30／（第6シーズン）第1回09.4.6，最終回09.7.20／極度の恐怖症と潔癖症の元刑事エイドリアン・モンクが活躍するユーモア・ミステリードラマの第6弾。妻の死がきっかけで、モンクは、刑事の職から遠ざかることを余儀なくされてしまう。しかし、その類まれな推理力を生かして、難事件を解決していく。全16回。

「デスパレートな妻たち4」新 水

第1回05.9.28／（第4シーズン）第1回09.4.8，最終回09.7.29／ウイステリア通りに暮らすがけっぷちの主婦たちの日常を、ミステリーとブラック・ユーモアを絡めて描くアメリカ人気ドラマの第4シーズン。全17回。

「ERXIII 緊急救命室」木

第1回96.4.1／（第13シーズン）第1回08.9.29，㊥09.4.9～09.8.7／シカゴのカウンティ総合病院の緊急救命室に勤めるドクターや医療スタッフの活躍を描く群像ドラマ。アメリカの医療ドラマの歴史を大きく変えたと高い評価を受けるドラマの第13シーズン。全23回。

「スポットライト」新 日

第1回09.4.5，最終回09.7.26／韓国・ソウルのGBS放送報道局社会部の若手女性記者ソ・ウジンが、新任キャップ、オ・テソクの叱咤激励を受けながら一人前の記者に成長していく姿を描くドラマ。全16回。

「魔術師 MERLIN」新 月，㊥火

第1回09.10.5，最終回09.12.28／ヨーロッパに伝わるアーサー王伝説をモチーフにしたイギリスのファンタジードラマ。生まれながらに強力な魔法の力を授かっている青年マーリンが王子アーサーを助けながら邪悪な魔女たちから国を守る冒険物語。全13回。

「華麗なるベテンスーパーたち3」新 月，㊥火

第1回06.7.25／（第3シーズン）第1回10.1.4，最終回10.2.8／スリル，アクション，そしてユーモアたっぷりの大ヒットドラマ「華麗なるベテ

ンスーパーたち」の第3シーズン。ミッキー，ダニー，アッシュ，ステイシー，アルバートの5人のメンバーが，“正直者はだまさない”のルールで欲張り者たちをベテンにかけ，ごっそりだまし取っていく。全6回。

「アグリー・ベティ3」新 水

第1回07.10.1／（第3シーズン）第1回09.10.7，最終回10.3.24／アメリカの人気コメディの第3シーズン。出版業界で働くことが夢だったベティ。有能ながらも，その容姿のために，仕事はなかなか見つからなかったが，ひよんなことから，一流ファッション誌「モード」編集長の秘書に抜擢される。「見かけ」だけが重視される世界で，ベティが，持ち前の明るさと勤勉さと誠実さを武器に奮闘する。全24回。

「ERXIV 緊急救命室」新 木

第1回96.4.1／（第14シーズン）第1回09.10.8，最終回10.2.25／シカゴのカウンティ総合病院の緊急救命室に勤めるドクターや医療スタッフの活躍を描く群像ドラマ。アメリカの医療ドラマの歴史を大きく変えたと高い評価を受けるドラマの第14シーズン。全19回。

「イ・サン」新 日

第1回09.8.2／18世紀後期の朝鮮王朝第22代王，正祖，名はイ・サンを主人公とした韓国の歴史ドラマ。陰謀渦巻く朝廷で幾度も暗殺の危機を乗り越え，偉大な王として多くの功績を残したイ・サン^{イ・サン}の波乱万丈の生涯を描く。放送は10年度にかけて全77回。

『上方演芸ホール』

BS2 金（原則第4週） 21:00～21:59
 HV 木 11:00～11:59

第1回01.11.19／漫才，落語，浪曲の名人芸や若手の旬の芸を楽しんでもらう公開番組。「本物の芸」をNHK大阪ホールから臨場感たっぷりに届けた。年10本。／案内：（漫才）桂米團治，石田靖，斉藤雪乃（落語）小佐田定雄／大阪局

『クラシック・ロイヤルシート』

月 1:00～4:00

第1回94.10.22，最終回10.3.29／世界のオペラハウスや音楽祭から，話題のステージ，注目のコンサートを紹介する番組。独自収録・国際共同制作・番組購入などにより，グランドボーン音楽祭「妖精の女王」「ベツレヘムとエルサレムのクリスマス・オラトリオ」「音楽 終わりなき道～ピエール・ブレーズ」など，バラエティー豊かなラインナップで放送した。／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『蔵出し劇場』

水・木 18:00～18:44ほか

第1回07.1.8（『蔵出しエンターテインメント』）／かつての懐かしい番組を再放送，再編集して放送。

『ふたりのビッグショー』 水

93年から03年にかけて放送した『ふたりのビッグショー』から精選。2人のエンターテイナーが共演し，スペシャルデュエットやメドレー，トークなどを展開した。／ライツ・アーカイブスセンター，エンターテインメント番組部，NEP

『月替わり特集』 木

- ・『NHKスペシャル 始皇帝』（3本放送）
- ・『NHKスペシャル 大モンゴル』（5本放送）
- ・『アジア古都物語』（6本放送）

アジアを舞台にした大紀行番組。／ライツ・アーカイブスセンター，エンターテインメント番組部，NEP

『お笑いオンステージ』

72年～82年放送の公開寄席バラエティー。8本放送。／ライツ・アーカイブスセンター，エンターテインメント番組部，NEP

『あの人からのメッセージ』

互いの人生で深い接点を持ち，合い通じる生き様を共有する2人（故人）の保管映像やインタビューを再編集し，次世代に託されたメッセージを紹介。13本放送。／ライツ・アーカイブスセンター，NEP

『レッツゴーヤング』

74年から86年にかけて放送された若者向け歌番組。5本放送。／ライツ・アーカイブスセンター，エンターテインメント番組部，NEP

『さきげん歌謡笑劇団』 新

BS2 金 21:00～21:59

HV 木 11:00～11:59

第1回09.4.10／中高年のアイドル・綾小路きみまろが司会の，親しみやすさと温かい笑いを目指した地方派遣公開番組。出演は大衆演劇の若きスター・早乙女太一と，魚のことならおまかせ・さかなクン。さらには毎回，人気歌手や実力たっぶりの俳優，芸達者のタレント，コメディアンをゲストに迎え，地元的话题を織り込んだオリジナル脚本による爆笑芝居や，地元の特産，名産を紹介するなど地元色たっぷりのバラエティー番組。また，早乙女太一の美しい舞やゲスト歌手による最新ヒット曲など楽しさ満載の59分番組。09年度は10本を実施・放送。／エンターテインメント番組

部

『最新ヒット ウエンズデー J-POP』

BS2 水 20:00～20:49

HV 木 17:00～17:49

再土 0:00～0:49

第1回06.4.5/J-POPのアーティストが，新曲を発表する「水曜日」に，「NHKみんなの広場ふれあいホール」から生放送で送る若者向け音楽番組。旬の人気アーティストによる迫力の生ライブを中心に，この1週間のライブ情報やCD売り上げによるヒットチャートなど，最新の音楽情報を交えて伝えた。／司会：さくら／音先案内人：亀田誠治，寺岡呼人，本間昭光／エンターテインメント番組部，NEP

『SOUND+1』 新

BS2 (月1回) 金 22:00～22:49

HV (月1回) 金 17:00～17:49

第1回09.5.1，最終回10.3.12／一流ミュージシャンを全国各地のアマチュア音楽演奏グループのもとに派遣し，ひと月後のステージ本番までをドキュメントする番組。プロの指導を受けながら演奏に磨きをかけていくアマチュアメンバーたちの姿を追った。毎回“プラス・ワン”となるゲストには，つのだ☆ひろ，うじきつよし，吉田兄弟，加藤登紀子，小林幸子，平原綾香，千住真理子，日野皓正，小松亮太，八代亜紀らを迎え，計10回放送した。また，『SOUND+1スペシャル・吹奏楽スペシャル2009』として，スペシャルコンサートを新宿厚生年金ホールで開催し，2時間の特集番組として放送した。(09.11.13)／衛星放送センター，Gメディア

『ザ少年倶楽部』

BS2 日 18:00～18:50

HV 火 17:00～17:50

第1回00.4.9／コンサートや舞台で大活躍のジャニーズJrがNHKホールで繰り広げるステージショー。毎回テーマを決め，メンバー各人の個性も伝わるような内容となっている。第3週は，トークを中心としたスタジオ番組『ザ少年倶楽部～プレミアム』。CDデビューしたジャニーズの人気グループがゲストとして毎回登場。そのメンバーのひとりがトークゲストとして登場し，国分太一と本音トークを繰り広げる。このほか，各界の第一線で活躍する女性を招いてのトークコーナーもある。／司会：（1，2週）中丸雄一（KAT-TUN），小山慶一郎（NEWS），（3週）国分太一（TOKIO）／エンターテインメント番組部，NEP

『The 女子力』 新

(前期) 木 20:50~22:00
 (前期) ㊄水 23:45~23:55
 (後期) 木 22:50~23:00
 (後期) ㊄火 23:45~23:55
 ㊄日 8:50~ 9:00

第1回09.4.9, 最終回10.3.25/輝く女性たちの生き方を支えるパワー, それが“女子力”。「女子力グラフ」「女子力グッズ」などさまざまな角度から, “女子力”の秘密に迫り, 女子力のための“生きるエネルギー”を10分間に凝縮した。/衛星放送センター, NED

『ザ☆ネットスター!』

BS2 土 0:00~ 0:39
 HV 月 1:00~ 1:39
 ㊄金 11:00~11:39

第1回08.4.5, 最終回10.2.6/最先端の人気ネットコンテンツを発掘し, なぜ今それがウケているのかを探っていくネットカルチャーバラエティー。年10回放送。/司会:立川談笑, 喜屋武ちあき/衛星放送センター, NEP

『三枝一座がやってきた!』

BS2 金 21:00~21:44
 HV 木 11:00~11:44

第1回07.4.21, 最終回10.3.12/創作落語の大家・桂三枝が, 全国各地を訪れ, その土地の話題を基に毎回新たなご当地落語を創作・披露する公開派遣番組。09年度は, 10か所で実施・放送。/司会:桂三枝, 相田翔子/エンターテインメント番組部, NEP

『CATVネットワーク~すばらしき私の街』

土 16:00~16:59

第1回04.4.18/全国のケーブルテレビ局が制作した地域限定の自主制作番組を通して, 日本各地の魅力を紹介する。同時に新たなテレビ文化の担い手となっているケーブルテレビの現在を, 全国の視聴者に紹介した。/司会:さとう珠緒, 水谷彰宏アナ(2月から山田貴幸アナ)/衛星放送センター, Gメディア

『シネマ堂本舗』

日 22:45~22:55
 月 18:45~18:55
 火 20:50~21:00
 水 23:55~ 0:05
 金 20:45~20:55
 土 19:45~19:55
 (後期)木 22:40~22:50

第1回07.1.7/映画にかかわるものなら何でも

そろろうお店「シネマ堂本舗」。店主の「カントク」こと山本晋也さんと関根麻里さんがBS2『衛星映画劇場』で放送予定のお薦め作品を紹介。/ソフト開発センター, NEP

『シネマの窓』

月~金 6:57~ 7:00, 8:00~ 8:03,
 11:57~12:00

第1回04.3.29, 最終回10.3.26/BS2『衛星映画劇場』で放送する作品をPRするミニ番組。当日放送する映画や, 近日放送予定の話題作を, 渡辺俊雄・衛星映画劇場支配人の語りで紹介。/ソフト開発センター, NEP

『Shibuya Deep A』

金 23:00~ 0:00

第1回07.4.6/全国の若者が携帯電話から送る投稿で作る生放送バラエティー。テーマは視聴者の身の周りで起きたニュースや, ハプニング, 恋愛や悩みの相談まで何でもあり。司会の2人と毎回のゲストが, 気に入った投稿を読み上げ, トークで盛り上げていく。また, 携帯電話から簡単な設問に答えるだけで参加者の恋愛力や人間力を診断するチェック企画など, 多彩な双方向企画を設けている。/司会:田村淳, ケンドーコバヤシ, 塚原愛アナ/衛星放送センター, NEP

『渋谷らいぶステージ』

BS2 月 18:00~18:43
 HV 火 11:00~11:43

第1回08.3.31/演歌, 歌謡曲, ポップスのジャンルで活躍する歌手をゲストに招き, ワンマンショー形式で番組独自のライブステージを展開。「NHKみんなの広場ふれあいホール」公開収録番組。/司会:水前寺清子/エンターテインメント番組部, NEP

『週刊 手塚治虫』 新

BS2 金 22:00~22:59
 HV 月 19:00~19:59

第1回09.4.10, 最終回09.10.16/BS開局20年, 手塚治虫生誕80年を記念するマガジスタイルの番組。“漫画の神様”と呼ばれるだけでなく, 科学文明の未来にさまざまな警鐘を与えた手塚治虫の世界を楽しく紹介すると同時に, 現代を考えるヒントを探ることを目指した。メインコーナーは各界の著名人が毎回登場し, 手塚作品の魅力を語り, 現代に通じるメッセージをひもとくスタジオトーク。手塚治虫原作のテレビアニメや手塚漫画を新たに映像化した「モーション漫画」を毎回1本ずつ放送。VTRコーナー「私の手塚治虫」では, 人生の原点となった一作を紹介した。/司

会：石澤典夫アナ，杏（女優）／衛星放送センター，NED

『週刊ブックレビュー』

BS2 土 8:30～9:24

HV 土 22:00～22:54

第1回91.4.7／日々，多数出版されている新刊本を書評することによって視聴者に読書の指針を提示する番組。「おすすめの一冊」のコーナーでは毎回，各界の著名人3人が，それぞれ推薦する新刊本を紹介し，うち3冊を合評した。後半の「特集コーナー」では，話題の本の著者を招いて，その本にまつわるエピソードや著者の素顔を紹介した。また，兵庫県芦屋市（12月）で公開収録を行い，視聴者との交流に努めた。／司会：児玉清，藤沢周，梯久美子，中江有里，金井勇太，谷口真衣／衛星放送センター，NEP

『素敵にガーデニングライフ』

BS2 日 7:40～8:04

㊦土 5:30～5:54

HV 木 21:30～21:54

㊦火 7:00～7:24

第1回03.4.9／全国のガーデナーが手塩にかけた自慢の庭を，上岡亮アナウンサーと小林あずささんが訪問。09年度は，プロのガーデナーからのワンポイント・アドバイスやオーナーの日常のドキュメントシーンなどのコーナーを新設。8月にはドイツの庭を訪ねるシリーズを3本制作し，09年度は計36本を制作した。／衛星放送制作センター，NEP，NPN

『絶対！ふるさと主義』

日 13:00～15:00

第1回02.5.10／各地の風土や産業，イベントなどを軸にテーマを設定し，NHKと地域が一体となって生放送で伝える地域密着型の番組。地元のCATVと協力して制作，地域色を鮮明に打ち出している。横浜市（横浜局），大阪府（大阪局），新潟県（新潟局），大分県（大分局），静岡県（静岡局）で実施。／衛星放送センター，各地域局

『デジスタ・プチ劇場』

BS2 日 22:55～23:00

E 日 0:45～0:50

第1回06.4.3／『デジタル・スタジアム』で放送された作品から毎回1～2本ずつピックアップ，ミニ番組として放送する秀作選。／衛星放送センター，NEP

『デジタル・スタジアム』

BS2 土 0:00～0:39

HV 月 1:00～1:39

㊦金 11:00～11:39

第1回00.4.1，最終回10.3.13／視聴者から寄せられたアート作品をプロのクリエイターが講評し優秀作品を選ぶ番組。コンピューター・グラフィックス，メディアアート，ウェブなどの作品を取り上げてきた。開始から10年を経て，作品の質量ともに上昇傾向にあり，応募者の年代層も広がりを見せている。10代のクリエイターたちの活躍を紹介する「デジスタ・ティーンズ」，年間最優秀作品を決める「デジスタ・アワード」を放送。年4回，公開収録を実施。／司会：中谷日出解説委員，ジョージ・ウィリアムズ／衛星放送センター，NEP

『ドゥ！エアロビック』 新

日 6:30～6:54

第1回09.4.5／日本でも指折りのインストラクターが全国各地を訪ね，学校や地区の集会所・企業などを会場にエアロビックを楽しむ，視聴者参加型の公開番組。企業での収録では仕事の内容なども紹介しながら，仕事の疲れをリフレッシュするエクササイズなども指導している。指導者やインストラクターが参加者の輪の中に入り，直接指導することで，よりわかりやすくエアロビックを楽しめるよう制作した。／司会・指導：知念かおる（日本エアロビック連盟理事長）ほか／衛星放送センター，NEP

『どれみふぁワンダーランド』 新

（月2回）土 20:00～20:59

第1回09.4.25／クラシックからポップス，ロック，ジャズ，歌謡曲，童謡まで，「音楽の新しい楽しみ方」を提案するバラエティー番組。有名曲にまつわる楽しいエピソードや新解釈による分析，また，音楽家たちの舞台裏を紹介し，遊び心あふれるさまざまなアイデアが詰まった歌や演奏で構成する。09年度は20本を制作。／出演：宮川彬良，戸田恵子，RAG FAIRほか／エンターテインメント番組部，NEP

『懐かし連続ドラマ』

09年度は，「奥様は魔女」と「スター・トレック～宇宙大作戦」を放送した。／ソフト開発センター

『奥さまは魔女』

金 18:25～18:50

㊦月 9:25～9:50

第1回06.10.6／魔法使いのサマンサは広告代理

店に勤めるまじめな男性ダーリンと恋に落ち、自分も普通の人間と同じように生活することを約束したが、ついつい魔法を使ってしまい大騒ぎに。エミー賞にも輝いた大ヒットコメディ。

「スター・トレック 宇宙大作戦」

土 17:00～17:50

〔再〕水 9:00～9:50

第1回07.7.22, 最終回09.9.5／宇宙船USSエンタープライズ号の太陽系外宇宙探査の冒険を描くSFシリーズ。アメリカでの放送40年を記念してデジタル・リマスター化されたものを放送。

『にっぽん熱中クラブ』

BS2 木 20:00～20:24

〔再〕火 23:45～0:09

HV 〔再〕金 17:00～17:24

第1回08.4.4, 最終回10.2.25／日本全国の高校や大学のユニークなクラブ活動やサークルを発掘、ひとつの活動に熱中する元気な若者の姿を紹介する番組。従来の文科系・体育系といった枠にとらわれず、既存のジャンルに当てはまらない活動を取り上げる一方、民俗芸能など地域と密着したもの、将来の進路選択に直結する職業技術にかかわるものなど、多様なクラブ・サークルが登場した。番組では、毎回一組のお笑いコンビが直接学校に出向き、一日入部の体験なども交え、部員たちの素顔を伝えた。08年度に引き続き、8月と3月には、それぞれ、前期と後期のダイジェストをベースにした特集番組を放送した。09年度は35本を放送。／出演：スピードワゴン、やるせなす、ほか／衛星放送センター、NPN

『俳句王国』

土 11:00～11:53

第1回95.4.15／正岡子規や高浜虚子など近代俳句の巨人を輩出した四国・松山から発信するテレビ句会。毎回、俳句界の第一線で活躍する俳人を主宰に迎え、各界の著名なゲストと全国から結社の枠を越えて集まった俳人たちが、匿名で俳句を披露し批評しあう句会を繰り広げた。句会特有のクイズ性やゲーム性、日本語の美しさを楽しむ知的エンターテインメント番組でもある。また、09年度は埼玉・大分・広島・宮城で公開収録を実施した。／松山局、NPN

『BSイベントホール』

土・日 午後

第1回94.10.9／全国各地で開かれる音楽・演劇・シンポジウム・郷土芸能などのイベントを紹介。／衛星放送センター、NEP、各地域局

『BSエアロビック』

(前期)月～木 9:50～10:00

(後期)月・火 9:50～10:00

第1回99.4.5／お年寄りから若者・子どもたちまで気軽に運動を楽しめる番組を目指してスタート。そのすそ野は徐々に広がり、毎日のエクササイズを楽しみにしている視聴者が増えている。「全身を伸ばす」「肩まわりをほぐす」など、1つのテーマを2日間にわたって扱い、内容に深みを持たせている。09年度は、07年度、08年度制作分の再放送。／司会・指導：吉田知子、本間友暁、田中小夜子ほか／衛星放送センター、NEP

『BS永遠の音楽 大全集』

土 20:00～23:00ほか

第1回05.5.22／世代を越えて愛され続けている名曲の数々を、音楽のジャンル別テーマで年4本、NHKホールの公開番組として収録する大型音楽番組。09年度は「アニメ主題歌」(5.2)、「映画音楽」(8.1)、「叙情歌」(10.17)、「フォークソング」(2.20)を放送した。／エンターテインメント番組部、NEP

『BSエンターテインメント』

土 20:00～23:00ほか

第1回02.1.13／週末のプライムタイムに90分、120分の長時間枠で、娯楽性の高い良質のソフトを提供。演歌、歌謡曲、ポップス、洋楽などの音楽からマジック、演芸まで幅広いジャンルをたっぷり見せるエンターテインメント番組。09年度は「昭和歌謡黄金時代」「歌伝説」シリーズなど10本を放送。／エンターテインメント番組部、NEP

『BSおかあさんといっしょ～スプーとあそぼ』

月～木 10:00～10:20

〔再〕月～木 12:15～12:35

第1回02.4.8, 最終回10.3.18／教育テレビで幼児とその保護者から圧倒的に支持されている『おかあさんといっしょ』のBS版。人形劇「ぐ〜チョコランタン」やアニメーション、子どもが参加する「うたとたいそう」コーナーからなる20分番組。「うたとたいそう」コーナーは各地の放送局で収録し、これまでこのコーナーに参加できなかった全国の子どもの参加希望の声に応えた。BS版では新たに歌のお兄さん、お姉さん、たいそうのお兄さんを起用。／出演：ひなたおさむ、かまだみき、恵畑ゆう、ほか／制作局(委託管理)、NED

『BSサタデーライブ』

土 23:30～0:59

『黄金の洋楽ライブ』

第1回06.4.8, 最終回10.2.27／世界の音楽シーンを彩ってきたトップアーティストのライブ公演の映像を購入し、ゲストによる案内と解説を加えて放送した。デュラン・デュラン, チープ・トリックらのライブを年間16本放送。／ソフト開発センター, NEP

『スーパーライブ』

第1回05.5.27／日本を代表するアーティストのライブ公演を収録。インタビューなども交え、90分に凝縮して放送した。KREVA, UVERworld, SPEEDらのライブを紹介。年間7本放送。／エンターテインメント番組部, NEP

『BSシンフォニーアワー』

金 10:00～11:40

NHK交響楽団の定期公演を中心としたオーケストラの演奏会を、5.1サラウンドやBモードステレオで放送する音楽番組。N響の年27回の定期公演のほか、「N響ほっとコンサート」「オリンピックコンサート」「京都市交響楽団演奏会（オーケストラの森・全曲版）」など色とりどりのラインナップでオーケストラ音楽を放送した。／音楽・伝統芸能番組部

『BSスタイル』

BS2 土 17:50～18:00ほか

HV 土 16:20～16:30ほか随時

第1回05.4.2／女優の佐藤藍子が毎回ひとつの番組やイベントをピックアップし、おしゃるに、知的に、すてきに掘り下げていく広報番組。／司会：佐藤藍子, 須藤温子, 梶原麻莉子／広報局制作部, NSC

『BS大好き』

BS2 月～日 18:55～18:58

HV 月～金 18:55～18:58

第1回03.3.31／当日放送するBS3波の夜の番組を中心にスピーディーに広報する番組。CGやVTRを使って、内容をコンパクトに紹介する。／ナビゲーター：月～水は山本潤, 木～日は森田雪／広報局制作部, NSC

『BSティーンズ倶楽部』

BS2 日 17:50～18:00ほか

HV 月 11:45～11:55ほか随時

女性2人の人気お笑いコンビ「北陽」が、さらにパワーアップしてBS3波のティーンズ向け番組を徹底紹介。2人の突撃体験あり、ティーンズの視聴者が参加する回もあり、タイムリーな演出でティーンズ向けの番組の魅力をPR。／広報局制作部, NSC

『BSななみ DE どーも!』

日 8:05～8:45

㊤金 12:15～12:55

第1回07.4.6／どーもくん, ななみちゃんと愉快な仲間が繰り広げる公開バラエティー。どーも, ななみ, うさじい, たーちゃん, テツandトモが大活躍する「ななみDEどーも一座」, ゲストのパフォーマンスや歌で遊ぶ「ななみのどーもいらっしやい!」。ななみちゃんやどーもくんが会場を飛び出し, さまざまなことに挑戦する「ななみ(どーも)ゴーゴー!」など, 家族で楽しめるコーナーをそろえている。09年度は, 「NHKみんなの広場ふれあいホール」で23本, 全国各地で10本, 総集編2本の35本を制作。／出演：テツandトモ, 浜谷真理子ほか／衛星放送センター, NED

『BS20周年ベストセレクション』 新

土 21:00～22:30ほか

第1回09.6.13, 最終回10.3.26／BS放送が始まって20年。この間, 特に注目を集めた番組を振り返り, スタジオのコメンテーターとともに, 新たな目線で番組を見つめた。／ライツ・アーカイブスセンター, NEP

『BS日本のうた』

BS2 日 19:30～20:58

HV 金 21:00～22:28

第1回98.4.5／時代を越えて受け継がれる名曲の数々を, 総勢10組を超える歌手を迎えて紹介する大型公開派遣番組。ノンテーマで名曲を紹介する「名曲イレブン」, 新曲を取り上げる「旬の歌コーナー」, 毎回, 趣向を凝らした企画で見せる「スペシャルステージ」の3つのコーナーを軸に, 質の高い歌唱をたっぷり紹介, 衛星放送ならではのスケール感ある内容で放送した。09年度は30本を公開派遣で制作。／司会：山田康弘アナ／エンターテインメント番組部, NEP

『BS熱中夜話』

BS2 金 20:00～20:44

㊤月 23:25～0:09

HV 月 17:00～17:44

第1回08.4.4, 最終回10.3.19／同好の士30人がスタジオに集まり, 毎回1つのテーマを熱くディープに語り合う, 新感覚のトーク番組。年40回放送。／司会：ビビる大木, 田丸麻紀／衛星放送センター, NEP

『BSフォーラム』

土 16:00～16:54ほか

第1回94.4.16／環境, 医療, 教育, 街づくりなど, 暮らしに密接にかかわる話題から, 食料問題

や国際社会のありようまで、その道の第一人者や現場で実践している人、有識者らが、じっくり、深く議論した。公共放送ならではの真摯で実直な討論番組として、全国各地で開催されるシンポジウムの録画を核にして番組を構成した。／ソフト開発センター、NEP、NED、Gメディア

『BSまるごと大全集』

土 20:00～23:58ほか

「BSはぜんぶやる」を合言葉に“たっぷり感”“満足感”のある長時間の生放送で、ひとつのテーマをすべて見せる大型番組。09年度は「永遠の歌姫 美空ひばり」(6.26)、「ちあきなおみの世界」(11.21)、「日本のポップ&ロック大全集」(12.12)の3本を放送。／エンターテインメント番組部、NEP

『BS名作アニメ劇場』

月～木 12:35～13:00

㊤月～木 10:20～10:45

第1回02.4.1／在宅の子どもとその家族を対象にした名作アニメーションを放送。70年代から80年代にかけて制作された作品を中心に、幅広く選んで購入し、編成した。また昼に放送した作品を、終了後に朝の時間帯でも再放送した。／主な作品：「愛少女ポリアンナ物語」「小公女セーラ」「トラップ一家物語」「私のあしながおじさん」／ソフト開発センター、NEP

『日めくりタイムトラベル 昭和〇〇年!』

(月1回) 土 20:00～22:59

第1回07.4.7／昭和のある1年を取り上げ、どのような出来事があったのか日めくり形式で見ていく番組。NHKの膨大なアーカイブを駆使し、事件事故から珍奇な流行まで、昭和の様子をよみがえらせる。当時を知っている世代には記憶の強力なフラッシュバック装置となり、知らない世代には新たな異世界への扉となる、「過去に置き忘れていたものは何か」を考える情報バラエティー。／司会：松本和也アナ／衛星放送センター、NEP

『マンガノゲンバ』

BS2 月 0:20～0:59

HV 土 0:50～1:29

第1回06.4.4／気鋭の読み手が新作を批評する「読み手ノゲンバ」、作者の制作風景を紹介する「作者ノゲンバ」をメイン企画とした、マンガのレビューを行う番組。08年度から月1回程度のスペシャルとして漫画家本人がスタジオで自作を語る「作者スペシャル」、09年度は料理、スポーツ必殺技などテーマで読み解く企画をスタート。／

司会：天野ひろゆき、大島麻衣／衛星放送センター、NEP

『ミッドナイトステージ』

土 0:45～2:45

1、2週は「演劇はいま」という副題で現代演劇の魅力をヴィヴィッドに伝えた。演劇のいまを担うゲストに、第一線の演劇ジャーナリスト・山口宏子(朝日新聞論説委員)が抱負を聞く対談と、ゲストがかかわった劇場中継で構成。3～5週はNHKが新規に収録した小劇場系の舞台を中継。／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『魅惑のスタンダード・ポップス』

日(最終) 19:30～20:58

第1回08.4.27、最終回10.2.28／スタンダード・ポップスの名曲を都内のライブハウスから届ける歌謡番組。日本の実力派ポップス歌手が、メドレーで往年のポップスを歌い上げる。長年日本のポップス界を支えた人物をフィーチャーする「ポップスの伝説」や、著名ゲストを迎えての映画にまつわる思い出を伺う「私の青春映画音楽」などのコーナーも充実。09年度は10本制作。／司会：井上順、新妻聖子／エンターテインメント番組部、NEP

『わんにゃん茶館』 新

木 20:25～20:49

㊤月 9:00～9:24

(後期) ㊤木 23:45～0:09

第1回09.4.9／小さなペットカフェ「わんにゃん茶館」を舞台に、毎回、旬のゲストを迎えて、愛犬や愛猫にまつわるおしゃべりを楽しんだり、投稿動画やペットが喜ぶおやつレシピを紹介したりと、おしゃれて快適なペットライフのヒントが詰まった新感覚のトーク番組。09年は、バイオリニストの川井郁子さんから俳優の渡辺徹さんまで、35本を制作。／出演：黒田知永子、青井実アナ／衛星放送センター、Gメディア

衛星第2：特集番組

『アクターズ・スタジオ・インタビュー』

BS2 随時

アクターズ・スタジオの指導者のひとりジェームズ・リプトン氏が、第一線で活躍する俳優・監督を招き、その世界を目指す学生たちの前で人生を語ってもらうインタビュー番組。09年度はダニエル・ラドクリフ、サラ・ジェシカ・パーカー、ジョン・キューザックなど午後を中心に31本を放送した。／ソフト開発センター、NEP

『囲碁・将棋タイトル戦中継』 4～2月

囲碁・将棋タイトルの中でも、権威のある5つのタイトル戦を生中継した。／「第67期将棋名人戦」(4～6月)羽生善治名人VS挑戦者郷田真隆九段、「第64期囲碁本因坊戦」(5～7月)羽根直樹本因坊VS挑戦者高尾紳路九段、「第34期囲碁名人戦」(9～10月)張栩名人VS挑戦者井山裕太八段、「第22期将棋竜王戦」(10～11月)渡辺明竜王VS挑戦者森内俊之九段、「第34期囲碁棋聖戦」(1～2月)山下敬吾棋聖VS挑戦者張栩十段／制作局(委託管理), NED

『ニッポン全国俳句日和』

4.25, 10.24/11:00～11:54, 12:10～16:00

『ニッポン全国短歌日和』

4.26, 10.25/11:00～11:54, 12:10～16:00

土日の午前11時から5時間ずつ、春・秋年2回の生放送。全国から募った投稿作品をスタジオの選者6人ほどが選考。番組前半では作品紹介、番組後半では優秀作品を巡り選者が徹底討論を行い、特賞・選者賞を決める。また、短歌・俳句にちなむVTRをインサート、秋には都内大学に中継を設け現場で実作に挑戦した。司会は中川緑アナ。ゲスト解説にベテラン歌人・俳人を招いた。PC・携帯・FAXの投稿数は俳句約8,000、短歌4,000、回を重ねるごとに上昇傾向にある。日ごろ俳句・短歌に関心が薄くても、選者が魅力あるディベートで勝ち進んでいく構造は理解しやすく、老若男女の別なく家族で番組を応援できるとの反響が寄せられた。／ソフト開発センター, NED

『あなたが選ぶ BS20歳の名作集』

5. 5～31 (全18回)

89年に衛星放送が誕生してから20年目を記念し、視聴者に「もう一度見てみたい」過去のBS番組へのリクエスト投票を行い、得票の多かったものを中心に放送する特集企画。過去のBS番組から223番組をリストアップしてパンフレットを制作、全国各局やNHKイベント会場などで配布し、投票を呼びかけた。投票受付は09.2.15～3.31まで。全国各局に置いた投票箱への投票や、はがき、HP、データ放送などへの投票を受け付け、合計16万票余りのリクエストが集まった。3月6日には、ランキングの途中経過を伝える『中間発表! あなたが選ぶBS20歳の名作集』(19:45～21:00)を、5月4日には最終結果と番組の見どころを伝える『最終発表! あなたが選ぶBS20歳の名作集』(21:00～22:55)を放送。5月5日からは全18日かけ、人気上位の番組を中心に放送した。／放送した番組: 「特集 深田久弥の日本百

名山」「列島縦断 鉄道12000kmの旅」「渥美清の“寅さん”勤続25年」「にっぽんの名作～朗読紀行『斜陽』ほか」「いま裸にしたい男たちGackt」「山田風太郎が見た日本」「沢田研二の寒中御見舞～獅子奮迅ワンマンショー」「あの日 昭和20年の記憶」「本田美奈子. 最期のボイスレター」「中国の桃源郷・原始の森の湖沼群・九寨溝」「野茂英雄の米国野球見聞録'97」「マンホールチルドレン」「メトロポリタン美術館・早回りガイド巨大美術館の至宝」「街道てくてく旅・東海道五十三次踏破・総集編」「喜びは創りだすもの～ターシャ・テューダー四季の庭」「地球に好奇心・アンデスに響く黒人音楽」「冬のソナタ完全版(10)」「吉田拓郎&かぐや姫 in つま恋2006」／衛星放送センター, NEP

『ザ・ベストテレビ』

6.14/13:00～18:00

6.21/10:30～11:54, 13:00～18:00

08年度の主だった「テレビ賞」の受賞作品を一挙に紹介、中でもグランプリを受賞したドキュメンタリー作品は全編をまるごと放送した。放送局の垣根を越えて、NHKと民放26社が協力、ふだん見逃してしまいやすい名作が一堂に会した。／紹介作品: “地方の時代”映像祭グランプリ「映像'07 夫はなぜ、死んだのか」(毎日放送), ATP賞グランプリ「ETV特集 アンジェイ・ワイダ」(NHK), 文化庁芸術祭賞大賞「ヒューマンドキュメンタリー いのちの記憶」(北海道放送), 放送文化基金賞テレビドキュメンタリー番組本賞「NHKスペシャル 解かれた封印」(NHK)ほか／ソフト開発センター, NEP

『トニー賞授賞式2009』

BS2 6.28/19:30～22:00

HV 8.16/ 9:00～11:30

映画のアカデミー賞、音楽のグラミー賞と並んで、全世界のショー・ビジネス関係者が注目するアメリカ演劇界で最も権威を持つ「トニー賞」。63回目となる09年の授賞式もようをノーカット完全字幕スーパーで放送。授賞式以外にも、有働由美子アナウンサーによる最新のNY演劇情報や体験レポート、レッドカーペットでのスターインタビューなど、臨場感あふれるエンターテインメント番組。／音楽・伝統芸能番組部, NEP

『第21回テレビ囲碁アジア選手権韓国大会』

7. 8～10/16:00～18:00

NHK, 中国CCTV, 韓国KBSのテレビ棋戦で勝ち抜いた2人の棋士と08年度の優勝者の計7人が競う、事実上の早碁世界一を決める国際棋戦。

NHKの提唱で始まり、09年で21回目を迎えた。日本の代表は、結城聡NHK杯権者と武宮正樹九段。優勝は孔傑九段（中国）。／解説：王銘琬九段／聞き手：青葉かおり四段／司会：吉岡大輔アナ／制作局（委託管理）、NED

『シャンソンの夕べ～第47回パリ祭から』

7.11／15:30～16:59

世界中で歌い継がれているシャンソン。その日本での最大のイベントが毎年7月にNHKホールで行われている「パリ祭」。第一人者石井好子をはじめ、そうそうたる顔ぶれが競うコンサートのもようを収録、シャンソンの魅力を日本中のファンに届けた。／出演：石井好子、芦野宏、戸川昌子、前田美波里、加藤登紀子、堺正章ほか／司会：永六輔、遠藤素子／エンターテインメント番組部

『ガンダム宇宙世紀大全』

7.27～30／21:00～ 2:30（途中別番組あり）

7.31／21:00～ 0:40

アニメ「機動戦士ガンダム」が最初に放送されてから30周年の特集企画。テレビアニメ、劇場公開アニメなどを制作順ではなく、ガンダム作品が描かれた独特の時間軸「宇宙世紀」の年代順に紹介していくというざん新な視点で、5日間、合計20時間にわたって放送した。また、「宇宙世紀の歴史が動いた」や「ガンダムと私」などの独自企画も組み込み、「NHKにしかできない放送」と視聴者反響や新聞コラムで好評だった。再放送要望は約250件、特設ウェブサイトには5日間で約28万ページビューのアクセスがあった。タイムリーさ、ファンを満足させる深さ、たっぷり伝える長時間編成と、衛星放送の魅力を存分に発揮した。／衛星放送センター、NED

『総合診療医 ドクターG』

8.18／23:00～23:44

問診を中心にした患者からの聞き取りで病名を判断するのが総合診療医。総合診療医が病名にたどり着くまでの過程は、実に論理的でさながら探偵小説のようにおもしろい。番組では、スタジオに集まった本物の研修医たちが、ドラマ化された症例を見て、専門医（ドクターG）とのカンファレンスをしながら真の病名に迫ってゆく。医者を目線から見た医学情報と知的な謎解きのおもしろさを楽しむクイズ形式による新しいかたちのエンターテインメント医療情報番組。一流専門医によるコーチングのよきドキュメントにもなっている。1本が開発試作され、後に定時化となった。／ソフト開発センター、ホームルーム

『最恐！怪談夜話』

8.22／23:00～ 0:29

古典話芸「怪談」ではなく、パワーアップして恐怖が増大している「現代の怪談」を、スタジオに集まった怪談の名手たちが89分間、次々と披露。その至芸を競い合う、新しい形の怪談番組。／司会：佐野史郎、中川緑アナ／出演：つまみ枝豆、中澤裕子、安曇潤平、加門七海、中山市朗、東雅夫／エンターテインメント番組部、NEP

『青春舞台2009』

8.31／12:22～18:00

第55回全国高等学校演劇大会で頂点を極めた優秀校4校の芝居を一挙上演。ゲストとして、現代演劇のトップシーンを走る演劇評論家の扇田昭彦、劇作家で演出家・俳優もこなす松村武、女優の犬山イヌコ、そして優秀校に選ばれた神奈川県立大船高等学校、青森県立青森中央高等学校、千葉県立松戸馬橋高等学校、北海道帯広柏葉高等学校の生徒たち総勢130人を招いての生放送。演劇に対する熱い思いを語り合った。／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『TOKYO REAL GIRL～トップモデルの素顔』

9.21, 23／23:00～23:24

9.22／23:05～23:29

3. 1／23:30～23:54

3. 3～ 4／23:45～ 0:09

ルックスやスタイルはもちろん、今やその生き方までが注目されるトップモデルたち。超多忙な日々を送る彼女たちの貴重なオフの1日に、密着取材。行きつけの店や意外な趣味に交友、お気に入りのファッションやメイクのアイテムなど、ありのままのプライベートと自分磨きの方法を伝えた。／出演：マリエ、長谷川潤、道端ジェシカ、藤井リナ、西山茉希、山田優／衛星放送センター、NEP

『古代日本のハイウェイ～1300年前の“列島改造”』

10.12／21:00～22:29

近年、発掘によって急速にその実態が明らかになりつつある、奈良時代の巨大幹線道路。都と各地を結ぶ連絡網・物資の輸送路はどのような姿をしていたのか。なぜ大規模な道路が必要だったのか。どのようにして建設されたのか。最新の考古学の成果を基に、この謎を解き明かした。幹線道路の発掘跡をスタジオ代わりに、多彩なゲストを迎え、俳優の刈谷俊介さんが各地の発掘現場を訪ね、古代の公共事業と現在を対照させた。／衛星放送センター、NED

『太宰治短編小説集』

10.12, 15/22:30~22:55

10.13~14/22:35~23:00

3.24~26/21:35~22:00

「生誕百年」にあたって太宰治が残した5本の「名作短編」をアニメやCG、舞台を現代に移してのドラマ化など、さまざまな演出や手法で映像化。文学を映像で読むという新しいスタイルに挑戦し、現代人に突き刺さる“映像短編集”となった。NHKとテレコムスタッフの国内共同制作。／作品：『女生徒』『雪の夜の話し』『きりぎりす』『トカトントン』『走れメロス』『犯人』『畜犬談』／出演・朗読：野田秀樹、田畑智子、森山未來、田中泯、新井浩文、板谷由夏、斉木しげる／ソフト開発センター、テレコムスタッフ

『BSマンガ夜話』

10.21/0:40~1:39

10.22~23/0:40~1:35

12.22~24/0:00~0:55

ひとつのマンガ作品を取り上げ、論客たちが徹底的に語り尽くす番組。「ケロロ軍曹」「リストランテ・パラディーゾ」「もやしもん」「リアル」「犬夜叉」「青い花」を取り上げた。／司会：大月隆寛、笹峯あい／出演：いしかわじゅん、夏目房之介、岡田斗司夫ほか／衛星放送センター

『全国バンド自慢2009』

10.31/15:30~17:00

09年で11回目となるアマチュアバンドの祭典「全国バンド自慢2009」。晴れ舞台を目指し全国から約400組がエントリー、その中から選ばれたジャンルも年齢も異なる13組が東京・恵比寿に集結、大観衆の前で繰り広げられた熱い演奏の模様を放送。／審査員：渡辺香津美、つくくみ、北原照久／司会：グッチ裕三、中山エミリ／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『第37回アメリカン・ミュージック・アワード』

12.24/22:00~23:55

グラミー賞と並ぶアメリカ最大の音楽祭のひとつとして、ロック、カントリーからヒップホップまで「今」の音楽シーンを総括した。09年度は11月22日にロサンゼルスでのノキアシアターで開催。ジャネット・ジャクソン、シャキーラ、ブラック・アイド・ピーズ、レディー・ガガ、アダム・ランバートなどの華麗なステージパフォーマンスが展開された。／エンターテインメント番組部、NEP

『紅白60回 名歌手たち・夢の対決』

BS2 12.29/19:30~22:58

HV 12.31/11:00~14:28

60回という節目を迎えた『NHK紅白歌合戦』の過去の名歌唱シーンを、紅白歌合戦の対戦形式でたっぷりと味わってもらふ番組。ヴァーチャルスタジオで過去のステージセットも再現。さらに今は亡くなったり引退した歌手たちの全身写真でステージを埋めるなどのくふうも凝らした。／出演：五木ひろし、小林幸子、コロクケ、徳田章アナ／VTR出演：北島三郎、石川さゆり、いしだあゆみ、高田みづえ、ほか／エンターテインメント番組部、NEP

『生放送 初笑い！オールスター昭和なつかし亭』

1. 1/12:10~18:59

元日、約7時間におよぶ生放送で、演芸の名人芸を堪能していただく番組。昭和の至芸をアーカイブス映像から紹介、スタジオにも寄席セットを作り、落語・漫才・奇術などを実演した。また、事前アンケートや当日のFAX・メールなど双方向も活用した。／司会：竹下景子、林家三平／スタジオ出演：三遊亭圓歌、桂文珍、あした順子・ひろし、昭和のいる・こいる、堺すすむ、ほか／VTR出演：古今亭志ん生、林家三平、柳家小さん、桂枝雀、夢路いとし喜味こいし、ほか／エンターテインメント番組部、NEP

『大逆転将棋2010 今年も見せます！究極の勝負』

1. 1/19:20~21:50

Ⓜ 2.11/14:30~17:00

プロ棋士にさまざまなハンデを設けて対局していく新春恒例の将棋バラエティー番組。今年の見どころの1つは羽生と佐藤の「脳内対局」。頭脳の世界に挑むギリギリの攻防は見るものを圧倒した。ほかに「マニフェスト将棋」や「ステルス将棋」「詰1グランプリ」、1分の持ち時間で勝負する「1分切れ負けトーナメント」など、盛りだくさんのコーナーを用意。笑いあり、涙あり、啞然、呆然、愕然の連鎖で繰り広げた。／司会：神吉宏充六段、岩崎ひろみ／出演棋士：羽生善治、佐藤康光、久保利明、中村一基ほか／ゲスト：石井浩郎、逢坂剛、矢崎滋、山崎バニラ、加藤紀子／ナレーション：生野文治／エンターテインメント番組部、NEP

『MASTER TAPE~荒井由実“ひこうき雲”の秘密を探る』

1.16/21:00~21:54

73年に完成した荒井由実のデビューアルバム「ひこうき雲」は、レコーディングに1年以上もかけ、当時最高のスタジオミュージシャンたちが集まり楽曲を作っていた。当時最新式だった16チャンネルというシステムで録音されたマスターテープを、レコーディングに参加した人に集ってもらい、改めて聴き直ししながら、当時の苦労や思い出を語ってもらった。このテープは音をそれぞれ分けて再生することができ、ボーカルやギターなどを単独で再生し、その技術や表現力なども紹介した。関係者のインタビューを交え名作「ひこうき雲」が完成するまでを伝えた。／出演：松任谷由実、細野晴臣、松任谷正隆、林立夫、駒沢裕城、吉沢典夫、有賀恒夫、村井邦彦／ソフト開発センター、エイベックス&イースト

『ザ☆スター 谷村新司』

1.30／20:00～21:58

日本人を夢中にさせてきたトップスターの魅力解き明かすスタジオショー。ステージを囲む仕事仲間や意外な友達、熱烈なファンの証言やとっておきのパフォーマンス、秘蔵の映像でスターの神髄に迫る、10年4月からの定時放送に先駆けてのパイロット番組。中国などアジア各地でも絶大な人気を誇る歌手・谷村新司を徹底解剖。／司会：真矢みき、永井伸一アナ／衛星放送センター、NEP

『映画音楽に乾杯！』

2.21／19:30～20:58

世代を越えて愛されている珠玉の映画音楽を、実力派の歌声と豪華なオーケストラ・サウンドで送る番組。ゲストの楽しく心温まるエピソード満載のトークとともに届けた。／出演：美輪明宏、布施明、島田歌穂、渡辺美里、アルベルト城間、杉山愛、前田憲男ほか／司会：小堺一機、神田沙也加、黒崎めぐみアナ／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『TOKYO REAL FASHION 2010春夏』

BS2 3. 6／20:00～23:30

HV 3.14／16:00～17:59

世界が注目する、東京の新興ブランドが作る安くてオシャレな普段着、リアルクローズ。そのリアルクローズ最大の祭典「TOKYO GIRLS COLLECTION」のもようを、一部生放送も交えショー当日に時差再生して放送。全ブランド・全ポーズを紹介するとともに、ショーの裏方や来場者にも取材し、日本の女の子のエネルギーを伝えた。／司会：クリス・ペプラー／衛星放送センター、NEP

『第82回アカデミー賞授賞式のすべて』

BS2 3.20／21:00～23:29

『第82回アカデミー賞授賞式 総集編』

HV 3.21／23:30～ 1:12

3月7日に開催されたハリウッドの映画の祭典、アカデミー賞授賞式のもようを、会場に続々と現れるスターや映画人へのインタビューと、授賞式の総集編の2部構成で伝えた。授賞式 総集編についてはHVでも翌日放送した。／ソフト開発センター、NEP

『日本列島“みんなの楽園”計画～長崎・五島編』

3.22／20:00～21:28

閉塞感が漂う日本列島にみんなが楽しくなる「楽園」のタネを見つけ育てようという番組。取り上げたのは、長崎県五島列島。年間100種を超える魚種があがる魚の宝庫に眼をつけたのは、築地魚河岸の元中卸、小川貢一さんと、地元で行われていた魚の伝統料理を若い人に伝えることで楽園作りを目指した。風景の中に楽園のタネを見つける写真家の三好和義さんは、過疎に悩みながら大切に守られている教会の風景に心動かされる。そしてミュージシャンの高橋ジョージさんは、高校卒業とともに島を出る高校生たちに“五島の詩”を送り、町の人たちといっしょに野外コンサートを行った。3人のプロが地域の人たちと協力しながら「楽園」作りする定時番組を目指した開発番組である。／ソフト開発センター、共同テレビジョン

『アガサ・クリスティー ミス・マープル3』

3.23／21:00～22:35

3.24～26／20:00～21:35

人気のイギリス・ミステリードラマの第3シーズン。「パートラム・ホテルにて」「無実はさいなむ」「ゼロ時間へ」「復讐の女神」の全4回を放送。／ソフト開発センター

『ちよいハマッ！自転車って素晴らしい』

3.27／20:00～21:58

共通の趣味にちょっとハマっている人々「ちよいハマッ」が大集合し、チャレンジを軸に、さまざまなコーナーとともに徹底的に分析しながら、趣味の世界を楽しむスタジオエンターテインメント番組。開発版として大ブームとなっている自転車をテーマに取り上げ、ボクシングの内藤大助さんが箱根駅伝のコースに挑んだ。／出演：田中直樹、中田敦彦、長谷川理恵、山崎樹範、別府始ほか／衛星放送センター、NEP

『カシャッと一句！フォト575』

3.30～4.24, 7.6～31, 11.16～12.11, 2.1～26
／8:00～8:15, 19:45～20:00

一般視聴者からの写真と句の投稿で作る番組。年間4シリーズ放送。月曜から木曜は、「お題に合わせたフォト575」「お題の写真に575」「自由テーマでフォト575」「お題の名句に写真」「アルバムから思い出の1枚に575」などのラインナップで募集し、殿堂入り作品を決定。金曜は「フォトっ句コンペ」と題して一般投稿者を交え、ゲスト、審査員、司会者の出演者全員が同じテーマでフォト575を制作。持ち寄って句会を催す。写真と句を組み合わせた新しいアートとして注目を集めている。／司会：伊集院光／審査員：板見浩史（フォトエディター）／ゲスト：武田双雲（書道家）ほか／衛星放送センター，NED

ラジオ第1放送

*「番組解説」末尾の担当部局は、ラジオセンター以外の場合だけ記載した。

ラジオ第1：定時番組

『いとしのオールディーズ』

（後期）金 20:05～22:55

第1回01.10.5／1950～70年代の懐かしのアメリカンポップスを中心とした洋楽を、著名な芸能人や文化人ゲストの青春時代の思い出話とともに楽しむDJ番組。／司会：青木裕子・三橋大樹アナ

『歌の散歩道』 月～金 14:05～14:35

第1回08.3.31／スタジオパーク350スタジオからの生放送。若手からベテランまで、さまざまな歌手が出演、おしゃべりと音楽でつづる。地域公開派遣番組としても全国13か所（放送39本）で実施。

『歌の日曜散歩』 日 10:05～11:50

第1回87.4.12／リスナーの思い出の曲や、懐かしい音楽のリクエストに応えるとともに、全国各地の季節の話題やその日の出来事をFAXで寄せてもらい、全国の人々の暮らしぶりをリアルタイムで伝える双方向番組。「わが家の料理・ふるさとの味」コーナーでは、リスナー自慢の味を電話で聞きながら、あわせて地域の香りも伝えた。全国8か所で公開放送を行った。／司会：鎌田正幸アナ，坪郷佳英子

『NHKガイド』 土 19:20～19:30

第1回90.10.6／NHKのラジオ，テレビの番組，イベントのPR，番組審議会の報告，『ユア・ソング』などで構成する番組ガイド。／司会：三橋大樹アナ

『NHKジャーナル』 月～金 22:00～23:10

第1回82.4.2／1日の国内外のニュースをせき止めて伝える報道情報番組。09年度は15分枠拡大をして、70分番組として、情報量を増やして放送した。社会の動きを「ニュースアップ」のコーナーで当事者の声や記者解説，専門家の分析を加え掘り下げた。さらに，ディレクターが制作する企画，中継，インタビューなどに加え，NHKのネットワークを生かした地域企画などにより立体的に“きょう”そして“今”を伝えた。／キャスター：鹿野睦，中野由貴／ニュースデスク：松坂秀幸／リポーター：増田佳奈／気象予報士：望月圭子，榊原淳子（隔週）

『沖縄熱中倶楽部』

水（5週に1回） 21:30～21:55

第1回07.4.25／07年度から始まった地域局発・全国向けのラジオ番組。「思わず行きたくなる沖縄」をキーワードに、年間およそ600万人が訪れる沖縄の魅力を地元からの発信で、鮮度よくゆったりと伝えた。沖縄の音楽もふんだんに盛り込み、南国の雰囲気在全国のリリスナーに届けた。／司会：藤木勇人（俳優）、沖縄局アナ／テーマ曲：カチンバ1551／沖縄局

『おしゃべりクイズ疑問の館』

第3～5火 20:05～20:55

第1回00.3.27／日常生活の素朴な疑問から文学・歴史まで、幅広いクイズで知識の広がりや意外性を楽しんでもらい、クイズを話の糸口に、ゲストがうんちくや思いを語る娯楽情報番組。／司会：森下和哉アナ

『音楽熱中倶楽部』 日 16:05～16:53

第1回07.4.4, 最終回10.3.7／人々の心に灯をともし、生きる力を与えてくれる音楽の数々。そんな音楽にまつわるエピソードや思いを語り、幅広いジャンルの音楽でつづる。／DJ：弘兼憲史（漫画家）、北原照久（おもちゃ博物館館長）／ラジオセンター、NEP

『音楽の泉』 日 8:05～8:55

第1回49.9.11／クラシック音楽の古今の名曲を、親しみやすい解説で紹介する番組。／解説：皆川達夫／音楽・伝統芸能番組部

『上方演芸会』

R1 金 21:30～21:55

R2 ㊟土 15:10～15:35

第1回74.4.7／大阪弁の味わいあふれる上方演芸を楽しんでもらう公開派遣番組。49年に現在の番組の前身が始まった。上方の芸人による新作漫才を公開派遣で収録したものを放送。／主な出演：横山ホットブラザーズ、横山たかし・ひろし、今いくよ・くるよ、ほか／司会：井上善夫ほか／大阪局

『亀淵昭信のいくつになってもロケンロール！』

新 新 (隔週) 火 21:05～21:55

第1回09.4.7／昔懐かしい洋楽を紹介する新番組。『オールナイトニッポン』の人気DJだった亀淵昭信が、軽妙なトークで洋楽に関する豊富な知識を披露しながら、みずからレコードのターンテーブルを操作して洋楽をかけてゆく。この番組は、社団法人デジタルラジオ推進協会が実施しているデジタルラジオ実用化試験放送におけるNHKチャンネル(9101ch.)で放送後、R1でも放送した。通常の50分版全23本に加え、100分の特

集番組(⇒p.282)1本を放送した。／DJ：亀淵昭信

『歌謡ドラマ』 (後期) 金 21:05～21:30

第1回04.3.30, 最終回10.3.26／ヒット曲をモチーフにした1話完結のドラマ。ジャンルを問わず誰もが知っている名曲を取り上げ、作品のおもしろさを追求した。09年度から後期のみの放送となった。／取り上げた名曲：リリー・マルレーン、ダニューブ河の漣、暗いはしけほか

『かんさい土曜ほっとタイム』

土 13:05～16:53

第1回04.4.3／「土曜の午後は関西風味のおしゃべりタイム」がコンセプト。関西ゆかりのゲストを招いて話を伺う2時台の「おもしろ人物ファイル」と、庶民の声を五七五にのせて共感と笑いで包む3時台の「ほよき川柳アワー」という2つの看板コーナーを中心に、文化情報や音を生かした関西の魅力を伝えた。さらに、原則毎月第3土曜は大阪放送局1階のBKプラザから公開放送も始めた。／出演：佐藤誠キャスター、海原さおり（漫才師）、千堂あきほ（女優）、奥野史子（スポーツコメンテーター）、西川かの子（タレント）ほか／大阪局

『きらめき歌謡ライブ』 水 20:05～21:30

第1回05.3.30／歌謡曲、ポップスのベテランから若手歌手まで、フルバンドの生演奏で歌を披露する大型歌謡番組。505スタジオからの公開生放送。／司会：葛西聖司アナ

『こうせつと仲間たち』 新

(隔週) 火 21:05～21:55

第1回09.3.31／南こうせつがさまざまな分野の知人、友人をゲストに招き、それぞれの生き方や活動のエネルギーの源などを楽しくトークする番組。こうせつのミニライブ披露のほか、ゲストミュージシャンとのセッションも展開した。／ホスト：南こうせつ／パートナー：石川ひとみ

『今夜も大入り！渋谷・極楽亭』

土 19:30～20:55

第1回06.4.8／土曜の夜は渋谷・極楽亭。ラジオセンター132スタジオからの生放送。若者に支持の高いミュージシャンや文化人が集まり寄席の楽屋談義と落語を楽しむ芸能・文化情報バラエティー番組。／司会：森口博子、三橋大樹アナ／専属落語家：立川志らく、林家彦いち、柳家喬太郎、林家木久蔵／お客さま：ごひいき筋としてゲスト1人

『渋谷ガZ』 新 日 19:20～21:55

第1回09.4.5／大学生を中心に若い世代のリス

ナー拡大を目指して始まったマガジン形式の番組。7時台は、大学生の今をレポートする「キャンパス情報」や生協の白石さんによる悩み相談「こたえて！生協の白石さん」のコーナーを中心に構成。8時台は「夜はぶちぶちケタイ短歌」。9時台は、「社会チラ見」や「こだわリスト見参」などの情報発信企画と1年を通して学生の就職活動を応援する「就活情報」を中心に構成した。年度後半からは青山のNHK@キャンパスで収録したスペシャル・インタビューなども紹介した。また、全時間帯を通してのメールテーマを設け、投稿されたメールを紹介しながら今どきの若者の意識に迫った。／レギュラーゲスト：上田晶美（キャリアコンサルタント）、白石昌則（大学生協職員）／司会：青井実アナ，7時台司会：浜口順子（タレント），8時台司会：だいたひかる（お笑い芸人），9時台司会：椿姫彩葉（モデル）

『真打ち競演』 月 21:05～21:55

第1回78.11.25／落語・漫才・漫談・声帯模写などの話芸を、真打ちクラスの名人芸でじっくりと聴かせる公開派遣番組。09年度は全国18か所で公開録音を実施した。／出演：青空球児・好児，おぼん・こぼん，ケーシー高峰，堺すすむ，桂文楽，昔昔亭桃太郎ほか／エンターテインメント番組部，制作局（委託管理），NEP

『新日曜名作座』 日 22:15～22:45

第1回08.4.6／森繁久彌，加藤道子のコンビで50年。西田敏行，竹下景子の2人に引き継ぎ，この出演2人の語り芝居のみでつづる文芸ドラマ。根強いファンも多く，日曜の夜の番組を楽しみにしている聴取者は数知れない。／ドラマ番組部

『新・話の泉』 第1・2火 20:05～20:55

第1回05.4.25，最終回10.3.9／1946年から64年まで続いた人気番組『話の泉』は，卓越した知識と話芸の達人たちが，クイズ形式でうんちくや持論を競った知的エンターテインメント。その心を受け継ぎながら，落語界の論客・立川談志を中心とした各界のご意見番を解答者に迎え，トーク・バトルを展開した。「NHKみんなの広場ふれあいホール」で公開収録。／出演：立川談志，山藤章二，毒蝮三太夫，松尾貴史，嵐山光三郎ほか／司会：渡邊あゆみアナ

『地球ラジオ』 土・日 17:05～18:49

第1回99.4.4／R1と国際放送のラジオ日本に加え，インターネットによる放送同時提供で，全国と全世界に向け発信している。聴取者にメール・FAX・電話などで参加してもらおう双方向番組。土曜は世界の暮らしについての聴取者の質問と回

答を紹介するコーナー「世界まるごと質問箱」のほか，リスナー自身による現地録音を紹介する「世界・音の旅」，民族音楽の生演奏もある「ワールドミュージックシーン」や「地球情報局」などが主な内容。日曜は「世界井戸端会議」，海外で活躍する日本人に聞く「にっぽんチャチャチャ」，海外の驚くようなおもしろい話を紹介する「地球でっかいゾウ」などで構成。インターネット・サービスにおいては，オンデマンド提供とライブストリーミング提供を継続。国内特集として，BS1『地球アゴラ』とのコラボレーションによる生放送を実施した。／キャスター：後藤繁築アナ，大輪香菊

『つながるラジオ』 月～金 14:40～16:53

第1回08.3.31／聴取者と電話やFAX，メールで直接つながり，暮らしに役立つ各種情報を伝えるワイド生番組。（月～木）の14時台は，「ラジオなぞかけ問答」。「お題」は毎週変更し，毎月最終（金）に「月間賞」が決定。師範は，古今亭志ん輔（落語家），神田紅（講談師），天野祐吉（コラムニスト），泉麻人（コラムニスト）が月替わりで担当。投稿数は月間2,000通前後で，新たな「なぞかけファン」も増えてきた。秋の祝日には「なぞかけ問答スペシャル」を放送した。15時台は，根強いファンを持つ「電話相談」で，「あなたの健康・家族の健康」（月・火），「くらし全般（園芸・ペット・住まい）」（水），「こころの相談」（木）。15時45分からは「気になることば」（月～水），（木）は「いのちをつなぐメッセージ」で，08年度に特番で放送したものを週1でコーナー化，“たったひとつの命だから”という言葉に続くメッセージを募集し，それぞれの命への想いが詰まった，愛情あふれるメッセージを朗読した。16時台は「ラジオ井戸端会議」（月～木）で，双方向性を生かした。（金）は「金曜旅倶楽部」。週末に向けての情報を提供し，全国のイベント紹介のほか，お勧めの観光地を取り上げたコーナー「旅に出ようよ」を新設。第3週は，世界各国の大使館，観光局から最新の観光情報を紹介した。また16時台は「旅の達人」と題し，「旅や食」に関する多彩な情報を提供した。／出演：柿沼郭アナ・石山智恵

『どう楽市』 土 8:35～10:55

第1回07.4.7／団塊の世代をはじめ，活動的な50代・60代に生き方のヒントを提供する番組。女性の声を大切に，本音でリスナーと語り合うのが番組コンセプト。また，インターネットと連動し，リスナーからの写真やコメントの投稿をリアルタ

イムでホームページに掲載。パソコンのモニター画面を見ながら番組を進行していく、デジタル時代にふさわしい双方向番組。さらに、年2回、ゲストを招いて「思い出ジュークボックススペシャル」を編成。09年は、7月18日、12月26日に放送した。／出演：(7.18) チェリッシュ、大野真澄(元ガロ)、(12.26) 山本コウタロー、太田裕美、タケカワユキヒデ／司会：残間里江子(プロデューサー)、大沼ひろみアナ

【いまここにいます】

土曜の朝、リスナーはどこにいて何をしているのか。写真とともに投稿。

【楽市カフェ】

団塊世代を中心に、新たなトライをしている人へのインタビュー。

【イチオシ中継】

週末のお出かけスポットや団塊世代に人気の場所から中継。／リポーター：飛岡宏年(俳優)、江戸むらさき(お笑い芸人)

【ここが気になる】

毎回テーマを決め、投稿を募集。直接電話をするなどリスナーとの会話の輪を広げ、団塊世代の意識を探った。

【思い出ジュークボックス】

青春を彩ったエピソードとともに、思い出の曲をリクエスト。

『日曜バラエティー』 日 13:05～15:55

第1回08.4.6／スタジオパーク450スタジオからの公開生放送。歌謡曲、漫才、漫談などで構成するバラエティー番組。／司会：山田邦子、古屋和雄アナ

『ぬくだまりの宿 みちのく亭』

水(5週に1回) 21:30～21:55

第1回08.4.8／奥羽山中にある架空の温泉宿「みちのく亭」を舞台に、東北の伝統芸能や方言、暮らし、食など、宿の主人・伊奈かつぺいさんとゲストがこころ温まる楽しいおしゃべりを繰り返すトークバラエティー。／仙台局

『博多屋台 こまっちゃん』 新

水(5週に1回) 21:30～21:55

第1回09.4.22／地理的歴史的につながりの深い、九州沖縄とアジアや太平洋地域との以外で密接な関わりを、九州博多名物の屋台を舞台に、肩の凝らないトークで展開。常連客のNHKアナウンサーが九州沖縄で頑張る話題の人物を連れて屋台へ。コメディアン小松政夫さん扮する屋台の大将の巧みな話術で、東京・大阪だけではなく、地域に根ざす国際交流を語る。生っ粋の博多っ子小

松政夫さんの正調博多弁も聴きどころ。／出演：小松政夫、九州沖縄各局アナ／福岡局
『ひるのいこい』

R1・FM 月～金 12:22～12:30
土 12:15～12:30

第1回52.11.17／NHKが委嘱した全国各地のふるさと通信員(旧農林水産通信員)から報告される地域の出来事、産物や農作業の様子、リスナーからの季節の便りを、古関裕而作曲のテーマメロディーに乗せて紹介するNHK伝統のディスクジョッキー番組。土曜は短歌や俳句を紹介する「くらしの文芸」といったコーナーも加え15分サイズで放送。08年度から月～金は『ふるさとラジオ』内のコーナーとして放送しており、09年度は放送時間を早め12:22からとなった。／出演：柿沼郭アナ、(土)鎌田正幸アナ

『ふるさと自慢うた自慢』

『ふるさと自慢コンサート』

土 21:05～21:55

第1回96.4.6／2つの番組を隔週交代で放送。

『ふるさと自慢うた自慢』は、ゲスト歌手2人がチームリーダーを務める男女2チームが、“ふるさと自慢”と“うた自慢”を展開する視聴者参加型地域公開番組。『ふるさと自慢コンサート』は、ゲスト歌手2人がたっぷりと歌を聞かせるステージショー。09年度は、全国24か所で実施。／司会：近田雄一アナ

『ふるさとラジオ』

R1 月～金 12:20～13:55
FM 月～金 12:20～12:55

第1回08.4.7／お昼のひとつき、「ふるさと」をキーワードに、全国各地の地域の情報を盛りだくさんに伝える番組。12時台は、根強い人気の「ひるのいこい」でスタート。08年度12時台の最後に放送していたのを、聴取者の要望に応え12時台前半に変えた。続いて公開番組の「ここはふるさと旅するラジオ」、ラジオイベントカー80ちゃん号が全国を訪ね、ふるさとの「やる気、元気、本気」を紹介。13時台では、全国900か所余りにあるパーキングエリア「道の駅」と結び、その土地の特徴や駅自慢をクイズや方言を交えて紹介。「ふるさと元気力」では、地域再生、活性化の取り組みを実践している人に電話で直接インタビュー。また、最新の天気情報を気象予報士の横山容子さんが季節の話題とともにわかりやすく伝え、NHKの全国ネットを生かし「列島リレーニュース」で全国の今を伝えた。／出演：柿沼郭アナ

【ここはふるさと旅するラジオ】

月～金 12:30～12:50

第1回07.4.3／小さなステージがついたラジオイベントカー「80ちゃん号」が、全国の市町村を中継しながら巡る旅も5周目。連日、12時20分からの『ふるさとラジオ』枠のメインコーナーとして生放送を続けた。「80ちゃん号」は、地域の話題を取り込んだミニステージショーを全国各地で展開。現在の「80ちゃん号」は2台目。より広いステージで、地域の聴取者に身近に感じてもらえる地域色豊かな番組を全国発信した。09年度も、47都道府県をすべて巡回。中継現場を訪れた聴取者の数はこの1年で173市区町村、182か所、2万2,700人。毎回130人前後の皆さんが「80ちゃん号」のもとに集った。話題がある所なら全国どこでも訪ね、日本中の市区町村から放送を届け続けている。08年度から『ふるさとラジオ』内のコーナーとして放送。／80アナ：野方正俊・島田政男・水谷彰宏・森下和哉・滑川和男・山田貴幸・阿部悌アナ

『文芸選評』 土 11:05～11:50

第1回84.4.9／投稿された作品を専門家が選び、解説しながら紹介。第1週「俳句」選者：鈴木章和、第2週「おりこみどどいつ」選者：筏丸けいこ、第3週「短歌」選者：篠弘、第4週「川柳」選者：大木俊秀・安藤波瑠（隔月）。第5週がある時は、各地域での句会のもようを全国で紹介する「ラジオ句会」など。／司会：鎌田正幸アナ、坪郷佳英子

『民謡をたずねて』

R1・FM 土 12:30～12:55

第1回52.1.9／全国の人たちとの触れ合いを大切に、懐かしい民謡の数々を楽しむコンパクト公開派遣番組。全国16か所で公開を実施。年44回放送。／音楽・伝統芸能番組部

『もぎたて！北海道』

水（5週に1回） 21:30～21:55

第1回08.4.1／キャスターの神田山陽さんと道内7局のアナウンサーが、タッグを組んで、地元の人間しか知らないような、とっておきの観光地や、北海道の魅力を体験できるお勧めのアウトドアスポーツ。じゃがいも・カニ・ジンギスカンをはじめ、札幌・旭川・函館・釧路のご当地ラーメンなど、雄大な自然、新鮮な食べ物、豊富な温泉など魅力いっぱいの北海道を道内7局のネットワークを生かし、全国で紹介した。／出演：神田山陽（講談師）、道内7局アナ／札幌局

『ユア・ソング』

(後期) 木 21:25～21:30

第1回05.4.1／放送開始80周年を機にラジオから誰でも口ずさめる新しい歌を作り出すことを目指して放送した。『歌の散歩道』『NHKガイド』内でも放送。／楽曲内容：自然を謳歌し、人と自然の共存する21世紀を歌う、家族・ふるさとなど人と人の心を結ぶ歌、生きる喜びと命の大切さを歌う／「霧雨のシアトル」「海人恋歌」「おもいで写真館」ほか

『ゆきねえの名古屋なごやか喫茶』 新

水（5週に1回） 21:30～21:55

第1回09.4.15／名古屋独特の文化や魅力について、ゲストといっしょに語っていく番組。名古屋出身の兵藤ゆきが名古屋にある喫茶店の店主、名古屋局アナが地元の情報通のウエイター・ウエイトレスという想定で、名古屋ゆかりの多彩な客が訪れ、コーヒーを飲みながらトークを展開する。「結婚式事情」「大須芸芸場」「名古屋人起業家の発想法」「名古屋から羽ばたくフィギュアスケーター」「今、ナゴヤ文学が熱い」「名古屋発のアイドルたち」「赤味噌文化」など、名古屋ならではのさまざまな話題について伝えた。／出演：兵藤ゆき、名古屋局アナ／名古屋局

『世の中面白研究所』

月 20:05～20:55

第1回08.3.31／日常生活の中でふと疑問に感じること、知りたいことは数知れない。そんな疑問に答える番組。生活、文化、娯楽など毎回違うテーマを取り上げた。所長、副所長に、毎回専門の研究員を迎え、最新の情報と楽しいトークでつつい知識を身に付けてしまえるのがねらい。／所長：小堺一機、副所長：青木裕子アナ

『ラジオあさいちばん』 月～金 5:13～ 8:30

『土曜あさいちばん』 土 5:13～ 8:30

『日曜あさいちばん』 日 5:13～ 7:55

第1回99.4.1／朝食の準備・朝の身支度をラジオを聴きながら行い、あわせてその日一日に必要な情報を収集できることを目指した総合情報番組。ニュース・気象はもとより、政治・経済など社会の動きから暮らしの情報まで、ビビッドにわかりやすく伝えた。09年度秋の放送文化研究所の調査では、7時台で聴取率が2.6%を超える日もあり、08年に引き続いて長期低落傾向にあった聴取率に復調の兆しが見えてきた。

海外総支局や海外リポーター、各放送局や地域リポーターなど、内外のネットワークを十分生かしている。政治・経済・国際などの動きを記者・解説委員・外部の専門家の解説でタイムリーに伝え、列島各地のリポーターは、日本列島各地の季

節感とともに、地域色豊かな話題を生き生きと伝えた。台風報道では、番組を柔軟に編成し、台風の通過する地域の委託リポーターからの情報や現場中継、専門家の解説など、常に「安心ラジオ」を心がけた。

月～金の朝5時台は、「ふるさと元気情報」と「健康ライフ」。6時台は、海外の総支局や現地リポーターから世界の動きを伝える「ワールドレポート」「ラジオ体操」。6時台後半は、「ビジネス展望」。7時台は、ニュースと関連情報、地域情報を中心に構成。定時ニュース後の「ニュースアップ」では最新のニュースや関心の高い事象を解説。「ワールドレポート」ではワシントン、ニューヨークからの生レポートなど、時差を生かしてアメリカや世界の動向を伝えた。7:40～8:00では地域情報を精力的に紹介した。8時台は、解説委員による時事解説「時の話題」。「列島リレーニュース」は8時13分から26分の間で伝えた。「健康ライフ」と「ビジネス展望」を放送後「ラジオあさいちばん」のホームページでポッドキャストサービスを実施したところ、08年に比べてアクセス数が2倍になった。

土曜は、ニュース・経済情報はしっかりフォローしつつ、週末を意識してゆったり編成。5時台は「新聞を読んで」と、デジタルラジオ番組を再利用して、バイオリニスト・千住真理子さんの「クラシックでお茶を」を放送した。6時台は、「著者に聞きたい 日本のツボ」、全国各局の制作による「列島音の旅」を放送。7時台は、「週末スポーツワイド」。8時台は、「時の話題」と「列島リレーニュース」となり、月曜から金曜までとほぼ同じ内容となった。

日曜は、くつろぎ感のある編成。5時台は「季節の野鳥」「当世キーワード」「音に会いたい」。6時台後半は「カルチャー&サイエンス」、7時台は、各地の話題を地域局と結んで「リレーニュース・郷土の話題」、7時台後半は、作家落合恵子さんが名作絵本を紹介し、あわせてアメリカンポップスを流す「落合恵子の絵本の時間」を放送、旬の人に話を伺う「日曜訪問」は継続して放送。／キャスター：（月～金）濱中博久アナ、遠田恵子、坂本京子（気象予報士）、山下信アナ、佐治真規子、伊藤みゆき（気象予報士）3人で隔週、（土・日）佐塚元章アナ、鈴木有才子、安西浩子（気象予報士）

「ふるさと元気情報」

月～金 5:18～ 5:25, 5:45～ 5:52
第1回08.3.31／全国各地の約70人の「あさいち

さん」による各地の朝の表情とトピックスを伝える「列島あさいちさん」（第1回97.4.1）と、ラジオセンターと各局とのネットワークを活用して委託した全国約50人（各局の元・現役女性リポーター）の「あさいちさん」が、全国の朝の表情と各地の生き生きとした話題を伝える「ふるさとあさいちレポート」（第1回97.4.1）の2つのコーナーを1つにまとめて08年から「ふるさと元気情報」とし、日本各地の地域興しに奮戦する人々を生電話で紹介した。

「健康ライフ」

月～金 5:38～ 5:45
第1回97.4.1／健康について関心を高めることで、「病氣」にならず、病氣になっても克服する「元気」を持ってもらおうという健康情報番組。対談形式で、知識豊かな専門家がわかりやすく解説する。特に年配者の関心が高い。

「ラジオ体操」

R1 月～日 6:30～ 6:40
R2 月～土 8:40～ 8:50
月～土 12:00～12:10
月～土 15:00～15:10

第1回28.11.1／47.9.1～4年間中断、51.5.6に放送再開。この時つくられた「ラジオ体操第1」と「第2」は3代目の体操で、現在まで続いている。R1で53年から始まった「夏期巡回ラジオ体操会」は全国43会場から生放送で伝え、夏の風物詩としても親しまれている。このほか、78年から行われている「特別巡回ラジオ体操会」は8会場から、そして「100万人ラジオ体操・みんなの体操祭」は横浜市で開かれ、R1とG、BS2で同時生中継した。／体操指導：長野信一、多胡肇、西川佳克、岡本美佳／ピアノ伴奏：幅しげみ、名川太郎、加藤由美子／解説本、DVD発行／スポーツ業務監理室、Gメディア

「ビジネス展望」

月～金 6:43～ 6:52
第1回82.4.5（週1～2回）、現在の形は97.4.1／世界経済や日本経済の動きを、第一線で活躍するエコノミストや経済アナリストがわかりやすく解説。日本経済の現状や再生に向けての動き、米・欧経済の現況などに敏速に対応、世界経済の動向や日本への影響などを分析・解説した。／出演：内橋克人（評論家）、金子勝（慶応大学教授）、田中直毅（評論家）など15人

「ニュースアップ」

月～金 7:20～ 7:27
7時のニュースの後、関心の高い事柄を深く掘り下げるコーナー。政治経済、国際関係、教育、環境、福祉などをNHK解説委員がタイムリーに解説。社会の動きに柔軟に反応し、適宜テーマを

差し替えた。

【時の話題】 月～土 8:05～ 8:13

第1回64.4.6／解説委員による時事解説。政治経済、国際、科学、福祉、文化などそれぞれの専門に応じてコンパクトにわかりやすく伝えた。／解説委員室

【新聞を読んで】 土 5:19～ 5:26

第1回53.4.12／全国紙6紙と一部地方紙に1週間のうちに掲載された紙面から抜粋して、各界の識者が論評する番組。記事内容や、論調、紙面構成などを他紙と比較しながら論じた。／出演：水島朝穂（早稲田大学教授）ほか／解説委員室，第3土曜は大阪局担当

【クラシックでお茶を】 土 5:40～ 5:50

第1回09.4.4／バイオリニストの千住真理子さんが、クラシックの名曲を解説した。デジタルラジオの番組の再放送。

【著者に聞きたい 本のツボ】

土 6:15～ 6:24

第1回07.3.31／今、旬の本の著者に作品が生まれた背景や作品にかけた思いについて聞いた。07年10月から、放送後ホームページでオンデマンド聴取が可能。

【列島音の旅】 土 6:45～ 6:52

第1回99.4.3，最終回10.3.27／録音構成で、音を通して地域や人々の暮らしを伝えた。各局制作による日本各地の記録。／ラジオセンター，各地域局

【週末スポーツワイド】 土 7:15～ 7:40

第1回99.4.3／週末に行われるスポーツを中心に、第一線で活躍する選手や解説者に見どころを語ってもらった。中継を担当するアナウンサーのレポートも随時取り入れた。

【季節の野鳥】 日 5:19～ 5:28

四季の移り変わりが明確な日本列島には、水辺の鳥から山野の鳥まで季節ごとにさまざまな野鳥が姿を現す。自然豊かな場所だけでなく都会で身近に観察できる鳥も多い。美しい野鳥の鳴き声とともに、「日本野鳥の会」理事の安西英明さんが聞き分け方や観察のポイントを解説。

【当世キーワード】 日 5:33～ 5:39

第1回99.4.4／次々に生まれる新語・流行語。時代を表す新しい動きを「ことば」に注目して紹介。新語アナリストの亀井肇さんが独自に収集した「ことば」を解説。毎回4～5つの「ことば」を取り上げて解説と分析を行い、おのずと社会時評・文明時評となった。第5日曜は、放送文化研究所の調査に基づいた「ことば」にまつわるリポ

ート。

【音に会いたい】 日 5:40～ 5:50

第1回99.4.4／懐かしいあの情景にもう一度会いたい、という聴取者からのリクエストに応えて再現する録音構成。お便りと臨場感あふれる音で構成する、ラジオの特性を生かしたコーナー。若い日の体験がよみがえるという年配の支持者が多い。

【あこのころのフォークが聴きたい】

日 6:16～ 6:22

第1回07.4.18／歌手のなぎら健彦さんがフォークの知られざる歴史を名曲の数々とともに紹介。音楽のメッセージ性の大切さについて語った。

【カルチャー＆サイエンス】

日 6:43～ 6:50

第1回02.4.6／文化情報と科学情報をインタビューとレポートで紹介。多様なジャンルで活躍する新しい文化の担い手や新たなムーブメント、先端科学の現場や研究成果を伝えた。

【ボイスレター＆お便り特集】

日 6:50～ 6:53

聴取者からの反響を基に、聴取者の肉声で身近な話題を伝えてもらった。毎月最終週はお便りをたっぷり紹介する「お便り特集」。

【列島リレーニュース】

日 7:15～ 7:27

第1回09.4.5／ふるさとの話題を各拠点局から伝える。1局の時間は月曜から土曜までと比べて約10秒長いことを除いてほぼ同様の形式となった。／ラジオセンター，各拠点局

【落合恵子の絵本の時間】

日 7:33～ 7:40

第1回09.4.5／作家の落合恵子さんが絵本の名作の主なストーリーを解説。あわせてアメリカンポップスの名曲を紹介した。

【日曜訪問】

日 7:40～ 7:53

第1回97.4.6／あらゆる分野の時の人、話題の人物へのホットなインタビュー。音楽家、作家、映画監督、ボランティア活動家など旬な人物にお話を伺った。

『ラジオ深夜便』

R1 月～金 23:20～ 5:00

土 23:10～ 5:00

日 23:15～ 5:00

FM 月～日 1:00～ 5:00

第1回90.4.28／10年3月で放送開始20年。当初より、深夜に仕事をする人や、眠ることができないお年寄り、入院中の人たちなど、落ち着いたあ

る深夜放送を求めていた人たちの支持を得てきた。これまで親しんできた世代とともに、新たなリスナー層の開拓を意識した番組作りを進めた。09年度から新たに毎月第1週月～木曜4夜連続で23時・0時台の「ミッドナイトトーク」がスタート。各界の著名人、立松和平、吉永みち子、田部井淳子、大林宣彦が偶数月ゲスト、阿木燿子、山本一力、田淵久美子、小椋佳が奇数月ゲストとして各月ごとのテーマについてじっくり語った。また、「深夜便 落語100選」も現在活躍している噺家によるオリジナル音源に落語解説を入れ新コーナーとして毎月2回最終週の水・木曜1時台に放送。また「女優が語る私の戦後」は毎月第1週の土曜23時・0時台に新設、ベテラン女優が人生について語るコーナーで山本富士子、池内淳子など12人が出演。「ミッドナイトトーク」と「女優シリーズ」は09年4月から番組ホームページのストーリーミングで聞けるようにし、リニューアル後のアクセス数が10年2月には09年同月の10倍となった。「春夏秋冬・味めぐり」「暮らし すこやか」「ロマンチックコンサート」も新設コーナー。毎週土曜の生インタビュー「人生“私”流」では、より幅広い分野のゲストを招き、40代・50代の現役世代にも関心の持てる内容にした。午前4時台で月1回放送している「特集・わが人生の歌語り」（作家五木寛之）も丸5年となり10年3月で締めくくった。また、10年3月20日、21日NHKホールで「放送開始20年！ラジオ深夜便スペシャル」を開催、6,000人のリスナー参加の公開収録イベントとなった。ゲストは五木寛之、ベギー・葉山、小椋佳、岩崎宏美、春風亭小朝、宮川大助・花子ほか。「深夜便のうた」は4年目に入り、3か月に2曲（年間8曲）を新たに選定して毎日放送。96年、季刊でスタートした雑誌『ラジオ深夜便』は、99年から隔月刊、03年11月号からは月刊となった。発行部数は、10年3月現在で約14万部、「深夜便ファン」には欠かせない存在となった。94年11月から始まった「ラジオ深夜便のつどい」は、09年度は全国13か所で開催、3月で196回を数えた。アンカーは、各曜日に2人、計14人の現役またはOB、OGアナウンサー。09年10月から水野節彦アンカーに代わって石澤典夫アンカーが加わった。金曜は、第1～3週は大阪局、第4・5週は地域局が担当。FMはR1と同時放送。

『ラジオドラマ・アーカイブス』

第3日 1:00～2:00

第1回08.4.27、最終回10.3.21／保存されている約4,000本のラジオドラマから名作を厳選してそ

のまま放送。ラジオドラマはその時代の社会状況などを映し出した貴重な文化遺産といえる。その後著名となった作家、脚本家、俳優などが若かりし頃、意欲的に挑んだ作品をはじめ、現代劇から時代劇、コメディから悲劇まで、多様な作品が制作されてきた。制作当時のエピソードや時代背景などの聴きどころも紹介し、ラジオドラマの魅力を再発見した。『ラジオ深夜便』枠内で12本を放送。／ライツ・アーカイブスセンター、NEP

『ラジオビタミン』

月～金 8:30～11:50

第1回08.3.31／耳から栄養満点！番組を聞くことでリスナーが元気になる、暮らしが豊かになる番組。2年目の09年度は、これまでのR1のリスナーはもちろん、30代・40代のリスナーまで、さらに聴取層を広めることを目指した。／キャスター：村上信夫アナ、神崎ゆう子

【くらしスパイス】 月～金 8:40～8:48

日替わりで、アドバイザーが暮らしに役立つワンポイントアドバイスを提供。ストーリーミングも展開した。／黒川涼子（東京トレンド予報）、和泉昭子（知っ得経済）、近藤典子（衣食住なるほどアドバイス）、千葉望（陰曆で暮らそう）、小倉朋子（心のテーブルマナー）、建部和美（いつまでも美肌）、柳生真吾（真吾流ガーデニング）、佐藤弘道（弘道おにいさんのいつでも体操）、長田渚左・小林信也（スポーツのつば）、渡辺祥子・永千絵（とっておきシネマ）

【お天気あっちこっち】

月～金 9:05～9:15

リスナーから番組掲示板に風景写真を送ってもらい、それを基に全国の様子や天気を伝えた。／気象予報士：伊藤みゆき、坂本京子

【私の愛情レシピ】 月～金 9:15～9:25

料理家が臨場感ある調理音とともにレシピを紹介。金曜はリスナーお勧めレシピに村上アナウンサーが挑戦。ストーリーミングも展開した。

【みんなで子育て】 月～金 9:33～9:40

番組掲示板などに寄せられた子育ての悩みを、リスナー同士で共感しあうコーナー。

【おしゃべりスクエア】

月～金 9:45～9:55

毎週テーマを決めてリスナーからお便りを募って紹介。リスナーの声が行き交う共感の広場。直接電話でリスナーとつないだ。11時35分ごろからも同様のコーナーを放送。

【ときめきインタビュー】

月～金 10:05～10:55

旬の人を中心に、その人の生き方や考え方、ちょっといい話などを生でインタビュー。金曜は、「ときめきカルチャー」。知的好奇心を満たす時間として複数のレギュラーゲストが出演。

『ラジビタ中継隊が行く!』

月・木 11:05~11:15

賑わう商店街やトレンドの発信源などから生中継で伝えた。

『伝えたい歌 残したい歌』

火 11:05~11:15

未来に伝えたい童謡・唱歌を神崎ゆう子キャスターがナビゲート。

『にっぽん島めぐり』 水 11:05~11:15

全国の島に暮らす皆さんと電話でつなぎ、自然・特産品・祭りなど、四季折々のすばらしさを伝えてもらった。ストーリーミングも展開。

『ビタミンソング』 月~金 11:15~11:27

80~90年代の曲を中心に、心の栄養になる曲をリスナーのリクエストにより伝えた。金曜は11時5分から『ビタミンソングスペシャル』。

『ラジオ文芸館』 土 22:15~22:55

第1回98.4.12/アナウンサーの朗読に音響効果を加え、短編小説の魅力を伝える番組。名作から現代人気作家まで「読み切り」で幅広く紹介している。根強いファンも多く、清水義範の作品に「涙が止まらなかった」などの反響が多数寄せられた。09年度は、新作29本、アンコール17本を放送。/アナウンス室

『列島リレーニュース』

(前期) 月~水 19:30~19:45

(後期) 月~金 19:30~19:45

その日の日本列島各地の出来事がよくわかるように、ネットワークを活用して、リレー形式で各地の放送局から地域のニュース・話題を伝えた。

『浪曲十八番』

R1 木 21:30~21:55

R2 ㊥土 15:35~16:00

第1回72.10.12/ベテラン、中堅の浪曲師が力演する唯一の定時浪曲番組。日本古来の仁きょう、人情を題材に、新作も含めた多彩な演目で浪曲ファンの期待に応えた。/出演：東家浦太郎、京山倅若、五月一朗、国本武春ほか/エンターテインメント番組部、大阪局、NEP、NPN

『わが人生に乾杯!』

(後期) 木 20:05~21:25

第1回94.11.3/落語、漫才、漫談などの演芸人から俳優、歌手、文化人など各界で活躍する人々をゲストに迎え、人生を振り返り、その人の魅力

を余すところなく伝えるトークショー。/司会：山本晋也(映画監督)ほか

『私も一言! 夕方ニュース』

(前期) 月~水 17:00~18:50

木・金 17:30~17:55

(後期) 月~金 17:00~18:50

第1回08.3.31/聴取者との双方向性を生かして、08年から放送を始めた新しいニュース番組。聴取者からメール、留守番電話、FAXなどで寄せられた「ニュースへの一言」を紹介するとともに、NHK解説委員の経験があるご意見番のコメントも交えて、ニュースを深く掘り下げた。18時台は、解説委員が「ニュースの魂」や「ここに注目」など、専門性を生かしたコーナーを担当。/キャスター：伊藤博英アナ、有江活子/ご意見番：堀徹男、五十嵐公利

ラジオ第1：特集番組

『落語らいぶ2009』①~⑩

落語ブームが続く中、当代の人気落語家や将来、名人と呼ばれるに違いない新世代の落語家を、「NHKみんなの広場ふれあいホール」に招いての落語番組。案内は、落語の著作も数多いコラムニストの堀井憲一郎さん。知らなかったおもしろがり方を伝授した。年間10本シリーズ。/案内：堀井憲一郎

① 4. 2/19:30~20:00

20:05~21:00

21:05~21:30

出演：立川談春、柳家喬太郎、三遊亭白鳥、柳家三三

② 5. 4/20:05~20:55

21:05~21:55

出演：柳家喜多八、柳亭市馬、林家たい平、林家彦いち

③ 7.20/14:05~14:55

15:05~15:55

出演：古今亭菊之丞、春風亭小朝、昔昔亭桃太郎、笑福亭鶴光

④ 9.23/22:15~23:00

出演：桃月庵白酒、五街道雲助

⑤ 9.24/20:05~20:55

21:05~21:55

出演：春風亭百栄、五明楼玉の輔、立川生志、立川志らく

⑥10.12/22:15~23:00

出演：橘家圓太郎、柳家さん喬

⑦ 11.23 / 21:05～21:55
22:15～23:00

出演：林家木久蔵，三遊亭歌武蔵，立川談笑，瀧川鯉昇

⑧ 1. 1 / 19:20～19:55
20:05～20:55
21:05～21:28

出演：三遊亭小遊三，桂吉弥，桂南光，林家正蔵

⑨ 2.11 / 17:05～17:55
18:05～18:50

出演：三遊亭玉楽，入船亭扇辰，三遊亭兼好，柳家花緑

⑩ 3.22 / 19:20～19:55
20:05～20:55

出演：笑福亭たま，鈴々舎馬桜，三遊亭圓丈

『私の本棚スペシャル』 4.25 / 22:15～22:55

『私の本棚』は新番組の編成に伴い07年度限りで休止となったが，朗読番組を望むリスナーの声に応え，特集として放送。嵐山光三郎さんと母のヨシコさんとの俳句を通じた心の交流をユーモアたっぷりに描いた作品。朗読の合間に，両親に関する嵐山さんのコメントを挿入する新しい演出も行った。／作品：嵐山光三郎作「おはよう！ヨシ子さん」／朗読：橋爪功（俳優）

『特集 失業者300万人時代～どうする雇用の確保』 4.29 / 17:05～18:49

リーマンショックから始まった雇用不安の最新情勢を伝えた。ハローワークの現状，雇用のミスマッチへの取り組み，雇用創出への取り組みなどがどうなっているのか，日本各地からの報告も交えて構成した。さらに，新規雇用の創出の面から，ソーシャル・ビジネス（地域に必要なサービスを提供する仕事）についても考えた。番組ではFAXやメールで聴取者からの声を募集したが，テーマが重いだけに，切実な内容のものが多く含まれていた。特に目立ったのが，現在求職中の40～50代からのメールで，いかに現状が厳しいかを訴える内容が複数あった。／出演：笹森清（労働者福祉中央協議会会長・元連合会長），生田正之（厚生労働省政策統括官付労働政策担当参事官），佐藤博樹（東京大学社会科学研究所教授），後藤千恵（NHK解説委員）／司会：伊藤博英アナ，有江活子

『ムーンライトシャワー～月明かりに照らされて・卯月編』 4.29 / 19:20～19:55

祝日の19時台，20～30代の女性に向けて，ムード音楽，映画音楽，ジャズの名曲を聴きながらタイムリーな話題をおしゃれでセンスの良い語り

つづった。連休中ということもあり，肩の凝らない話題や音楽を中心とした。／出演：岩崎博

『夢を探した5か月～高校1年生たちの仕事巡り』 4.29 / 22:15～23:00

幼いころ，将来の夢を生き生きと描いていた子どもたちが，年齢を重ねるうち，いつの間にか企業へ就職し，サラリーマンという道を歩み始める。好きなものを追求できない理由には，ほかの人と違う道を歩むことの怖さ，親や友人からの反対，何者でもない自分を信じることができないなど，突き進むための勇気を持っていないことにあるという。番組では，夢と希望を持ちながらも，将来に迷う高校1年生たちが高校生編集者として職業紹介本を作る過程を5か月にわたって追ひ，天職を見つけた職業人との出会いや仕事観を知ることを通して，彼らの将来の「夢」がどう変化したのか，現代高校生の職業観の形成過程を伝えた。／出演：名知仁子（国境なき医師団医師），田隊勇太（プロバスケットボール選手），嶽本由郎（劇団舞台監督），菊池正義（ゲームクリエイター），川越達也（イタリアンシェフ）／司会：小松宏司アナ

『渋谷アニメランド～アニメソング特集』

5. 3 / 20:05～21:55

アニメの魅力を音で伝える特集番組。今回は「NHKみんなの広場ふれあいホール」において公開収録を実施し，300人の観客にアニメソングをたっぷりと紹介した。／ゲスト：水木一郎（歌手），牧野由依（声優・歌手）／司会：藤崎弘士アナ

『鎌田實 いのちの対話』

医師の鎌田實さん（諏訪中央病院名誉院長）をホスト役に，ゲストやリスナーと共に「いのち」を考える番組。公開放送のかたちで地域放送に貢献。来場者は会場インタビューで，リスナーはメールやFAXで対話に参加した。09年度は公開放送を4回実施。／司会：村上信夫アナ

『江戸に教わる』 5. 4 / 9:05～11:50

会場：石川県津幡町／ゲスト：山本一力（作家），安岡定子（論語塾講師），本條秀太郎（三味線奏者）

『がんばらない介護』 9.21 / 9:05～11:50

会場：三重県松阪市／ゲスト：綾戸智恵（ジャズシンガー），荒木由美子（タレント），吉田一平（愛知たいようの杜理事長）

『地球のいのち』 11.23 / 9:05～11:50

会場：熊本県八代市／ゲスト：葉祥明（絵本作家），細川佳代子（スペシャルオリンピックス日

本名誉会長), 古謝美佐子 (沖縄民謡歌手)

『いのちの冒険』 2.11/ 9:05~11:50

会場：広島県尾道市／ゲスト：堀江謙一 (冒険家), 田部井淳子 (登山家), リピート山中 (シンガーソングライター)

『ホリデーライブ イン 渋谷DEどーも』(1)

5. 4/13:05~13:55

5月の連休に「渋谷DEどーも'09」と銘打って開催された催しの一環としてのライブショー。スタジオパークのスタパ・ステージからの公開生放送。音楽ゲストを迎え、歌とトークで楽しい時間を過ごした。／出演：やなわらばー, コーヒーカラー

『園芸・春の電話相談』

5. 4/14:05~16:52

春の園芸シーズンを迎え、草花・花木について、そしてガーデニング全般について、聴取者の電話での質問に専門家がていねいに答えた。また、ガーデニングが趣味というタレントでキルト作家のキャッシー中島さんをゲストに迎え、ガーデニング談義に花を咲かせた。／回答者：船越亮二 (園芸研究家・庭木), 長岡求 (園芸研究家・草花)／司会：石山智恵

『不思議の部屋のプリンセス』

5. 4/17:05~17:55

芽吹き始めた高原の不思議の部屋。住人は橘由貴。ボイスアーティストである。そこを訪れるのは近所の気のいい男、酔っ払いのミュージシャン、うわさを聞きつけた特別なお客様。そこから物語が始まった。橘由貴が本棚から1冊の本を取り出して語りだすとミュージシャンがそれに合わせて音楽を奏でる。客人との会話も弾む。不思議の部屋を通して聞く者を心地よい不思議の世界へ誘った。／出演：橘由貴, 野口五郎, 翠川敬基

『ムーンライトシャワー〜月明かりに照らされて・皐月編』

5. 4/18:05~18:50

19:20~19:55

祝日の18時, 19時台, 20~30代の女性に向けて, ムード音楽, 映画音楽, ジャズの名曲を聴きながらタイムリーな話題をおしゃべりでセンスの良い語りでつづった。18時台は星をテーマにした曲でつづり, 19時台は花菖蒲などの話題を取り上げた。／出演：岩崎博

『特集 四川大地震から1年』

5. 4/22:15~23:00

大地震からほぼ1年後の四川大地震の震源地の現地取材を中国国際放送局との共同取材チームを結成し実現。復興進む現地の現状と課題を千野ア

ナウンサーが取材。／ゲスト：アグネス・チャン (タレント・日本ユニセフ協会大使)／司会：千野秀和アナ

『ホリデーライブ イン 渋谷DEどーも』(2)

5. 5/13:05~13:55

「渋谷DEどーも'09」に合わせたライブショーの2日目。スタジオパークのスタパ・ステージからの公開生放送。／出演：ラクシス, ネイビー&アイボリー

『朗読ひろば in ふれあいホール』

5. 5/14:05~15:55

NHKアナウンサーの朗読で童話や児童文学作品を楽しんでもらう特集番組。5月の連休に開催されたイベント「渋谷DEどーも'09」の一環として、「NHKみんなの広場ふれあいホール」からの公開生放送を行った。アナウンサーが全国の小学校を訪問して朗読を行う教育貢献活動「NHK朗読ひろば」の内容の紹介も兼ねたもので、「スーホの白い馬」や「光の国の姫」などの作品を中條誠子, 滝島雅子ほか5人のアナウンサーが朗読。ピアニスト西村由紀江さんの生演奏や, 音響デザインの特権家が作成した効果音を織り交ぜるなどの演出を施した。朗読のコツを会場の皆さんにも体験してもらいながら伝えるコーナー「朗読のツボ」も盛り込んだ。／ゲスト：堀ちえみ (タレント), 西村由紀江 (ピアニスト)／司会：松本和也アナ／アナウンス室

『ホリデーミュージック〜こどもの日編』

5. 5/16:05~18:49

祝日の午後のひとときを, 音楽とおしゃべりでつづった。5月5日・こどもの日は, ファミリーで楽しめる「子どもミュージカル」や「アニメ」, 子どもや家族が主人公の「映画」などから曲目を選び, そこに込められたメッセージなどを探った。／出演：岩崎博

『立川談志・昭和歌謡賛歌』 5. 5/19:20~20:55

鬼才の落語家・立川談志が昭和の歌謡曲に熱いエールを送る異色の番組。第1回の今回は, 立川談志が自分で選んだB級ヒット曲, そして古賀政男の弟子でもあった小林幸子との昭和歌謡談義, さらに, 天国の歌手 (ディック・ミネ, 淡谷のり子, 三橋美智也) に捧げる談志からの熱いメッセージを紹介した。番組終了後は, たくさんリスナーから「立川談志のイメージが変わった」「改めて昭和歌謡の良さを認識した」などの反響が寄せられた。／出演：立川談志, 小林幸子／司会：島田政男アナ

『日本のカルテ〜企業スポーツから地域スポーツ

へ』 5. 5/22:15~23:00

リーマンショック以降の不景気で社会人のスポーツチームが次々と解散し、その受け皿として地域の市民が中心となり、お金を出し合って作った地域のスポーツチームが増加している。地域市民チームは社会人スポーツの受け皿となりうるのか展望した。解散したばかりの名門アメリカンフットボールチームが経費を大幅に削減して地域市民スポーツチームとして再生する様子を描き、その将来性を議論した。／ゲスト：生島淳（スポーツジャーナリスト）／司会：山下信アナ

『ラジオデー “広げよう ラジオの魅力”』

5. 6/ 8:35~23:00

大型連休の最終日、「ラジオの魅力」を14時間30分にわたって伝えた。

【オープニング】

1日のメニューを紹介するとともに、リスナーにメールやFAXを呼びかけた。1日にわたって車で移動しながらラジオの魅力を紹介する「ラジオの魅力広め隊」と山手線一周ウォーキングを紹介した。／ゲスト：千住真理子／司会：末田正雄アナ／中継リポート：青井実、浜口順子、勅使川原郁恵／応援メッセージ：みのもんだ

【こうせつ&真理子のミュージック・ラブ】

南こうせつさんが加わり、ラジオの魅力について語り合った。／応援メッセージ：ジョン・カビラ、イッセー尾形、多部未華子／中継：青井実、浜口順子、勅使川原郁恵

【クラシックでお茶をスペシャル】

スタジオパークからの公開生放送で、千住真理子さんの演奏とお話を伺った。／聞き手：山田敦子アナ／中継リポート：青井実、浜口順子、勅使川原郁恵／応援メッセージ：はな

【ひるのいこい・旅するラジオ スペシャル】

山田敦子アナによる、いつもと一味違った「ひるのいこい」を放送。千葉放送局の山田恵一ふるさと通信員とは電話でつないだ。旅するラジオの野方正俊アナウンサーは大阪府池田市から参加した。／応援メッセージ：ベッキー

【親子で作ろう！ペットボトル ラジオ】

「広め隊」は横浜の放送ライブラリーから、横浜放送局主催の「ペットボトルで作る手作りラジオ教室」をリポート。山手線ウォーキングは巢鴨駅前から中継。また、ラジオ第1で09年度から始まった新コーナーのPR、さらにテレビのプレマップでは生放送でラジオデーをPRした。／応援メッセージ：関根麻里、大沢たかお、大沢あかね

【スタバでお国自慢】

地域発全中番組の5人のパーソナリティーが一堂に会し、それぞれの番組をPR。方言の美しさやラジオで伝えることの意味を熱く語り合った。後半は、手作りラジオ教室から再び中継、ウォーキングは秋葉原のラジオ専門店から伝えた。／出演：佐藤誠、神田山陽、伊奈かつぺい、兵藤ゆき、小松政夫、藤木勇人／応援メッセージ：小堺一機、清水ミチコ

【亀淵昭信のいくつになってもロケンロール！
スペシャル】

NHK浜松支局のライブラリーから生放送。36万枚のレコードの中からえり選りすぐりの1枚をDJ方式で紹介した。また、ウォーキングは有楽町駅から大型連休のにぎわいを伝えた。／出演：亀淵昭信

【未来のラジオ・メディア・シップ・アルゴ】

未来のラジオをテーマに、ラジオのさまざまな可能性を探る時間。国際放送、インターネットとの同時放送を試みたほか、番組と並行してお宝ラジオの写真の投稿を放送で呼びかけ、ネット上にバーチャルのラジオミュージアムを構築した。／ゲスト：谷村奈南（歌手）／司会：高山哲哉アナ／応援メッセージ：大塚愛、田村淳（ロンドンブーツ）

【ラジオ・トークセッション】

これからのラジオのあり方を巡って、NHKと民放ラジオのパーソナリティー、識者が語り合った。途中からは浜松から戻ってきた亀淵昭信さんも加わった。途中、広め隊は木更津の海ほたるから、ウォーキングは港区から中継を行った。／出演：大沢悠里、斎藤安弘、ジョン・カビラ、音安弘（上智大学教授）、隈元信一（朝日新聞記者）／司会：上田早苗・高山哲哉アナ／電話出演：青山高治（RCC中国放送アナ）、木原くみこ（札幌三角山放送局会長）、麓憲吾（あまみエフエムディ！ウェブ理事長）／応援メッセージ：吉田照美、坂上みき、中川翔子、松村邦洋

『今夜も大入り！沖縄 読谷・極楽亭』

5. 9/19:30~20:55

極楽亭のレギュラー出演者に沖縄出身の俳優・藤木勇人さんが加わり読谷村の会場で公開収録。沖縄の風習や県民の暮らしぶりにちなんだクイズやトークを通じて、沖縄の魅力を伝えるとともに落語の実演で話芸の楽しさを伝えた。／出演：柳家喬太郎、林家彦いち、森口博子、藤木勇人

『懐かしのポップストップ10』

① 5.21/20:05~21:30

② 5.29/20:05~21:30

- ③ 6. 4/20:05~21:30
- ④ 6.12/20:05~21:30
- ⑤ 6.19/20:05~21:30
- ⑥ 6.25/20:05~21:30
- ⑦ 7.23/20:05~21:30
- ⑧ 7.24/20:05~21:30
- ⑨ 8.27/20:05~21:30

プロ野球中継のない木・金曜の夜間にお届けした。ポップスの世界で長くヒットチャートをリードしてきたアメリカの「ビルボード」。かつてそのチャートは世界的な人気のバロメーターであった。それはまさにポップスの歴史でもある。番組では1950年代から年代ごとに各部門のトップ10チャートをそれぞれの時代状況とともに紹介した。／解説：森井嘉浩／司会：三橋大樹アナ

『平成21年沖縄全戦没者追悼式』

6.23/12:20~12:55

第1回08.6.23/08年から全国に向けて放送を始める。毎年、沖縄県糸満市の平和祈念公園で行われる沖縄全戦没者追悼式のもようを、会場の実況描写や参列者のあいさつを中心に、ゲストの話を交えながら中継。／出演：大城将保（沖縄平和運動センター代表）／司会：池田耕一郎アナ

『ラジオ特集～ゲリラ豪雨にどう立ち向かうか』

6.27/22:15~22:55

近年、各地を襲うゲリラ豪雨。狭い範囲内に短時間で集中して降る雨のため、中小河川・下水道の急激な増水など、既存の防災対策の想定外の現象による被害をもたらす。このゲリラ豪雨が発生するメカニズムの分析、愛知県岡崎市・神戸・福井の被害の事例、それを受けての自治体などの対策を紹介した。その対策の周知に、より努めることが必要である一方で、住民の意識の向上も不可欠であるというメッセージを伝えた。／解説：山崎解説委員／司会：糸井羊司アナ／名古屋・神戸・福井局

『どう楽市 思い出ジュークボックススペシャル』

7.18/8:35~10:55

どう楽市の人気コーナー「思い出ジュークボックス」の夏のスペシャル版を放送。60・70年代に限定してのリクエストを募り生演奏も交え、青春当時の思い出話に花が咲いた。／出演：チェリッシュ、大野真澄（元ガロ）／司会：残間里江子、大沼ひろみアナ

『ホリデーライブ イン スタパステージ』

7.20/13:05~13:55

海の日に合わせてのライブショー。スタジオ

パークのスタパ・ステージから、音楽ゲストを迎えての歌とトークの公開生放送。／出演：葛城ユキ、樋口了一／司会：宮川泰夫

『ムーンライトシャワー～月明かりに照らされて・海の日編』

7.20/18:05~18:50

19:20~19:55

海の日18時・19時台、20~30代の女性に向けてムード音楽、映画音楽、ジャズの名曲を聴きながらタイムリーな話題をおしゃりでセンスの良い語りでつづった。夏、そして海をテーマにした曲を集めた。／出演：岩崎博

『夏休み子ども科学電話相談』

7.21~ 8.29/ 8:33~11:50ほか

(高校野球期間を除く)

26回目を迎えた。7月21日から、夏の甲子園をはさみ、22日間にわたり、18人の専門家の回答者が子どもたちの質問に答えた。09年は、9番目のジャンルとして「環境」を新設。また、日本の陸地では46年ぶりに「皆既日食」が観測できる7月22日には、皆既の時間帯にあわせ、30分余りの番組内コーナー「夏休み子ども科学ニュース」をニュース班と共に企画し、世界各地からの中継も交えて放送した。／回答者：小菅正夫（北海道・旭山動物園名誉園長）、矢島稔（ぐんま昆虫の森園長）、高家博成（元多摩動物公園昆虫園）、国司眞（川崎市青少年科学館学芸員）、永田美絵（プラネタリウム解説員）、藤本和典（シェアリング・アース協会会長）、松田道生（日本野鳥の会評議員）、藤田智（恵泉女学園大学准教授）、田中修（甲南大学教授）、伊藤和明（防災情報機構会長）、高柳雄一（多摩六都科学館館長）、小出五郎（科学ジャーナリスト）、篠原菊紀（諏訪東京理科大学教授）、川口幸男（動物コンサルタント）、勝俣悦子（鴨川シーワールド獣医）、中村桂子（JT生命誌研究館館長）、林公義（横須賀市自然・人文博物館館長）ほか／司会：村上信夫・大沼ひろみ・鎌田正幸アナ、坪郷佳英子

『世界天文年に宇宙を語ろう』

8. 2/19:20~21:55

09年は、イタリアの科学者ガリレオ・ガリレイが自作の望遠鏡を夜空に向けて数々の発見をし、宇宙の扉を開いてから400年。国連、ユネスコ、国際天文学連合では、「世界天文年」と定めた。番組では、ガリレオに注目し、ガリレオの人物像と彼が生きた時代を描きながら、ガリレオが見た宇宙、その宇宙がどこまで解明され何が謎なのか、星や宇宙の持つ魅力、ガリレオの後輩である現代

の科学者のあるべき姿などを語り合った。また、スターウィークのイベントが行われている全国4か所の天文台からの電話中継も実施した。「ガリレオの発見や生涯が詳しく説明されていて勉強になった」「久々に科学、特に自然に対する興味をそそられ感動した」「日ごろラジオを聴く機会が少ない小学生の娘も楽しそうに聴き、家族で楽しめる内容で良かった」などの好評意見が多かった。／ゲスト：渡部潤一（国立天文台天文情報センター長）、神山純一（作・編曲者）、阪本成一（宇宙航空研究開発機構宇宙科学普及主幹）、中野不二男（ノンフィクション作家）／司会：有江活子

『平成21年 広島平和記念式典』

8. 6 / 8:00～8:55

被爆から64年の広島市で行われた「平和記念式典」のもようを、例年と同じく会場から生中継した。オバマ大統領がプラハで「核のない世界の実現を目指す」ことを明言した演説を受け、広島市長が2020年までの核廃絶実現を世界に訴えた「平和宣言」を放送したほか、オバマ大統領の演説の一部を録音で再生しながら、被爆地としての期待や要望、具体的な道筋やその課題などについてゲストとともに話し合い、体験を伝えていかなければいけないという被爆者の思いを伝えた。／出演：スティーブン・リーパー（広島平和文化センター理事長）、岡田恵美子（ピースボランティア）／司会：高山哲哉アナ／リポート：井上裕貴アナ

『ヒバクシャからの手紙』

8. 8 / 23:30～1:00

被爆者の高齢化が進む中、出来るだけ多くの証言を残そうと、被爆者から寄せられた手紙を朗読する番組。テレビとの同時放送で09年が3回目。届いた手紙の数は年々増え、今回は424通に上った。広島のアナウンサーからの放送に加え、長崎での被爆体験は現地からの中継でも伝えた。被爆体験がつづられた手紙はホームページを通じて順次公開。若い世代から多くの反響が寄せられたほか、平和学習などにも活用された。／出演：井上ひさし（作家）／司会：周山制洋・杉浦圭子アナ／中継：比留木剛史アナ

『平成21年 長崎平和祈念式典』

8. 9 / 10:55～11:31

オバマ大統領がプラハでの演説で「核のない世界」を目指す決意を表明したことを受けて、核廃絶に向けた被爆者の期待が高まった中での長崎平和祈念式典。平和宣言の起草委員で元長崎大学学

長の土山秀夫さんをゲストに迎え会場の実況描写を中心に、式典中継を行った。／長崎局／中継：比留木剛史アナ

『特集・亀淵昭信のいくつになってもロケンロール！～名曲対決！20世紀 VS 21世紀』

8.11 / 20:05～20:55, 21:05～21:55

定時番組の夏の特集。第1部では1960年代から70年代にかけての洋楽の名曲を、エピソードを交えて構成した。第2部では、同じ楽曲を新しくカバーした別アーティストの歌や演奏で楽しんだ。／ゲスト：森山良子／DJ：亀淵昭信

『こうせつと仲間たちセレクション』

8.12 / 20:05～21:30

09年度にスタートした『こうせつと仲間たち』のハイライトシーンをピックアップ。第1回のゲストは伊勢正三のほか、紺野美沙子、C・W・ニコル、Drコパも登場した。森山良子や加藤登紀子などミュージシャンとの即興コラボレーションなども楽しさをぎゅっと圧縮してお届けした。／出演：南こうせつ、石川ひとみ

『日本全国盆踊り唄紀行』

8.13 / 20:05～21:55

夏の夜空に響き渡る太鼓の音。そして浴衣姿に笑い声。日本の夏の風物詩とも言える盆踊り。全国には、100を超える伝統的な盆踊りが残っている。盆踊りは、500年の歴史があり、現在でも日本全国各地で多くの人たちが楽しんでいる民俗芸能であるとともに、地域の大切なコミュニケーションの場にもなっている。お盆を前に、全国各地の盆踊り唄を紹介し、地域に根づいている「盆踊り」のルーツや詳細を解説しながら盆踊りの魅力に迫ったラジオ紀行番組。今回は、岐阜県の郡上踊り会場からの中継を入れて、番組を立体的にした。／出演：竹内勉（民謡研究家）、中村美律子・成世昌平（歌手）／司会：島田政男アナ

『ザ・ケーシーSHOW～真夏編』

8.14 / 20:05～21:30

多彩な才能を持つ漫談家・ケーシー高峰のワンマンバラエティショー。医事漫談、コント、ゲストとのバラエティトークと、多面的な才能を発揮するケーシー高峰。その魅力を仲間たちとともに表現し、真夏にふさわしい楽しく上質な笑いを誘うすてきなバラエティショーを送った。／出演：ケーシー高峰、藤木孝、秋元順子、コント山口君と竹田君、小泉雄三カルテット

『10代 いのちの対話』

8.15 / 19:20～20:55

「いのちの対話」を10代との対話に絞って行う

3度目の試み。番組ホスト役の諏訪中央病院医師の鎌田實さんのほか、ゲストに、作家のあさのあつこさん、歌手の大野靖之さんをお招きし、生放送でお伝えした。番組では「どんなときに、いのちを意識しますか」「平和のために、自分が出ることはどんなことですか？」などをテーマに、あらかじめ募集したお便りの中から選んだ10代の6人と電話をつなぎ、ゲストと直接語り合ってもらう形で進行した。／出演：鎌田實（諏訪中央病院名誉院長）／司会：村上信夫アナ

『ラジオ特集 核のない世界を目指して』

8.15／22:15～22:55

アメリカのオバマ大統領が「プラハ宣言」のなかで核廃絶に積極的に取り組むと表明。こうしたなかでアメリカの人たちはどのように変わろうとしているのか。広島市出身の被爆二世で、アメリカ・シカゴ在住の大学助教授宮本ゆきさんの活動を追った。宮本さんはアメリカの学生たちに、原爆被害の実相や核拡散の現状、核廃絶への道のりなどについて講義を通して伝えている。アメリカで起こりつつある変化を見つめ、核廃絶を現実にするために、私たち日本人はどんな働きかけが出来るのかを探った。／出演：宮本ゆき、遠藤亮アナ／広島局

『新・話の泉セクション』

8.21／20:05～21:55

Ⓜ10.12／20:05～21:55

立川談志の、世の中を鋭く斬る深い洞察力と歯に衣着せぬ独特の語り口、レギュラー解答陣の豊富な知識、ウイットと遊び心にあふれた味わい深いトークが人気の「新・話の泉」。聴取者のリクエストに応える形でセクションを放送。／出演：立川談志、山藤章二、嵐山光三郎、毒蝮三太夫、松尾貴史ほか／司会：渡邊あゆみアナ

『防災の日スペシャル』

9. 1／ 8:35～ 8:55, 11:05～14:35

首都直下地震研究の最新情報と09年の年初から8月までの大雨豪雨災害もリポートや中継で伝えた。首都直下型地震が発生した際にどうなるかを想定したラジオドラマを制作。このうち大阪放送局は、「関西発・いのちのラジオ」として民放のキャスターとともに大地震が発生した際にラジオで何が伝えられるかを多角的に検証。／スタジオゲスト：安めぐみ（タレント）／司会：千野秀和アナ

『関西発・いのちのラジオ』

9. 1／ 9:05～10:55

関西の民放6社と共同で制作。阪神淡路大震災

の時、マイクの前で情報を伝え続けた、NHKと関西の民放のパーソナリティーに出演してもらい、広範囲の大地震が起きた時、ラジオは何ができるか、NHKと民放が協力できることは何か、生放送で探った。NHK・民放すべての放送局が同時に同じ放送を出す中継システムや、孤立集落に情報を送るメールシステムの構築、FPUを載せ、移動しながら中継できる自転車の配備などを進めた。／ゲスト：芦沢誠（朝日放送アナウンサー）、谷五郎（ラジオ関西パーソナリティー）、矢守克也（京都大学防災研究所教授）／司会：上田早苗アナ／中継・リポート：関西の民放ラジオ6局のアナウンサー・パーソナリティー／大阪・編集部（アナウンス）制作

『今夜も大入り！山形・川西極楽亭』

9.19／19:30～20:55

「極楽亭」のレギュラー出演者に地元のプラスバンドなども加わり川西町の会場で公開収録。「スイングガールズ」のロケ誘致など映画作りへの参加を通じて地域の活性化を目指している、山形県置賜地域の取り組みや大河ドラマの主人公・直江兼統が地域の基礎作りで寄与した歴史を紹介。／出演：立川志らく、林家木久蔵／司会：森口博子、三橋大樹アナ

『ホリデーライブ イン スタパステージ』

9.21／13:05～13:55

祝日に合わせてのライブショー。スタジオパークのスタパ・ステージから、音楽ゲストを迎えての歌とトークの公開生放送。／出演：城之内早苗、コーヒーカラー／司会：宮川泰夫

『思い出の昭和歌謡』 9.21～23／18:05～18:50

激動の昭和、その時代を彩ってきた昭和歌謡の数々を、いろいろな切り口から紹介する「思い出の昭和歌謡」。大型連休中の3日間は、音楽評論家の小西良太郎さんが独特の視点から、昭和の歌謡曲を紹介した。09年は昭和20年代・30年代・40年代～50年代の時代別に紹介した。／出演：小西良太郎（音楽評論家）／聞き手：島田政男アナ

『ムーンライトシャワー～月明かりに照らされて・長月編』 9.21／19:20～19:55

祝日の19時台、20～30代の女性に向けて、ムード音楽、映画音楽、ジャズの名曲を聴きながらタイムリーな話題をおしゃべりでセンスの良い語りでつづった。敬老の日ということもあり鶴亀や長寿をテーマにした話題を取り上げた。／出演：岩崎博

『ホリデーライブ イン スタパステージ』

9.22／13:05～13:55

祝日に合わせてのライブショー。スタジオパークのスタパ・ステージから、音楽ゲストを迎えての歌とトークの公開生放送。／出演：岩崎良美、八反安未果／司会：石川光太郎アナ

『ムーンライトシャワー～月明かりに照らされて・長月編』 9.22/19:20～19:55

祝日の19時台、20～30代の女性に向けて、ムード音楽、映画音楽、ジャズの名曲を聴きながらタイムリーな話題をおしゃれでセンスの良い語りでつづった。中秋の名月や秋の七草のうんちくとともに月をテーマにした音楽を中心とした。／出演：岩崎博

『渋谷アニメランド～機動戦士ガンダム特集』

9.22/21:05～23:00

1979年に放送が開始されて30周年を迎えた「機動戦士ガンダム」を取り上げた。番組では、名ゼリフや楽曲、関係者へのインタビューなどを織り交ぜながら、このアニメで展開される人間ドラマの奥深さに迫った。／スタジオ出演：藤津亮太（アニメ評論家）、古谷徹（声優）、喜屋武ちあき（タレント）／インタビュー出演：富野由悠季（アニメーション監督）、松山祐士（作曲家）、永井一郎（声優、俳優）、池田秀一（俳優、声優）、潘恵子（声優、俳優）、古川登志夫（声優）／司会：藤崎弘士アナ

『ホリデーライブ イン スタパステージ』

9.23/13:05～13:55

祝日に合わせてのライブショー。スタジオパークのスタパ・ステージから、音楽ゲストを迎えての歌とトークの公開生放送。／出演：あさみちゆき、伊達見二／司会：後藤繁榮

『こうせつと仲間たち サマーピクニックスペシャル』 9.23/19:20～21:30

60歳の節目の年を迎えた南こうせつ。09年9月20日（日）、「サマーピクニックファイナル」を実施した。場所は静岡県掛川市の「つま恋」。吉田拓郎など数々の野外ライブが実施された場所だ。番組では「こうせつと仲間たち」のスペシャル版として、こうせつの参加ミュージシャンとの交流、ライブ演奏の熱気とともにそれぞれのミュージシャンのインタビューを交えてその盛り上りを伝えた。／出演：南こうせつ、石川ひとみ、伊勢正三、イルカ、坂崎幸之助、ムッシュかまやつ、森山良子、夏川りみ、BEGIN、杉田二郎、喜多條忠、山田雅人

『ホリデーライブ イン スタパステージ』

10.12/13:05～13:55

祝日に合わせてのライブショー。スタジオパ

ークのスタパ・ステージから、音楽ゲストを迎えての歌とトークの公開生放送。／出演：ビリー・バンバン、城南海／司会：宮川泰夫

『園芸・秋の電話相談』 10.12/14:05～16:53

ガーデニング愛好者からの疑問・質問に専門家が答える秋の定番特集。この時期のガーデニングの注意点について相談を受け付けた。15時台の「ガーデニングトーク」は、料理研究家で『きょうの料理』などでもおなじみの山本麗子さんをお迎えし、長野県東御市の自宅でのガーデニングと、山本さんが実践する、自宅で育てた野菜類を使う“ガーデニングクッキング”について伺った。なお、番組で山本さんが紹介した料理は、番組ホームページでも紹介した。回答者は、園芸研究家の船越亮二さん（庭木）、長岡求さん（草花）。／司会：石山智恵

『私の本棚スペシャル』 10.12/17:05～17:55

『私の本棚』は新番組の編成に伴い07年度限りで休止となったが、朗読番組を望むリスナーの声に応え、特集として放送。「仕事に疲れた中年のサラリーマンとわけありの女性が、季節はずれの沖縄のリゾートホテルで出会う…」不思議な恋物語を朗読とドラマで描き、洗練されたオシャレな作品となった。／作品：石田衣良作「再生」より“海に立つ人”／朗読：田中実・緒川たまき（俳優）

『体育の日特集～東京五輪体操金メダリスト・遠藤幸雄が残した“ありがとう”』

10.12/18:05～18:50

Ⓜ12.23/22:15～23:00

佐塚アナウンサーが独自に入手した新発見の日記を基に、亡くなった東京五輪体操金メダリスト遠藤幸雄の知られざる生涯を描いた録音構成のドキュメンタリー。遠藤の挫折、苦悩、栄光を、日本人の多くが明日への希望に満ち輝いていた当時の時代性ととも伝えた。再放送では番組の最後に、放送を聞いた体操関係者（五輪金メダリスト日体大の具志堅幸司教授、09年の世界選手権体操個人総合優勝の内村航平選手）のお便りを紹介し、体操ニッポンの礎を作った遠藤の業績の意味をより深く掘り下げた。／出演：小野喬（元五輪体操選手）、遠藤幸一（日体大准教授）／ナレーション：柴田祐規子アナ／語り：佐塚元章アナ

『上方おもしろ能楽堂』 11.3/13:05～15:55

大阪市内の登録有形文化財、山本能楽堂から公開生放送で上方芸能を紹介。能、落語、講談、女道楽という伝統芸能に加え、西洋楽器・リュートの演奏も披露した。また、あわせて上方芸能を支

える地域の人たちの取り組みもリポートで伝えた。さらに、競争率2倍の中から選ばれた80人の観客にも、能・講談の体験をしてもらい、上方芸能を身近に感じてもらった。／出演：旭堂南青（講談師）、桂吉坊（落語家）、内海英華（女道楽）、高本一郎（リュート奏者）／司会：宇都宮まき（タレント）、山本章弘（能楽師）、秋鹿真人アナ／大阪局

『古関メロディー永遠なり！～作曲家・古関裕而の軌跡』

11. 3/16:05～17:55

昭和を代表する作曲家・福島出身の古関裕而。「長崎の鐘」「高原列車は行く」などの流行歌をはじめ、「君の名は」のラジオ歌謡、「栄冠は君に輝く」などのスポーツテーマ、応援歌、校歌、社歌など幅広いジャンルの作品を生涯で5000曲世に送り出した。いわゆる「古関メロディー」の数々は、多くの日本人の心をとらえて離さない。09年は、生誕百年の記念の年だった。文化の日の夕方、ふるさとの福島からの中継も織り込んで、古関裕而の足跡をたどりながら今なお多くの人たちに親しまれている「古関メロディー」の魅力を解き明かしていった。／スタジオゲスト：長田暁二（音楽文化史研究家）、古関正裕（古関裕而の長男）／中継：ハミングコール・ハーモニカアンサンブル

『今夜も大入り！埼玉 蕨・極楽亭』

11.14/19:30～20:55

「極楽亭」のレギュラー出演者に地元・蕨市の出演者も加わり、ベッドタウンに隠された歴史や魅力を落語家のレポートなどを交えて紹介した。会場では地域のおもしろキャッチコピーを投稿してもらい、大賞を決定するなど、観客参加型で地域の魅力再発見を展開した。／出演：柳家喬太郎、林家木久蔵／司会：森口博子

『ありがとう森繁久彌さん～「日曜名作座」再び』

11.16～19/23:20～24:00

11月10日に死去した森繁久彌の追悼番組。『日曜名作座』は森繁久彌と加藤道子が2人だけで全登場人物を演じ分け、50年にわたって放送したラジオドラマ。音楽を担当した古関裕而を交えた昭和51年のてい談など、アーカイブス資料などを加えて4夜連続の再放送を行った。初回は、記念すべき第1作の尾崎士郎原作「人生劇場 青春編」（昭和32年4月～5月）の抜粋。以後、向田邦子の「かわうそ」（昭和56年）、宮沢賢治原作「ゼロ弾きのゴーシュ」（昭和45年）、全シリーズの最終回である藤沢周平原作「夜の雷雨」（平成15年）を取り上げた。／出演：伊藤豊英（元NHKディ

レクター）／司会：加賀美幸子

『渋谷アニメランド～進化するアニソン特集』

11.21/22:15～22:55

進化を遂げているアニメソングの今と歴史を紹介した。デジタルラジオ『富田明宏のアニソンに恋してる～進化するアニソン』を再構成した。／DJ：富田明宏（音楽評論家）

『ホリデーライブ イン スタパステージ』

11.23/13:05～13:55

祝日に合わせてのライブショー。スタジオパークのスタパ・ステージから、音楽ゲストを迎えての歌とトークの公開生放送。／出演：山本潤子、かとうれい子／司会：宮川泰夫

『ラジオなぞかけ問答スペシャル』

11.23/14:05～15:55

「○○とかけて△△と解く。その心は…」という、おなじみの言葉遊び。老若男女を問わず楽しめる頭の体操。『つながるラジオ』では、14時台に柿沼郭と石山智恵の2人の進行役がトークを繰り広げながら応募作品を紹介しているが、ふだん『つながるラジオ』を聞けない人たちにも、祝日の昼間に特番を編成することで、なぞかけ問答の楽しみを味わってもらい、新たなリスナーの開拓を図った。今回は、タレントチーム・リスナーチーム・若手落語家チームの対抗戦で、作品を競い合う新しい演出を試みたほか、中学1年生や30代の会社員など若い世代と電話でつなぐ演出も行った。ふだんは平日昼のために聞くことができないサラリーマンや学生などからも投稿があり、10代から70代まで幅広い年齢層から、合わせて478作品の投稿があった。／師範：天野祐吉（コラムニスト）、古今亭志ん輔（落語家）、神田紅（講談師）、泉麻人（コラムニスト）／ゲスト：松尾貴史（タレント）、松本明子（タレント）／司会：柿沼郭アナ、石山智恵

『ムーンライトシャワー～月明かりに照らされて・霜月特集』

11.23/18:05～18:50, 19:20～19:55

祝日の18時・19時台、20～30代の女性に向けて、ムード音楽、映画音楽、ジャズの名曲を聴きながらタイムリーな話題をおしゃれでセンスの良い語りでつづった。18時台は数字がタイトルの曲でつづり、19時台は映画音楽特集とした。／出演：岩崎博

『ラジオ特集 自殺者3万人～なぜ死にたいと思うのですか』

12.13/17:05～18:50

テレビの自殺防止キャンペーンと連動した特集で、教育テレビの『福祉ネットワーク』、総合テ

レビの『生活ほっとモーニング』『日本の、これから』を受ける形での放送となった。テレビでは伝えきれなかったテーマなどを、さらに深める意図で臨んだ。前述のテレビ番組に寄せられた3,000を超えるメールやFAXに加え、ラジオ独自に寄せられたFAX・メール、そして留守番電話に寄せられた声をご紹介しながらの放送となった。自殺を考えている人、自殺未遂経験者をはじめ、家族や友人と、内容も千差万別であったが、そのほとんどが切実に、通常寄せられるお便りとは一線を画したものが多かった。1通1通が切実な内容で、ラジオは人の切実な声を拾えるメディアと再認識できた。／出演：張賢徳（帝京大学病院精神科医）、藤澤克己（自殺対策に取り組む僧侶の会代表）／司会：三宅民夫アナ、石山智恵

『ホリデーライブ イン スタパステージ』

12.23/13:05~13:55

スタジオパークのスタパ・ステージからの公開生放送。8分を超える長編の歌、男女デュオのさわやかなハーモニーを届けたスペシャルライブ。／出演：樋口了一、インディゴ・ブルー

『ふるさと発くらしこの1年』

12.23~24, 28/14:05~16:53

NHKのネットワークを生かし、全国の拠点局をキーステーションに各地域のこの1年を振り返った。09年は、大きな事件・事故ばかりでなく、各地域のほっとする話題や元気の出る話題を意識的に取り上げ、来年へ向け気持ちが前向きになることをコンセプトとした。09年度からは14時台から第1部、第2部を続けて放送する形に変えた。北海道から九州・沖縄までの8ブロックを1日2ブロック、各管轄局をキーステーションに、4日間にわたって放送した。局数の多い関東・甲信越、東海・北陸、関西、九州・沖縄は1時間40分、北海道、東北、中国、四国は50分枠で放送。／司会：柿沼郭アナ

『祝日特集 森進一〜ひとすじの歌の道』

12.23/17:05~18:50

年末のあわただしいひととき「昭和歌謡」をじっくりと紹介し、改めて昭和の歌謡曲の底力を伝えた。今回は、歌謡界第一線で活躍し続ける森進一さんがゲスト。森さんのデビュー前から今日までの足跡を振り返りながら、その時々森さんが影響を受けた昭和の歌謡曲を紹介した。特に、森さん自身が自分の不遇の時代の思いを淡々と語ったことは、反響が大きかった。／ゲスト：森進一／司会：島田政男アナ

『ゆきねえの名古屋なごやか喫茶〜ゆきねえのジャズ喫茶へようこそ』

12.23/19:20~19:55

名古屋独特の文化や魅力について、ゲストと一緒に語っていく番組の特別編。今回は「ジャズ喫茶」という設定でトークを展開した。名古屋は多くのジャズアーティストを育てた街でもある。愛知県出身のケイコ・リーが歌手デビューするきっかけを作ったのは名古屋。今も、国内外の大御所から名古屋在住の若手まで多くのミュージシャンが名古屋の店でライブを行っている。ミュージシャンのエピソードや曲を交えながら、今も盛んな名古屋のジャズ文化を伝えた。／ゲスト：河合勝彦（ライブハウスマスター）／司会：兵藤ゆき、橋本奈穂子アナ／名古屋局

『どよう楽市 思い出ジュークボックススペシャル』

12.26/8:35~10:55

『どよう楽市』の年末特集は、人気コーナー「思い出ジュークボックス」のスペシャル。団塊世代の思い出の曲のリクエストに応えるとともに、スタジオにお迎えした3人のゲストの楽しいトークもたっぷりお伝えした。／出演：山本コウタロー、太田裕美、タケカワユキヒデ／司会：残間里江子、大沼ひろみアナ

『第2回 年忘れ！夢の紅白歌合戦』

12.26/19:30~22:55

60回を数えた『紅白歌合戦』の歴史を振り返りつつ、過去の紅白出場者の中から決して実現しない夢の対決を楽しんだ。番組冒頭の“ダンスアクション対決”では笠置シズ子とSMAPが激突するなど紅白20組40曲を紹介した。途中09年に亡くなった三木たかしや石本美由起の企画コーナーも設けてアクセントを付けた。ゲストには橋幸夫を迎え、紅白での思い出を語ってもらった。／司会：水前寺清子、岩崎博

『なんたって石原裕次郎リクエスト特集』

12.27/12:15~16:53

我らが「裕ちゃん」の誕生日の前日に石原裕次郎の曲にたっぷり浸ってもらおうという企画で、09年で4年目。事前のリクエストはおよそ200通。5時間近い放送枠で41曲を紹介した。今回は裕次郎のジャズやハワイアン、演歌などさまざまなカバー曲を途中で紹介。今まであまり聞かれなかった裕次郎の歌声をアクセントにした。ゲストの元レコーディングディレクター2人の話で、さらに裕次郎の実像が描かれた。／出演：高柳六郎（音楽評論家）、後藤武久（テイチク制作宣伝本部長）／司会：岩崎博

『私も一言！夕方ニュース 年末スペシャル～展望2010年』

12.28～30／17:00～18:50

目まぐるしい時代の変化を、日々聴取者とともに見つめ、双方向でニュースを掘り下げてきた『私も一言！夕方ニュース』の年末特集番組。28～29日は、1年を前・後半に分けて番組で伝えたニュースを、聴取者から寄せられたメール、留守番電話のメッセージで振り返り、その後を追った。30日は、政権交代で国のあり方が大きく変わろうとしている、日本の2010年を展望した。3日間とも日本各地からの生中継を交え、激動の1年を振り返るとともに新しい年2010年を展望した。／司会：伊藤博英アナ、有江活子キャスター／出演：五十嵐公利（ジャーナリスト）／ゲスト：堺屋太一（作家）、田中均（日本国際交流センターシニア・フェロー）

『スポーツ2009』

12.28／19:30～21:55

年末恒例のスポーツ座談会は、09年で10回目。スポーツ界がプロ化と国際化の時代を迎えたこの10年にどう変化したのかにこだわって伝えた。司会は、スポーツアナリストの西田善夫さん。レギュラーゲストに、スポーツジャーナリストの二宮清純さん、野球に造詣が深いタレントのヨネスケさん、サッカー解説に加えて地域スポーツの振興にも尽力するセルジオ越後さん。加えて、WBC優勝の陰の立役者で、日本代表チームの投手コーチを務めた与田剛さんをスペシャルゲストに迎えて舞台裏からの視点でWBCを分析していただいた。このほか、プロ野球、ワールドカップを10年に控えたサッカー日本代表、バンクーバー五輪直前の冬の競技の動きなどを取材経験豊富で個性的なゲスト陣が最新情報を基に深く語り合った。

『ラジオビタミン年末スペシャル！』

12.29～31／8:30～11:50

双方向性を意識した番組『ラジオビタミン』の締めくくりとして、29日から大みそかまでの3日間、「年末スペシャル」を実施。スタジオに多様なゲストをお迎えするとともに、「2009私の喜・怒・哀・楽」をテーマに、リスナーの皆さんの声を、電話で結んで紹介した。また、例年通り、東京都内や全国各地からの中継を実施。年の瀬の表情や10年への期待などを伝えた。交通情報も、全国の交通情報センターを結んで、集中的にきめ細かく伝えた。／出演：29日 西田敏行（俳優）、30日 小林幸子（歌手）、31日 倉科カナ（俳優）／司会：村上信夫アナ、神崎ゆう子

『ふるさとラジオ』

12.29～30／12:15～12:55

ラジオイベントカー「80ちゃん号」で、全国の

市町村を巡る旅も5周目。09年度も、47都道府県をすべて訪ね、ふるさとの「やる気・元気・本気」をお伝えした。その総集編を、年末2日間にわたって放送し、楽しかった放送を録音で振り返ったり、ふるさとのその後の様子を電話で伺ったりした。／出演：勅使川原郁恵（日本ウォーキング協会親善大使）／司会：柿沼郭アナ／旅するアナ：島田政男アナ

『変わった？変わらなかった？～ニュース2009』

12.29／19:20～22:59

年末恒例、1年を振り返るニュース・ハイライト番組。19時台は1年を振り返る音源やこの1年を象徴する場所からの中継やインタビュー。20時台は政治・くらし（経済）パート。21時台は、DJの亀渕昭信さんを中心に、文化・芸術を振り返った。22時台は、社会・国際が中心。総合テレビ『ニュースウォッチ9』の堀潤リポーターを招いて、彼がこの1年取材した現場などの話を中心に事件・事故・社会問題などを振り返った。国際は、アメリカ総局とウィーン支局を結んで伝えた。／出演：黒鉄ヒロシ（漫画家）、森公美子（歌手）、亀渕昭信（ポピュラー音楽研究家）、萩原博子（経済評論家）、島田敏夫（NHK解説委員）ほか／司会：末田正雄アナ、中野由貴

『ふるさと&つながるラジオ・年末スペシャル』

12.30～31／14:05～16:55

09年は、経済的に厳しく特に地方の疲弊が叫ばれた年であったことから、2日間のスペシャルのテーマを、「あなたの街の元気力」と「今年あなたが見つけた“しあわせ”は？」とし、ゲストに作家の立松和平さんと精神科医の香山リカさんを迎え、厳しい中でも元気に活動している情報や、心を癒やしてくれる話題を中心に構成した。「小さな幸せがあちこちにあることに気づきました」「NHKとつながり、元気をもらった嬉しい大みそかでした」などの好評意見をいただき、メールやFAXの総数は250余りと、08年の1.5倍であった。また、なぞかけ問答は演出にくふうを加え「年末紅白なぞかけ合戦」と題し、ゲストに古今亭志ん輔さんと神田紅さんを招き、にぎやかに、720の作品が届いた。／司会：柿沼郭アナ、石山智恵

『渋谷アニメランド～2009年を振り返って特集』

12.30／19:20～21:55

09年を振り返り、放送・上映を終了したアニメ作品の中から、ゲストが印象に残ったアニメ10作品を紹介した。また、話題となったアニメソング3曲も紹介した。／出演：藤津亮太（アニメ評論

家)、富田明宏(音楽評論家)、白石稔(声優)、喜屋武ちあき(タレント)

『年忘れ 黒船だあーっ!』

12.30/22:05~23:00

ペリー来航から156年、現代の黒船とも言うべき日本在住の外国人が集まり、09年の出来事を振り返りながら日本文化について熱弁をふるった。/スタジオ出演:ロバート・キャンベル(東京大学大学院教授)、マーティ・フリードマン(ギタリスト、プロデューサー)、サヘル・ローズ(タレント、女優)、ニコラス・ベタス(格闘家、俳優)/インタビュー出演:シリン・ネザマフィ(作家)、ユージン・アクセノフ(医師)/司会:青木裕子アナ

『年末特集 思い出の昭和歌謡』

12.31/17:05~18:50

「昭和歌謡」をじっくりと紹介する番組。ゲストに、俳優の小沢昭一さんと音楽文化研究家の長田暁二さんを迎え、懐かしい昭和の歌謡曲を2人の思い出とともにつづった。選曲は小沢さん、歌の解説は長田さんという役割分担で、昭和歌謡の魅力をじっくりと紹介した。/ゲスト:小沢昭一、長田暁二/司会:島田政男アナ

『年越しラジオ ゆく年くる年』

12.31/23:45~0:45

毎年恒例、全国各地を中継で結び、日本の年越しの風景をお伝えするこの番組。09年は、深刻な景気・雇用の悪化の中で始まり、新型インフルエンザの流行や豪雨・台風の被害、政権交代など、さまざまな出来事が続いた。番組では、「思いを新たに ふるさとは今」をテーマに、東京のスタジオと全国7か所を中継で結んで、新たな気持ちで新年を迎える日本各地の姿を伝えた。/出演:落合恵子(作家)、宇崎竜童(音楽家)/司会:濱中博久アナ

『おめでとう日本列島2010』

1. 1/8:30~13:45

2010年を少しでも明るい年にしようと活発に元日を過ごす人々の姿と、各地の正月の風景を「変わるもの変わらないもの」をテーマに、各局からの中継と電話インタビューで紹介した。/中継:帯広局「ばんえい競馬」、函館局「格闘技 下の句かるた」、盛岡局「遠野物語100周年」、新潟局「春を呼ぶ春駒」、高知局「龍馬への年賀状」、松山局「大笑い初もうで」、長崎局「龍馬が街をにぎわす」、宮崎局「観光列車で初もうで」、東京「新春ふるさと味めぐり~東京大神宮、飯田橋、上野、浅草、表参道」。/レポート:松江局「ゲ

ゲゲの女房」/電話:「東北新幹線全線開業・津軽料理で歓迎(青森県)」「加賀万歳保存会(石川県金沢市)」「龍馬とともに迎える新年(京都市)」「歴史の祭典にいらっしやい(奈良市)」「ホルモンうどんで皆を元気に(岡山県津山市)」/出演:やすみりえ(川柳作家)、さかなクン(東京海洋大学客員准教授)/司会:奥山佳恵(女優)、山本哲也アナ

『おめでとう!地球ラジオ 2010』

1. 1/16:10~18:50

新年を迎えたばかりの世界各地と電話でつながり、放送時間を拡大し、およそ3時間にわたって放送。イタリア出身のオペラ演出家ダリオ・ポニッツイさんをスタジオに招き、ゲストのトークとカンツォーネの生演奏を交えながら、海外8か所との生電話などで構成。千支にちなんだ「トラ」や「年末年始につきものの食べ物や飲み物」についてリスナーから寄せられたお便り59通を紹介した。/出演:ダリオ・ポニッツイ(オペラ演出家)/司会:後藤繁榮アナ、大輪香菊

『日本のカルテ2010~希望の国への処方せん』

1. 1~3/21:30~23:00

第1夜「新しい時代の雇用を見つめる」

今後の日本経済のあるべき姿について考えた。/ゲスト:内橋克人(評論家)、金子勝(慶応義塾大学教授)/司会:山下信アナ

第2夜「現場力から日本企業の足元を見つめなおす」

日本の強さ「現場力」について考えた。/ゲスト:遠藤功(早稲田大学教授)、斉藤泉(日本レストランエンタープライズアドバイザー)/司会:山下信アナ

第3夜「日中新時代 日本のありかたを考える」

世界第2の経済大国となる中国の現状を、中国進出企業のレポートを交えて伝え、中国とのつきあい方を考えた。/ゲスト:原田武夫(元外交官・作家・シンクタンク代表)、范云涛(亜細亜大学大学院教授)/司会:山下信アナ

『わが人生に乾杯!新春スペシャル』

1. 2/14:20~16:55

お正月恒例のスタジオパークからの公開生放送。八代亜紀をメインゲストに迎え、40周年を迎えた歌手人生を語ってもらうとともに、ライブステージもたっぷり届けた。また、活弁士の澤登翠も登場。「坂本竜馬~初夢物語」と題した活弁ドラマを出演者が熱演した。/司会:山本晋也、岡元あつこ、出光ケイ

『新春おめでた文芸』

1. 2～ 3/17:05～18:50, 19:20～21:28

お題を直前に出し、生放送の中で句を寄せていただき、ゲストとともに楽しく選句して行く双方向番組。投句は俳句、おりこみどどいつ、短歌、川柳合わせておよそ2,000通と根強い人気があり、お正月番組として定着している。また、作品の作者にスタジオから直接電話をする「おめでたビックリ電話」も大いに喜ばれ、全国の正月風景を垣間見ることができた。／出演：2日・鈴木章和（「俳句」選者）、富士真奈美（女優）、筏丸けいこ（「おりこみどどいつ」選者）、ねじめ正一（作家）、ダニエル・カール（タレント）、3日・篠弘（「短歌」選者）、太田治子（作家）、大木俊秀・安藤波瑠（「川柳」選者）、林家きく姫（落語家）／司会：鎌田正幸アナ、坪郷佳英子

『新春大入り！渋谷・極楽亭』

1. 3/14:20～16:55

お正月恒例のスタジオパークからの公開生放送。“渋谷極楽亭”レギュラー陣が全員集合、立川志らく、柳家喬太郎、林家彦いち、林家木久蔵の花の落語家4人衆がたっぷり落語を披露したほか、大喜利ネタではバラエティトークが繰り広げられた。司会の森口博子は歌のほか落語にも挑戦した。／司会：三橋大樹アナ

『ホリデーライブ イン スタパステージ』

1.11/13:05～13:55

祝日に合わせてのライブショー。スタジオパークのスタパステージから、音楽ゲストを迎えての歌とトークの公開生放送。／出演：荻野目洋子、中西保志／司会：宮川泰夫

『特集・人権インタビュー秀作選』

1.11/14:05～15:55

『ラジオ深夜便』の成人の日特集。毎年人権週間に合わせて12月上旬に『ラジオ深夜便』の午前1時台に5回シリーズで放送している「人権インタビュー」、全国のアナウンサーからの提案制で5本を連続放送している。その中から好評だった2本を再編集して「成人の日」の特集番組として多くの人が聞きやすい日中の時間帯に放送した。足利事件での逮捕から17年半ぶりに釈放されたえん罪被害者や、わが子を隣人に殺害された犯罪被害者のリアルな声をロングインタビューで聞いたことにリスナーから再放送希望が寄せられた。／出演：（宇都宮局）菅家利和（足利事件元受刑者）／聞き手：徳永圭一アナ、（秋田局）米山勝弘（秋田・藤里町児童連続殺害事件遺族）／聞き手：大沢幸広アナ／案内役：柿沼郭アナ

『ムーンライトシャワー～月明かりに照らされて・睦月特集』

1.11/18:05～18:50

祝日の18時台、20～30代の女性に向けてムード音楽、映画音楽、ジャズの名曲を聴きながらタイムリーな話題をおしゃれでセンスの良い語りでつづった。成人の日にちなんで大人に関する笑える話題などを取り上げた。／出演：岩崎博

『冬の主役は誰だ！～バンクーバーオリンピック直前・ラジオ特集』

1.11/19:20～20:55

各競技で続々と代表選手が決まる本番1か月前に、日本期待の選手の最新情報とそのヒューマンストーリーを掘り下げ、あわせて大会の見どころを伝える直前特集。／司会：政野光伯アナ（ラジオセンター）／ゲスト：山本浩、八木沼純子（カルガリーオリンピックフィギュア代表）／パートゲスト：三浦豪太（プロスキーヤー）、三島直美（フリージャーナリスト）

『フォークは素敵な贈り物』

1.11/22:15～23:00

平成生まれの新成人の皆さんをフォークソングの名曲でお祝いするという番組。名曲秘話や歌の時代背景などを紹介した。／曲目：「この広い野原いっぱい」「22才の別れ」「今はもう誰も」「風」「戦争を知らない子供たち」「卒業写真」「翼をください」ほか／ゲスト：田中れいな、山本潤子、半田健人／司会：杉田二郎、植植恵水アナ

『大好きだったわたしの家族へ～震災から15年 遺児たちの言葉』

1.16/22:15～22:55

阪神・淡路大震災から15年、震災で親を亡くした子どもは573人に及んだ。4人の遺児の懸命に生きてきたこの15年を振り返りながら、亡き父や母へのメッセージを「手紙」に込めて語ってもらうとともに、震災で最愛の姉を亡くした中国出身の古箏演奏家ウー・ファン（伍芳）さんが遺児たちを訪ね、その声を受け止めた。15年たったからこそようやく悲しみに向き合えた気持ちや、周囲の支えにより悲しみから立ち直る人間の絆の強さを伝えることで被災地以外の人にも共感呼んだ。／出演：ウー・ファン（古箏演奏家）／構成・ナレーション：下境秀幸アナ／神戸局

『阪神・淡路大震災から15年 あの日から…心つないで』

1.17/5:16～8:55

阪神・淡路大震災から15年となった1月17日。震災を経験した人の思いや震災から学んだことをどう受け止め、次の世代へ「つないで」いくかを考えた。震災の「追悼の集い」が行われた兵庫県神戸市の東遊園地からの中継や、兵庫県西宮市か

ら自転車による移動中継をしながら、市民の「1・17」の迎え方を伝えた。また、電子メールやファクシミリ、さらに、放送と同時進行させる形でインターネット上に「掲示板」を設け、全国の人たちの震災への思い、防災への取り組みなどを伝えた。／ゲスト：瀬戸カトリーヌ（女優）、矢守克也（京都大学防災研究所教授）／司会：住田功一アナ／中継：望月豊，吉田浩，小西政親／大阪局

『ムーンライトシャワー～月明かりに照らされて・如月特集』

2.11/19:20～19:55

祝日の19時台、20～30代の女性に向けてムード音楽、映画音楽、ジャズの名曲を聴きながらタイムリーな話題をおしゃれでセンスの良い語りでつづった。／出演：岩崎博

『バンクーバーオリンピック』

2.13～ 3. 1

バンクーバーオリンピックは、開・閉会式、スピードスケート、フィギュア、ジャンプ、ノルディック複合など日本のメダル獲得のすべてと、ほとんどの入賞種目を生中継するとともに、スタジオから競技結果や経過の最新情報を速報した。総中継時間は、43時間11分であった。

『渋谷アニメランド in 福井～マクロスソングを聴け！』

3.21/20:05～21:55

福井県坂井市の「みくに文化未来館」で3月7日に公開収録を実施して放送した。1982年に最初のシリーズが放送され、2010年で28年がたつマクロスの歌を14曲歌った。会場には400人の観客が訪れ、遠くは広島県からの参加者もいた。／出演：福山芳樹（歌手）、中島愛（歌手・声優）／司会：藤崎弘士アナ

『祝日特集 思い出の昭和歌謡』

3.22/18:05～18:50

昭和の懐かしい歌謡曲を紹介していく番組。ゲストに、平成5年生まれの17歳という高校生演歌歌手のカレンさんを迎え、17歳から見た昭和歌謡について話を聞いた。／出演：カレン／司会：島田政男アナ

ラジオ第2放送

ラジオ第2：定時番組

『アラビア語講座』

土 6:00～ 6:30

第1回08.4.5／前期は「初歩からのアル・アラビヤ」（05年10月～06年3月，07年7月～8月短期集中講座の再放送）。講師：新妻仁一（亜細亜大学教授），ゲスト：ムハンマド・スールッディーン・ナケシュバンディ／後期は「アラブの国々を旅しよう！」と題し、日常会話で使う話し言葉からニュースなどで使われる標準アラビア語までを学習する新作を放送した。講師：長渡陽一（東京外国語大学講師），エバ・ハッサン，オサマ・イブラヒム／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『アンコール イタリア語講座』

月～土 11:20～11:40

第1回08.3.31／過去の番組からアンコール放送。入門編（月～木）「ヴェネツィア語学留学に挑戦」講師：芝田高太郎（慶応義塾大学非常勤講師），出演：ヴィオレッタ・マストラゴステイーノ（06年4～9月ほかの再放送）。／4～6月および10～12月の応用編（金・土）「イタリア語で“聴く”ルネサンスの名画」講師：松浦弘明（多摩美術大学教授），渡辺エリアーナ（04年4～6月ほかの再放送）。／7～9月および10年1～3月の応用編（金・土）「手紙で学ぶ中級文法」講師：中矢慎子（国立音楽大学非常勤講師），出演：ラウラ・サパトリイ（早稲田大学准教授）（05年1～3月ほかの再放送）。／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『アンコール スペイン語講座』

月～土 12:10～12:30

第1回08.3.31／過去の番組からアンコール放送。入門編（月～木）講師：川上茂信（東京外国語大学准教授）出演：フェルナンダ・アントン・デ・ディアス（01年4～9月，02年10月～03年3月の再放送）。／応用編（金・土）「接続法をマスターしよう！」講師：吉川恵美子（昭和女子大学教授），出演：ビクトル・カルデロン・デ・ラ・バルカ（神奈川大学准教授）（03年10月～04年3月，04年10月～05年3月の再放送）。／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『アンコール ドイツ語講座』

月～土 11:40～12:00

第1回08.3.31／過去の番組からアンコール放送。／入門編（月～木）「ゴールめざして！ケンのドイツ留学生活」講師：境一三（慶応義塾大学教授）（04年4～9月ほかの再放送）。／応用編（金・土）「心に響くドイツの文学」講師：渡部重美（独協大学教授）ほか（06年10月～07年3月の再放送）。／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『アンコール フランス語講座』

月～土 11:00～11:20

㊿月～土 23:30～23:50

第1回08.3.31／過去の番組からアンコール放送。入門編（月～木）「ソフィーとジル」講師：六鹿豊（白百合女子大学教授）出演：クリスチヌ・ロバン・佐藤（白百合大学教授）（02年4～9月ほかの再放送）。／4～6月および10～12月の応用編（金・土）「ビジネスで見るフランス～ユーロの時代」講師：天羽均（大阪府立大学名誉教授），オリヴィエ・ジャメ（天理大学教授）（02年10～12月ほかの再放送）。／7～9月および09年1～3月の応用編（金・土）「数字が語るフランスの現在」講師：北村亜矢子（上智大学非常勤講師），フローレンス・容子・シュールド（慶応義塾大学非常勤講師）（07年4～6月ほかの再放送）。／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『アンコール まいにち中国語』

月～金 12:30～12:45

第1回09.3.30／過去の番組からアンコール放送。『アンコール 中国語講座』より改題。「ちがいのわかる6か月」（08年10月～09年3月の再放送）。／講師：小野秀樹（首都大学東京准教授）／出演：許硯輝，黄鶴／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『アンコール まいにちハングル講座』

月～金 13:20～13:35

第1回09.3.30／過去の番組からアンコール放送。『アンコール アンニョンハシムニカ・ハングル講座』より改題。／（4～6月，10月～12月）「“ハングル耳”を鍛えよう！」講師：木内明（東洋大学准教授）出演：ソ・ウナ（08年10～12月の再放送）。／（7～9月，09年1～3月）「ドラマで鍛える“ハングル耳”」講師：木内明，出演：オ・ソンヨン（09年1～3月の再放送）。／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『アンコール まいにちロシア語』

月～金 12:45～13:00

第1回08.4.5／過去の番組からアンコール放送。

『アンコール ロシア語講座』より改題し，放送日も月～金の5回に増えた。4～6月および10～12月は「文字からゆっくり～カタツムリの初級編」講師：黒田龍之助（言語学者）ゲスト：藤枝・グトワ・エカテリーナ（08年前期の再放送）。／後期は，中級編と実践編に分けて放送。中級編（月～水）は「文法もゆっくり～カタツムリの中級編」講師：黒田龍之助（言語学者）ゲスト：藤枝・グトワ・エカテリーナ／実践編（木・金）は「会話力アップの実践編」。講師：貝澤哉（早稲田大学教授）ゲスト：オクサーナ・ピスクノワ，ヴァレリー・グレチコ（08年後期の再放送）。／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『英語5分間トレーニング』 新

月～日 9:05～9:10

㊿月～日 16:20～16:25，22:20～22:25

㊿日 23:25～0:00（7本分）

第1回09.3.30／「“英語の筋肉”を鍛えよう」というコンセプトで，5分間365日年中無休で放送する新番組。音読，リスニングなど曜日別の多彩なトレーニングメニューを用意し，すぐに使える会話力を身に付けることを目指した。／講師：岩村圭南（コンテンツ・クリエイター）／パートナー：ヴィッキー・グラス，デイヴィッド・ニール／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『英語ニュース』

月～金 18:00～18:15

土・日 18:00～18:10

第1回95.4.3／世界各地を対象に送信しているラジオ国際放送の英語ニュースのうち，1回を国内でもR2で放送。／国際放送局

『英語ものしり倶楽部』

土 6:30～7:00

㊿土 23:00～23:30

㊿日 9:30～10:00

第1回08.4.5／世界の情報が入手でき，英語の深い教養を楽しく身に付けられる講座。毎回，英語を使って活躍する各界の著名人たちとのトークの中で，転機になったひと言など，役に立つ表現を学ぶ。英語俳句のコーナーではリスナーからの投稿を紹介するなど双方向の演出を行った。／講師・司会：大杉正明（清泉女子大学教授），リサ・ヴォート／インタビューゲスト：村山由佳，吉田都ほか／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『NHK高校講座』

月～金 19:30～20:30
土 19:10～20:30
㊦月～水、土・日 0:00～ 1:00
㊦木・金 0:00～ 0:40

第1回53.4／全国の通信制高校生を主な対象に、学習支援およびスクーリング（面接指導）時数を減免できる番組として計画的かつ継続的に放送、その他の高校生や生涯学習目的でも聴取されている。12番組、年間42～84本の放送。深夜再放送は、通信制高校の前・後期2期制の後期入学生の学習に対応。毎年10月に開始、本放送から半年遅れでその年度の番組を翌年夏までにすべて再放送している。09年度は、公民分野で「倫理」84本を半減し、「政治・経済」42本を新設。09年度制作は、「古典」「現代社会」「倫理」「政治・経済」の4番組。一部制作は「音楽Ⅰ」の1番組。このほか、再放送番組として「国語表現Ⅰ」「国語総合」「現代文」「保健体育」「数学Ⅱ」「オーラル・コミュニケーションⅠ」「英語Ⅱ」の7番組。07年度より始まった、全科目のインターネット配信の利用も定着し、番組のネット聴取回数は年間345万回に上った。全番組をいつでも高音質で聴取できるため、ラジオ放送のみだった07年度以前に比べてかなりの反響のある番組となっている。／08年度からラジオ全テキスト休刊。／制作局（委託管理）、NED

『お話でてこい』

月・水・金 10:00～10:15
㊦火・木・土 10:00～10:15

第1回54.11.8／古今東西の昔話や名作童話を一流の語り手の「お話」でつづる。オリジナルの音楽と効果音を織り込み、物語のイメージを豊かに子どもたちに伝える。／制作局（委託管理）、名古屋局、NED

『おはなしの旅～低学年』

月 9:30～ 9:45
㊦木 9:30～ 9:45

『おはなしの旅～中学年』

火 9:30～ 9:45
㊦金 9:30～ 9:45

『おはなしの旅～高学年』

水 9:30～ 9:45
㊦金 9:45～10:00

第1回『低学年』03.4.7、『中学年』03.4.8、『高学年』03.4.7／小学校向けの国語番組。子どもに与えたい優れたおはなしを専門家の朗読やラジオドラマで紹介。子どもの想像力をはぐくみ、

ことばの世界を広げることをねらった。／出演：『低学年』橋爪功、森本レオほか、『中学年』中村メイコ、夏木陽介ほか、『高学年』若山弦蔵、奈良岡朋子ほか／教師用テキスト発行／青少年・教育番組部

『株式市況』

月～金 17:00～18:00

株の取引がある月～金曜に、東京証券取引所と大阪証券取引所の終値を伝えている。時間は東証が45分間、大証が15分間。すべての銘柄は放送できないので、売買の多いものなど経済の動向を反映するものを中心に伝えている。／ラジオセンター

『カルチャーラジオ』

月～土 20:30～21:00
日 20:00～21:00
㊦月～土 10:15～10:45

01.4.2（月～土）、01.4.8（日）から始まった『NHKカルチャーアワー』を継続し、09年度から『カルチャーラジオ』と改題／主に中高年層を対象に、多様化する知的欲求に応える教養番組。曜日ごとに自然・歴史・芸術・文学などの分野を取り上げた。月～土曜および日曜の内容は以下に記述。

『科学と自然』月／第1回07.4.2／地球温暖化などの問題が叫ばれる今日、最新の研究現場のエピソードを交え、科学の目から宇宙等の自然環境を見つめ直し、また身近な魚類や医学を取り上げた。「食卓のおさかな百科（26回）」林公義（横須賀市自然・人文博物館館長）、「きれい社会と共生社会～生きる力のための13章」藤田紘一郎（東京医科歯科大学名誉教授）、「人間と宇宙」海部宣男（放送大学教授）を放送した。

『歴史再発見』火／第1回05.4.5／歴史上のエポック・メイキングとなった事象・人物を取り上げ、同時代の文献や残こされた資料を基本に現代の視点から歴史の意味を考えていった。「関ヶ原合戦と直江兼統」笠谷和比古（日本国際文化研究センター教授）、「楔形文字がむすぶ古代オリエント都市の旅」小林登志子（古代オリエント考古学者）、「世直し大江戸書」石川英輔（作家）、「千のイタリア～多様と豊穡の近代」北村暁夫（日本女子大学教授）を放送した。／ガイドブック発行

『芸術その魅力』水／第1回07.4.4／日本の歌曲や映画、西洋美術、クラシック音楽など、幅広く世界の芸術の魅力をユニークな講師に語っていただいた。「日本歌曲100年史」畑中良輔（東京

芸術大学名誉教授)、「生誕120年 チャップリン・創造の秘密」大野裕之(日本チャップリン協会会長・脚本家)、「変革の時代のアート～今アートはどこに向かうのか」南條史生(森美術館館長)、「交響曲の楽しみ」宮本文昭(音楽家)を放送した。

『文学の世界』 木／第1回07.4.7／読みたくてもなかなか読めない作品をていねいに解説し、視聴者の関心を集めたプーストのほか、川端康成や古事記などを取り上げ、文学の世界を堪能した。「プースト“失われた時を求めて”を読む」鈴木道彦(独協大学名誉教授)、「名作”はつくられる～川端康成とその作品”十重田裕一(早稲田大学教授)、「大人のためのイギリス児童文学」小峰和子(明治大学講師)、「古事記への招待」三浦佑之(立正大学教授)を放送した。／ガイドブック発行

『俳句・短歌をよむ』 金／第1回07.4.6／今、さらに新しい表現の可能性に富み、愛好者も増えてきている俳句・短歌の世界を第一線の俳人・歌人が独自の視点から語っていった。「わたしの現代俳句史」金子兜太(俳人)、「大正短歌の輝き」来嶋靖生(歌人)、「女の五七五」榎未知子(俳人)、「女うたの夜明け～与謝野晶子と山川登美子」今野寿美(歌人)を放送した。

『漢詩をよむ』 土／第1回08.4.5／日本人が古くから親しんできた漢詩を、日本文化との複合性も加味しつつ多角的に鑑賞する番組。09年度は「漢詩の来た道」と題した2年目で、唐代の後期を中心に紹介。その膨大な作品を、詩経や楚辞などの古代歌謡から時代順に読み解き、詩の発生や展開、文学表現としての深まりなど、漢詩の奥行きも味わった。／解説：宇野直人(共立女子大学教授)／テキスト発行

日曜は年間タイトルを特に設けず、月ごとのシリーズ(4～5本)とした。「人間を考えるシリーズ」(4回)「いのち」では火坂雅志(歴史小説家)、小山明子(女優)、福岡伸一(分子生物学者)、C・W・ニコル(作家)、「愛する」では向井万起男(慶応義塾大学准教授)、志茂田景樹(作家)、亀瀨昭信(ラジオ・パーソナリティー)、中村絃子(ピアニスト)、「きずな」では小松原庸子(スペイン舞踏家)、香川京子(女優)、小沢昭一(俳優)、「ともに生きる」では田部井淳子(登山家)、千住真理子(ヴァイオリニスト)、鳥越俊太郎(ジャーナリスト)、原田泰治(画家)という多彩な講師を迎えて人生論から時事的なテーマまで幅広くテーマを取り上げた。そのほか、「金子み

すゞの宇宙～うれしいまなざし」矢崎節夫(金子みすゞ記念館館長)、「わが演歌の人生」船村徹(作曲家・JASRAC会長)、もず唱平(作詞家)、「和菓子の今昔～歴史と文化」青木直己(和菓子研究家)、「わたしの昆虫記」矢島稔(群馬県ぐんま昆虫の森園長)、「黒澤明・幻の大作～誰も理解しなかった巨大構想の謎」田草川弘(ノンフィクション作家)、「東南アジア文化遺産との対話」石澤良昭(上智大学学長)ほか、「武将たちの美意識」長谷川孝徳(北陸大学教授)、「人道の旗の下に～赤十字の150年」東浦洋(日本赤十字看護大学客員)を放送した。／制作局(委託管理)、NED

『聞いて聞かせて』 新

日 19:30～20:00

【再】日 7:30～8:00

第1回09.4.5／「盲人の時間」(第1回64.4.9)を09年度、視覚障害のある当事者をキャスターに起用してリニューアル。福祉関連の制度の最新情報やその課題、働く現場のリポートなど幅広いテーマを取り上げるとともに、当事者参加を重視、視覚障害者のリポーターが多く登場した。／司会：芳賀優子／文化・福祉番組部

『気象通報』

月～日 9:10～9:30, 16:00～16:20,
22:00～22:20

日本と周辺地域・海域の海上気象を含む気象情報。漁業・港湾・マリレジャー・教育・山岳の関係者など利用者は幅広い。／ラジオセンター『基礎英語1』

月～金 6:00～6:15

【再】月～金 18:45～19:00

【再】月～金 21:00～21:15

第1回05.4.4／初めて英語を学ぶ人のためのラジオ講座。09年度は東京・浅草を舞台にした楽しいスキットで日常会話の基本表現を身に付けることを目標とした。／講師：木村松雄(青山学院大学教授)／レギュラーゲスト：ジャンカ・サウスウィック、リチャード・アレン／テキスト発行／制作局(委託管理)、NED

『基礎英語2』

月～金 6:15～6:30

【再】月～金 19:00～19:15

【再】月～金 21:15～21:30

第1回05.4.4／『基礎英語1』に続く年間語学番組。09年度は南米アマゾンでのアドベンチャーとアメリカでのホームステイをスキットの柱に据え、ゲーム感覚で楽しくスピーキング・リスニン

グ力を養うことを目的とした。／講師：高本裕迅（白百合女子大学教授）／出演：マイコ・コープランド、トム・メレスキ／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『基礎英語3』

月～金 6:30～6:45
 ㊦月～金 19:15～19:30
 ㊦月～金 21:30～21:45

第1回08.3.31／中学校の英語の総復習で基本的な英語力を確かなものにするための講座。チャックでのリピートとオーバーラッピングでスピーキング力の強化を図った。スキットの舞台は、この時に市制100年を迎えた茨城県水戸市。自分の住む町を英語で紹介するために役立つ表現も学習した。／講師：阿野幸一（文教大学准教授）／パートナー：ガイタノ・トタロ、ジョアンナ・デイ／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『くらしで使えるポルトガル語』

土 8:50～9:05
 ㊦土 18:55～19:10
 ㊦日 22:25～22:40

第1回08.4.5／07年度夏期集中講座の再放送。講師：武田千香（東京外国語大学准教授），エリゼウ・ピシテリ（東京外国語大学客員准教授）／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『こころをよむ』

日 6:45～7:25
 ㊦日 13:20～14:00

第1回85.4.7／哲学・教育・社会学といった各分野の第一人者が、現代社会における老い・家族・環境など、さまざまな問題を考察し、よりよい未来を構築するための心のあり方を探る番組。09年度は「人生百年～女と男の花ごよみ」樋口恵子（評論家），「シニアのための哲学～時代の忘れもの」鷺田清一（大阪大学総長），「教育を江戸から考える～学び・身体・メディア」辻本雅史（京都大学教授），「伝説の名優たち～その演技の力」佐藤忠男（映画評論家）を放送した。／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『古典講読』

土 17:00～17:45
 ㊦日 6:00～6:45

第1回85.4.6／長い間、読み継がれて来た古典文学には、日本人の心の源泉が描かれているとも言われる。その魅力あふれる世界をていねいな解説と朗読で読み解いて行く番組。09年度は08年度に好評を得た「源氏物語」の双壁として今も尚、注目を集める「枕草子」。多くの聴取者の心を掴

んだ伊井教授に引き続き解説をしてもらった。／解説：伊井春樹（大阪大学名誉教授）／制作局（委託管理），NED

『ことば力アップ』

土 16:45～17:00
 ㊦土 21:40～21:55
 ㊦翌週土 10:45～11:00

第1回08.4.5／テキストと連動しながら、アナウンサーが朗読、スピーチ、プレゼンテーション、敬語など、表現やコミュニケーションに関する実践的なノウハウをわかりやすく紹介した。09年度は51本を制作。／アナウンス室

『実践ビジネス英語』

水～金 22:40～22:55
 ㊦日 10:30～11:15（3本分）

第1回02.4.1／08年度から『ビジネス英会話』を引き継いでスタート。第一線で働くビジネスパーソンが「今」のビジネスの現場で使う新しい英語表現を伝授する番組。ビニエット（ミニドラマ）には最新のビジネストレンドと現実のビジネス世界での出来事を反映した。／講師：杉田敏（株式会社プラップジャパン代表取締役社長）／パートナー：松下クリス、岩本スーザン／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『社会福祉セミナー』

土 18:30～18:55
 ㊦日 12:30～12:55

第1回93.4.10／社会福祉における「基本概念」「各分野論」「介護の役割・方法」「国際協力」などのテーマを、年ごとの制度の変化に対応して専門家が解説し、著名人・有識者の福祉観も紹介した。／テキスト発行／文化・福祉番組部，NED

『宗教の時間』

日 8:30～9:00
 ㊦日 18:30～19:00

第1回52.1.4／宗教的体験や実践、法話、解説など、さまざまな角度から宗教に関する話題を取り上げる。毎月第2週は船本弘毅氏（関西学院大学名誉教授）による「新約聖書 イエスのたとえ話をよむ」を1年間シリーズで放送。／文化・福祉番組部

『スペイン語ニュース』

月～金 18:15～18:30
 土・日 18:10～18:20

第1回02.4.1／日本に居住する中南米スペイン語圏出身者を主な対象として、スペイン語ニュースを国内向けに放送。／国際放送局

『チャロの英語実力講座』

月～土 7:00～7:15

㊥月～土 22:25～22:40

㊥日 14:30～16:00（6本分）

第1回08.3.31／教育テレビ『リトル・チャロ』クロスメディア企画のうちのラジオパート。08年度の再放送。／講師：榎木玲子（法政大学教授）／出演：ジョン・オコナー、アリン・タイシ、クリスチャン・ジェームス、シルビア／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『中国語ニュース』

月～日 13:00～13:10

第1回96.4.1／日本に居住する中国系の人々を主な対象として、中国語ニュースを国内向けに放送。07年2月から、携帯電話向けの中国語サービスを開始。／国際放送局

『中文日本百科』 新

土・日 17:45～18:00

第1回09.4.4／日本に居住する中国系の人々や中国語学習者を主な対象として、国際放送の一部番組を国内向けに再構成し放送。／国際放送局

『ともに生きる』

日 8:00～8:30

㊥日 19:00～19:30

第1回62.4.8、改題94.4.10／障害当事者の長崎圭子さんをメインキャスターに、障害のある人たちの暮らしに役立つ情報やちょっとした話題をピア（仲間）の感覚を大切にしながら提供する。取り上げるテーマは障害者自立支援法改正など時事性の高いものから、太りすぎをどう解消するかまで、多彩。お正月には新春スペシャルと銘打って、1時間の特別版を放送した。／出演：長崎圭子、桂こけ枝／大阪局

『入門ビジネス英語』

月・火 22:40～22:55

㊥日 10:00～10:30（2本分）

第1回08.3.31／会議・プレゼン・交渉の現場ですぐに使える実践的なスキットを通して、シンプルで確かな表現をマスターする番組。国際ビジネスに必要なマナーやコミュニケーションスキルを身につけるための情報も提供した。／講師：エド・スミス（Enterprise Training Group,LTD.代表取締役社長）／出演：藤本ケイ／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『ハングル日本百科』 新

土・日 22:40～22:55

㊥翌週土 14:30～15:00

第1回09.4.4／日本に居住する韓国・朝鮮の

人々や語学学習者を主な対象として、国際放送の一部番組を国内向けに再構成し放送。／国際放送局

『ハングルニュース』

月～日 13:10～13:20

第1回96.4.1／日本に居住する韓国・朝鮮の人々や語学学習者を主な対象に、ハングルニュースを国内向けに放送。07年2月から携帯電話向けサービスも開始。／国際放送局

『文化講演会』

日 21:00～22:00

㊥祝 17:00～18:00

第1回76.4.25（R1），80.4.11（R2）／日本各地で開催される多様な講演会の中から変わり行く社会情勢の中で伝えたい内容を厳選し、紹介する番組。09年度は「勝海舟と西郷隆盛」半藤一利（作家）、「夢があるから強くなる」川淵三郎（日本サッカー協会名誉会長）、「輝ける老い」平岩弓枝（作家）、「スポーツと人生」池田敬子（日本体育大学名誉教授）、「日本低炭素社会のシナリオ」西岡秀三（国立環境研究所参与）、「46年の助走」内田康夫（作家）などを放送した。／制作局（委託管理），NED

『邦楽のたのしみ』

土 9:30～10:00

第1回82.4.11／邦楽各種目の名曲の数々を、歴代の名演奏家の演奏で聴き、邦楽にまつわるさまざまな話題とともに放送。ライブラリー音源の有効活用と月替わりの案内役による解説で、邦楽愛好家の期待に応えた。／音楽・伝統芸能番組部

『ポルトガル語ニュース』

月～金 18:30～18:45

土・日 18:20～18:30

第1回95.4.3／日本に居住するブラジル出身者を主な対象として、ポルトガル語ニュースを国内向けに放送。／国際放送局

『まいにちイタリア語』

月～金 7:45～8:00

㊥月～金 16:45～17:00

第1回90.4.2／前期の入門編（月～水）「田舎でのんびりホームステイ」講師：花本知子（東京芸術大学非常勤講師），出演：ミケーレ・カマンダーナ（早稲田大学非常勤講師）／応用編（木・金）は「シェフになるためのイタリア語講座」講師：エルマンノ・アリエンティ（慶応義塾大学講師），出演：石橋奈美ほか／7～9月の応用編（木・金）は「世界遺産を巡る旅」講師：ラウラ・サバットリイ（早稲田大学客員講師），横山

修一郎（早稲田大学非常勤講師）。（08年10～12月の再放送）。／後期の入門編（月～水）は「文法塾～伊語事始」講師：野里紳一郎（東京大学特任講師）出演：ルチアーナ・ギッツォーニ（東京芸術大学外国人教師）。（08年4～9月の再放送）。／10～12月の応用編（木・金）は「Salotto Musicale～イタリア音楽への招待」講師：関孝弘（日伊音楽協会理事），マリアンジェラ・ラーゴ（イタリア語講師）／1～3月の応用編（木・金）は「弱点克服 ディクテーション特訓講座」講師：リッカルド・アマデイ（通訳・翻訳家）／進行：黒川彩子／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『まいにちスペイン語』

月～金 8:00～ 8:15

㊤月～金 14:45～15:00

第1回56.4.1／前期は「スタート随時！“生きた会話”塾」講師：福寫教隆（神戸市外国語大学教授）出演：ベゴニャ・ビジャマリン・フラガ，アルベルト清・フォンセカ酒井／後期は「エリのドキドキ☆スペイン留学」講師：下田幸男（立教大学兼任講師），パートナー：マルタ・マルティン・モリーナ。（08年4～9月の再放送）。／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『まいにち中国語』

月～金 8:15～ 8:30

㊤月～金 15:30～15:45

㊤月～金 23:00～23:15

㊤日 11:15～12:30（5本分）

第1回56.11.4／前期は「楽しい会話入門」講師：郭春貴（広島修道大学教授）出演：盧思，許硯輝／後期の入門編（月～木）は「エチュードで学ぼう」講師：遠藤光暁（青山学院大学教授）出演：沈宝慶，容文育（04年4～9月，05年10～06年3月の再構成）。／応用編（金）は「すぐに使える基本文法」講師：楊凱榮（東京大学教授）出演：張艶，蔣文明（04年4～6月，05年4～6月の再構成）。／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『まいにちドイツ語』

月～金 6:45～ 7:00

㊤月～金 15:15～15:30

第1回52.9.1／前期の入門編（月～木）は「ドイツ語 基礎のきそ」講師：大谷弘道（慶応義塾大学教授）出演：リタ・ブリール（4月），ジャンーン・ヘーファー（5～9月），シュテファン・ヘンゼル／前期の応用編（金）は「ドイツ語うるわし～心に残る珠玉の名言」講師：小塩節

（フェリス女学院理事長）／後期の入門編（月～水）は「“カナ”手本ドイツ語」講師：保阪良子（学習院大学准教授）出演：ダニエル・ケルン，ブリッタ・シェレンス（08年4～9月の再放送）。／後期の応用編（木・金）は「フェリックスの日記帳」講師：太田達也（南山大学准教授）出演：マルコ・ラインデル，大澤詩織（08年4～9月の再放送）。／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『まいにちハングル講座』

月～金 7:15～ 7:30

㊤月～金 14:30～14:45

㊤月～金 23:15～23:30

㊤土 7:15～ 8:30（5本分）

第1回84.4.2／前期はハングル講座初の試みとしてKBSのアナウンサーを招き「話そう！美しいハングル」と題して実践的で本格的な発音トレーニングを行った。講師：チャン・ウニョン（東京大学講師）出演：（4・5月）イ・サンヒョプ，（6・7月）ユ・ジ Chol，（8・9月）イ・ソンミン（KBSアナウンサー）／後期の入門編（月～木）は「よく使うことばで賢く学ぼう」講師：イ・ユニ（東京成徳大学教授）出演：キム・ソンウン，イ・チュンギョン（07年4～9月の再構成）。／応用編（金）は「文学で親しむハンゲルの香り」講師：波田野節子（新潟県立大学教授）出演：シム・ウォンソプ（08年1～3月の再構成）。／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『まいにちフランス語』

月～金 7:30～ 7:45

㊤月～金 13:35～13:50

第1回52.4.14／前期の入門編（月～水）は「サトシのナント留学記」講師：小野潮（中央大学教授），ミカエル・フェリエ（中央大学教授）／応用編（木・金）は「ディアローグ三銃士」。（4・5月）講師：セドリック・リヴォー（東京日仏学院講師），パートナー：明石伸子（早稲田大学非常勤講師）。（6～9月）講師：ガエル・クレピュー（東京日仏学院講師），セバステイアン・ジャフレド（東京日仏学院講師），パートナー：常磐僚子（東京日仏学院講師），西川葉澄（上智大学講師）が務めた。（08年4～9月の再放送）。／後期の入門編（月～水）は「ナミのおいしいパリ日記」講師：清岡智比古（明治大学准教授），レナ・ジュンタ（東京日仏学院講師）。（08年4～9月の再放送）。／10～12月の応用編（木・金）は「Racontons nos vies!～文法&表現力を磨こ

う」講師：杉山利恵子（明治大学教授）出演：ミカエル・フェリエ（中央大学教授）／1～3月の応用編（木・金）は「インタビューで学ぶ会話術」講師：天羽均（大阪府立大学名誉教授），オリヴィエ・ジャメ（天理大学教授）／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『まいにちロシア語』

月～土 8:50～9:05

㊥月～土 16:30～16:45

第1回56.11.4／前期は「ゆっくりじっくり基本編」と題し，アルファベットや発音の仕方の一つ一つをいねいに覚えることを目指した。日本人の父，ロシア人の母を持つ新米ガイド・リュエバを主人公にしたスキットを通してすぐに使えるフレーズも紹介した。／講師：熊野谷葉子（慶応義塾大学講師）出演：ニキータ・シュリガー／後期は前期の講座を再放送した。／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『みんなのコーラス』

R2 月～木 9:45～10:00

FM ㊥木 10:00～11:00

第1回95.4.10／「NHK全国学校音楽コンクール」参加校による自由曲の合唱演奏に講評を加えて放送した。また，10.3.22～26（㊥10.3.29～4.2）には第77回NHK全国学校音楽コンクールの新しい課題曲を発表し，合唱指揮者のアドバイスを交えて紹介した。／出演：古橋富士雄，清水敬一ほか／青少年・教育番組部

『名曲スケッチ』

R2 月～金 13:50～14:00

R1 日 22:45～22:55

FM 火～土 0:50～1:00

第1回93.4.9／テレビ番組『名曲アルバム』の音楽素材を2曲選び，アナウンサーによる簡単なコメントを添えた10分間のミニ番組。／音楽・伝統芸能番組部

『名曲の小箱』

R2 日 7:25～7:30

土 8:30～8:35

21:55～22:00

23:50～23:55

FM 月～日 5:50～5:55

土・日 22:55～23:00

第1回84.4.2／テレビ番組『名曲アルバム』の音楽素材を基にしたミニ番組。アナウンサーの簡単なコメントを添え，月に4曲を繰り返し放送。／音楽・伝統芸能番組部

『やさしい日本語』

土 14:10～14:25

㊥土 16:30～16:45

第1回95.4.9／英語による日本語講座。09年度は08年度に放送した番組の再放送。100の基本的な表現をシリーズで紹介する「ジャパン・マイ・ラブ」と慣用句や四季の俳句を紹介する「おもしろ日本語塾」で構成。文法等の説明より日本語に親んでもらうことに重点を置いた。／国際放送局

『ラジオ英会話』

月～金 15:45～16:00

㊥月～金 21:45～22:00

㊥日 16:30～17:45（5本分）

第1回08.3.31／スピーキング力，リスニング力がバランス良く鍛えられ，場面別・目的別に発話できるようになることを目指した英会話講座。英文の詩やニュースなど多彩な素材の音読を通し，英語のリズムとさまざまな表現を身に付けることを目指した。／講師：遠山顕（コミュニケーション代表）／パートナー：ケイティ・アドラー，ジェリー・デイヴィドソン／テキスト発行／制作局（委託管理），NED

『朗読』

月～金 10:45～11:00

第1回62.4.4／明治から昭和までの日本文学の名作や西洋古典の翻訳を中心にシリーズを組み，著名俳優やアナウンサーの朗読でじっくり聴かせた。与謝野晶子訳「全訳源氏物語」杉浦悦子，杉谷代水訳「希臘神話」関根信昭，「岡本かの子作品集」津嘉山正種などを放送した。／制作局（委託管理），NED

『私の日本語辞典』

土 21:00～21:40

㊥土 13:20～14:00

第1回92.4.12（R1）／言葉の専門家だけでなく，さまざまなジャンルで活躍する方を招き，自身の人生を振り返りながら日本の文化や言葉について考える，日本語を多面的にとらえて語っていただく番組。09年度は「言い間違いの秘密」寺尾康（静岡県立大学教授），「文章を科学する」村上征勝（同志社大学教授），「茶の湯のことば」筒井絃一（京都学園大学教授），「日本の食文化とことば」原田信男（国士館大学教授），「和歌文学の魅力」久保田淳（東京大学名誉教授）などを放送した。／制作局（委託管理），NED

『ワンポイント・ニュースで英会話』 新

月～金 8:30～8:35

⑨月～金 15:10～15:15, 22:55～23:00

⑩土 12:30～12:55 (5本分)

⑩日 23:00～23:25 (5本分)

第1回09.3.30/教育テレビの『ニュースで英会話』の連動番組で、ワンセグ2の『ワンポイント・ニュースで英会話』と音声素材を共有。放送前週の英語ニュースを素材に使い、英語ニュースを理解するポイントと今すぐに使いたい英語表現をマスターすることを目標とした。/講師：大川久(早稲田大学非常勤講師)、伊藤サム(英字新聞回・ジャパントイムス元編集局長)/ナレーター：亀井佐代子/制作局(委託管理), NED

ラジオ第2：特集番組

『高校講座 ベーシック10』

4.6～10, 13～17/15:00～15:30

全国で急激に増加し、文部科学省が新指導要領で対策を打ち出している“基礎学力の不足した高校生”のために、国語・数学・英語の3科目について、中学までの基本的な内容が学び直せる新シリーズとして、特集放送を行った。携帯端末への配信を見据えた1分サイズの動画を180本制作し、これを素材に10分番組を30本制作。動画の内容には、学習習慣の身に付いていない高校生でも視聴を継続しやすいようにアニメーションやコント、ドラマなどを多用した。また、10年3月には高校講座の携帯サイト上で1分動画の試験配信を開始、パソコンよりも携帯端末を最大の情報源とする高校生が利用しやすいコンテンツ展開を目指した。/制作局(委託管理), NED

『ティーンズラジオ2009』

8.13～14/9:30～10:00

09年で56回目となった「NHK杯全国放送コンテスト」には、1,561校、1万4,016人が参加、ラジオ部門には1,035本の作品が寄せられた。「ラジオドキュメント部門」、「創作ラジオドラマ部門」の入賞作品を2回シリーズで紹介した。/ナレーター：昌子洋子/青少年・教育番組部

『全国盲学校野球大会優勝決定戦』

8.31/0:00～2:19

8月21日に行われた、視覚障害者にとっての甲子園、全国盲学校野球大会優勝決定戦のもようを実況録音で伝えた。/文化・福祉番組部

『伝えたい わたしの高校生活』

12.14～17/9:30～10:00

09年11月22日に国立オリンピック記念青少年センターで行われた「第57回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会」から、「文部科学大臣賞」「NHK会長賞」ほか6賞の入賞者各2名、合計12名の発表内容“定時制通信制高校生の青春メッセージ”を、4本にまとめて紹介した。/制作局(委託管理), NED

『基礎英語 創作スキット・コント大会～英語で挑戦！手作り英会話』

12.31/16:30～18:00

⑩ 1.3/11:00～12:30

ラジオ講座の普及および学習を継続してもらう起爆剤として08年度に開始したイベント連動の特集番組第2弾。09年度は『基礎英語1・2・3』の番組内のほか、テレビの30秒スポットや番組ホームページでも創作スキットの応募を呼び掛けたところ、3,000通が寄せられた。優秀作品をプロのナレーターが演じるイベントを、11月3日(教育フェア期間中)にふれあいホールで開催。年末特集として放送し、定時番組内やテキストでもイベントの内容や優秀作品を紹介した。/出演：木村松雄(青山学院大学教授)、ジャニカ・サウスウィック、リチャード・アレン、高本裕迅(白百合女子大学教授)、マイコ・コーブランド、トム・メレスキ、阿野幸一(文教大学准教授)、ガイタノ・トタロ、ジョアンナ・デイ/司会：戸田ダリオ/制作局(委託管理), NED

『聞いて聞かせて 新春スペシャル』

1.1/21:00～22:00

「マッサージを学ぶアジアの留学生・私たちの自立と未来」と題し、日本で学んでいるベトナム・ミャンマー・モンゴルの視覚障害のある留学生とともに伝えた。/文化・福祉番組部

F M 放 送

FM：定時番組

『U-18 ユーガタM塾』

金 16:00～17:20

第1回08.4.4／現役高校生がMCを担当。高校生がみずから取材し、「あなたの周りの“大人”が青春時代に好きだったアーティスト（ないしは歌）」を選曲。「音楽」は本来、世代の格差なく楽しめるもの。「温故知新」をテーマにした若い世代のための新しい音楽番組。／音楽・伝統芸能番組部, NEP

『インストルメンタル・ジャーニー』 新

火～土 0:00～ 0:50

第1回09.3.31／平日の深夜、リスナーを心地よい眠りに誘うインストルメンタル・ミュージックの数々を、最小限のナレーションで送る。リスナーに「癒やし」を提供するノンジャンルの新しい音楽番組。／司会：棚橋志乃／音楽・伝統芸能番組部, NEP

『インディーズファイル』

日（最終） 23:00～ 0:30

第1回07.8.26／この番組は、アマチュア・インディーズアーティストから公募した楽曲の音源を紹介する。みずから作曲や演奏活動を行っている若い世代とNHKの接点となることを目的としている。毎回リスナーの参考になるような話題を提供してくれるゲストを1組迎える。09年度は11本制作。／パーソナリティー：森若香織／ゲスト：ケラリーノ・サンドロヴィッチ、仲野茂、少年ナイフ、小島麻由美、ラフィンノーズほか／エンターテインメント番組部

『ウィークエンドサンシャイン』

土 7:15～ 9:00

第1回99.4.3／ブロードキャスター、ピーター・バラカンのナビゲートで送る、ウィークエンド・ミュージックマガジン。独特の嗅覚とこだわりの哲学でセレクトしたグッドサウンドとワールドワイドな音楽情報を伝えた。／DJ：ピーター・バラカン／音楽・伝統芸能番組部, NEP

『N響演奏会』

土 18:00～21:00

第1回04.9.19／年に9回、N響定期公演Aプログラムを生放送で紹介。2時間をコンサート、1時間を当日のプログラムにちなんだ話題や選曲で構成。／司会：山田美也子／音楽・伝統芸能番組部

部

『FMシアター』

土 22:00～22:50

第1回85.4.6／現代性と作家性を軸に、クオリティーの高いオーディオドラマ作品を制作。時代の抱える問題をテーマとして取り組み、聴取者に高い作品性と感動を与えられる聴きごたえのある単発ドラマである。／ドラマ番組部

『FMシンフォニーコンサート』

日 19:20～21:00

第1回09.4.5／オーケストラの名曲を、優れた演奏とわかりやすい解説で紹介する番組。東京フィルハーモニー交響楽団のほか、関西・東海北陸のオーケストラが出演した。茨城県牛久市ほか関東周辺の4か所で公開録音を実施。／解説：吉松隆、伊東信宏、外山雄三／音楽・伝統芸能番組部, 大阪局, 名古屋局, NEP

『FM番組トピックス』

月～金 9:15～ 9:20

土・日 10:57～11:00

当日放送のFM番組を中心に、これからのおすすめ番組や特集番組なども織り込み、軽快なテンポで紹介した。／広報局制作部

『大貫妙子 懐かしい未来』 新

火（最終） 23:00～ 0:00

Ⓜ火 10:00～11:00

第1回09.4.28／月1回、シンガーソングライターの大貫妙子がパーソナリティーを務め、ゲストを招いて「ライフスタイル」「人間と自然」「日本と世界」などをテーマに語り合うトーク&音楽番組。／ゲスト：山下達郎、三國清三、養老孟司、大瀧詠一、内田樹、中村征夫、毛利衛ほか／エンターテインメント番組部

『音の風景』

FM 月～金 15:55～16:00

金 10:55～11:00

土 22:50～22:55

月 0:30～ 0:35

R1 日 22:55～23:00

R2 月～金 23:50～23:55

土・日 12:55～13:00

土 14:25～14:30

土 22:55～23:00

日 16:25～16:30

第1回85.4.1／日本各地や海外のさまざまな風景を取材し「音」と「ナレーション」だけで構成するミニ番組。85年4月の『代々木公園』から数えて制作本数は1,200本を超え、放送開始から25

年を迎えた。番組では、自然・行事・伝統・乗り物など日本各地のさまざまな情景をていねいに録音し、想像力をかきたてる「音」の力だけで地域の魅力を伝えるとともに、「時代の響き」を記録し続けている。09年末には「梓内特集として「朗読シリーズ」を企画し、文芸作品の朗読と音の世界で構成した5本を放送した。／語り：大沼ひろみアナ／音響デザイン部 (表1)

表1 2009年度『音の風景』放送一覧

内 容	場 所	内 容	場 所
奈良公園の鹿寄せ	奈良県	四尺玉、夜空に舞う	新潟県
看護師への旅立ち	千葉県	オールに力を込めて!	埼玉県
修善寺から奥の院	静岡県	結願の寺	香川県
丹沢の山開き	神奈川県	駆け馬に挑む男たち	愛知県
越前打刃物	福井県	湯の町のだんじり祭り	兵庫県
初夏、中海の一日	鳥取県	江の島	神奈川県
勇壮! 榎の大木練り歩き	鳥取県	住吉大社の奉納相撲	大阪府
明治神宮の野鳥たち	東京都	道後温泉の一日	愛媛県
水しぶき舞う長瀧川下り	埼玉県	ハイキングガングリスマスの調べ	東京都
C58秩父路に響く	埼玉県	朗読シリーズ 種田山頭火	(特集)
ウシガエル	埼玉県	朗読シリーズ 長谷川周航の歌	〃
潮来のサッパ舟	茨城県	朗読シリーズ 智恵子抄	〃
浅草ほおずき市	東京都	朗読シリーズ 椰子の美	〃
下町の氷屋さん	東京都	朗読シリーズ 石川啄木	〃
伊万里焼の響き	佐賀県	ロンドン地下鉄	イギリス
出発進行! 憧れの運転士	石川県	冬のセントラルパーク	アメリカ
三河の綾渡夜念仏	愛知県	水中綱引き	福井県
いにしへの音、紡がれる	京都府	クライストチャーチの休日	ニュージーランド
奥多摩に、虫の音を聴く	東京都	備前長船 名刀の里	岡山県

『歌謡スクランブル』

月～土 13:00～14:00

第1回90.4.2／歌謡曲、ポップス、フォーク、ニューミュージックなど多様なジャンルの曲を月曜から金曜まで週単位でテーマを設定して構成するディスクジョッキー番組。土曜は、その週のテーマに沿った原則一人の歌手で構成した。／DJ：逢地真理子、深沢彩子(隔週担当)／エンターテインメント番組部、NEP

『きたやまおさむのレクチャー&ミュージック』

新

月 23:00～0:00

第1回09.3.30／元「フォークル」メンバー、作詞家であり、現在は精神分析医、九州大学で教鞭も取るきたやまおさむをメインパーソナリティーに、各界から迎えたゲストとともに音楽や文化について語らいながら曲を紹介。毎週完結にこだわらず、時にはじっくりとトークを展開した。／司会：きたやまおさむ、黒崎めぐみアナ／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『気ままにクラシック』

金 14:00～15:55

④月 7:20～9:15

第1回02.4.4／クラシック音楽に詳しくない人でも肩ひじ張らず、リラックスして気軽に楽しめる番組。年3回、公開収録を実施。／パーソナリティー：笑福亭笑瓶(タレント)、幸田浩子(オペラ歌手)／音楽・伝統芸能番組部

『クラシックカフェ』

月～木 14:00～15:55

④火～金 7:20～9:15

第1回08.3.31／クラシックの多彩な名曲を、女性解説者がCDで紹介する番組。／案内：唐沢美智子、高山久美子／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『現代の音楽』

日 18:00～18:50

第1回57.4.7／現代音楽の最前線を紹介する番組。「音の現在(いま)」「演奏家に聞く」「芥川作曲賞」「ミュージック・トゥモロー」など最新作品を紹介した。／解説：猿谷紀郎／音楽・伝統芸能番組部

『サウンドストリート21』

日 23:00～0:30

第1回05.3.29、最終回10.3.21／J-POPシーンで活躍する人気アーティストをマンスリーでゲストに迎え、毎回彼らがこだわりの選曲で届ける音楽番組。／エンターテインメント番組部

『サウンド・ミュージアム』

日(最終) 19:20～22:00

第1回05.4.24／アーティスト1組をゲストに引き、2時間40分にわたって徹底的に特集する、FMならではの音楽番組。09年度は、石川セリ、ザ・ビートルズ、電気グルーヴ、マイケルジャクソンなど、大物アーティスト出演や話題の洋楽特集などで貴重な話を展開した。／エンターテインメント番組部

『ザ・ソウルミュージック』

木 23:00～0:00

第1回99.4.2／根強いファンを持つソウル、R&Bなどブラックミュージックを専門的に取り上げる番組。就寝前のリラックスしたひととき、ソウルミュージックの魅力をもっと堪能してもらった。／DJ：オダイジュンコ／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『サンデークラシックワイド』

日 14:00～18:00

第1回07.4.8／4時間のクラシック大型定時番組。(1～3週 海外コンサート／海外オペラアワー) 海外の音楽祭や演奏会を欧米の放送局からの音源を用いて紹介。(4～5週 特選アラカル

ト) 国内のオペラ公演や宗教曲の大規模なコンサートなど、通常の番組枠に収まらない話題の演奏会を紹介。また、年に5本「クラシック・リクエスト」と題して生放送を行った。／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『ジャズ・トゥナイト』

土 23:00～1:00

第1回05.4.2／過去の名盤はもちろん、ジャズ界の最新の動きも紹介、本格的なジャズファンの満足を目指したジャズ番組。／DJ：見山紀芳／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『吹奏楽のひびき』

日 21:30～22:00

第1回08.4.6／長年の吹奏楽ファンや吹奏楽の経験者はもちろん、多くの音楽ファンに吹奏楽の持つ多様な魅力を紹介。吹奏楽のためのオリジナルを数多く手がける若手作曲家の中橋愛生さんを進行役に迎え、CDの名盤や「東京芸術大学吹奏楽定期演奏会」のライブ録音など、貴重な演奏会を収録・放送した。／音楽・伝統芸能番組部

『青春アドベンチャー』

月～金 22:45～23:00

第1回92.4.6／国内や海外の超人気エンターテインメント小説や劇画を原作に、スピーディーでスリリングな展開の連続ドラマ。その題材は幅広く、聴取者の主力である若年層の共感を得られるものを制作、放送。毎日15分のオーディオスペクタクルドラマ。／ドラマ番組部

『世界の快適音楽セレクション』

土 9:00～10:57

第1回99.4.3／幅広いリスナーをターゲットにしたノンジャンルのイーजीリスニング番組。案内人は「快適音楽」を追求するギター・デュオ、ゴンチチの2人。毎回、ユニークなテーマと切り口でさまざまな音楽を紹介。／DJ：ゴンチチ（ゴンザレス三上，チチ松村）／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『セッション2009／2010』

日 22:00～22:55

㊤金 10:00～10:55

第1回78.11.26／ジャズの公開ライブ番組として、コンボからビッグバンドまで、NHKみんなの広場ふれあいホールから幅広く「今」のジャズシーンを伝えた。／司会：小川もこ／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『トーキング ウィズ 松尾堂』

日 12:15～14:00

第1回07.10.28／松尾貴史を店主とする老舗の

古書店「松尾堂」を舞台に展開されるトークバラエティー。30代、40代を中心に毎回2組程度の多彩なゲストを招き、同世代だけでなく、幅広い層に受け入れられた。店主役の松尾貴史と店員役の佐藤寛子のコンビネーションで軽妙にゲストの話題を引き出した。／司会：松尾貴史，佐藤寛子／エンターテインメント番組部

『20世紀の名演奏』

日 9:00～10:57

第1回93.4.11，最終回10.3.28／20世紀を代表するクラシックの名演奏を、黒田恭一さん（音楽評論家）の魅力あふれる解説によって振り返る番組。5月に黒田さんが他界し、6月以降は諸石幸生さん（音楽評論家）が解説を担当。／音楽・伝統芸能番組部

『日曜喫茶室』

日（最終） 12:15～14:00

第1回77.4.10／日曜の昼下がりにはコーヒーを飲みながら、音楽とおしゃべりを楽しむトーク番組。マスター役のはかま満緒の軽妙洒脱な進行もさることながら、異なる分野で活躍する2人のゲストを1つのテーマで結んでの会話はこの番組ならではの大きな魅力である。／出演：（マスター）はかま満緒，（ウエイトレス）小泉裕美子，（ご常連）安野光雅，池内紀，轡田隆史，荻野アンナ／エンターテインメント番組部

『にっぽんのうた 世界の歌』 新

月～金 9:20～10:00

㊤月～金 17:20～18:00

第1回09.3.30／親から子へ、子から孫へと伝えられてきたすばらしい音楽の遺産である「にっぽんのうた世界の歌」を再評価し、放送を通じて次世代へと引き継ぐことを目標とする番組。童謡、わらべ歌、叙情歌や歌曲、世界の名曲などさまざまなジャンルの名歌をバラエティー豊かに放送。／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『日本の民謡』

日 11:00～11:50

㊤月 5:00～5:50

第1回66.4.10／一流の歌手や演奏家による民謡番組。北海道から沖縄に至るバラエティーに富んだ日本の民謡をたっぷり鑑賞。毎月最終週はリスナーからのリクエストで番組を構成。／司会：山中明美，滑川和男アナ／音楽・伝統芸能番組部

『能楽鑑賞』

日 7:15～8:00

第1回73.4.8／能楽愛好者に向けて、各流派の代表的な演者による能と狂言の名作を放送。通常

は楽器による演奏のない“謡”の部分のみで、そのストレートな味わいを楽しんでもらい、夏期には5回にわたり「能の音楽」を特集。演奏部分にもスポットを当てた構成とし、幅広く提供した。／音楽・伝統芸能番組部、大阪局、名古屋局
『バロックの森』

月～日 6:00～6:55

第1回05.4.1／バロック音楽から中世、ルネサンスの音楽作品までを扱う番組。平日は解説に若手専門家を起用、土・日はリクエストの日として、ファンの多様なニーズに応えた。／案内：加藤拓未、松村洋一郎、赤塚健太郎、佐野隆、大愛崇晴（平日1週交替）、松田輝雄（土・日）／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『弾き語りフォーユー』

月～木 11:30～11:50

㊄火～金 5:00～5:20

第1回99.4.1／ピアニスト・小原孝の弾き語りでつづる20分。マンツーマンの語りかけをコンセプトとし、リスナーからのお便りやリクエストを中心に選曲された名曲をユニークなアレンジで聴かせた。／DJ・ピアノ：小原孝／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『ピバ！合唱』

日 21:00～21:30

第1回08.4.6／合唱ファンはもちろん、多くの音楽ファンに合唱の魅力を伝え、内外の一流団体による合唱をわかりやすい解説を交えて放送。毎回、作曲家・合唱団体・国や地域・季節や行事といったバラエティーに富むテーマを設定、懐かしの合唱曲を聴きたいという合唱愛好者からの要望に応じて、年に5回「リクエスト特集」を実施した。／パーソナリティー：松下耕（作曲家・合唱指揮者）／音楽・伝統芸能番組部

『ベストオブクラシック』

月～金 19:30～21:10

第1回91.4.1／室内楽からオーケストラ、声楽リサイタルからオペラまで、幅広いジャンルにわたる国内外の一流の演奏会を、一部生放送を含むライブ録音で紹介。09年度は全国で10回の公開録音を実施。N響定期公演も時間を延長して生放送で紹介した。／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『邦楽ジョッキー』

金 11:00～11:50

㊄土 5:00～5:50

第1回85.4.5／若手歌舞伎俳優の尾上松也がパーソナリティーを務め、さまざまなゲストをスタジオに迎えてのトークと音楽で構成。5月には岐

阜県郡上市、9月には福岡県小郡市で公開収録を行って、地方在住のファンとも触れ合い、幅広い視聴者層の獲得を図った。／音楽・伝統芸能番組部

『邦楽のひととき』

月～木 11:00～11:30

㊄火～金 5:20～5:50

第1回85.4.1／邦楽界の中堅・新人の出演で、邦楽の比較的ポピュラーな演目を中心に放送。地唄・箏曲・尺八（月）、長唄（火）、義太夫・常磐津・清元・新内・古曲など浄瑠璃系の曲と現代邦楽（水）、小唄・端唄・うた沢・琵琶・吟詠・大和楽など（木）。／音楽・伝統芸能番組部、大阪局、名古屋局、広島局、福岡局、仙台局、札幌局

『邦楽百番』

土 11:00～11:50

㊄日 5:00～5:50

第1回73.4.5／邦楽各種目の名曲を、人間国宝や芸術院会員など第一人者の演奏で放送。邦楽の代表的名曲が、一流の演奏で味わえる番組。／音楽・伝統芸能番組部、大阪局、名古屋局

『ミュージックプラザ』

月～木 16:00～17:20

第1回02.4.1／リスナーからのリクエストに応える形で、幅広い世代のさまざまなジャンルの音楽ファンが楽しめる番組。生放送にふさわしく、最新情報を入れて制作。／パーソナリティー：つのだ☆ひろ（月）、ルーシー・ケント（火）、鈴木万由香（水）、矢口清治（木）／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『ミュージックライン』 新

月～金 21:10～22:45

第1回09.3.30／誰もが知るアーティストや話題のアーティストを招きトークや新作情報をたっぷり紹介。月曜から木曜は、リスナーからのリクエストに応えスタジオ生弾き語りなどもお送りした。また、金曜は「ミュージックライン・スタンダード」と題して、特に80～90年代の楽曲を中心にアラフォー世代に向けた「懐メロ特集」をお送りした。09年度は260本制作。／DJ：鮎貝健／エンターテインメント番組部、NEP

『名曲のたのしみ』

土 21:00～22:00

㊄水 10:00～11:00

第1回71.4.1／吉田秀和さん（音楽評論家）の解説で、08年度に引き続き、プーランクの作品を年代順に聴くシリーズを放送。6月からは「ハイドン その音楽と生涯」、毎月最終週は「私の試

聴室』として、解説者が選んだ名盤を紹介した。／音楽・伝統芸能番組部

『名曲リサイタル』

土 19:20～21:00

第1回00.3.31／クラシック音楽を中心にしたさまざまな名曲を聴くスタジオ公開番組。司会の加羽沢美濃さん（作曲家・ピアニスト）、伊藤健三アナウンサーによる軽妙洒落なトークで展開する親しみやすい番組。09年度は大阪局（管内派遣を含む）で9本、名古屋局で3本制作した。／音楽・伝統芸能番組部、大阪局、名古屋局

『元春レィディオ・ショー』 新

火（最終除く） 23:00～ 0:00

㊤火 10:00～11:00

第1回09.3.31／シンガーソングライターの佐野元春が、80年代前半に放送していた『サウンド・ストリート』のスタイルのままに、自身が選曲・構成・DJすべてを行う音楽プログラム。環境問題に取り組む若者をリポートする「グリーン・ピープル」のコーナーなどジャーナルな視線も取り入れつつ、佐野元春セレクトの良い音楽を全国に届けた。／エンターテインメント番組部

『ライブビート』

水 23:00～ 0:00

第1回97.4.3／今、最もビビッドなライブ活動をしているバンドの、熱気あふれるスタジオ公開ライブをたっぷり紹介する番組。毎月最終週はBBCなどの海外音源も紹介。／DJ：古閑裕、鈴木慶一／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『ワールドミュージックタイム』

日 8:00～ 9:00

㊤月 10:00～11:00

第1回00.4.2／ロックやポップスなどとの融合が進み、若者を中心にマーケットが急成長しているアジア、アフリカ、ヨーロッパなど、各地の特色あふれるワールドミュージックを広く紹介。／DJ：北中正和／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『ワールドロックナウ』

金 23:00～ 0:00

第1回97.4.5／音楽評論家として31年の経歴をもつ渋谷陽一が、海外・国内の最新のロック&ポップス、旧譜の中から彼なりの視点でお薦めの曲を紹介する音楽番組。／DJ：渋谷陽一／エンターテインメント番組部、NEP

FM：特集番組

『今日是一日“戦後歌謡”三昧』

4.29／ 9:20～11:50, 12:20～18:50

19:20～22:45, 23:00～ 1:00

FMの祝日の超長時間特別番組『今日是一日〇三昧』。戦後歌謡がピークに達した昭和30年代、そして「昭和歌謡」と呼ばれ音楽の質が変わり始めた40年代までをたっぷりと、幅広いリスナーからのリクエストやエピソードを紹介しながら約16時間の生放送で届けた。／司会：立川志らく、加賀美幸子／ゲスト：金子辰雄、豊岡豊（バンドマスター）ほか／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『ジャパニーズ ゴールデン ポップス』

(Vol. 7) 4.30, 5. 1～ 3/23:00～ 1:00

(Vol. 8) 7.27～31/21:10～23:00

(Vol. 9) 12.24～25/19:30～21:00

12.26/19:20～21:00

(Vol.10) 3.27～28/14:00～16:00

1980年代から90年代前半J-POP黄金時代のヒット曲を聴きながら、アーティスト本人をスタジオに招き、当時の思い出やエピソードをたっぷり語ってもらう番組。Vol.7から10まで合わせて14回放送した。／ディスクジョッキー：山本シュウ（Vol.7）、中村貴子（Vol.7, 8）、船守さちこ（Vol.8, 9, 10）／ゲスト：坂崎幸之助、平松愛理、岡本真夜、CHAGE（以上Vol.7）、永井真理子、尾崎亜美、Chara、高見沢俊彦、杉山清貴（以上Vol.8）、古内東子、佐藤竹善、桜井賢（Vol.9）、坂崎幸之助、武内享（Vol.10）／エンターテインメント番組部

『今日是一日“みんなのうた”三昧』

5. 2/ 9:00～11:50, 12:15～18:50

06年、07年と好評だった“みんなのうた”三昧の第3弾。今回は「愛すべきキャラクター」「子どもが歌ったみんなのうた」「アイドルが歌ったみんなのうた」「フォーク歌手が歌ったみんなのうた」「演歌歌手が歌ったみんなのうた」など新たなコーナーを設け、歌い手のメッセージも盛り込みながら放送した。／司会：大地真央、稲塚貴一アナ／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『今日是一日“ラ・フォル・ジュルネ”三昧』

5. 4/12:45～22:00

毎年恒例、東京国際フォーラムで行われるクラシック音楽イベント、“ラ・フォル・ジュルネ”のもようを長時間生放送で伝えた。09年のテーマはバッハ。複数のホールで次々と行われる演奏とともに、コンサートを終えた演奏家をゲストとし

て招いてのトークも交えて放送。／司会：岩槻里子アナ／解説：小岩信治（静岡文化芸術大学准教授）／演奏：バッハ・コレギウム・ジャパン，クリストフ・ルセ，ピエール・アンタイ，村治佳織，ファビオ・ビオンディほか／ゲスト：ルネ・マルタン，鈴木雅明，寺神戸亮，茂木健一郎，小曾根真ほか／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『連休なんてラジオマンジャック』

5. 4 / 22:00～ 1:00

夏・冬の恒例となった3時間生放送番組。おなじみの赤坂泰彦と雨蘭咲木子を中心としたラジオパフォーマンスの数々，押尾コータローのスタジオ生演奏を中心にリスナーから募集したメッセージも紹介しながら構成。今回のテーマは「連休なんて！」。／司会：赤坂泰彦，雨蘭咲木子／ゲスト：コロッケ，押尾コータロー，門司肇／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『第77回日本音楽コンクール受賞者発表演奏会』

5. 5 / 7:20～ 9:15

東京オペラシティで行われた，第77回日本音楽コンクール各部門の第1位受賞者による演奏会を収録して放送した。／作曲：江原修，チェロ：伊東裕，ホルン：福川伸陽，バイオリン：瀧村依里，ソプラノ：岩下晶子，ピアノ：入江一雄，喜多宏丞／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『今日是一日“吉田拓郎”三昧』

5. 5 / 13:00～18:50, 19:20～23:00

今回はマイナーな存在であったフォークソングを一躍大衆化させた“吉田拓郎”にスポットを当てた。約12時間，全77曲を放送。／司会：田家秀樹，黒崎めぐみアナ／ゲスト：坂崎幸之助／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『ライブ・ウィズ・フレンズ～塩谷哲と音楽仲間たち』

5. 6 / 0:00～ 2:00

ピアニストで作・編曲家の塩谷哲が，日ごろから交流のあるボーカリストたちを招いてセッションをするコンサート（08.12.23に中野サンプラザで収録）のようを紹介する特別番組。スタジオで塩谷自身が案内役を務めた。／コンサート出演：塩谷哲，田島貴男，絢香，井上陽介，佐藤竹善，柴田淳，玉城千春／スタジオゲスト：田島貴男／スタジオ司会：塩谷哲／エンターテインメント番組部，NEP

『クラシック大好き IN 大阪～N響メンバーと新進演奏家の出会い』

5. 6 / 7:20～ 9:15

NHK大阪ホールで行われる恒例の室内楽コン

サート。若手演奏家の登竜門である日本音楽コンクールの第1位受賞者が，NHK交響楽団メンバーと共演。／曲目：ホルン三重奏曲（ブラームス），ピアノ四重奏曲第2番（ドボルザーク）ほか／司会：山田美也子／出演：堀正文，井野邊大輔，木越洋（以上N響），喜多宏丞，入江一雄，瀧村依里，福川伸陽／大阪局

『今日是一日“ハードロック・ヘビーメタル”三昧』

5. 6 / 13:00～18:50, 19:20～ 1:00

07年10月に放送，HPアクセス20万件・リクエストのメール7,000通と大きな反響を得た“ハードロック・ヘビーメタル”三昧の第2弾。時間ごとにテーマを設け，主に男性30代から40代にファンが多い，HRHM（ハードロック・ヘビーメタル）の名曲を紹介した。／司会：伊藤政則（音楽ライター），松本和也アナ／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『邦楽ジョッキー～あなたの街に邦楽を』

5.15, 22, 9.18, 25 / 11:00～11:50

㊤ 5.16, 23, 9.19, 26 / 5:00～ 5:50

毎週金曜に放送している尾上松也の『邦楽ジョッキー』の公開収録版。歌舞伎俳優・尾上松也の若さあふれるトークとともに，一流の演奏家たちの鮮やかなテクニックや，地元の特色を詠み込んだパフォーマンスの数々で，日本の伝統音楽や邦楽器を使った新しい音楽を紹介。09年度は2回（岐阜県郡上市，福岡県小郡市）実施し，4回に分けて放送。／出演：尾上松也（DJ）ほか／音楽・伝統芸能番組部，岐阜局，福岡局

『弾き語りフォーユー イン 京都』

6.15～18 / 11:30～11:50

㊤ 6.16～19 / 5:00～ 5:20

10年間続いているピアニスト・小原孝による弾き語り番組の特別編。NHKスタジオを飛び出し，京都府立医科大学にて公開収録した。／DJ・ピアノ：小原孝／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『今日是一日“シャンソン”三昧』

7.20 / 12:15～18:50, 19:20～22:45, 23:00～ 1:00

約13時間にわたり，古い世代のシャンソンから新しいシャンソンの名曲の数々をお届けした。視聴者からのリクエストを中心に，ゲストを迎えてのトーク&スタジオ生ライブ，またピアフ，越路吹雪などの特集も組み，第3部では7月4日，5日にNHKホールで行われた「パリ祭」の音源などを放送。／司会：真汐かれん（歌手），山田誠浩（フリーアナウンサー）／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『ザ・ソウルミュージック500回目前ライブスペシャル』

7.23/23:00～ 1:00

9月10日に500回を迎える『ザ・ソウルミュージック』のお祝い気運を高めるべく、隔月末に放送している「ミッドナイトソウルカフェ」の枠を拡大、ゲストを招いて、スタジオミニライブとトークを生放送で届けた。／司会：オダイジュンコ／ゲスト：村上てつや、モアリズム／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『よみがえる伝説 クロスオーバーイレブン2005』

7.27～31/23:00～ 0:00

78年11月から01年3月まで、24年にわたって放送され、深夜音楽番組の先駆けとして一世を風靡した名番組『クロスオーバーイレブン』。その復活版として2005年に放送した『クロスオーバーイレブン2005』の再放送。／出演：津嘉山正種／スクリプト：鈴木光司／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『アラフォー～あの日 聞こえてきた音楽は…今も輝いている』

8. 1/19:20～ 1:00

12.27/14:00～18:50, 19:20～21:00

FM放送開始からおよそ40年。FM放送と共に成長してきた「アラフォー世代」をターゲットにFMが発信し続けてきた音楽、その中に込められたメッセージ、思い出をリスナーも参加しながら生放送。／ディスクジョッキー：荘口彰久／エンターテインメント番組部

『特集 にっぽんのうた 世界の歌』

8. 3～ 7/ 9:20～10:00

⑧ 8. 3～ 7/17:20～18:00

8.10～14/ 9:20～10:00

⑧ 12.28～31/ 9:20～10:00

1. 4～ 8/ 9:20～10:00

⑧ 1. 4～ 8/17:20～18:00

世界的オペラ歌手、アルベルト・クピード（8.3～7）、日本歌曲界の重鎮、畑中良輔（8.10～14）、89歳の現役声楽家、栗本尊子（1.4～8）を迎え、歌曲の歴史やエピソードとともに名曲の数々を放送した。／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『FM40クラシック・スペシャル』

8. 3～ 7/19:30～21:10

FM放送40周年を記念し、5夜にわたって『クラシック・スペシャル』と題して放送。第1夜から第4夜まではN響特選アーカイブス、第5夜は

09年3月1日の特集ライブを再放送した。／（第1夜）カイルベルトとマタチッチ、ゲスト：堀伝（元N響コンサートマスター）、奥田佳道（音楽評論家）、（第2夜）サヴァリッシュとスウィートナー、ゲスト：徳永二男（バイオリニスト）、奥田佳道、（第3夜）シュタインとプロムシュテット、ゲスト：徳永二男、奥田佳道、（第4夜）デュトワとアシュケナージ、ゲスト：岡崎耕治（ファゴット奏者）、奥田佳道、（第5夜）FM40ラジオデー再放送、ゲスト：中村絃子（ピアニスト）、吉松隆（作曲家）、鈴木大介（ギタリスト）、諸石幸生（音楽評論家）／音楽・伝統芸能番組部

『真夏の夜の偉人たち』

8. 3～ 7/21:10～23:00

⑧ 8.17～21/16:00～17:50

「偉人たちシリーズ」の第5弾。各界の著名人が、自分の最も愛する20世紀の音楽家を独自の視点から紹介する音楽夜話／（8.3）衣笠祥雄～僕の野球人生とルイ・アームストロング、（8.4）大伴良則～僕のサンタナを聞いとくれ、（8.5）木滑良久・中川ヨウ～渡辺貞夫とその時代、（8.6）久保田利伸～追悼マイケル・ジャクソン、（8.7）小川隆夫～サリナ・ジョーンズ愛のハーモニー／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『クロスオーバーイレブン2009』

8. 3～ 7/23:00～ 0:00

78年11月から01年3月まで、24年にわたって放送され、深夜音楽番組の先駆けとして一世を風靡した名番組『クロスオーバーイレブン』。FM放送開始40周年の09年、名物番組の精神を生かしつつ、新しい時代のエッセンスを盛り込んだリニューアル版として夏の特集番組で放送。往年のファンのみならず、新たな聴取者に復活した伝説番組の魅力に触れてもらった。／朗読：津嘉山正種／スクリプト：高木達、小沢章友／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『帰って来たFMリクエストアワー』

8. 8/14:00～18:50

09年3月放送の『わが青春のFMリクエストアワー』には、リスナーから大きな反響が寄せられた。今回は、リスナーからの『Fリク』への思い出などを基にした、当時の担当アナウンサーによる第2弾。／司会：山本哲也・芳野潔・黒沢保裕・廣田直敬アナ／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『ダブルDJショー』

8.10～12/23:00～ 1:00

異なる2組の人気者が、互いの個性を出しながら

ら進めるDJショー。今回は、3組のペアで丁々発止のトークバトルを展開した。／出演：(10日)クリスタル・ケイ、ケミストリー、(11日)南こうせつ、ムッシュかまやつ、(12日)要潤、熊谷和徳／エンターテインメント番組部、NEP
『松尾潔のメロウな夜』

8.13/23:00～0:00

EXILE、平井堅などのプロデュースで知られる松尾潔がパーソナリティーを務める音楽番組。R&Bの曲を中心に、メロウ(成熟した大人の)な楽曲を軽妙なトークとともに紹介した。／出演：松尾潔／エンターテインメント番組部

『小西康陽 これからの人生』

8.14/0:00～1:00

元ピチカート・ファイヴの小西康陽が、50歳を越え「今、本当に聴きたい音楽」にこだわって選曲した大人の音楽番組。女優の市川実和子をボカールに迎えてジャズトリオで演奏するなど、音楽の新しい楽しみ方を提示した。／出演：小西康陽、市川実和子、前園トリオ／エンターテインメント番組部

『小山田圭吾の中目黒ラジオ』

8.14/23:00～0:00

1. 1/22:00～23:00

世界的に活躍するミュージシャン・小山田圭吾が、夏と冬の年2回送る、21世紀のスネークマンショー。こだわりの選曲とエディットで、音楽好きから高い人気を誇る。／出演：小山田圭吾／エンターテインメント番組部

『今日是一日“なつかしのアイドル”三昧 2009・夏』

8.15/9:00～11:50, 12:15～18:50, 19:20～23:00

07年8月の第1弾に続き、FM波の人気企画「三昧」シリーズで“なつかしのアイドル”を取り上げた。リスナーからのリクエストに応え、1970～80年代の曲を中心に141曲をオンエア。メールは約3,000通、ホームページへのアクセスは約15万件と前回は大きく上回り、大好評を博した。／出演：滑川和男アナ、風見しんご、石野真子、三田寛子、野口五郎、半田健人、国生さゆり、岩崎宏美／エンターテインメント番組部

『今日是一日“SF・ヒーロー”三昧』

8.16/9:00～11:50, 12:15～18:50, 19:20～1:00

映像の歴史とともに人々の興味・関心を常に集めてきたSFもののうち、ヒーローにスポットを当て、ドラマや映画で使われてきた音楽を一挙に集め放送。／出演：藤岡弘、サイキックラバー、堀江美都子、串田アキラほか／司会：松風雅也、

藤崎弘士アナ／音楽・伝統芸能番組部

『名曲リサイタル 生放送!夏休み親子スペシャル』

8.22/19:20～21:00

公開収録番組『名曲リサイタル』をCR509スタジオから生放送で行ったスペシャル版。親子限定で聴衆を公募し、親子で楽しめる選曲とした。司会の加羽沢美濃とゲストとのアドリブ合戦などの企画も好評を得た。／司会：加羽沢美濃、伊藤健三アナ／出演：辻井伸行、梅田俊明、東京フィルハーモニー交響楽団、戸部公爾(声優)／音楽・伝統芸能番組部

『夏の思い出ラジオマンジャック』

8.22/22:00～1:00

ラジオマンジャック・シリーズの夏期特集。09年度は8月後半、「夏の思い出」をテーマに生放送で届けた。リスナーが体験した夏の思い出・喜怒哀楽を募集し、去り行く夏、秋の気配をテーマに選曲した。／司会：赤坂泰彦、雨蘭咲木子／ゲスト：押尾コータロー、コロケ、門司肇／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『ふるさと民謡夏列島2009』

8.23/12:15～14:00

お盆の時期、民謡に乗せてふるさとへの思いを強くしてもらおうと企画された毎年恒例の番組。／出演：山本謙司、高橋キヨ子、小野花子、成世昌平ほか／司会：佐藤唯、滑川和男アナ／音楽・伝統芸能番組部

『夏祭り!ミュージックライン〜リスナーとぶっちゃけふれあおう』

8.23/21:00～0:30

毎週月～金曜まで、ビビッドな音楽を全国に発信するFM番組の夏の特集。NHKスタジオに100人のリスナーを招き公開生放送で実施。大物アーティストのトークと生演奏に加え、リスナーからの質問やリクエストのメール・FAXをその場で受け「より身近なPOP&ROCK番組」をテーマに展開した。／出演：山崎まさよし、SEAMO、江畑兵衛(トライブレイン)、小出祐介(ベース・ボール・ベアーズ)、ゴスペラーズ、伊藤由奈、平原綾香／司会：鮎貝健／エンターテインメント番組部、NEP

『特集・ヨーロッパ夏の音楽祭2009』

8.24～28/19:30～21:10

ヨーロッパの音楽祭から注目の演奏を、5夜にわたって、海外の放送局の音源から放送した。／ザルツブルク音楽祭、ラインガウ音楽祭、モンペリエ音楽祭、ルツェルン音楽祭、プロムス／司

会：新井鷗子／ゲスト：吉野直子，四方恭子，森悠子，宮田まゆみ／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『特集 東京JAZZ2009』

9. 5 / 12:15～23:00

09年9月4日から3日間にわたり，東京・丸の内の東京国際フォーラムで開催された大型ジャズフェスティバル「東京JAZZ2009」のもようを生放送。世界的に注目を集めるジャズフェスの興奮と熱気を前日のステージのもようなども含め伝えた。／司会：濱中博久・住吉美紀アナ／出演：ルー・ドナルドソン，マッコイ・タイナー，リー・リトナー，ジョン・スコフィールド，上原ひろみ，ほか／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『NHK音楽祭 2009』

9.10 / 19:00～21:10

10.26, 11. 4, 30 / 19:00～21:15

7回目を迎えたNHK音楽祭から，「オーケストラが奏でる故郷の名曲」全4回を，NHKホールから生中継放送。／（第1夜）バレンボイム指揮ミラノ・スカラ座管弦楽団 ヴェルディ「レクイエム」，（第2夜）ヤルヴィ指揮シンシナティ交響楽団 ドボルザーク「交響曲第9番」ほか，（第3夜）シャイー指揮ライブチヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団 マラー「交響曲第1番」ほか，（第4夜）ゲルギエフ指揮NHK交響楽団 チャイコフスキー「交響曲第6番」ほか／音楽・伝統芸能番組部

『白洲次郎～音楽でたずねるドラマの世界』

9.20 / 22:00～23:00

『スペシャルドラマ 白洲次郎』のPRもかねて，白洲次郎のサウンドトラックを特集した番組。音楽監督の太友良英を迎えて，「音楽」からみた，ドラマ白洲次郎の魅力を紹介した。／出演：太友良英，カヒミ・カリィ，菊地成孔／エンターテインメント番組部

『今日是一日“浜松アーカイブス”三昧』

9.21～22 / 12:15～18:50, 19:20～22:45

NHK浜松支局音楽ライブラリーには戦前に発売された各種SPからLP，EPまで，約34万枚のレコードが保管されている。それらの音源を使用し，2日間にわたり約150曲を紹介。NHKだからこそできる放送となった。／1日目：クラシック編，2日目：軽音楽編／司会：矢口清治／ゲスト：相場ひろ，林静雄，満津岡信育，ピーター・バラカン，小鐵徹，松崎しげる／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『今日是一日“沖縄ポップス”三昧』

9.23 / 12:15～18:50, 19:20～22:45

FM波の人気企画「三昧」シリーズの1本として，民謡から最新のJ-POPまで，数多くの名曲を生んできた沖縄のポップスシーンを集めた。特に沖縄県内で活躍するアーティストを中心に紹介。沖縄局のテレビスタジオとロビーから生放送でお送りした。ロビーで行われたスペシャルライブや公開トークには280人ほどの聴取者が集まり，熱気あふれる放送となった。／ゲスト：宇崎竜童，知名定男，アコースティック・パーシャ，下地勇，よなは徹，HY，幸田悟／司会：松本和也アナ／エンターテインメント番組部，沖縄局

『第78回日本音楽コンクール 最終予選』

10. 5～ 9 / 7:20～ 9:15

第78回日本音楽コンクールの，作曲を除く各部門の最終予選のもようを収録し放送した。声楽，ピアノ，クラリネット，トランペット，バイオリンの5部門。／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『今日是一日“プロレス・格闘技テーマ曲”三昧』

10.12 / 12:15～18:50, 19:20～22:45

FM波の人気特集企画『今日是一日〇〇三昧』シリーズで，初めて，プロレスや格闘技の選手の入場曲を取り上げた。数多くの選手のコメントなど織り交ぜながらリクエストを募り，合計91曲をオンエアした。／出演：神無月，ユリオカ超特Q，玉袋筋太郎，木原文人，高阪剛，清野茂樹，伊達正隆アナ／エンターテインメント番組部

『第76回NHK全国学校音楽コンクール～全国コンクール』

(小) 10.31 / 12:30～13:30

(中) 10.31 / 13:30～14:45

(高) 10.31 / 14:45～16:00

10月9～11日，小学校・中学校・高等学校の代表が集まり，NHKホールで開かれたコンクールでの合唱演奏を，金・銀賞受賞校の課題曲と全出場校の自由曲についてフルコーラスで紹介した。／青少年・教育番組部

『第78回日本音楽コンクール 本選会』

11.12～13, 16～19 / 19:30～21:10

第78回日本音楽コンクール各部門の本選会のもようを収録し放送した。作曲，クラリネット，トランペット，声楽，ピアノ，バイオリンの6部門。／音楽・伝統芸能番組部

『サタデーホットリクエスト フロム 旭川』

11.21 / 14:00～18:50

NHK放送センター505スタジオから生放送して

いる『サタデーホットリクエスト』。今回はスタジオを飛び出し、旭川・鷹栖町メロディーホールからスペシャル番組として生放送。北海道各局が行っている「今月は〇〇局」の連動企画。／司会：杏子、アキナ／音楽・伝統芸能番組部，旭川局，NEP

『今日は一日“おいしい音楽・食いだおれ”三昧』

11.23／12:15～18:50，19:20～22:45

天下の台所・大阪から「食」にまつわる名曲・ヒット曲・珍曲をJポップから演歌に洋楽，クラシックなどジャンルを問わず選曲した。リスナーの食と音楽にまつわるエピソードも紹介しながら，最後には司会の2人が「味の宝石箱やあ〜」のタイトルで即興生ライブを行った。／司会：嘉門達夫，彦摩呂，山本美希アナ／ゲスト：神田川俊郎，月亭八光，タージン，夏川純／大阪局

『中島みゆきのラジオ昼間便』

12. 5／13:00～14:00

ラジオ深夜便をこよなく愛する中島みゆきが，深夜便の葛西アナとともに「昼間」に放送したDJ番組。中島みゆきが手がける舞台「夜会」の話題を中心に，楽しいトークを披露した。／出演：中島みゆき，葛西聖司アナ／エンターテインメント番組部

『冬休みラジオマンジャック』

12.19／22:00～1:00

春・夏・冬の恒例となった3時間生放送番組。おなじみの赤坂泰彦と雨蘭咲木子を中心としたラジオパフォーマンスの数々，押尾コータローのスタジオ生演奏を中心にリスナーから募集したメッセージも紹介しながら構成。今回のテーマは「冬休みこそ・だから・なのに」。／司会：赤坂泰彦，雨蘭咲木子／ゲスト：押尾コータロー，コロケ，門司肇／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『今日は一日“タカラヅカ”三昧』

12.23／12:15～18:50，19:20～23:00

創立95周年を迎えた宝塚歌劇団を大特集。本拠地の宝塚歌劇団にも仮設スタジオを設け，各組トップコンビや豪華OGの生出演を実現。往年の名舞台から最新の海外ミュージカルまで，音楽と名せりふを中心に，タカラヅカの魅力を多面的に紹介した。／出演：榛名由梨，紫苑ゆう，各組現役トップコンビほか／司会：真琴つばさ，塚本堅一アナ／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『パイロイト音楽祭2009』

12.24／21:00～0:30

12.25／21:00～1:30

12.26～30／21:00～2:00

09年のパイロイト音楽祭で上演されたワーグナーのオペラを，7夜にわたって一挙に放送。／演目：「ラインの黄金」「ワルキューレ」「ジークフリート」「神々のたそがれ」「ニュルンベルクのマイスタージンガー」「トリスタンとイゾルデ」「パルシファル」／司会：東条碩夫／ゲスト：江川紹子／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『世界の快適音楽セレクション2009スペシャル』

12.26／9:00～11:50，12:15～14:00

500回を超えた人気番組『世界の快適音楽セレクション』の年末特集番組。3部構成で，第1部では，番組MCのゴンチチが12月6日，大阪で行ったコンサートのもようを紹介。第2部は，「ニッポンの音楽」をテーマに，毎回交代で選曲を担当する3人が一堂に会し，とっておきの快適音楽を届けた。第3部には“ゴンチチがぜひとも会いたい意外な”スペシャル・ゲストを迎えた。／司会：ゴンチチ（ゴンザレス三上，チチ村松）／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『CMAカントリー・ミュージック・アワード2009』

12.26／16:00～18:50

11月に行われたアメリカで最大のカントリーミュージックの祭典「第43回CMAアワード2009」のもようを，松田武久さん（CMA会員）の案内による現地生情報を交え，ライブ音源とともにたっぷり紹介。あわせてカントリーミュージックの歴史を振り返りながら，今，アメリカで大ブレイク中のニュー・カントリーなど最新情報を，音楽ファンにわかりやすく伝えた。／DJ：ルーシー・ケント／ゲスト：松田武久／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『まるのSP日記』

12.28～30／11:00～11:50

「まる」の愛称を持つN響コンサートマスター，篠崎史紀さんが，NHK浜松音楽ライブラリー所蔵のSPレコードの中から，CD化されていない音源も含めた往年の名演奏をエピソードとともに紹介。生演奏のまま手が加えられていない録音が堪能できる内容となった。スピーカーで出した音をマイクで収録して蓄音機の音質に限りなく近づける，蓄音機時代同様に盤を裏返す間をそのまま生かして放送する，など，音楽が固定（録音）できるようになった時代の幕開きをほうふつとさせるくふうを凝らした。／出演：篠崎史紀／音楽・伝統芸能番組部，NEP

『プレイバック東京JAZZ2009』

12.28/12:20~18:50

12.29/12:15~18:50

9月4日～6日に東京国際フォーラムで開催した国内最大級のジャズ・フェスティバル「東京JAZZ2009」のもようを一挙紹介。テレビでは紹介できなかった演奏も含めて、年の瀬、2日にわたってたっぷりFM音声波で紹介する完全版。／司会：濱中博久アナ／出演：NHK交響楽団、エルダー、矢野顕子、上原ひろみ、ウーター・ヘメル、メロディ・ガルドー、マッコイ・タイナー・トリオ、マンハッタン・ジャズ・クインテット、大西順子トリオ、リマージュ、神保彰、エイブラハム・ラボリエル、オトマロ・ルイーズ、リー・リトナー、原信夫とシャープス&フラッツ、チャイナ・モーゼスほか／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『真冬の夜の偉人たち』

12.28/19:30~21:00

12.29~30/19:20~21:00

「偉人たちシリーズ」の第6弾。各界の著名人が、自分の最も愛する20世紀の音楽家を独自の視点から紹介する音楽夜話。／(12.28)松尾潔～スモーキーが教えてくれた、(12.29)北村英治～メモリーズ・オブ・ベニー・グッドマン、(12.30)村松友視～フランク永井・君恋し／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『第63回全日本学生音楽コンクール全国大会』

12.30/12:15~16:50

横浜みなとみらいホールで行われた第63回全日本学生音楽コンクール全国大会から、小学生から大学・一般の各部門の1～3位入賞者の演奏を収録して放送した。／音楽・伝統芸能番組部

『今日は一日“年末アコースティックギター”三昧』

12.31/10:00~11:50, 12:15~18:50, 19:15~1:00

世界で活躍するスーパー・ギタリスト、押尾コータローを中心に、電気を通さない生音だけで、クラシック、ジャズ、ポップス、ロック、さまざまなジャンルで表現されたギタリストたちの作品を、スタジオゲストによる生演奏、リクエストを交えながら15時間にわたって放送。慌ただしい年の暮れ、ゆったりとしたアコースティックギターの音色を届けた。／司会：押尾コータロー、赤坂泰彦、黒崎めぐみアナ／ゲスト：田中彬博、村治佳織、渡辺香津美、岡崎倫典、植村花菜、デパペ／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『大貫妙子 懐かしい未来 新春スペシャル～未来の音』

1. 1/10:00~11:00

毎月最終火曜の夜11時から放送している『大貫妙子 懐かしい未来』の新春特別番組。新しい年を迎えた1月1日の朝に、いま聴きたい“懐かしい音と未来の音”をDJ・大貫妙子が選曲、生放送で紹介した。また、09年末に行われた、大貫妙子と坂本龍一が共演したコンサートのもようも放送した。／出演：大貫妙子／エンターテインメント番組部

『新春民謡列島2010』

1. 1/12:15~14:00

年の初めに、ふるさとの香りあふれる民謡をたっぷり放送した。／出演：原田直之、大塚文雄、藤堂輝明、早坂光枝ほか／司会：佐藤唯、稲塚貴一アナ／音楽・伝統芸能番組部

『U-18 ユーガタM塾中学生スペシャル』

1. 1~ 3/16:30~18:00

毎週金曜に放送している『U-18 ユーガタM塾』の冬休み&新年スタートにあわせた特別バージョン。今回は「U-15」とし、中学生が「自分の身の回りの大人たちが青春時代に聴いた音楽」をリサーチして紹介した。／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『坂本龍一ニューイヤー・スペシャル』

1. 1/23:00~1:00

世界的に活躍する音楽家・坂本龍一が、自身が影響を受けた古今東西のさまざまな音楽を紹介する毎年正月に放送している特番。今回は、ラヴェルがテーマ。／出演：坂本龍一／エンターテインメント番組部

『特集 ショパン生誕200年』

1. 2/19:20~22:00

10年は、ポーランドの作曲家・ショパンの生誕200年の記念の年。ショパン研究家の小坂裕子さん、05年の第15回ショパン国際ピアノコンクールで4位に入賞した山本貴志さんをゲストに迎え、ショパンの生涯をたどりながら、音楽の魅力に迫った。／司会：杉浦隆アナ／ゲスト：小坂裕子（音楽評論家）、山本貴志（ピアニスト）／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『特集オーディオドラマ～祖国を想う 沖縄を想う～ドラマ 照屋敏子伝（前編・後編）』

1. 2~ 3/22:00~22:50

大正から昭和の終わりまで波乱に満ちた生涯を送った照屋敏子（1915～84）の半生をドラマ化。その類い稀な商才と強引なまでの精神力から、

数々の事業を起こし、成功と失敗を繰り返しながら、いつも郷土沖縄への熱い思いに突き動かされていた女傑。激動の時代を駆け抜けた一人の女の生涯を通し、生き、そして愛する激しさを劇的に伝えるオーディオドラマ。／原作：高木凜／脚色：小松與志子／音楽：長生淳／出演：若村麻由美、山崎銀之丞、神保共子、新納敏正／語り：柄本明ほか／ドラマ番組部

『THE スリー・アコーディオニスツ』

1. 2/23:00～1:00

アコーディオン界のグラミー賞といわれる最も権威あるヴォーチェ・ドロ賞を受賞した3人が一堂に会したコンサートのもようを収録。3人それぞれのソロ演奏はもちろん、世界トップを誇る彼らのコラボレーションなど歴史的なコンサートを放送した。／出演：フランク・マロッコ、リシャル・ガリアーノ、coba／音楽・伝統芸能番組部

『ネクスト K-POPS』

1. 3/23:00～1:00

韓流ドラマ&映画、韓流アイドル、韓国ポップス(K-POP)等、現在日本国内における韓国カルチャーの流入は、とどまるところを知らない。「NEXT」と銘打ち、最近日本に紹介された韓国の映画&ドラマ、韓流アーティストにスポットを当て、K-POPSを届けた。韓国で活躍している、「NEXT」にブレイクの期待がかかるアーティスト、俳優、女優の最新情報も紹介した。／司会：みんしる／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『響けうたごえ～NHK東京児童合唱団 第38回定期演奏会から』

1. 3/21:00～22:00

11月7～8日、東京オペラシティで開かれた、NHK東京児童合唱団の第38回定期演奏会のもようをダイジェストで紹介。著名な童謡からハイレベルの合唱曲まで12曲の演奏で、児童合唱の魅力を伝えた。／青少年・教育番組部

『クロスオーバーイレブン2010新春』

1. 4～8/23:00～0:00

09年夏、FM40周年を記念して放送した復活版はリスナーから絶大な支持を得た。語りと音楽が織り成す独自の世界に、特に40から50歳代のリスナーから熱烈なメッセージが多数寄せられた。そんなリスナーの期待に応え、年始にも新たに1シリーズ5本を放送。／朗読：津嘉山正種／スクリプト：戸井十月／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『新しい日本の歌』

2.11/18:00～18:50

09年9月に津田ホールで行われた「新しい日本の歌～芸術歌曲の夕べ」を収録、作曲されたばかりの新しい日本歌曲を紹介した。／司会：坪郷佳英子／ゲスト：平井丈一郎／音楽・伝統芸能番組部

『ライブ!ザ・ソウルミュージック vol.8 ヴァレンタイン編』

2.11/19:20～22:45, 23:00～1:00

02年以来、随時放送して好評を得ている『ザ・ソウルミュージック』の公開生放送第8弾。ライブ部分はリスナーから観覧希望を募り、ベテランから新人まで、音楽性の高いバンドをライブ・ゲストに迎え、スタジオライブとトークを軸に、さまざまなソウルミュージックを届けた。／司会：グッチ裕三、オダイジュンコ／ゲスト：多和田えみ、Skoop On Somebody、村上てつや／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『旭川発・今日是一日“玉置浩二の歌”三昧』

2.13/12:15～18:50, 19:20～22:00, 22:50～1:00

FMの祝日の超長時間特別番組『今日是一日〇〇三昧』。旭川出身のミュージシャン玉置浩二の楽曲111曲を、ゆかりの深い旭川市内の三浦綾子記念文学館から、約13時間にわたって生放送。／司会：杏子、猪飼雄一アナ、田畑有佳子、中江梓(旭川局キャスター)／ゲスト：石川鷹彦ほか／音楽・伝統芸能番組部、札幌局、旭川局、NEP

『サタデーホットリクエスト最終回スペシャル』

3.20/13:00～18:50

14年間、毎週土曜14:00からの生放送『サタデーホットリクエスト』の最終回スペシャル。／司会：杏子、ヒロシ、アキナ／音楽・伝統芸能番組部、NEP

『ライブ・ウィズ・フレンズ 塩谷哲と音楽仲間たち2010』

3.22/14:00～15:55

ピアニストで作・編曲家の塩谷哲が、日ごろから交流のあるボーカリストたちを招いてセッションをするコンサート(12.23に中野サンプラザで収録)のもようを紹介する特別番組。スタジオで塩谷自身が案内役を務めた。／コンサート出演：塩谷哲、渡辺美里、和紗、川口大輔、多和田えみ、上妻宏光、佐藤竹善／スタジオゲスト：佐藤竹善／スタジオ司会：塩谷哲、住吉美紀アナ／エンターテインメント番組部、NEP

『アンサンブルの楽しみ～第48回全国学校合奏コンクールから』

3.22/18:00～18:50

日本教育音楽協会が主催する小学校・中学校・

高等学校の器楽合奏のコンテスト「全国学校合奏コンクール」。第48回になる大会の上位入賞校の演奏を、最優秀賞校を中心に紹介。／青少年・教育番組部

『課題曲を歌おう～第76回NHK全国学校音楽コンクールにむけて』

3.31/10:00～11:00

第76回NHK全国学校音楽コンクールの課題曲合唱の演奏を、混声・女声など歌唱形態別に紹介。作詞・作曲・編曲者の曲に込めた思いを伝えるとともに、合唱指揮者による演奏のアドバイスを紹介。／青少年・教育番組部

補完放送

I. データ放送

2000年12月1日のBSデジタル放送の開始とともに、デジタル放送ならではの新しいサービスとしてスタートしたNHKのデータ放送は、「生活をより便利で豊かにするサービス」「緊急時に役立つサービス」を基本に放送を行っている。

03年12月1日に東京・大阪・名古屋で開始された地上波データ放送は、06年12月1日までに全国の都道府県庁所在地とその周辺で放送がスタートした。07年10月1日、北海道内の6放送局が開始したことにより、NHKの全放送局が独自のデータ放送を送出するようになった。

データ放送には、映像・音声による通常の番組（本線番組）と連動せず、独立した内容を放送する「独立型」と、本線番組と関連した内容を同時に放送する「番組連動型」に分けられる。さらに、予定に従って長期間定時的に編成する「定時」、一定期間編成する「特集」、地震・津波発生時や気象警報発令時などに随時編成する「随時」に分類される。また、リモコンを使ってアンケートやクイズに参加できる「双方向型」がある。

1. 地上デジタル・データ放送

デジタル総合テレビでは、データ放送を地域サービスの柱としており、地域と全国の『ニュース』『気象情報』とともに、独立型データ放送で暮らしに役立つ地域情報や生活情報を放送した。また、防災や生活に役立つ情報として『台風情報』『大雨情報』『地震・津波情報』や、09年6月に提供機能を追加した『土砂災害警戒情報』『竜巻注意情報』を随時放送した。

特集番組では、『浪曲特選』（12.13）、『講談特選』（1.9）といった伝統演芸番組で初めて連動型データ放送を行った。また、『第60回NHK紅白歌合戦』では視聴者参加の双方向データ放送を実施した。バンクーバー冬季オリンピックに際しては、競技をより深く楽しむための関連情報のほか、経過・結果をリアルタイムで提供した。

デジタル教育テレビのデータ放送は6月に編成を一新し、趣味・実用番組の内容紹介や、楽しみながら学ぶことのできるクイズなどの独立型のサービスを提供した。

〔定時番組の概要〕**(1) デジタル総合テレビジョン**

○独立型

- ・『ニュース』（地域および全国）
各地域の地域向けニュースと全国ニュース
- ・『気象情報』
3時間ごとの天気、週間天気、気象の現況、任意の予報地点を8か所まで登録できる「あちこち天気」、雨の降り出しを伝える「お知らせ雨です」など。
- ・『地域情報』
各地域放送局が、地域情報、防災情報、生活情報等を提供する、きめ細かな地域向けサービス。
- ・『道路交通情報』
高速道路、主要幹線道路の渋滞情報など。
- ・『デジタルステーション』
大河ドラマ、『ためしてガッテン』など、おすすめ番組の情報。

○連動型

- ・『ためしてガッテン』、大河ドラマ、『連続テレビ小説』、『ドラマ8』

○双方向型

- ・『生活ほっとモーニング クイズdeなっとく!』

(2) デジタル教育テレビジョン

○独立型

- ・『暮らしQ&A』『健康Q&A』『福祉Q&A』（5月まで）番組への問い合わせに答える形で、それぞれ暮らし・健康・福祉に関する情報の要点を紹介。
- ・『きょうの料理』『きょうの健康』『趣味の園芸』（6月～）番組各回の内容を紹介。
- ・『ETVcafe』（6月～）
教育テレビの番組から題材をとったクイズと、携帯サイト『ETVcafe』の紹介。
- ・クイズ、ゲーム
楽しみながら学び、知ることができるクイズやゲーム。

○連動型

- ・『きょうの料理』

(3) ワンセグサービス

06年4月から、地上デジタル放送でワンセグサービスを開始し、08年4月からは、地域向けサービスが全国の放送局で開始された。データ放送は、総合テレビでは『ニュース』『気象予報』のほか、『プロ野球』（09年9月～）、『Jリーグ』などのス

ポーツ情報や、『ためしてガッテン』、大河ドラマなどの番組関連情報を携帯電話の通信機能を生かして提供している。また、『番組変更情報』、緊急時の『地震・津波情報』などを随時放送した。

教育テレビのワンセグ・データ放送では、教育テレビと同様の番組関連情報を放送した。また、4月6日から一部の時間帯でワンセグ独自サービス『NHKワンセグ2』を開始し、多様な番組を放送するとともに連動型データ放送を行った。

2. デジタル衛星ハイビジョン・データ放送

BSデジタルデータ放送は、主にデジタル衛星ハイビジョンで実施している。独立型サービスとしては、『ニュース』『気象情報』『スポーツ情報』などの定時サービスのほか、防災や生活に役立つ情報として『台風情報』『大雨情報』『地震・津波情報』を随時放送した。また、『円と株～経済情報』を09年6月に刷新し、国内外の経済指標などを追加表示した。

視聴者参加型の双方向データ放送番組は、定時番組では『双方向クイズ っぽん力』、特集では『第60回NHK紅白歌合戦』などを放送した。

〔定時番組の概要〕

○独立型

- ・『ニュース』（地域および全国）
24時間いつでも見ることのできる最新の全国ニュース。
- ・『気象情報』
「市区町村別の天気」「週間予報」「沿岸海域の予報」など、日常生活や防災に役立つ気象情報。
- ・『スポーツ情報』
プロ野球、大相撲、サッカーJリーグなどの途中経過・結果速報など。
- ・『円と株～経済情報』
株価と為替を中心とした経済動向の速報サービス。
- ・『福祉とくらし』
介護保険関連情報、福祉の催し物情報、NHKの字幕放送案内など福祉関連情報。
- ・『医療と健康』
医療や健康に関する情報や知識などをわかりやすく紹介。
- ・『hiステーション』
デジタルハイビジョン番組の関連情報を24時間見ることのできるサービス。

○連動型

- ・『世界ふれあい街歩き』、『にっぽん釣りの旅』、大河ドラマ、『連続テレビ小説』、『ドラマ8』

○双方向型

- ・『双方向クイズ にっぽん力』

(このほかのデータ放送番組名は資料編⇒p.728)

Ⅱ. 文字放送・字幕放送

NHKは、テレビ画面にニュース、番組情報などを文字・図形で表示する静止画の「文字放送」と、テレビ音声を文字で表示する「字幕放送」などの補完放送を実施している。

字幕放送は、07年秋に総務省が策定した「視覚障害者向け放送普及行政の指針」(08～17年度・以下“新指針”とする)の趣旨を踏まえ、NHK独自の「字幕拡充計画」を基に、計画的かつ段階的に拡充を図っている。新指針は、生字幕放送(生放送への字幕付与)の拡充である。公共放送の重要な役割として、放送バリアフリー＝“人にやさしい放送”の充実に図り、情報保障の推進に積極的に取り組んでいる。

1. テレビ文字放送

09年度は、目次、ニュース、番組情報を含め16番組と、『スマトラ島沖地震義援金の受付』『ハイチ地震義援金の受付』『チリ地震義援金の受付』『NHK歳末・海外たすけあい』などの特別番組を放送した。

2. 字幕放送

09年度は、総合、教育、デジタル衛星ハイビジョン、衛星第2テレビを合わせて、254番組・週239時間58分(定時番組・4月改定期)に字幕を付与した。

各波の週平均の放送時間(対08年度増加時間)は以下のとおり。

総合	81時間46分(+ 40分)
教育	55時間35分(+ 7時間37分)
DHV	47時間40分(+ 4時間15分)
BS2	54時間57分(+ 5時間29分)

完プロ(収録)番組は、定時番組以外は夏、冬の特集編成、教育フェア、ETV50年関連、祝日編成を中心に字幕放送を実施した。

また、生字幕放送は、定時番組『週刊こどもニュース』(総合・土・18:10)、『クローズアップ現代』(総合・月～木・19:30, 9.7～)で開始したほか、09年度のビックイベントである『バンクーバ

ーオリンピック』(2.13～3.1)、『パラリンピック』(3.13～22)で積極的に取り組んだ。冬季オリンピックの生字幕放送は今大会が3回目。オリンピックの総放送時間は55時間30分(前回トリノ大会31時間)で、今回初めて「カーリング」「ショートトラック」「団体パシュート」等の競技・種目に生字幕を付与した。『パラリンピック』では、大会期間中のデイリーハイライト(総合・0時台)、大会直前(3.7)と閉会直後(3.25)の特別番組で実施した。

定時番組の生字幕は、『NHK歌謡コンサート』『大相撲』『プロ野球』(一部)、『MLBアメリカ大リーグ』(一部)をはじめ、『第60回NHK紅白歌合戦』『わが心の大阪メロディー』『NHK杯国際フィギュア』『びわ湖毎日マラソン』、子育て支援番組『ETV50 子どもサポートネット』(5.2, 10.31, 2.27)に付与した。特集番組では、『広島平和記念式典』(8.6)、『長崎平和祈念式典』(8.9)、『週刊こどもニュース 年末スペシャル～世の中まとめて1年間2009』(12.31)、スポーツでは『Jリーグ中継』(3.6・開幕戦)に、それぞれ初めて生字幕放送を実施した。

このほか、携帯端末向けの「ワンセグ独自サービス」の放送開始にともない、一部の番組に字幕放送を開始した。

(文字放送・字幕放送の番組名は資料編⇒p.729)

Ⅲ. その他の補完放送

このほかの補完放送には、音声多重を使った「ステレオ放送」「2か国語放送」「解説放送」がある。「解説放送」は主に目の不自由な方のためのサービスである。

「2か国語放送」は総合、教育、デジタル衛星ハイビジョン、衛星第1、衛星第2で、また、「解説放送」は総合、教育、デジタル衛星ハイビジョン、衛星第2で実施している。